

芦屋のまちづくりについての市民アンケート 調査結果報告書

令和元年 月

目 次

1	調査概要.....	1
2	結果の要約.....	4
3	アンケート調査結果.....	6
	Ⅰ. お住まいの地域の住み心地や定住意向について.....	6
	問 1 地域の住み心地.....	6
	問 2 現在の居住地.....	8
	問 3 市内居住歴.....	9
	問 4 芦屋市に住むきっかけ.....	11
	問 5 芦屋市を選んだ理由.....	14
	問 6 定住意向.....	16
	問 7 住み続けたい理由.....	18
	問 8 転出したい理由.....	21
	Ⅱ. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況について.....	24
	問 9 35 項目の施策目標の評価.....	24
	問 10 芦屋市政への評価.....	96
	問 11 今後特に力を入れる施策.....	98
	問 12 普段、情報を得る方法.....	111
	問 13 行政情報を得る方法.....	112
	問 14 よく利用する SNS.....	114
	問 15 「広報あしや」の満足度.....	115
	問 16 「広報あしや」について不満の理由.....	117
	問 17 市ホームページの満足度.....	118
	問 18 市ホームページについて不満の理由.....	120
	問 19 仕事と生活の両立.....	121
	問 20 DV 専門相談の認知状況.....	124

問 21 自然や生き物と親しむ機会の有無	126
問 22 まちなみ等の景観の美しさ	128
問 23 環境に配慮した生活	130
問 24 「市民マナー条例」の認知状況	132
問 25 清潔なまちを守る行動の実践状況	134
問 26 自転車事故賠償保険への加入状況	136
Ⅲ. 芦屋市が行うシティプロモーションについて	138
問 27 「あしやを歩く本 芦屋」の認知状況	138
問 28 「あしやを歩く本 芦屋」を知ったきっかけ	140
Ⅳ. 人口減少に対応したまちづくりについて	141
問 29 持続可能なまちづくりのために取り組むべき内容	141
Ⅴ. 幸福感について	143
問 30 幸福感の点数	143
問 31 幸福感の判断で重視した事項	146
問 32 幸福感の判断で重視した基準	148
Ⅵ. 回答者の属性について	149
1 年齢	149
2 性別	150
3 家族構成	151
4 同居家族	152
5 職業	152
6 主な勤め先（通学先）	153
7 住居形態	153
8 自由記述	154
参考資料	163
アンケート調査票	163

1 調査概要

(1) 調査の目的

令和2年度（2020年度）で終了する第4次芦屋市総合計画の総括及び令和3年度（2021年度）から10年間のまちづくりの指針となる総合計画の策定に向け、本市の状況や課題等の把握のため、「市民意識調査」を実施した。

(2) 調査方法

①調査対象	芦屋市在住の18歳以上の市民3,000人 (平成31年(2019年)4月30日現在の住民基本台帳登録者)
②調査対象の抽出方法	過去の市民意識調査における年代別の回答傾向を踏まえ、想定される回答サンプル数の年代別・地区別の構成比が実際の芦屋市の人口構成に近似するように抽出サンプル数を想定した上で、住民基本台帳から無作為抽出した。
③調査方法	1. 郵送による配布・回収(督促状を1回送付) 2. パソコン・スマートフォン等によりWEBで回答 (郵送によるアンケート票にWEB回答の案内状を同封)
④調査期間	令和元年(2019年)5月30日(木)～6月12日(水)

(3) 配布・回収

	件数	備考
①対象者数	3,000	
②有効配布数	2,989	未配達11件
③有効回答数	1,377	用紙回収:1,154件(無効2件除く), WEB回収:223件
④有効回収率	46.1%	③有効回答数÷②有効配布数

[過去の調査との回答状況の比較]

	配布数(未配達数)	有効回収数	有効回収率(%)
平成16年度(2004年度)調査	2,000(15件)	1,203	60.6
平成20年度(2008年度)調査	3,000(15件)	1,811	60.7
平成24年度(2012年度)調査	2,000(11件)	1,015	51.0
平成26年度(2014年度)調査	3,000(11件)	1,426	47.7
平成29年度(2017年度)調査	3,000(3件)	1,611	53.7
令和元年度(2019年度)調査	3,000(11件)	1,377	46.1

(4) 性別・年代別回答状況

従来のアンケートでは、若年層の回答率が低く、高齢層の回答率が高い傾向が見られるため、過去の年齢階層別の回答率を考慮して、前回調査に引き続き、年齢別の抽出数を設定した。結果として性別・年齢別の構成比においては、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られている。

性別	年代	母集団		配布数		回答者	
		実数	比率	実数	比率	実数	比率
男性	10歳代	1,049	1.3	74	2.5	17	1.2
	20歳代	3,670	4.5	254	8.5	54	3.9
	30歳代	4,166	5.1	223	7.4	62	4.5
	40歳代	6,779	8.3	334	11.1	125	9.1
	50歳代	6,443	7.9	307	10.2	115	8.4
	60歳代	5,534	6.8	170	5.7	91	6.6
	70歳代	5,324	6.6	160	5.3	84	6.1
	80歳以上	3,116	3.8	53	1.8	39	2.8
	不明・無回答	-	-	-	-	0	0.0
	計	36,081	44.4	1,575	52.5	587	42.6
女性	10歳代	908	1.1	47	1.6	8	0.6
	20歳代	3,994	4.9	210	7.0	56	4.1
	30歳代	5,102	6.3	203	6.8	113	8.2
	40歳代	8,311	10.2	233	7.8	138	10.0
	50歳代	7,608	9.4	203	6.8	111	8.1
	60歳代	6,639	8.2	170	5.7	115	8.4
	70歳代	6,976	8.6	276	9.2	176	12.8
	80歳以上	5,640	6.9	83	2.8	57	4.1
	不明・無回答	-	-	-	-	1	0.1
	計	45,178	55.6	1,425	47.5	775	56.3
上記に当てはまらない・答えたくない	10歳代	-	-	-	-	0	0.0
	20歳代	-	-	-	-	1	0.1
	30歳代	-	-	-	-	1	0.1
	40歳代	-	-	-	-	1	0.1
	50歳代	-	-	-	-	0	0.0
	60歳代	-	-	-	-	0	0.0
	70歳代	-	-	-	-	2	0.1
	80歳以上	-	-	-	-	0	0.0
	不明・無回答	-	-	-	-	0	0.0
	計	-	-	-	-	5	0.4
不明・無回答	10歳代	-	-	-	-	0	0.0
	20歳代	-	-	-	-	0	0.0
	30歳代	-	-	-	-	1	0.1
	40歳代	-	-	-	-	0	0.0
	50歳代	-	-	-	-	0	0.0
	60歳代	-	-	-	-	0	0.0
	70歳代	-	-	-	-	0	0.0
	80歳以上	-	-	-	-	0	0.0
	不明・無回答	-	-	-	-	9	0.7
	計	-	-	-	-	10	0.7
計	10歳代	1,957	2.4	121	4.0	25	1.8
	20歳代	7,664	9.4	464	15.5	111	8.1
	30歳代	9,268	11.4	426	14.2	177	12.9
	40歳代	15,090	18.6	567	18.9	264	19.2
	50歳代	14,051	17.3	510	17.0	226	16.4
	60歳代	12,173	15.0	340	11.3	206	15.0
	70歳代	12,300	15.1	436	14.5	262	19.0
	80歳以上	8,756	10.8	136	4.5	96	7.0
	不明・無回答	-	-	-	-	10	0.7
	計	81,259	100.0	3,000	100.0	1,377	100.0

※「10歳代」は、実際の人口から10～17歳を除いた数値。平成31年4月30日現在。

(5) 地区別回答状況

地区別の構成比について母集団と回答者の比率を比較すると、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られている。

地区	母集団		回答者	
	実数	比率	実数	比率
奥池地区	1,178	1.4	12	0.9
山手小学校区（奥池地区除く）	16,022	19.7	286	20.8
岩園小学校区	11,044	13.6	178	12.9
朝日ヶ丘小学校区	8,045	9.9	122	8.9
精道小学校区	11,086	13.6	207	15.0
宮川小学校区	9,621	11.8	167	12.1
打出浜小学校	8,308	10.2	132	9.6
浜風小学校区	6,357	7.8	107	7.8
潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	5,021	6.2	86	6.2
南芦屋浜地区	4,577	5.6	69	5.0
不明・無回答	-	-	11	0.8
合計	81,259	100.0	1,377	100.0

※「母集団」は、各地区の実際の人口から0～17歳を除いた数値。平成31年4月30日現在。

(6) 分析についての注意点

- 集計・分析においては、実数とともに、特記しない限り有効回答数（N=1,377）を母数とした出現率（%）を算出している。
- 集計結果において、出現率の値はすべて小数第2位を四捨五入して表記しているため、合計値が100%にならない場合がある。またいくつかの選択肢の回答を合計して「肯定的意見」や「否定的意見」として集約する場合、グラフ上の出現率（%）の合計と異なる場合がある（記述の%は、出現率を単純に合算するのではなく、改めて回答実数の合計値を母数で除して算出しているため）。
- 「2つ以上を選択」の複数回答設問については、回答者数を母数として出現率を算出しているため、出現率の合計が100%を超える場合がある。
- 属性別のクロス集計のうち、年代別の「10歳代」（25件）、地区別の「奥池地区」（12件）については、サンプル数が少なく統計的に意味があるとはいえないため、集計数値は示すが分析コメントでは結果に触れない。
- 報告書における「前回調査」は平成29年度に実施した市民アンケートを指す。但し、問9「35項目の施策目標の評価」、問10「芦屋市政への評価」については、後期基本計画期間の施策評価を比較する観点から、平成26年度実施の市民アンケートを対象としている。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- 図表名に付した「(*)」は統計的に有意な差があるとはいえない集計である。

2 結果の要約

①住み心地や定住意向

- 現在、住んでいる地域（町，学区など）について，91.9%と極めて高い比率の回答者が「住みよい」と答えており，前回からはほぼ横ばいである。
- 住む場所として芦屋市を選んだ理由で最も多いのは「地域イメージが良い」で，「交通が便利」，「生活環境（まちの清潔さ）が良い」，「通勤・通学に便利」と続いており，まちのイメージや清潔さ，利便性に対する評価が高い。
- 今後の芦屋市への定住意向は81.8%と高く，前回からはほぼ横ばいである。ただし，若い世代では一定の転出意向もある。
- 住み続けたい理由で最も多いのは「交通が便利である」で，「長年，住み慣れて愛着がある」，「生活環境（まちの清潔さ）が良い」，「地域イメージが良い」といったまちへの愛着やブランド性に関するものが続いている。
- 市外に引っ越したい理由は「物価や住居費の負担が大きい」や「買い物や医療など日常生活に不便である」「他市の方が住みやすい」といった理由が多い。

②芦屋市のまちづくりへの評価

- まちづくりへの評価では，「清潔なまちづくり」「自然と緑を育てる文化」「建物と景観の調和」「環境に配慮した暮らし」など，環境や景観と調和した美しいまちづくりへの評価が高い。また，医療サービスに対する評価も高い。

[満足度上位5項目]

- ⑮清潔なまちづくりが進んでいる
 - ⑯自然と緑を守り，創り，育てる文化を継承している
 - ⑰建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している
 - ⑭市民が適切な診療を受けられる
 - ⑱環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる
- 市政に関しては，70.1%の回答者が肯定的（「とてもうまくいっている」「まあうまくいっている」の合計）に評価し，前回よりわずかに高くなっている。
 - 今後，特に力を入れて取り組むべき施策としては，「災害に強い安全なまちづくり」が最も多く，「商業の活性化」，「高齢者の暮らし」，「交通ルールやマナー」，「子育てと仕事の両立」と続いている。

[重要度上位5項目]

- ⑲災害に強い安全なまちづくりが進んでいる
 - ⑳市内の商業が活性化し，市民の利便性も向上している
 - ㉑高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている
 - ㉒交通ルールやマナーに関する意識が高まっている
 - ㉓子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている
- 平成30年度（2018年度）に地震や台風といった災害が相次いだことから，今回の調査では災害対策に関する意見が多くなっている。

- 市政に関する様々な情報を得るための情報媒体に関しては、「広報あしや」が年代・地域に関わらず一定の役割を果たす一方、一般の情報を得る場合には年代によって大きな相違があり、若者は SNS やインターネットを中心としているが、年齢が高くなるにつれてテレビ・新聞に頼る割合が多くなる。

③シティプロモーションについて

- 「あしやを歩く本 芦屋」の認知度は回答者の約半数である。

④人口減少に対応したまちづくりについて

- 持続可能なまちづくりのために取り組むべき内容として、「行政サービスの見直し」の回答が最も多く、続いて「行政の効率化」、「公共施設の見直し」といった行政の見直しに関する回答が多くなっている。

⑤幸福感について

- 現在の幸福感について、不幸と感じている人は少ない。前回と比較すると、「幸福」と感じる人が増え、「普通」や「不幸」と感じる人は減っている。
- 幸福度の判断には、「健康状況」が最も大きな基準となっており、「家族関係」「家計の状況」と続いている。

⑥自由記述について

- 自由意見欄には、1,377 件の回収票のうち 401 件（29.1%）に何らかの意見・提案等が記載されていた。
- 項目別に分類すると、「まちづくり全体」が最も多く、「安全かつ快適な移動」「建物と景観の調和」「交通ルールやマナーに関する意識」、「清潔なまちづくり」と続いている。

3 アンケート調査結果

I. お住まいの地域の住み心地や定住意向についておたずねします。

問1 あなたは、今お住まいになっている地域（町，学区など）を住みよいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- ◆「かなり住みよい」が43.6%、「どちらかといえば住みよい」が48.4%で、合わせて91.9%が「住みよい」と答えている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

項目		回答数	割合
1	かなり住みよい	600	43.6
2	どちらかといえば住みよい	666	48.4
3	どちらかといえば住みにくい	65	4.7
4	かなり住みにくい	8	0.6
5	わからない	16	1.2
	不明・無回答	22	1.6
合計		1,377	100.0

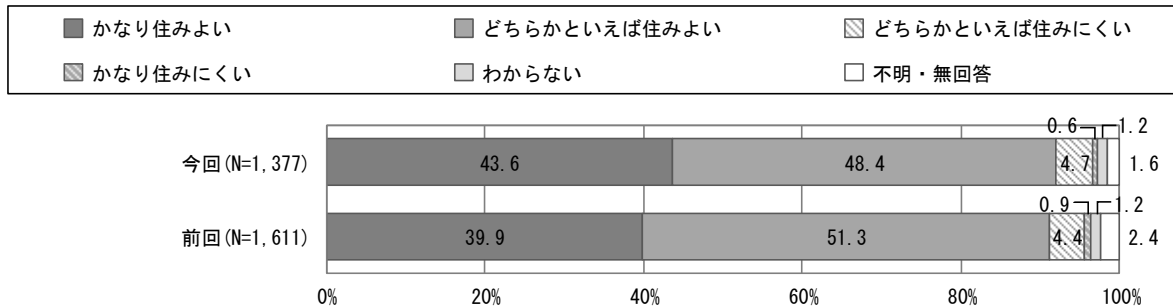


図1 住みよさ

- ◆性別では、大きな差はない。

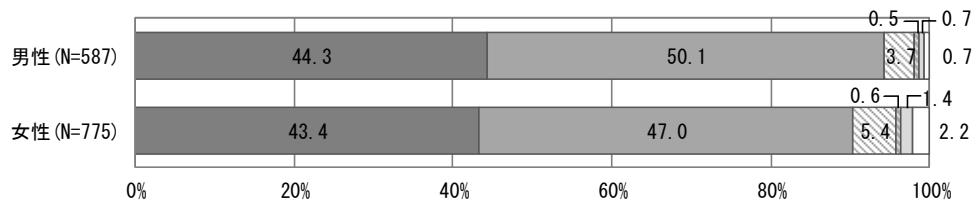


図2 住みよさ（性別）*

◆年代別では、「住みよい」では各年代での大きな差は見られないが、「かなり住みよい」については、50歳代と80歳以上でやや高い。

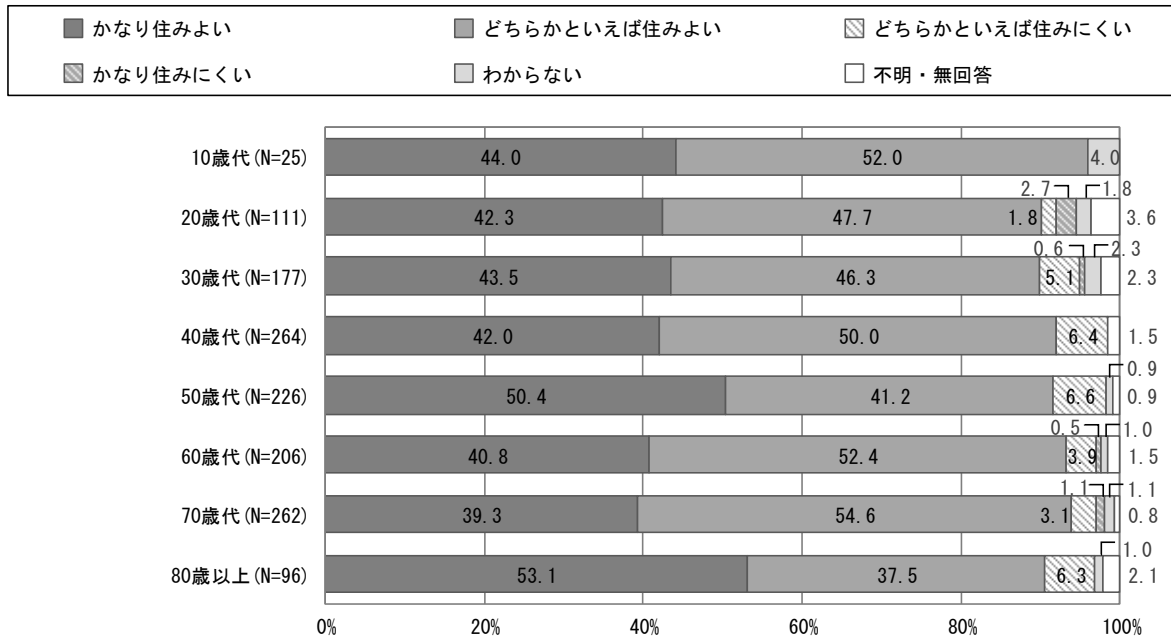


図 3 住みよさ（年代別）

◆地区別では、「かなり住みよい」と回答した割合が、精道小学校区が高く、打出浜小学校区は低い。

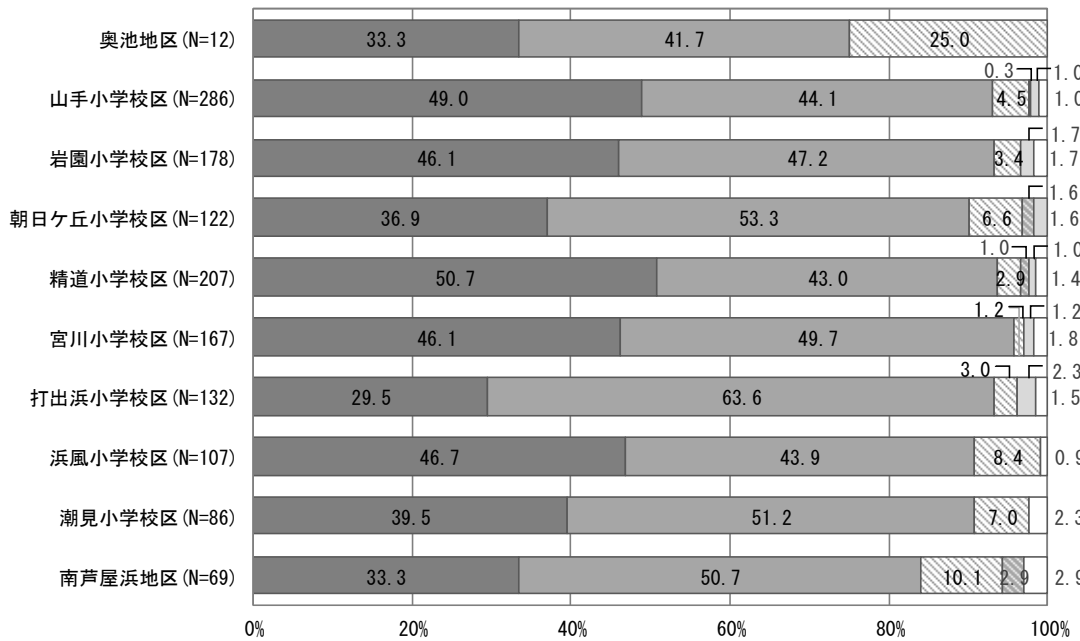


図 4 住みよさ（地区別）

問2 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。校区番号1～10から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

◆「山手小学校区」が20.8%と最も多く、「精道小学校区」が15.0%、「岩園小学校区」が12.9%、「宮川小学校区」が12.1%と続いている。

	項目	回答数	割合
1	奥池地区	12	0.9
2	山手小学校区（奥池地区除く）	286	20.8
3	岩園小学校区	178	12.9
4	朝日ヶ丘小学校区	122	8.9
5	精道小学校区	207	15.0
6	宮川小学校区	167	12.1
7	打出浜小学校	132	9.6
8	浜風小学校区	107	7.8
9	潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	86	6.2
10	南芦屋浜地区	69	5.0
	不明・無回答	11	0.8
	合計	1,377	100.0

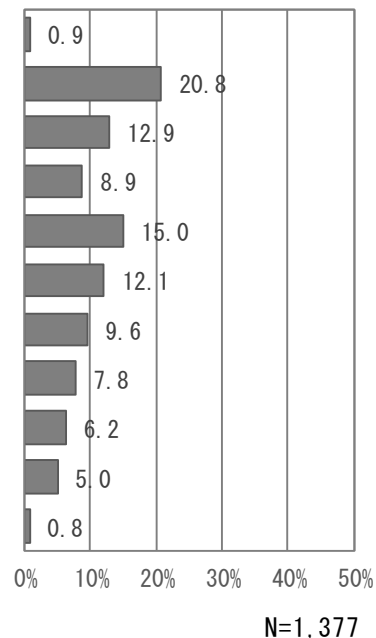


図5 居住地区

問3 あなたは、市内で、通算何年暮らしていますか（以前に転出して戻られた場合は、前に住んでいた年数も含めてお答えください）。次の中から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- ◆「30年以上」が34.9%と最も多く、「10年以上20年未満」が23.5%、「20年以上30年未満」が15.8%と続く。20年以上の居住者が50.7%とほぼ半数を占める。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

	項目	回答数	割合
1	1年未満	45	3.3
2	1年以上3年未満	73	5.3
3	3年以上5年未満	77	5.6
4	5年以上10年未満	158	11.5
5	10年以上20年未満	323	23.5
6	20年以上30年未満	217	15.8
7	30年以上	480	34.9
	不明・無回答	4	0.3
	合計	1,377	100.0

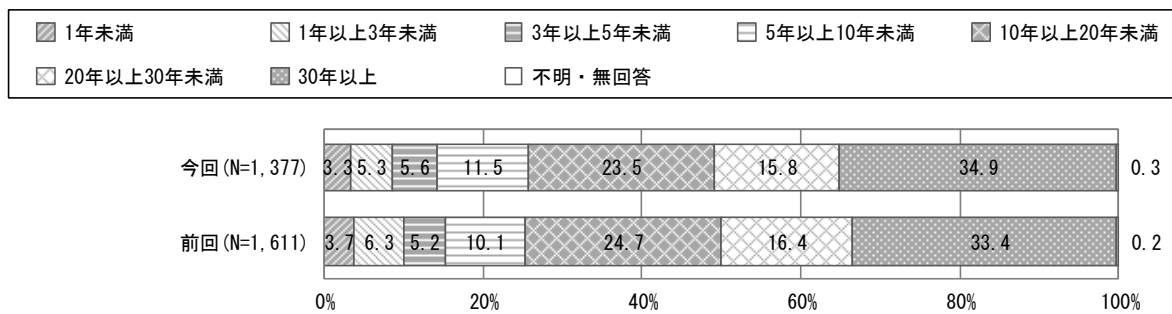


図6 居住年数

- ◆性別では、女性の方が「30年以上」が多い。

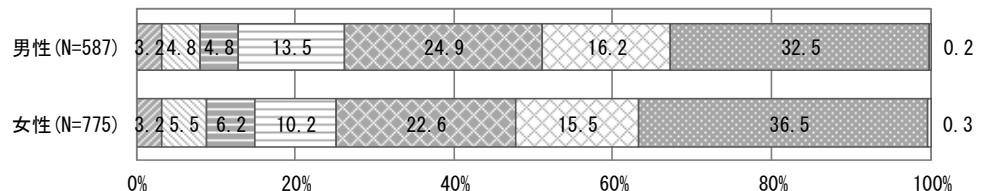


図7 居住年数（性別）

◆年代別では、年代が高いほど居住年数の長い人が多い傾向となっているが、10年未満の居住については30歳代が57.0%と最も多い。

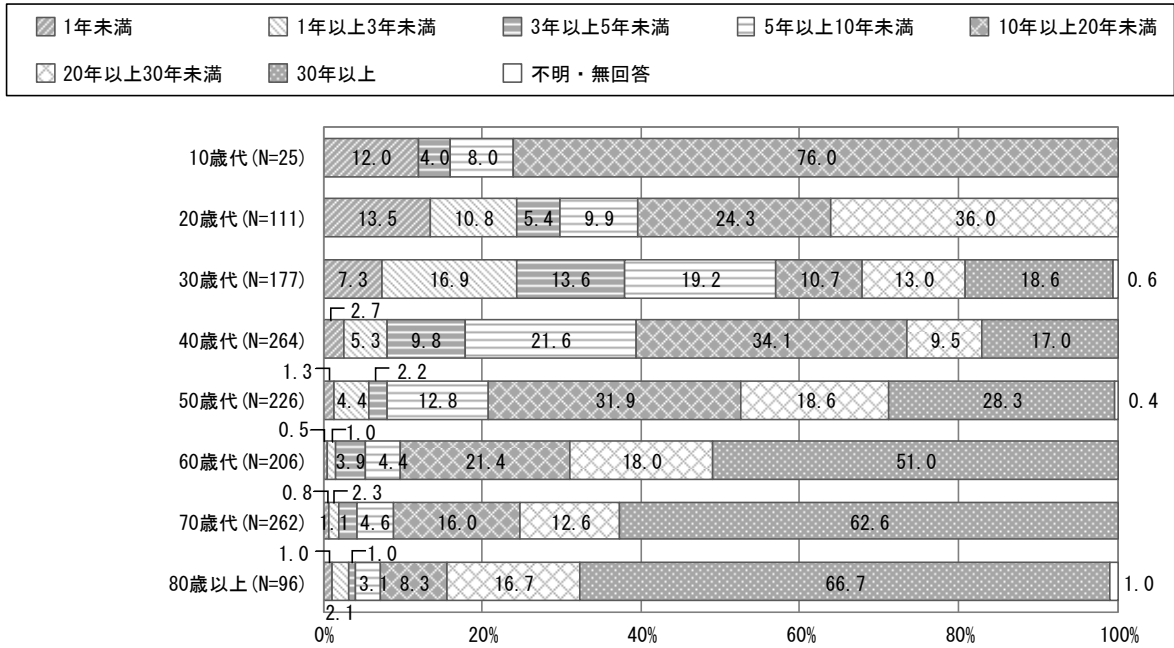


図 8 居住年数（年代別）

◆地区別では、潮見小学校区で「30年以上」居住する割合が半数を超えている。また、南芦屋浜地区では、「10年未満」の割合が高い。

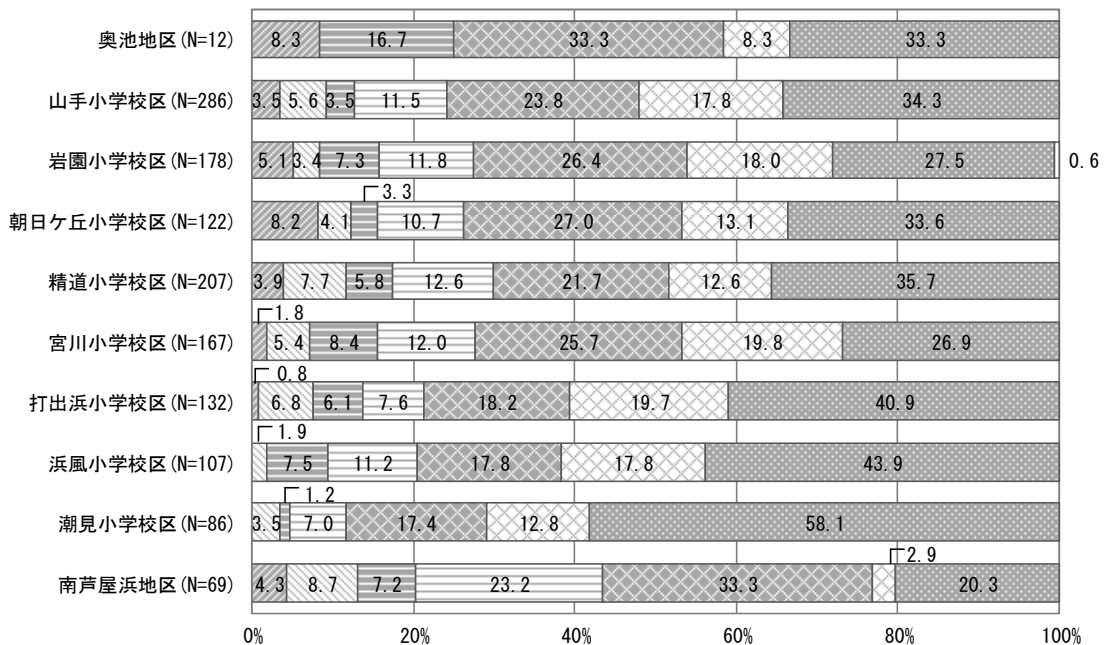


図 9 居住年数（地区別）

問4 あなたが、芦屋市に住むことになったきっかけは何ですか。次の中から1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- ◆居住のきっかけは「結婚」が21.6%で最も多く、「就職・転職・転勤」が17.7%、「その他」が16.8%と続いている。
- ◆「その他」の内訳では、住宅購入が最も多い。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

	項目	回答数	割合
1	結婚	297	21.6
2	子どもの出生・成長	133	9.7
3	家族との同居・近居	199	14.5
4	就職・転職・転勤	244	17.7
5	退職	22	1.6
6	入学・進学	34	2.5
7	生まれた時から住んでいる	207	15.0
8	その他	231	16.8
	不明・無回答	10	0.7
	合計	1,377	100.0

Q4 芦屋市に住むきっかけ 「その他」	のべ件数
無回答	72
住宅購入	52
引っ越し（きっかけ不明）	22
阪神淡路大震災	15
親が転居、幼少期に転居	12
住んでみたかった	9
社宅、会社の借り上げ住宅	5

※5件以上を表示

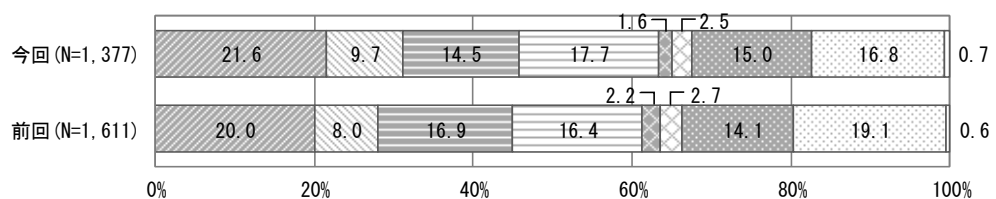


図 10 居住のきっかけ

◆性別では、男性は、「就職・転職・転勤」の割合が高く、女性は「結婚」の割合が高い。

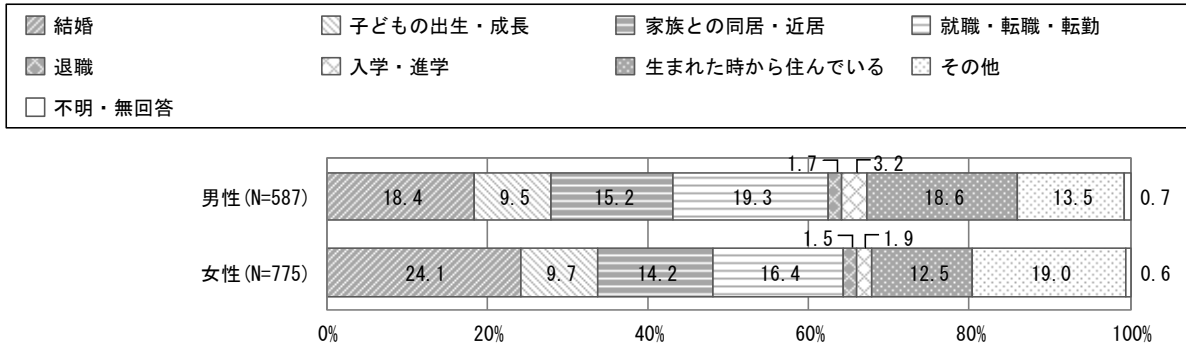


図 11 居住のきっかけ（性別）

◆年代別では、「その他」を除くと、20歳代では「生まれた時から住んでいる」の割合が高く、30・40歳代では「結婚」の割合が高い。

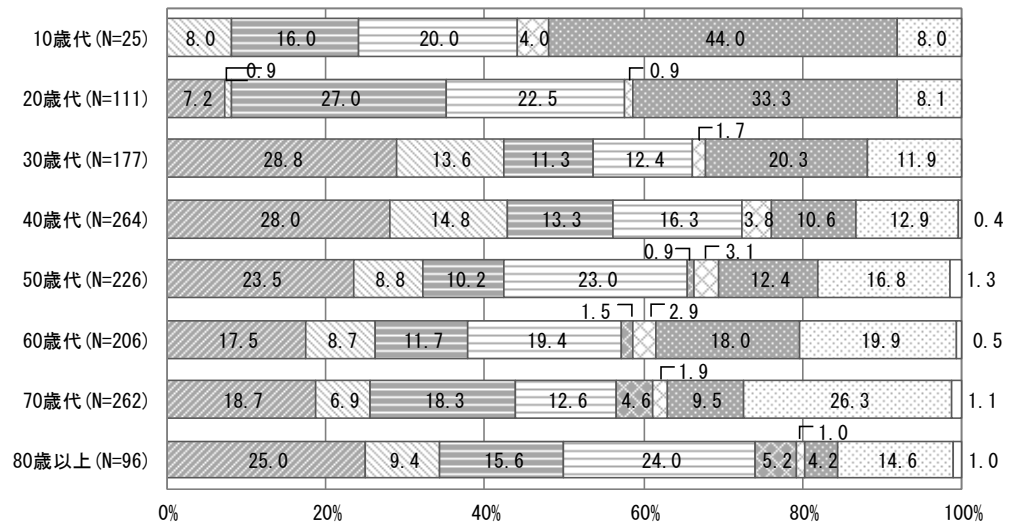


図 12 居住のきっかけ（年代別）(*)

◆地区別では、「その他」を除くと、山手小学校区では「生まれた時から住んでいる」、精道小学校区では「就職・転職・転勤」、南芦屋浜地区では「子どもの出生・成長」、その他の地区では「結婚」の割合が高い。

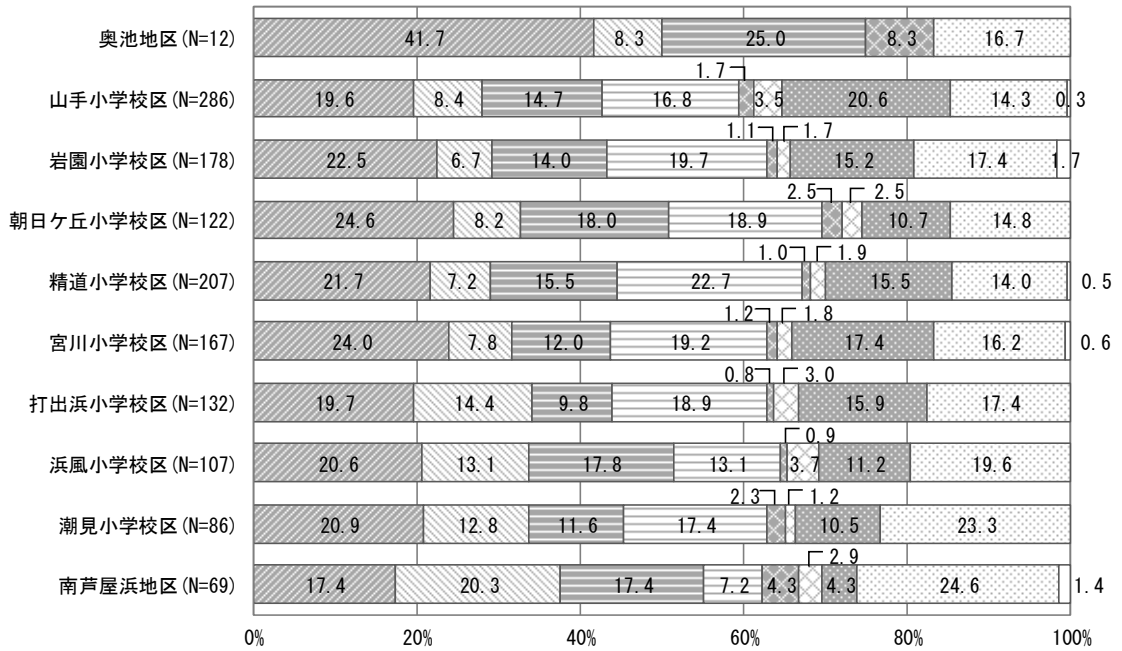


図 13 居住のきっかけ（地区別）

問5 あなたが、居住地として芦屋市を選ばれた理由は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで、数字に○をつけてください。

◆「地域イメージが良い」が43.8%で最も多く、「交通が便利」が42.8%、「生活環境（まちの清潔さ）が良い」が39.4%、「通勤・通学に便利」が36.9%と続いている。

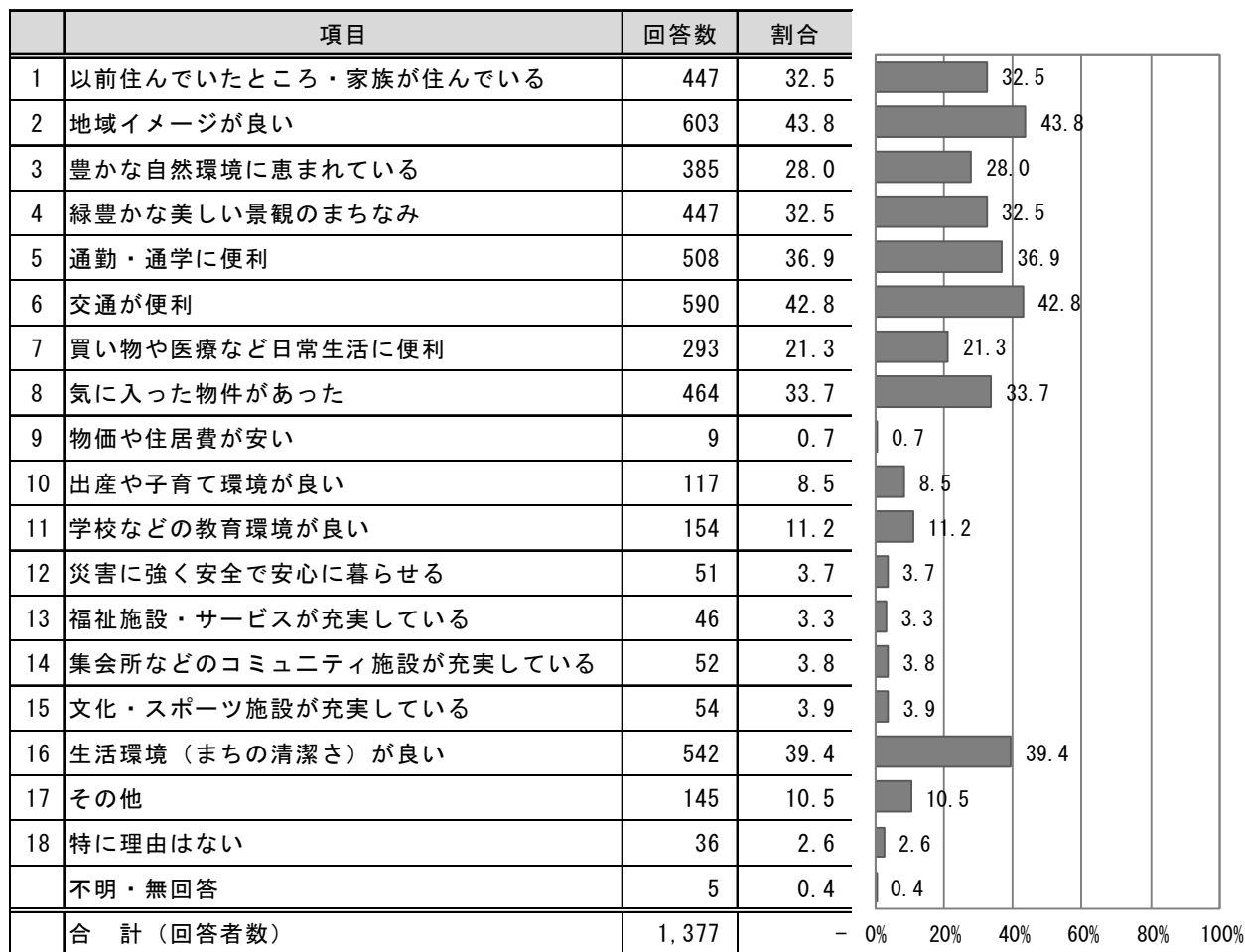


図 14 芦屋市を居住地に選んだ理由

- ◆性別では、大きな違いは見られない。
- ◆年代別では、「地域イメージが良い」「交通が便利」がすべての年代で5位以内に入っている。10・20歳代は「以前住んでいたところ・家族が住んでいる」、30・40歳代は「地域イメージが良い」、60歳代以上は「交通が便利」という回答が多くなっている。
- ◆地区別では、「地域イメージが良い」が、すべての地区で5位以内に入っている。

(位)

		地域イメージ	交通が便利	まちの清潔さ	通勤通学が便利	気に入った物件	以前住んでいた・家族が居住	美しい景観	豊かな自然環境	日常生活が便利	教育環境が良い	その他	出産や子育て環境が良い	文化・スポーツ施設が充実	コミュニティ施設が充実	災害に強く安全安心	福祉施設・サービスが充実	特に理由なし	物価や住居費が安い
市全体 (N=1,377)		1	2	3	4	5	6	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
性別	男性 (N=587)	1	3	4	2	5	7	6	8	9	10	11	11	13	15	16	14	17	18
	女性 (N=775)	2	1	3	5	4	5	5	8	9	11	10	12	15	14	13	16	17	18
年代別	10歳代 (N=25)	4	4	4	4	9	1	9	11	11	8	2	11	11	11	11	11	2	11
	20歳代 (N=111)	2	3	5	4	9	1	6	7	10	12	7	17	17	15	13	13	11	15
	30歳代 (N=177)	1	5	6	2	4	2	7	8	11	9	12	9	14	14	14	14	13	18
	40歳代 (N=264)	1	5	4	3	2	7	6	8	9	10	12	10	13	16	15	13	16	18
	50歳代 (N=226)	3	2	4	1	6	7	5	7	9	10	11	12	13	14	16	15	17	17
	60歳代 (N=206)	2	1	3	4	5	8	6	7	9	11	10	12	14	15	13	17	15	18
	70歳代 (N=262)	3	1	2	9	5	8	4	6	7	11	10	15	14	12	15	13	17	18
	80歳以上 (N=96)	2	1	6	7	8	9	4	5	3	10	12	16	14	11	13	14	18	17
地区別	奥池地区 (N=12)	7	11	2	11	2	2	2	1	11	11	6	7	11	11	7	11	7	11
	山手小学校区 (N=286)	2	1	3	4	8	5	6	6	9	10	11	12	17	15	13	14	16	18
	岩園小学校区 (N=178)	3	1	2	4	6	7	5	8	9	10	11	12	14	16	13	17	15	18
	朝日ヶ丘小学校区 (N=122)	1	4	2	5	5	5	3	8	9	11	9	12	15	16	13	17	14	18
	精道小学校区 (N=207)	2	1	4	3	6	5	7	8	9	10	10	12	13	14	15	16	17	18
	宮川小学校区 (N=167)	2	1	4	2	5	5	7	9	8	10	11	12	13	13	17	15	16	18
	打出浜小学校区 (N=132)	1	5	6	3	2	3	8	9	7	11	10	11	15	14	17	15	13	17
	浜風小学校区 (N=107)	2	3	1	5	8	9	3	6	7	10	16	10	13	12	15	14	17	18
	潮見小学校区 (N=86)	1	4	1	5	6	7	3	8	8	11	10	11	11	15	16	14	17	18
	南芦屋浜地区 (N=69)	3	11	1	9	2	6	5	4	9	15	7	7	12	15	14	12	18	17

図 15 芦屋市を居住地に選んだ理由（性別，年代別，地区別）【順位】

問6 あなたは、今のお住まいにずっと住んでいたいと思いますか。転勤等による移転予定の有無に関わらず、ご自身の気持ちとして次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- ◆「今の場所に住み続けたい」が69.1%、「市内の他の場所で住み続けたい」が12.7%で、合わせると81.8%が芦屋市に住み続けたいと回答している。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

	項目	回答数	割合
1	今の場所に住み続けたい	951	69.1
2	市内の他の場所で住み続けたい	175	12.7
3	いずれ市外に引っ越したい	134	9.7
7	すでに市外に引っ越す予定がある	17	1.2
5	その他	35	2.5
	不明・無回答	65	4.7
	合計	1,377	100.0

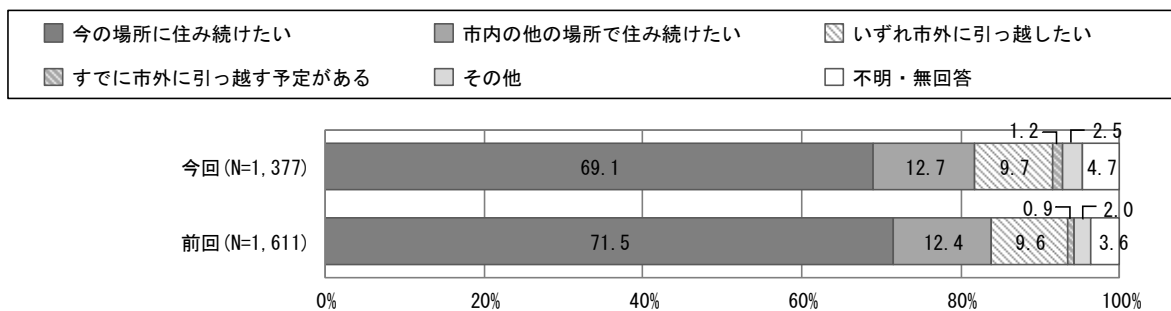


図 16 今後の居留意向

- ◆性別では、大きな違いは見られない。

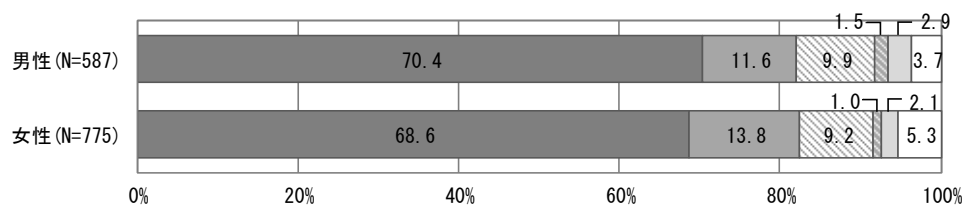


図 17 今後の居留意向（性別）

◆年代別では、すべての年代で「今の場所に住み続けたい」「市内の他の場所で住み続けたい」を合わせて市内に住み続けたい人が7割を超えている。また、年代が高くなるほど「今の場所に住み続けたい」の割合が高い。

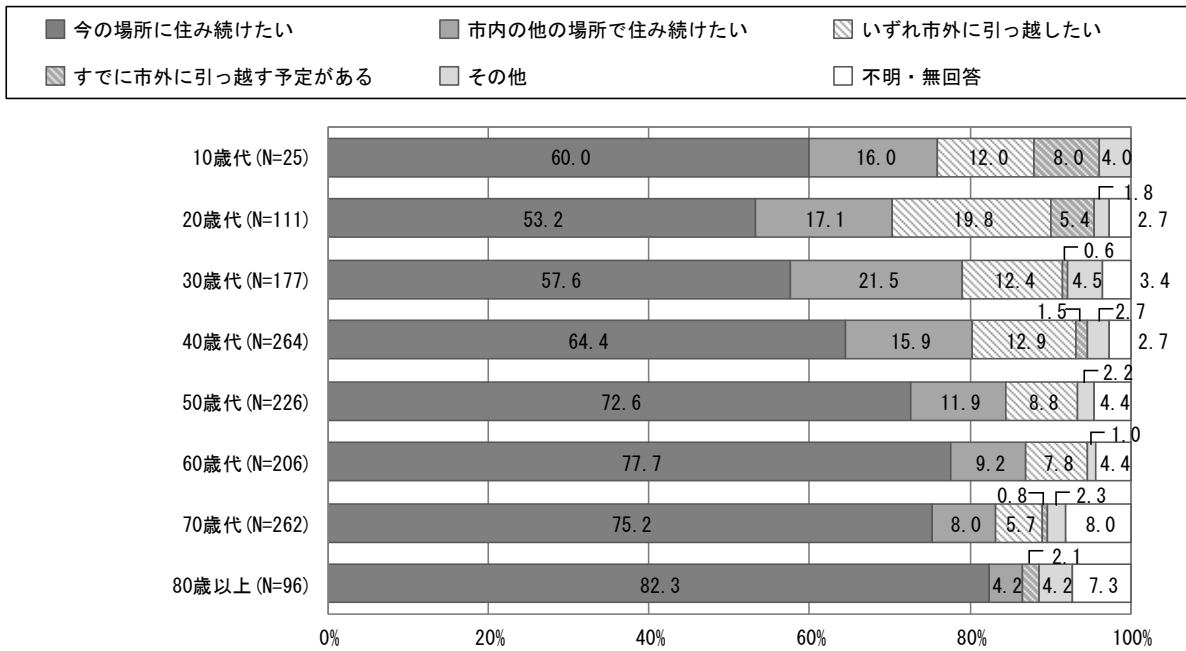


図 18 今後の居住意向（年代別）

◆地区別では、各地区とも似通った傾向であるが、南芦屋浜地区では「市内の他の場所で住み続けたい」が他地区よりも低い。

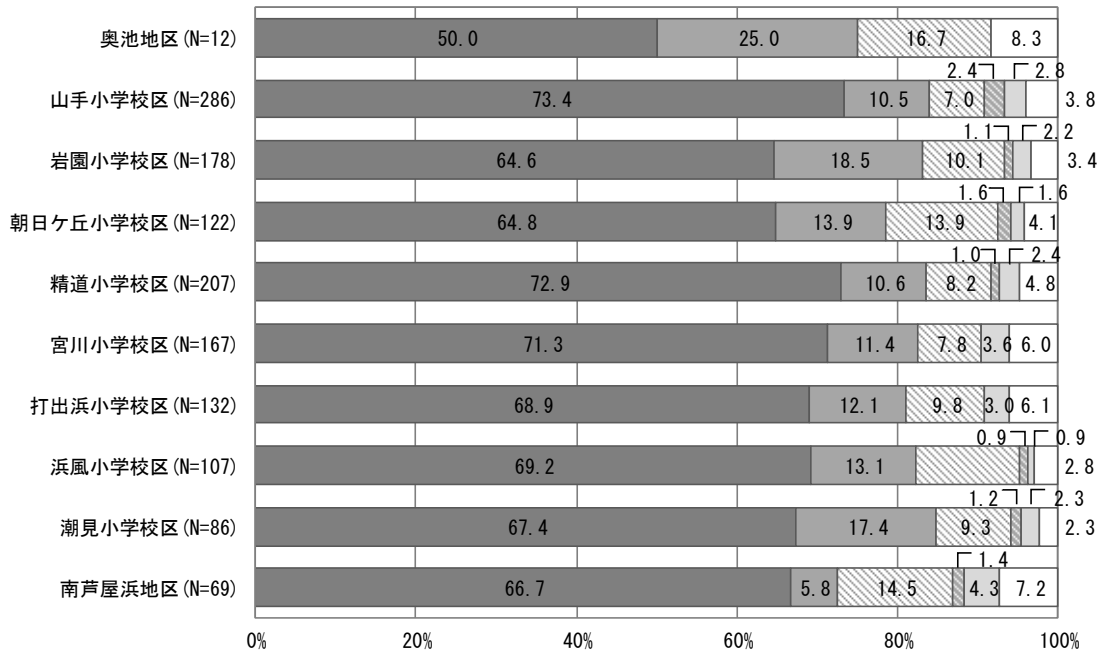


図 19 今後の居住意向（地区別）（*）

問7 住み続けたいと思われる理由を次の中から3つ以内で選んで、数字に○をつけてください。

◆「交通が便利である」が35.6%で最も多く、「長年、住み慣れて愛着がある」が31.1%、「生活環境（まちの清潔さ）が良い」が24.2%、「地域イメージが良い」が22.2%と続いている。

	項目	回答数	割合
1	芦屋らしさが感じられる	117	10.4
2	地域イメージが良い	250	22.2
3	豊かな自然環境に恵まれている	238	21.1
4	緑豊かな美しい景観のまちなみ	221	19.6
5	通勤・通学が便利である	189	16.8
6	交通が便利である	401	35.6
7	買い物や医療など日常生活に便利である	222	19.7
8	物価や住居費が安い	5	0.4
9	出産や子育てがしやすい	19	1.7
10	学校などの教育環境に恵まれている	28	2.5
11	災害に強く安全で安心して暮らせる	23	2.0
12	福祉施設・サービスが充実している	26	2.3
13	集会所などのコミュニティ施設が充実している	14	1.2
14	文化・スポーツ施設が充実している	15	1.3
15	生活環境（まちの清潔さ）が良い	273	24.2
16	隣近所とのつきあいがよい	57	5.1
17	長年、住み慣れて愛着がある	350	31.1
18	家を継いだり、家族の介護や世話をする必要がある	49	4.4
19	その他	39	3.5
20	特に理由はない	7	0.6
	不明・無回答	178	15.8
	合計（回答者数）	1,126	-

図 20 住み続けたい理由

◆前回との比較では、1位と2位は同じであり、3位以下の項目についても、多少の順位の上下はあるが概ね同様の傾向となっている。

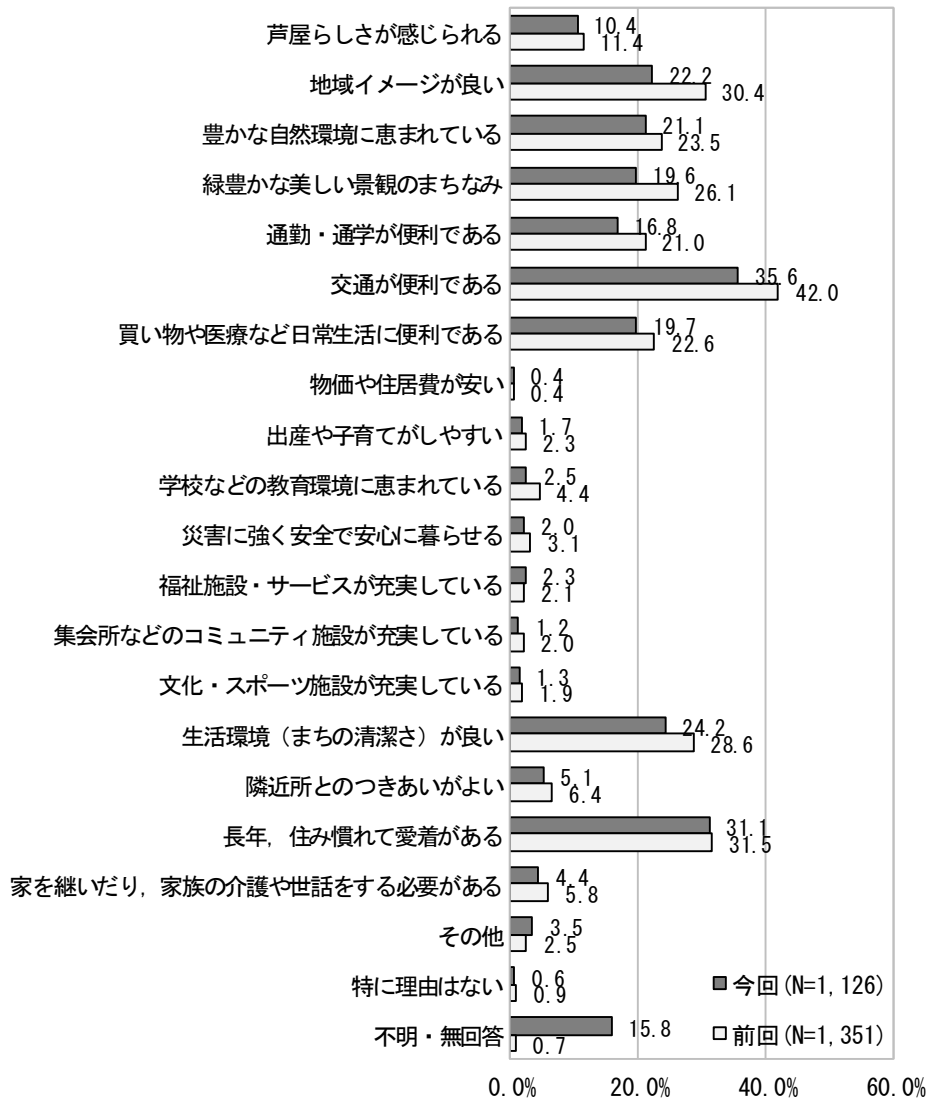


図 21 住み続けたい理由

- ◆性別では、男性は「地域イメージが良い」、女性は「美しい景観」が相対的に高い。
- ◆年代別では、20歳代、40歳代が「地域イメージが良い」を1位としており、これらの年代以外では「交通が便利である」を第1位としている。
- ◆地区別では、山手小学校区、岩園小学校区、精道小学校区、宮川小学校区、浜風小学校区の各学区では「交通が便利」、朝日ヶ丘小学校区、打出浜小学校区、潮見小学校区の各学区では「長年の愛着」を第1位としている。
- ◆同居家族別では、高齢者や要介護者がいる人は「交通が便利」を、高校生や大学生等若年者のいる人は「地域イメージ」を評価している。

(位)

	交通が便利	長年の愛着	まちの清潔さ	地域イメージ	豊かな自然環境	日常生活が便利	美しい景観	通勤通学が便利	芦屋らしさ	隣近所とのつきあいがよい	家族の介護や世話をする必要	その他	教育環境に恵まれている	福祉施設・サービスが充実	災害に強く安全安心	出産や子育てがしやすい	文化・スポーツ施設が充実	コミュニケーション施設が充実	特に理由はない	物価や住居費が安い	
市全体 (N=1,126)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
性別	男性 (N=481)	1	2	4	3	5	7	8	6	9	12	10	11	14	13	15	17	15	20	18	18
	女性 (N=639)	1	2	3	7	4	6	5	8	9	10	11	12	13	14	14	14	18	17	19	20
年代別	10歳代 (N=19)	2	3	5	1	7	6	13	4	7	7	7	7	13	13	13	13	7	13	13	13
	20歳代 (N=78)	4	2	5	1	5	7	7	3	7	15	10	11	12	14	17	12	17	15	17	17
	30歳代 (N=140)	1	3	5	4	6	8	6	2	8	15	12	13	8	14	18	11	15	20	15	18
	40歳代 (N=212)	2	4	6	1	7	8	5	3	9	13	11	10	12	14	17	14	16	17	17	20
	50歳代 (N=191)	1	2	3	6	4	8	7	5	9	11	10	12	16	16	14	14	13	16	16	16
	60歳代 (N=179)	1	2	3	7	5	4	6	9	8	10	12	13	18	15	11	18	14	15	15	18
	70歳代 (N=218)	1	2	3	7	5	4	6	10	8	9	14	17	19	11	13	20	14	12	18	15
	80歳以上 (N=83)	1	2	7	4	5	3	6	12	8	9	13	15	15	11	10	15	15	13	15	15
地区別	奥池地区 (N=9)	9	4	5	2	1	9	5	9	5	9	9	9	9	9	3	9	9	9	9	5
	山手小学校区 (N=240)	1	2	4	7	3	6	8	5	9	10	11	12	12	16	15	12	19	17	18	19
	岩園小学校区 (N=148)	1	3	5	2	6	7	4	8	9	10	12	13	11	16	13	16	16	15	16	16
	朝日ヶ丘小学校区 (N=96)	5	1	3	4	2	8	6	9	7	14	11	11	10	15	11	15	18	18	15	18
	精道小学校区 (N=173)	1	2	4	3	8	6	6	5	9	12	15	10	17	12	11	12	15	17	19	20
	宮川小学校区 (N=138)	1	3	2	5	7	6	8	4	9	12	10	11	13	13	17	13	19	13	17	20
	打出浜小学校区 (N=107)	2	1	5	4	7	3	10	5	8	13	9	11	15	11	17	13	19	15	17	19
	浜風小学校区 (N=88)	1	2	5	7	6	4	3	9	11	7	9	18	14	11	15	18	13	15	18	15
	潮見小学校区 (N=73)	5	1	3	6	4	7	2	8	11	9	15	11	11	15	15	15	10	15	15	11
南芦屋浜地区 (N=50)	8	4	3	5	2	6	1	8	7	11	13	10	16	13	16	16	11	16	16	15	
家族構成別	1人世帯 (N=106)	1	2	4	5	7	3	6	9	8	10	13	14	18	11	11	18	14	14	17	18
	夫婦のみ (一世代) (N=352)	1	2	3	7	4	5	6	9	8	10	14	12	16	11	14	19	16	12	19	18
	親と子 (二世代) (N=571)	1	2	5	3	6	8	7	4	9	13	10	11	12	16	15	14	16	19	18	20
	親と子と孫 (三世代) (N=72)	3	2	6	1	4	7	5	7	9	11	10	11	11	15	15	11	17	17	17	17
	その他 (N=18)	1	4	2	10	5	3	6	6	6	14	14	14	14	6	10	14	10	10	14	14
同居家族別	未就学の子ども (N=134)	2	5	3	4	7	8	6	1	11	14	13	12	10	15	17	9	17	19	15	19
	小学生 (N=144)	7	6	5	2	3	8	4	1	9	14	11	11	9	16	16	13	14	16	20	16
	中学生 (N=86)	5	1	6	2	4	8	7	3	9	10	10	12	12	17	14	15	15	17	17	17
	高校生 (N=77)	3	2	5	1	6	7	8	4	8	12	10	10	12	14	16	16	14	16	16	16
	大学生・専門学校生 (N=115)	2	3	5	1	8	7	6	4	9	13	11	10	16	16	11	16	13	16	13	16
	65歳以上75歳未満の方 (N=214)	1	2	3	7	4	5	6	8	8	11	8	12	15	15	12	20	12	15	19	15
	75歳以上の方 (N=217)	1	2	4	7	6	3	5	9	8	10	11	15	18	12	14	18	18	12	16	17
	介護を必要とする方 (N=57)	1	2	6	6	4	3	8	5	9	12	11	15	13	9	16	16	16	13	16	16
該当する人はいない (N=280)	1	2	3	4	5	5	8	7	9	12	12	11	15	10	12	19	15	17	18	19	

図 22 住み続けたい理由 (性別, 年代別, 地区別, 家族構成別, 同居家族別)【順位】

問8 市外へ引っ越したい（引っ越す予定がある）とお考えの理由を次の中から3つ以内で選んで、数字に○をつけてください。

◆「物価や住居費の負担が大きい」が30.5%で最も多く、「買い物や医療など日常生活に不便である」「他市の方が住みやすい」が22.5%、「その他」が21.2%と続く。

	項目	回答数	割合
1	芦屋らしさがなくなった	8	5.3
2	地域イメージが良くない	3	2.0
3	自然環境に恵まれていない	3	2.0
4	景観が乏しい	3	2.0
5	交通が不便である	23	15.2
6	買い物や医療など日常生活に不便である	34	22.5
7	物価や住居費の負担が大きい	46	30.5
8	出産や子育てがしづらい	9	6.0
9	学校などの教育環境が良くない	4	2.6
10	防災・治安の面で不安がある	11	7.3
11	福祉施設・サービスに不安がある	11	7.3
12	集会所などのコミュニティ施設が整っていない	2	1.3
13	文化・スポーツ施設が充実していない	5	3.3
14	生活環境（まちの清潔さ）が悪い	2	1.3
15	隣近所とのつきあいが悪い	7	4.6
16	住み慣れていない（近年、引っ越してきたばかりである）	7	4.6
17	家を継いだり、家族の介護や世話をする必要がある	15	9.9
18	雇用環境が良くない	4	2.6
19	他市の方が住みやすい	34	22.5
20	その他	32	21.2
21	特に理由はない	7	4.6
	不明・無回答	9	6.0
	合計（回答者数）	151	-

図 23 引っ越したい理由

◆前回との比較では、全般的には大きな変化は無いが、「他市の方が住みやすい」が、前回 5 位から今回は 2 位に順位を上げているのが特徴的である。

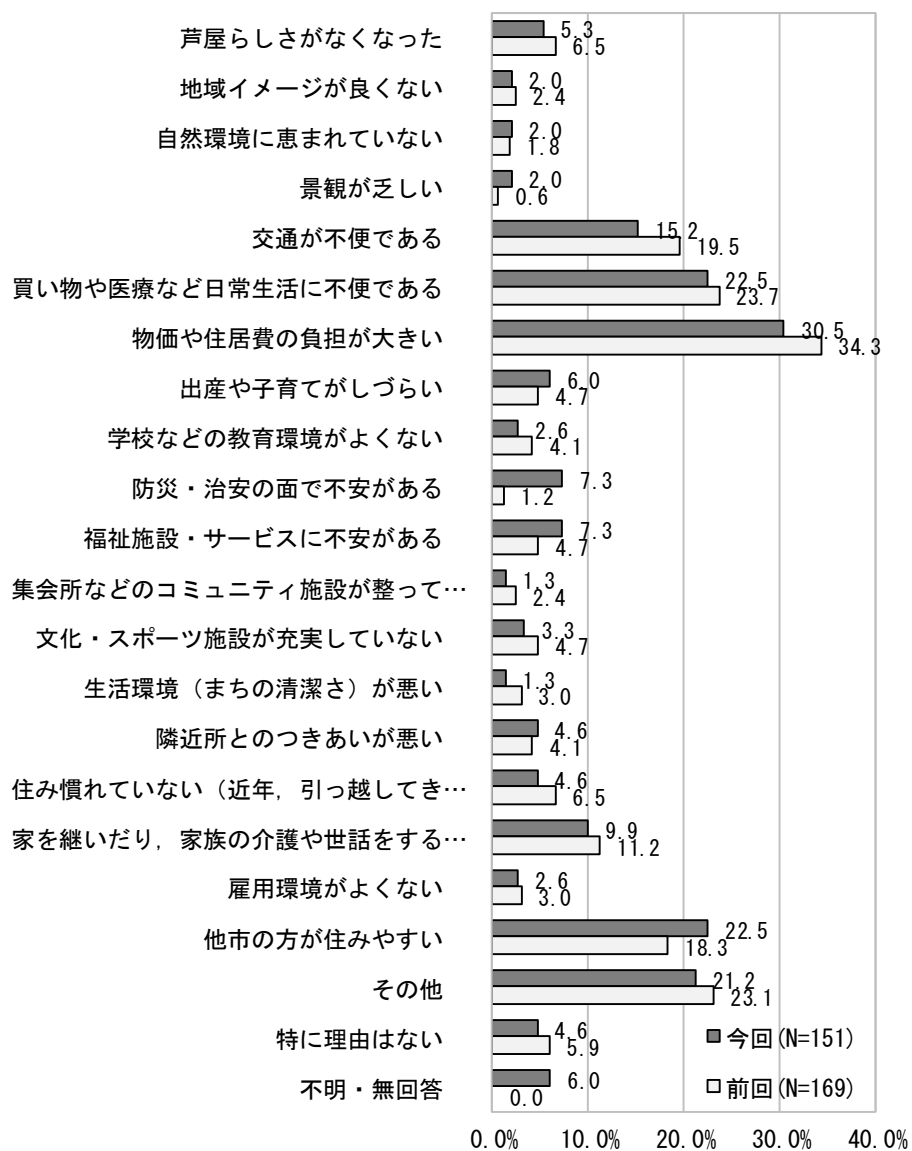


図 24 引っ越したい理由

- ◆性別では、男女ともに「物価や住居費の負担が大きい」が1位であるが、男性は「家を継いだり、家族の介護や世話をする必要が有る」「芦屋らしさがなくなった」が、女性は「買い物や医療など日常生活に不便である」「出産や子育てがしづらい」等が相対的に多くなっている。
- ◆年代別では、30歳代は子育てに関する回答、50～70歳代では芦屋らしさや近所づきあいについての回答が他の年代よりも多い。

(位)

	物価住居費が負担	日常生活が不便	他市の方が住みやすい	その他	交通が不便	家族の介護世話	防災・治安が不安	福祉に不安	出産子育てがしづらい	芦屋らしさがなくなった	隣近所とのつきあい	住み慣れていない	特に理由なし	文化・スポーツ施設が充実していない	教育環境がよくない	雇用環境がよくない	地域イメージ	自然環境に恵まれていない	景観が乏しい	コミュニティ施設が整っていない	生活環境(まちの清潔さ)が悪い
市全体 (N=151)	1	2	2	4	5	6	7	7	9	10	11	11	11	14	15	15	17	17	17	20	20
性別																					
男性 (N=67)	1	4	2	4	3	6	7	9	17	7	12	9	9	15	-	12	12	17	15	17	17
女性 (N=79)	1	2	4	3	5	8	8	7	6	14	10	12	12	14	10	17	-	14	17	17	17
年代別																					
10歳代 (N=5)	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代 (N=28)	1	6	2	3	5	9	6	9	-	-	6	4	9	-	9	9	-	-	-	-	-
30歳代 (N=23)	3	2	6	3	3	8	8	8	1	-	-	8	-	-	6	-	-	-	-	-	-
40歳代 (N=38)	1	5	2	3	3	6	7	9	13	9	-	13	9	13	9	-	7	-	-	-	-
50歳代 (N=20)	1	2	2	9	-	4	-	5	-	5	5	-	5	9	-	9	-	-	9	-	-
60歳代 (N=16)	3	1	2	6	4	-	4	6	-	6	6	-	-	-	-	-	12	-	6	6	12
70歳代 (N=17)	1	3	7	1	7	3	7	3	-	7	3	11	-	11	-	-	11	-	-	-	11
80歳以上 (N=2)	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域別																					
奥池地区 (N=2)	-	-	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山手小学校区 (N=27)	2	1	4	3	5	7	-	5	7	7	7	-	-	-	-	11	-	-	11	11	11
岩園小学校区 (N=20)	1	3	2	3	3	7	-	7	-	6	7	-	-	-	-	-	-	-	7	7	-
朝日ヶ丘小学校区 (N=19)	2	2	6	4	4	8	8	-	8	8	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精道小学校区 (N=19)	1	5	2	2	-	5	-	4	8	-	8	-	5	8	8	8	8	8	-	-	-
宮川小学校区 (N=13)	2	2	1	6	6	2	6	6	2	6	6	-	-	6	6	-	-	-	-	-	6
打出浜小学校区 (N=13)	1	2	2	7	2	2	7	-	6	7	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-
浜風小学校区 (N=15)	1	4	2	2	4	6	6	-	-	-	-	6	9	-	9	9	9	9	-	-	-
潮見小学校区 (N=9)	1	1	5	1	-	5	1	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南芦屋浜地区 (N=11)	3	3	3	2	3	-	1	-	-	-	-	-	8	-	3	-	8	8	-	-	-
家族構成別																					
1人世帯 (N=14)	3	1	3	3	2	8	-	8	8	8	8	3	-	8	-	3	-	-	-	-	-
夫婦のみ(一世代) (N=38)	1	2	3	3	6	5	6	8	13	8	10	-	10	13	-	-	13	13	13	10	13
親と子(二世代) (N=85)	1	5	2	3	3	7	7	7	6	11	13	11	10	15	13	15	19	15	15	-	19
親と子と孫(三世代) (N=8)	2	2	2	1	5	-	5	-	-	5	5	-	5	5	-	5	-	-	-	-	-
その他 (N=3)	1	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
同居家族別																					
未就学の子ども (N=21)	3	4	6	4	1	-	-	8	1	-	-	8	8	-	6	-	-	8	-	-	-
小学生 (N=13)	1	3	5	3	5	5	2	5	5	5	5	5	-	-	5	-	-	5	-	-	-
中学生 (N=8)	2	-	1	4	4	4	-	2	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高校生 (N=11)	2	7	1	3	7	3	7	3	7	7	7	-	-	3	-	-	7	-	7	-	-
大学生・専門学校生 (N=23)	1	8	1	1	4	8	6	8	-	8	8	4	6	8	-	8	-	-	8	-	-
65歳以上75歳未満の方 (N=21)	1	3	5	1	8	6	3	6	-	-	10	10	-	10	-	10	8	10	10	10	10
75歳以上の方 (N=16)	1	2	3	5	3	7	7	5	-	7	7	-	-	7	-	7	7	7	-	-	-
介護を必要とする方 (N=8)	1	6	1	1	6	1	6	1	6	6	6	-	-	-	-	-	6	-	6	-	-
該当する人はいない (N=52)	3	1	2	4	5	6	13	10	10	7	9	10	7	13	-	13	-	13	-	13	13

図 25 引っ越したい理由(性別, 年代別, 地区別, 家族構成別, 同居家族別)【順位】

Ⅱ. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。

問9 下表に示す35の項目は、第4次芦屋市総合計画（平成23年度～令和2年度）の基本構想に掲げた施策の目標です。35項目それぞれについて、今の芦屋市の現状をどのように感じていますか。各項目についてあなたの考えに最も近いものを1～4から1つだけ選び、数字に○をつけてください。

- ◆「そうになっていると思う」という回答は、「②5清潔なまちづくりが進んでいる」が27.5%で最も多く、「②2自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している」、「②3建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している」、「①4市民が適切な診療を受けられる」、「②4環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる」が続く。
- ◆「そうになっているとは思わない」では、「③1市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」が42.4%で最も多く、「②6交通ルールやマナーに関する意識が高まっている」、「①2子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている」、「③3地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている」、「①1世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている」が続く。
- ◆一方、「わからない」は、「③5歳入・歳出の構造を改善している」が54.0%で最も多く、「③3変化に対応できる柔軟な組織運営をしている」、「①7障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる」、「③4様々な資源を有効に活用している」、「③2市民参画による開かれた市政を運営している」が続き、上位5施策のうち①7を除く4施策が行財政に関わる施策である。

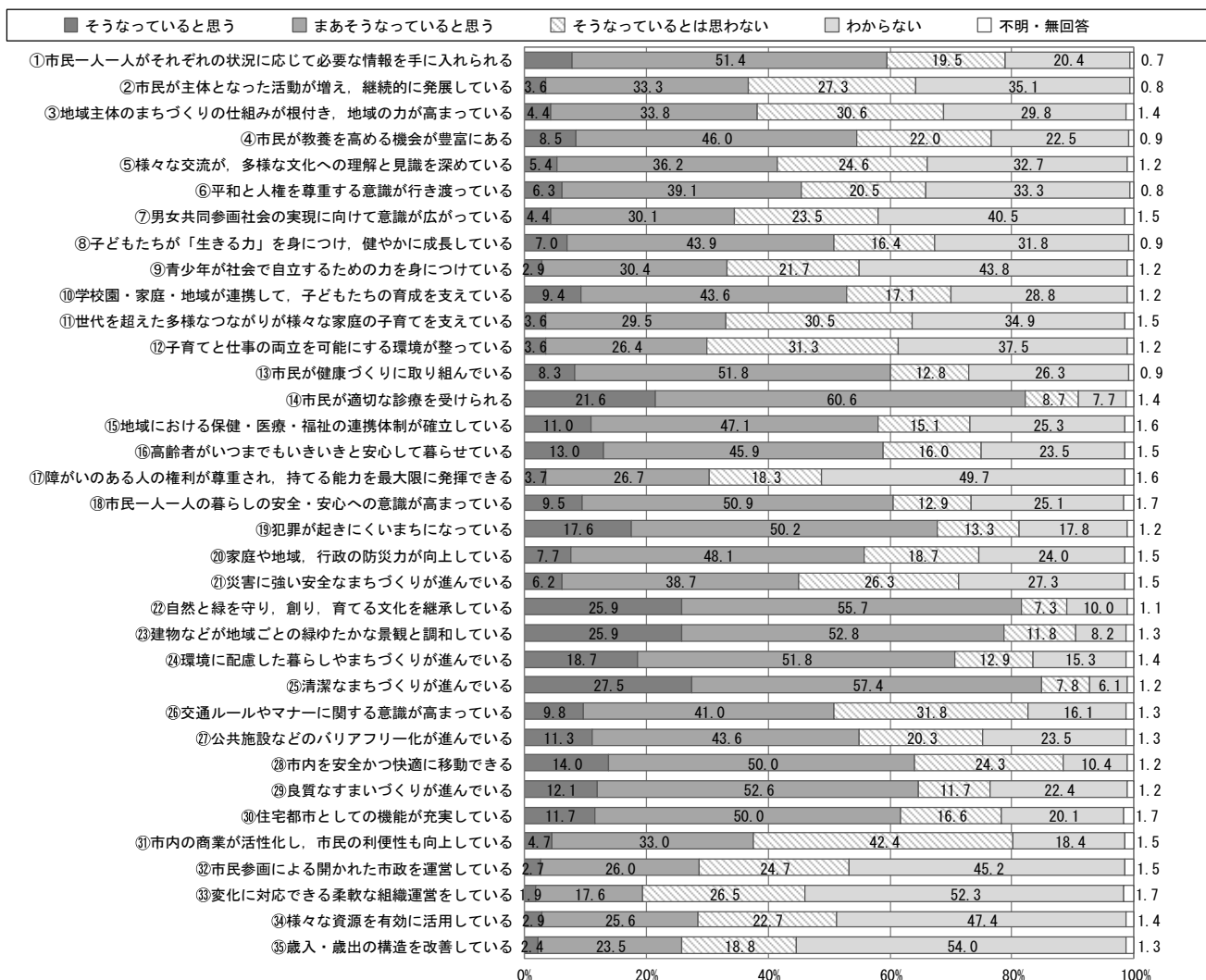


図 26 施策の評価

施策目標（35分野）ごとの集計

■ 評点と重要度による散布図の提示

35分野の施策目標について、

- ・ 縦軸を満足度とし、「そうなっていると思う」に3点、「まあ、そうなっていると思う」に2点、「そうなっていないと思わない」に1点の係数をかけ、母数（選択した回答者の数）で割って平均した評点を示す。
- ・ 横軸を重要度とし、問11において35分野の中から選ばれた、今後重要と考える分野（3つ選択）の出現率を示す。

■ 評点と重要度からみた施策への評価

上記の散布図を平均値で4象限に区分し、相対的な位置づけを明らかにする。

象限A…満足度が高く、重要度が低い／施策が評価され、緊急性は低いと意識される分野

象限B…満足度・重要度ともに高い／施策が評価されているが、さらに発展が求められる分野

象限C…満足度・重要度ともに低い／施策への評価は低く、関心も低い分野

象限D…満足度が低く、重要度が高い／施策への評価が低く、重点的な取組が求められる分野

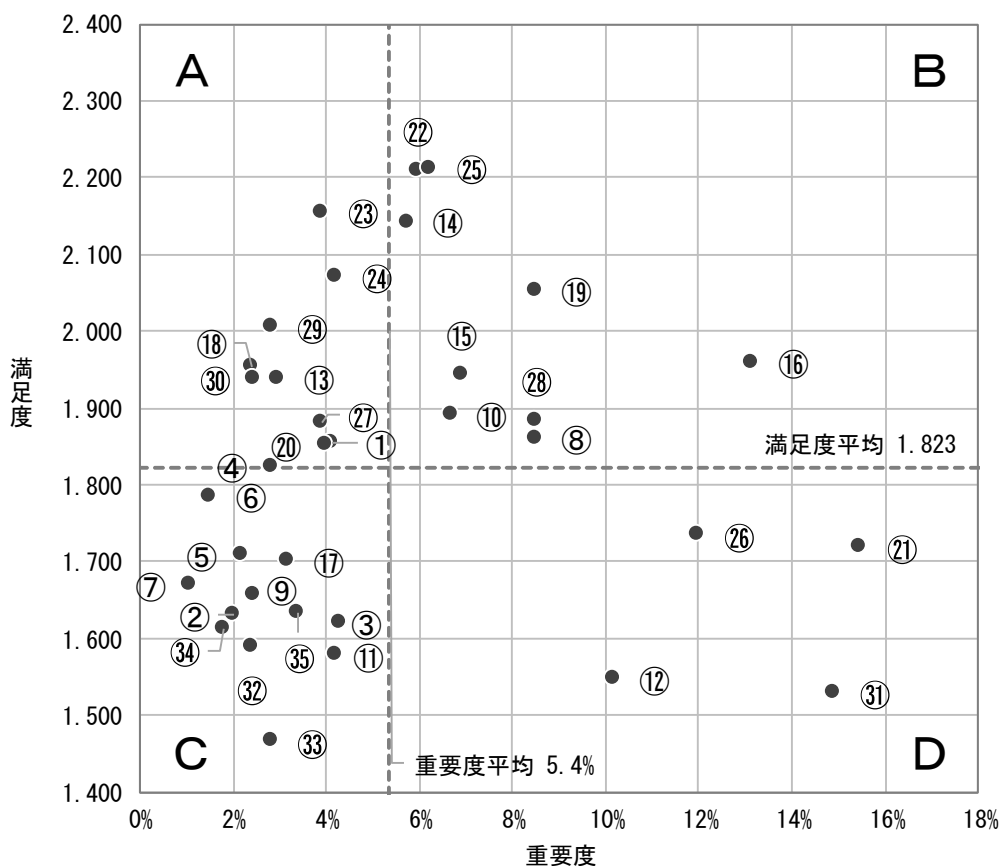


図 27 満足度と重要度の散布図

①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 59.4%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 19.5%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな違いはない。

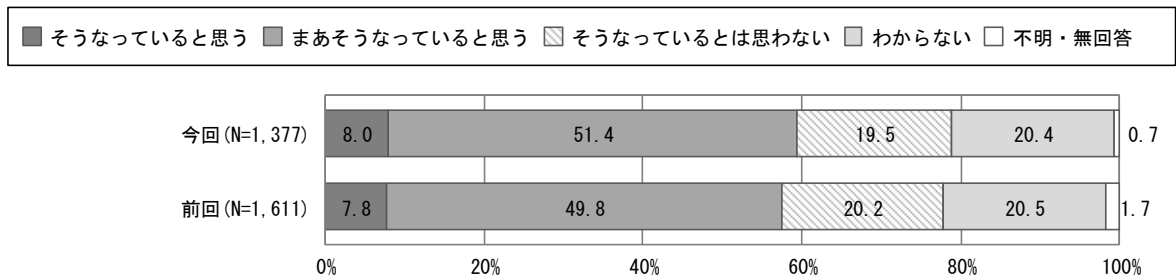


図 28 施策の評価（施策①）

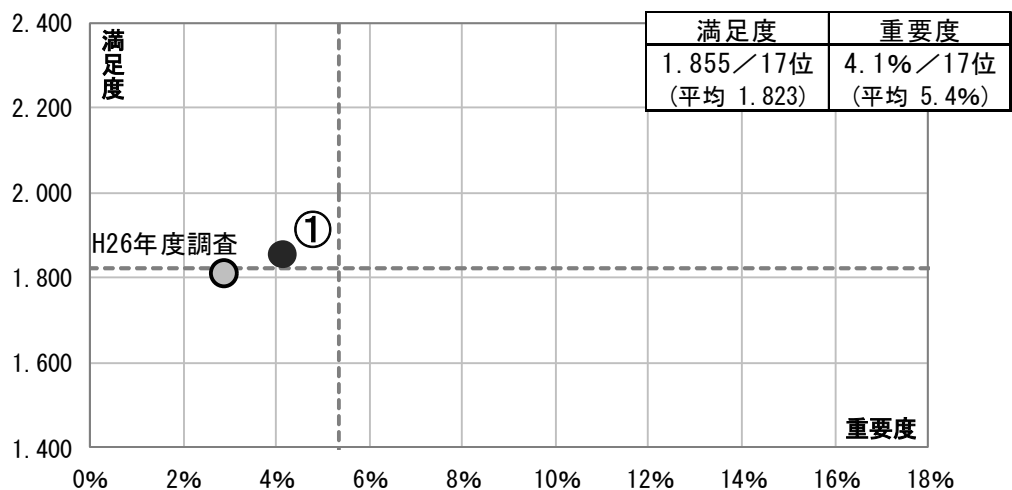


図 29 重要度と満足度から見た施策の評価（施策①）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

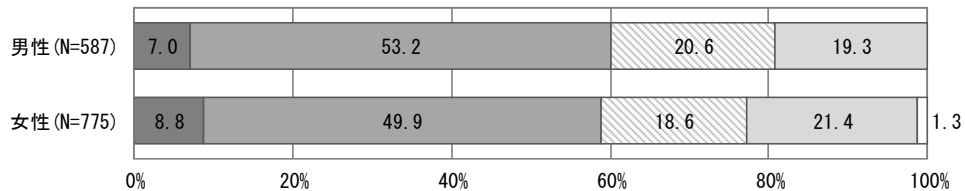


図 30 施策の評価（施策①：性別）(*)

◆年代別では、肯定的意見には大きな違いはみられないが、50歳代で「そうになっているとは思わない」、20歳代で「わからない」が多くなっている。

■ そうになっていると思う ■ まあそうになっていると思う ▨ そうになっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

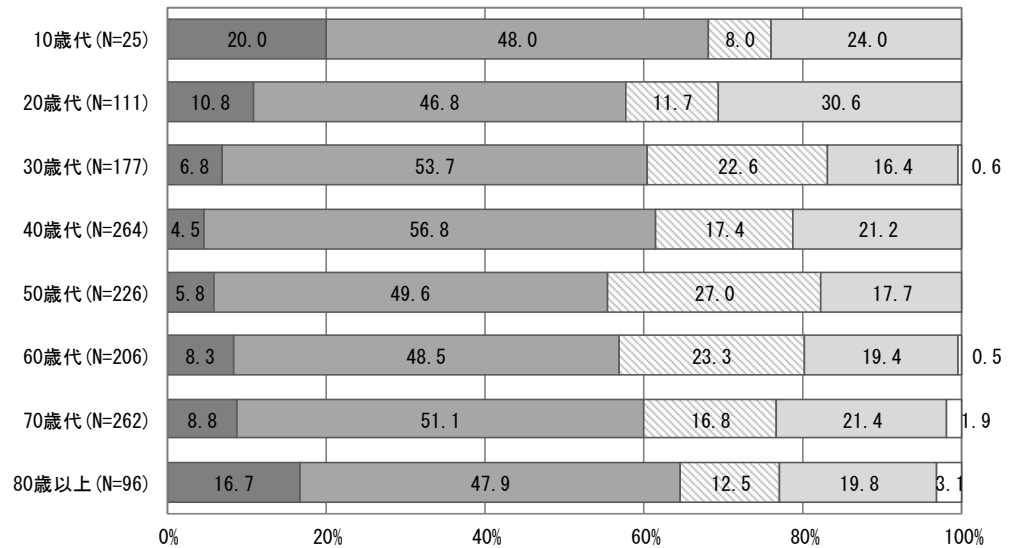


図 31 施策の評価（施策①：年代別）

◆地区別では、大きな違いはない。

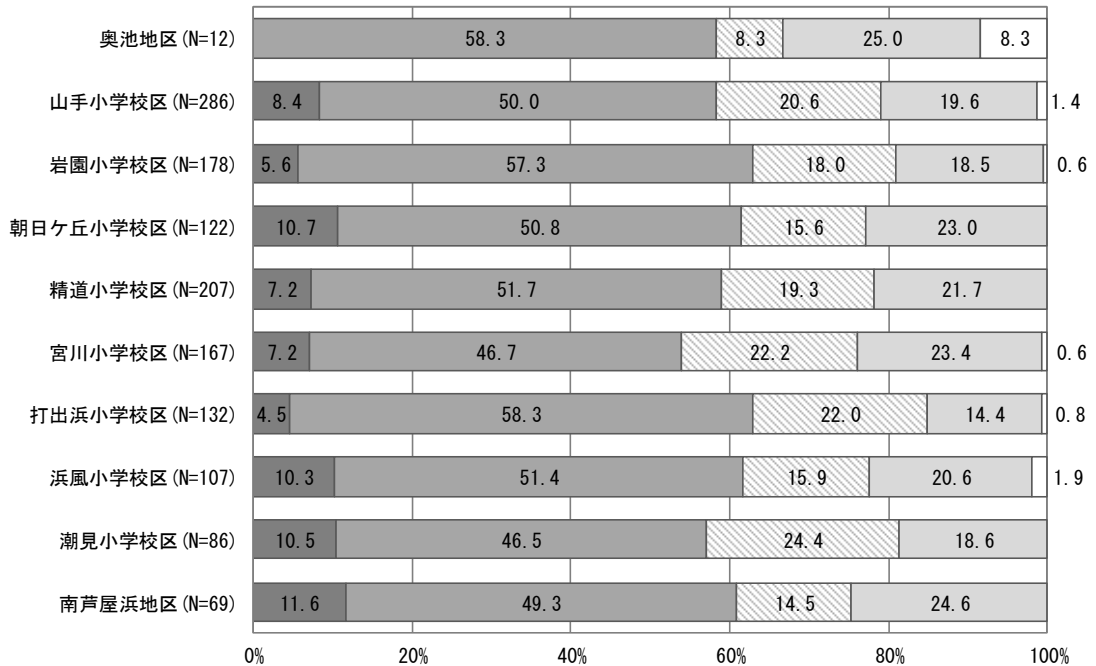


図 32 施策の評価（施策①：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

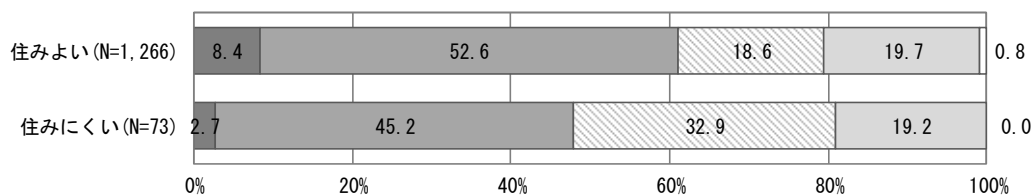


図 33 施策の評価（施策①：住みよさ別）

②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 36.8%、否定的意見の「そうになっていると思わない」は 27.3%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな違いはない。

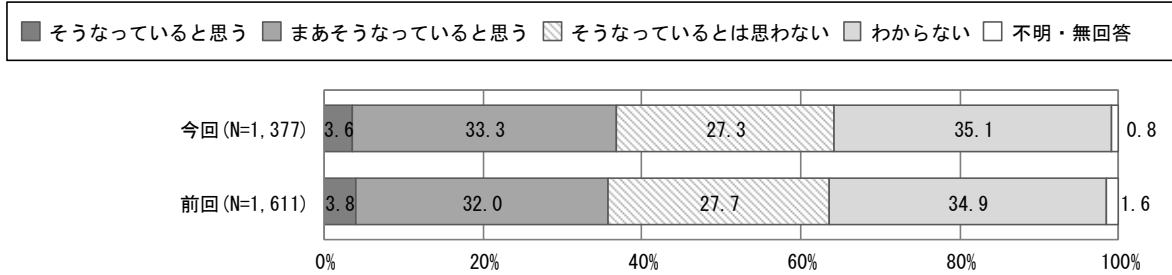


図 34 施策の評価（施策②）

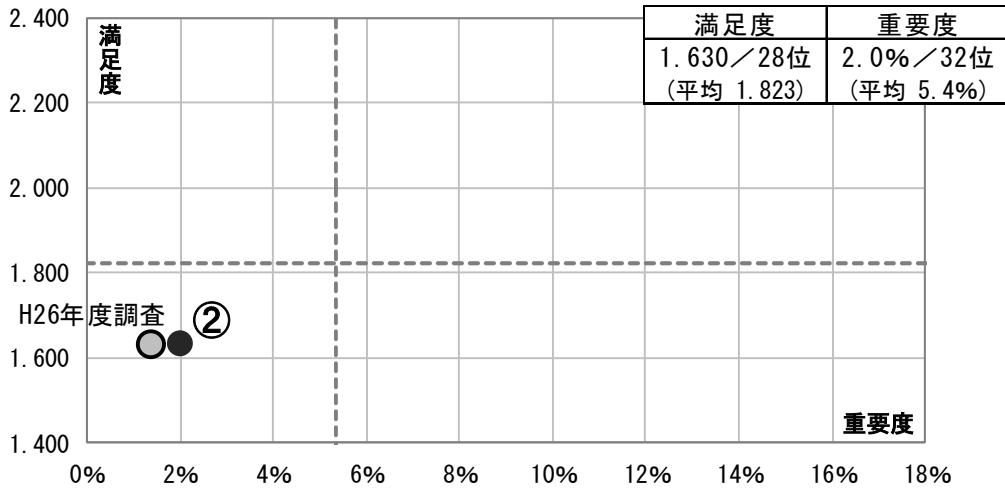


図 35 重要度と満足度から見た施策の評価（施策②）

- ◆性別では、肯定的な意見に大きな差はないが、男性は「そうになっていると思わない」が、女性は「わからない」が最も多い。

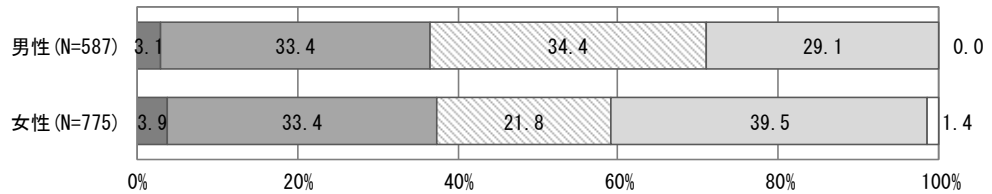


図 36 施策の評価（施策②：性別）

◆年代別では、20歳代、80歳以上で肯定的な回答が多い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない ■ わからない □ 不明・無回答

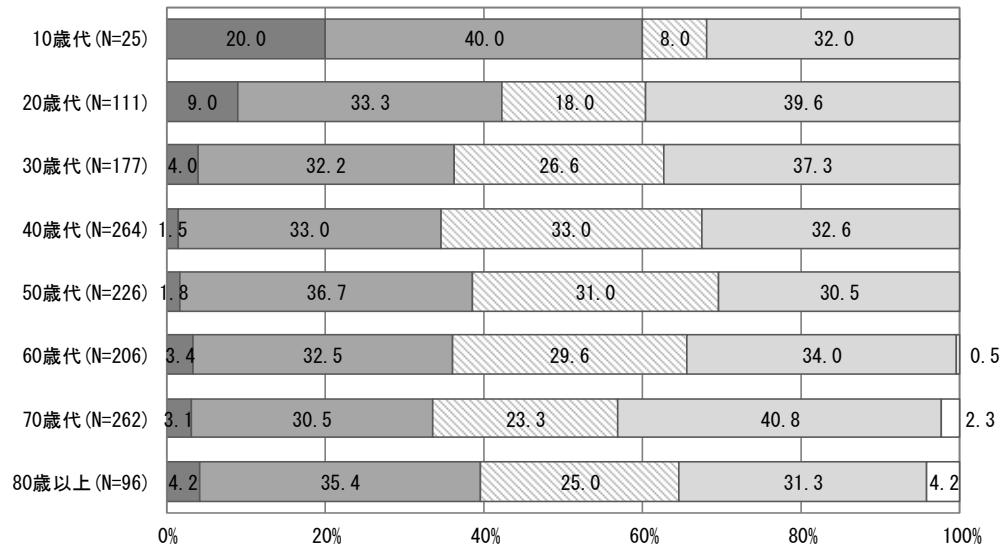


図 37 施策の評価（施策②：年代別）

◆地区別では、浜風小学校区で「わからない」と回答した割合がやや高い。

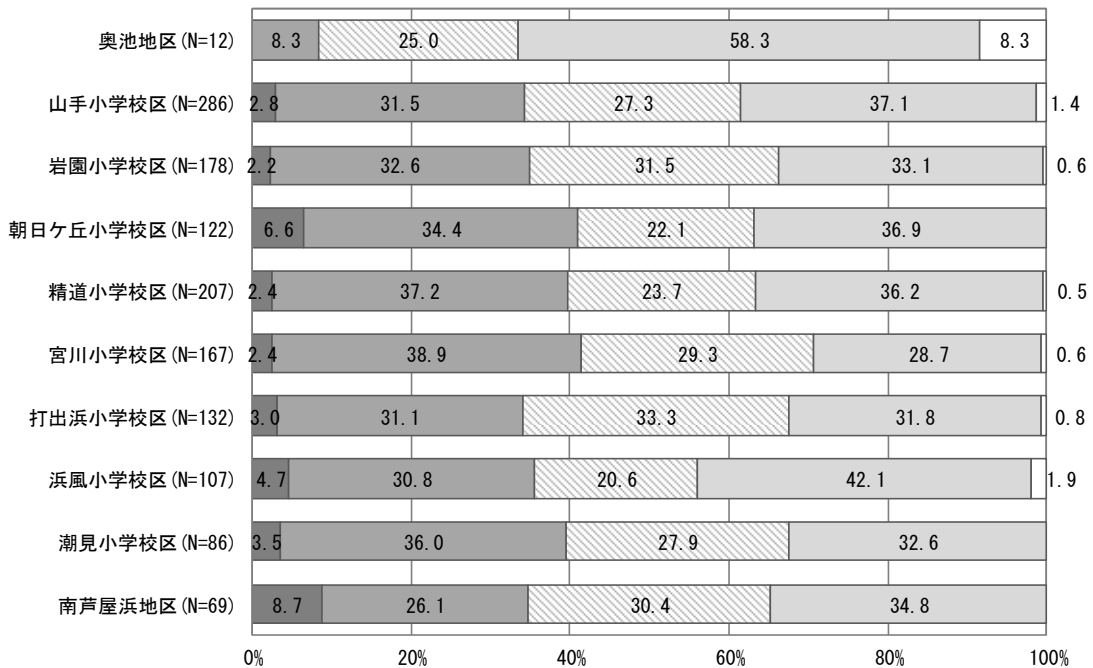


図 38 施策の評価（施策②：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

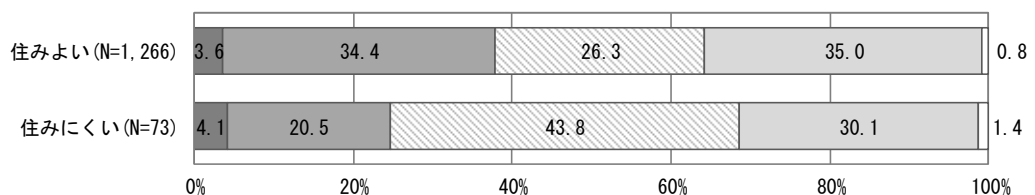


図 39 施策の評価（施策②：住みよさ別）

③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 38.3%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 30.6%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな違いはない。

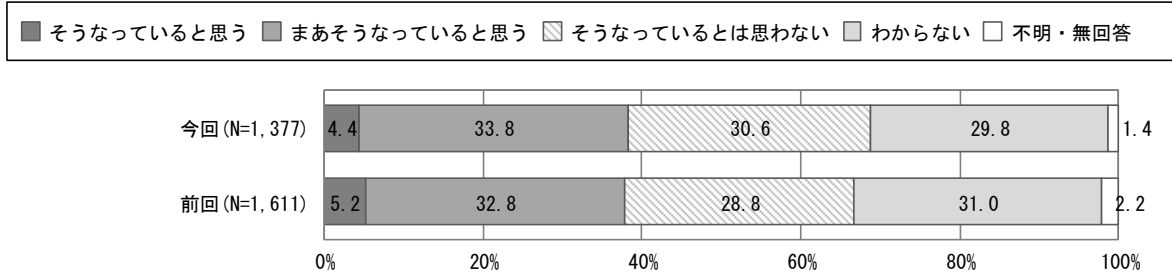


図 40 施策の評価（施策③）

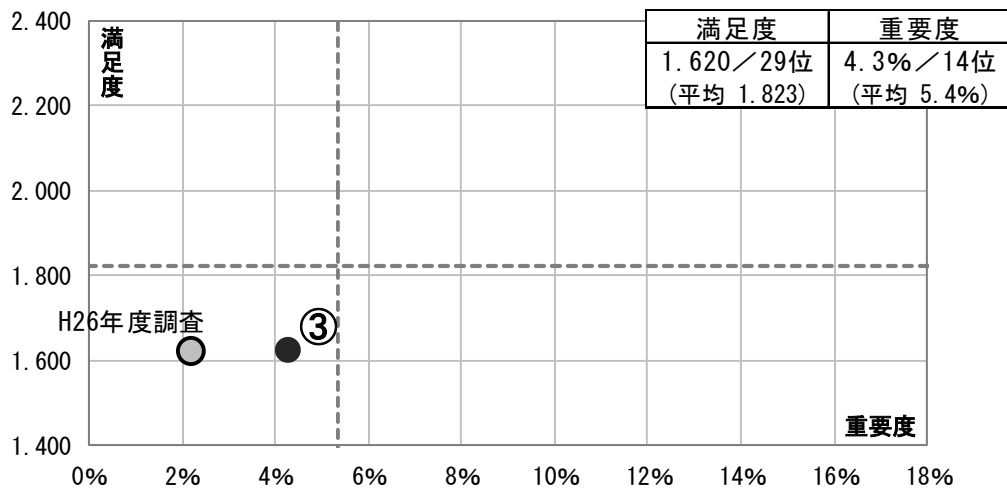


図 41 重要度と満足度から見た施策の評価（施策③）

- ◆性別では、肯定的意見には大きな差はないが、男性の方が否定的な回答が多い。

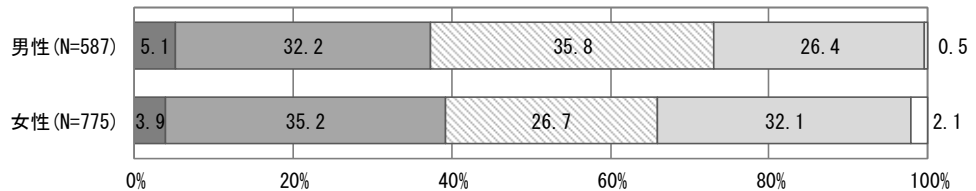


図 42 施策の評価（施策③：性別）

◆年代別では、60・70歳代では肯定的な回答の割合が低い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

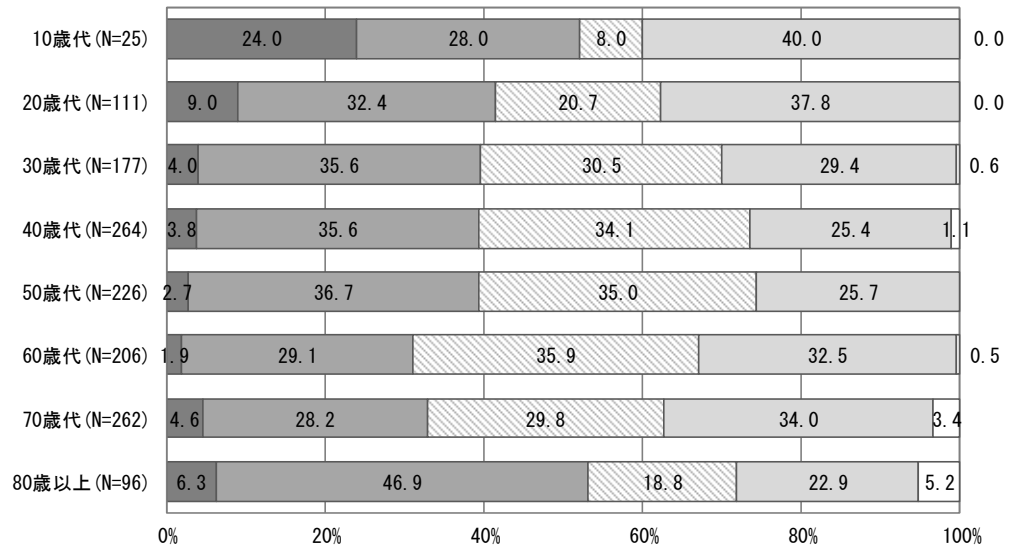


図 43 施策の評価（施策③：年代別）

◆地区別では、特に浜風小学校区では、肯定的意見が高く、5割近くとなっている。

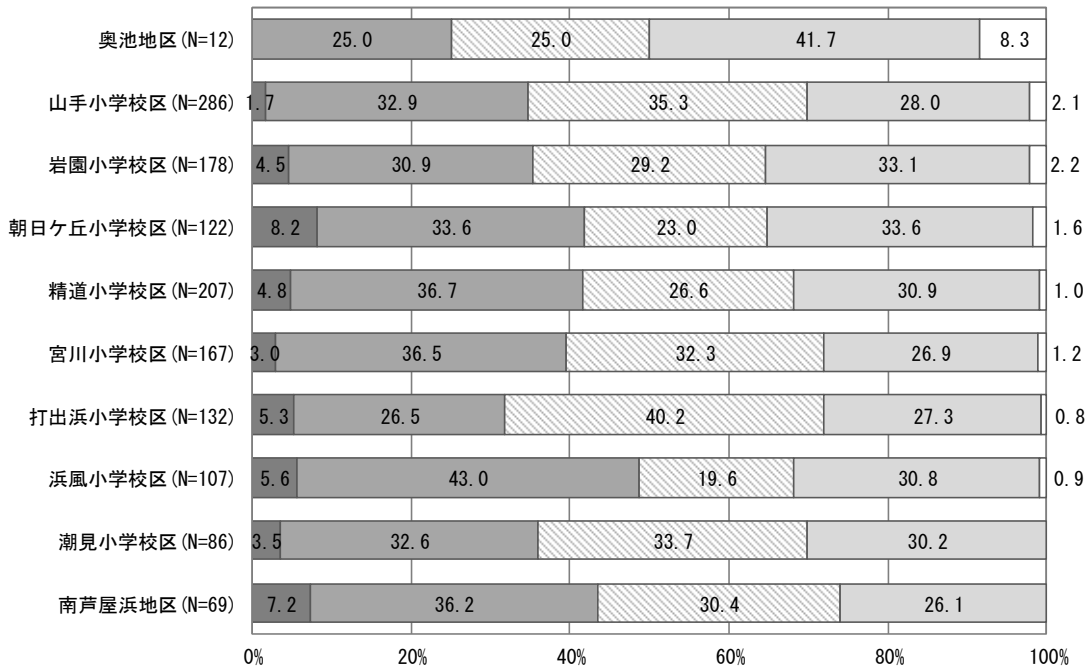


図 44 施策の評価（施策③：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

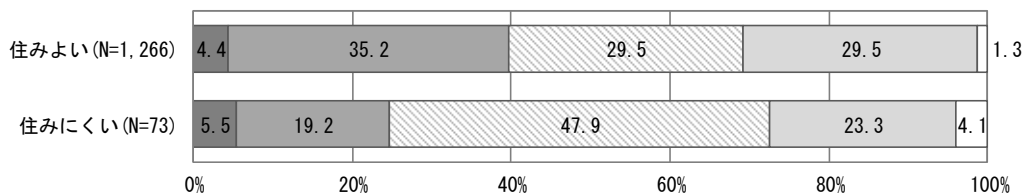


図 45 施策の評価（施策③：住みよさ別）

④市民が教養を高める機会が豊富にある

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 54.5%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 22.0%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな違いはない。

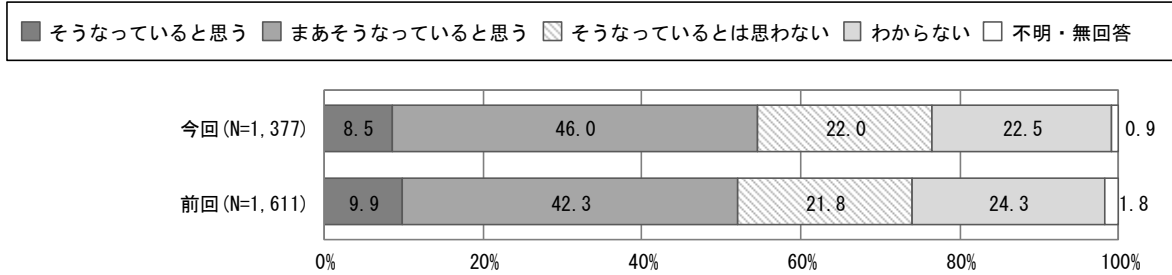


図 46 施策の評価（施策④）

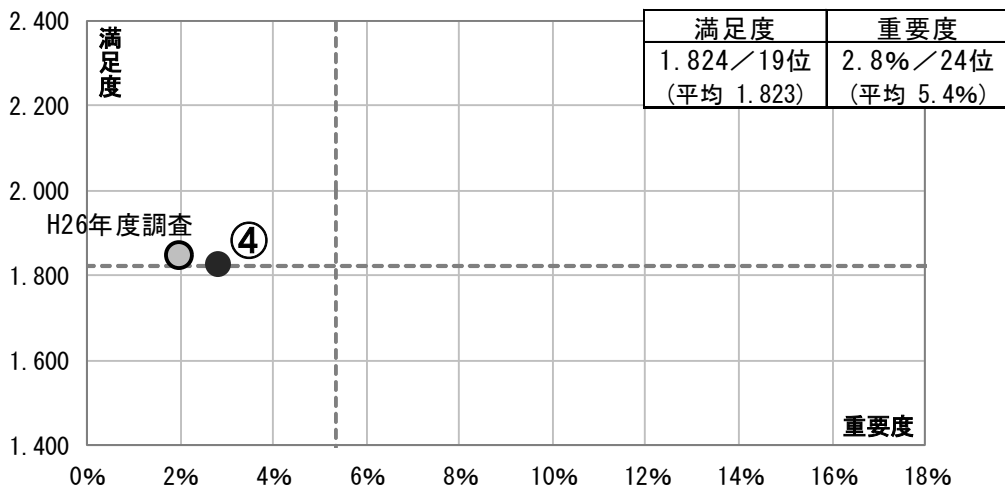


図 47 重要度と満足度から見た施策の評価（施策④）

- ◆性別では、肯定的意見には大きな差が無いが、男性の方が否定的な回答が多い。

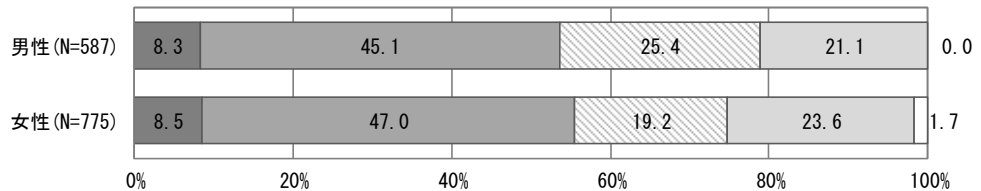


図 48 施策の評価（施策④：性別）(*)

◆年代別では、年代が高くなるほど肯定的な回答が多い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

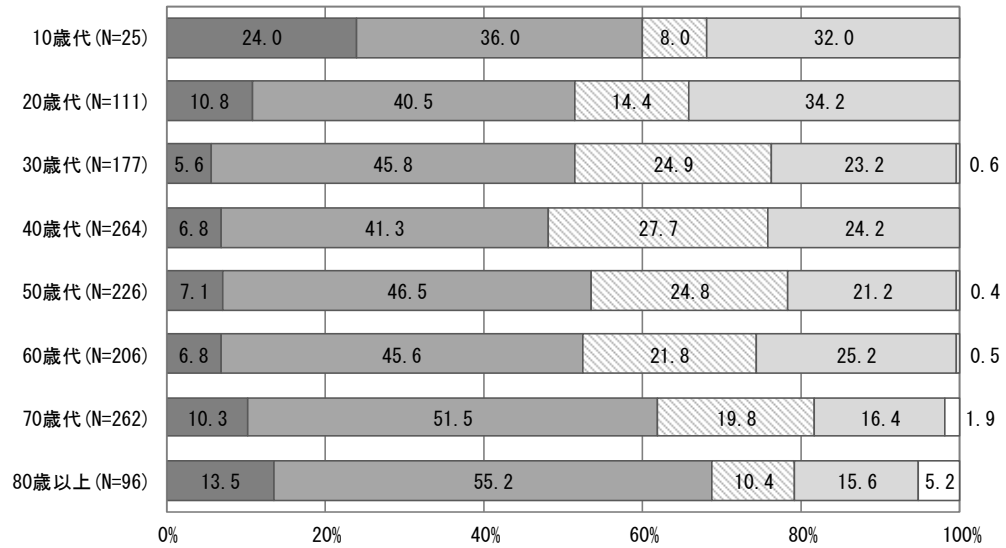


図 49 施策の評価（施策④：年代別）

◆地区別では、潮見小学校区で否定的な回答がやや多い。

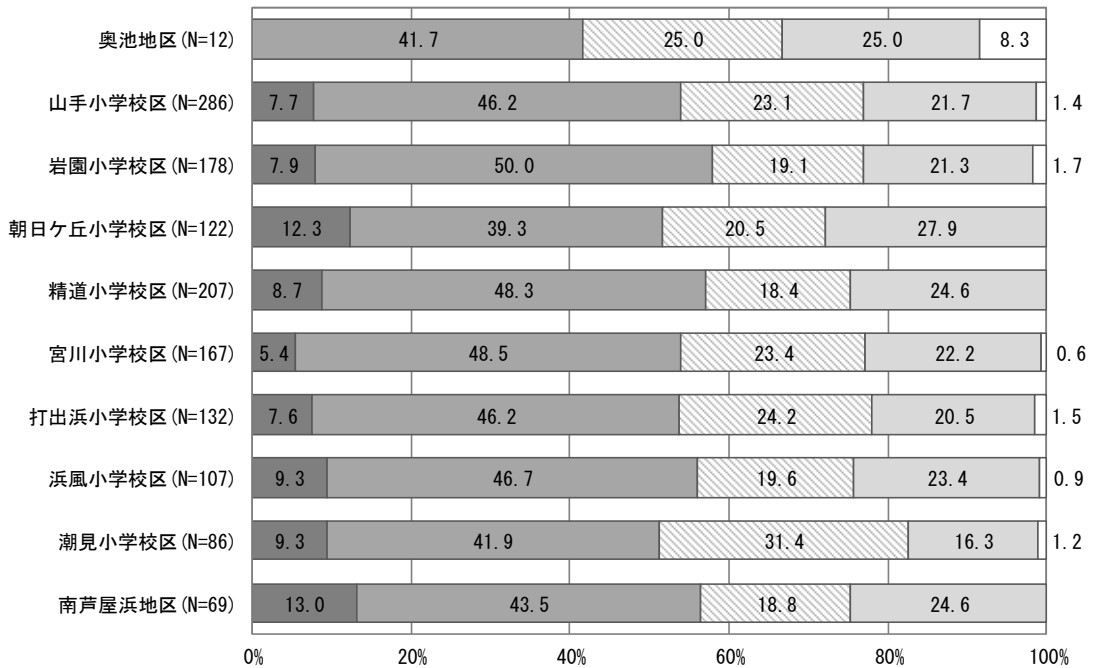


図 50 施策の評価（施策④：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

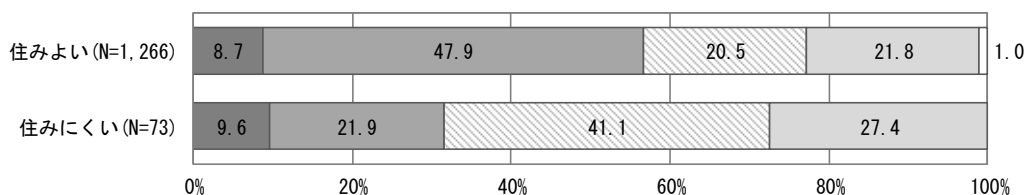


図 51 （施策の評価（施策④：住みよさ別）

⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている

- ◆「そうなっていると思う」と「まあそうなっていると思う」を合わせた肯定的意見は 41.5%，否定的意見の「そうなっていると思わない」は 24.6%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな違いはない。

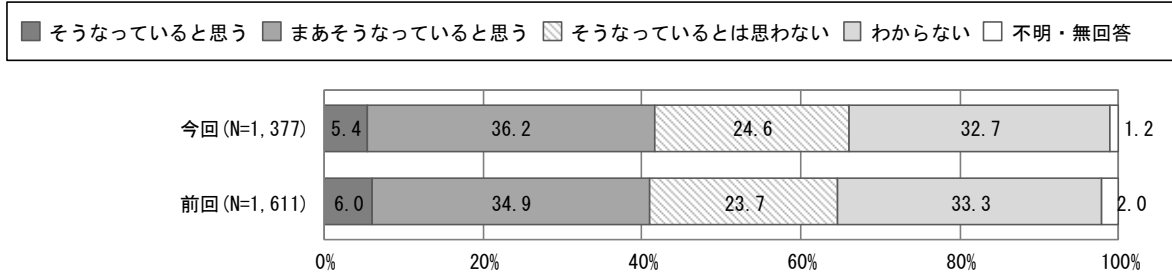


図 52 施策の評価（施策⑤）

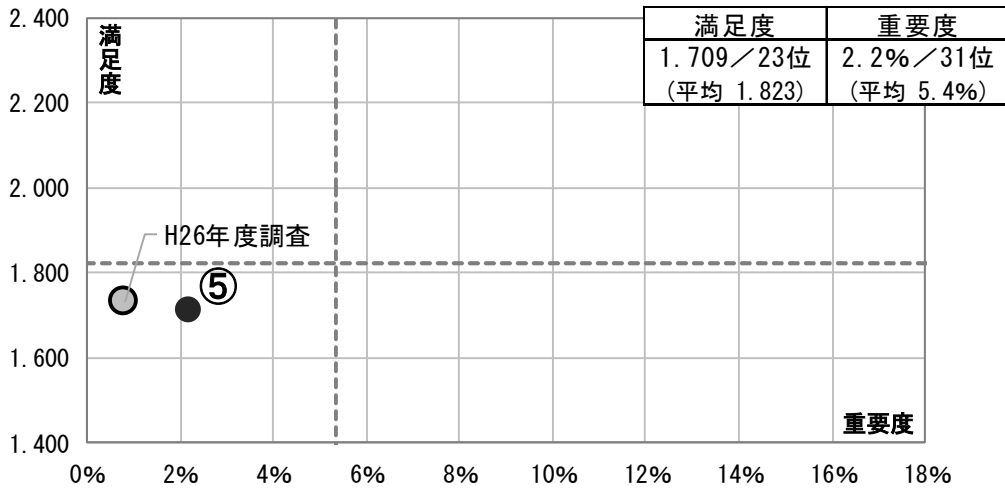


図 53 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑤）

- ◆性別では、肯定的意見に大差はないが、男性の方が否定的な回答、女性では「わからない」が多い。

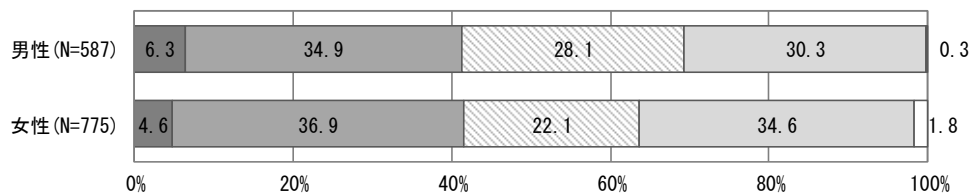


図 54 施策の評価（施策⑤：性別）(*)

◆年代別では、60歳代で肯定的な回答の割合が低い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

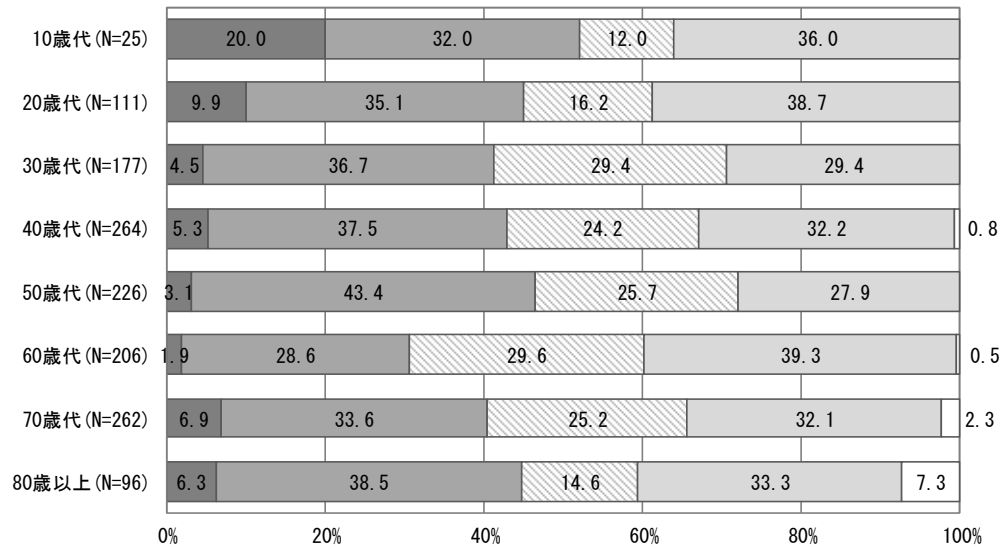


図 55 施策の評価（施策⑤：年代別）

◆地区別では、肯定的意見の割合が打出浜小学校区で最も低い。

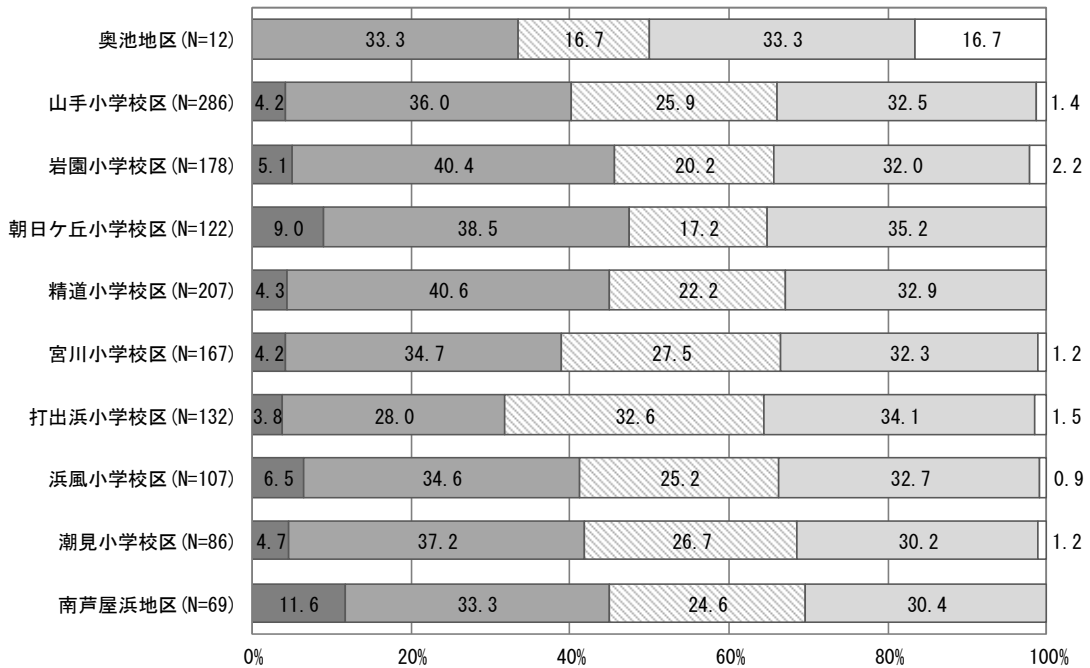


図 56 施策の評価（施策⑤：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

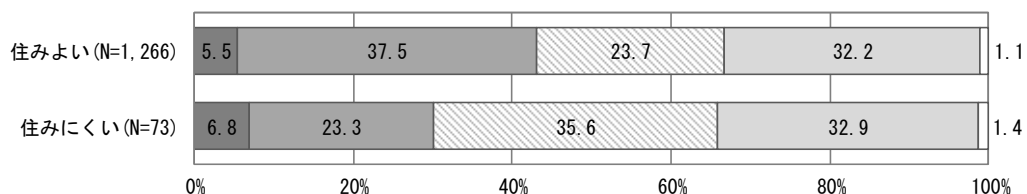


図 57 施策の評価（施策⑤：住みよさ別）

⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 45.4%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 20.5%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

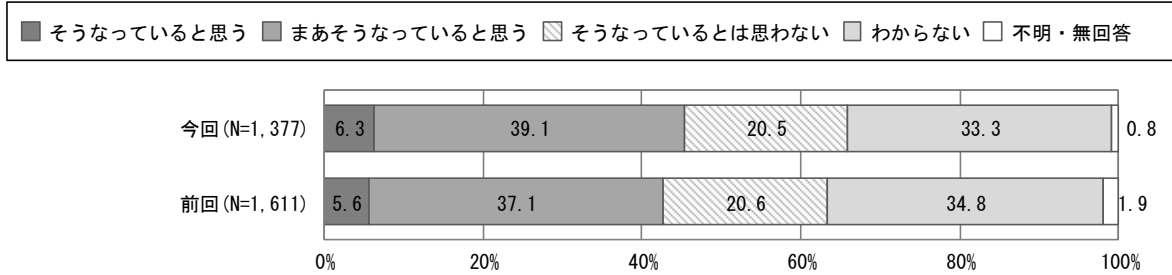


図 58 施策の評価（施策⑥）

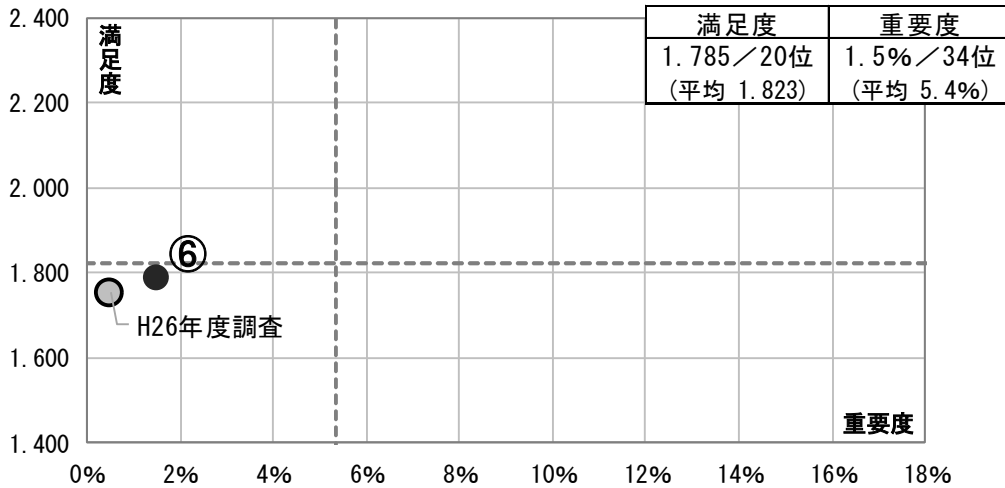


図 59 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑥）

- ◆性別では、肯定的意見は男性が多く、女性では「わからない」という意見が多い。

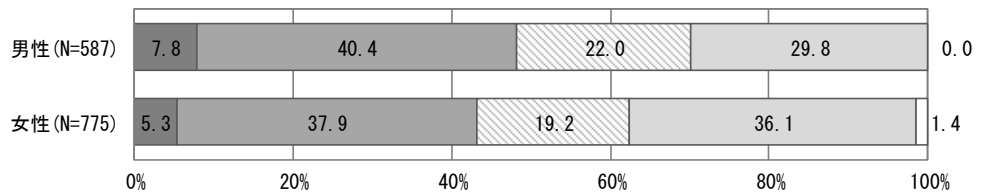


図 60 施策の評価（施策⑥：性別）(*)

◆年代別では、60歳代で肯定的な回答の割合が低い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

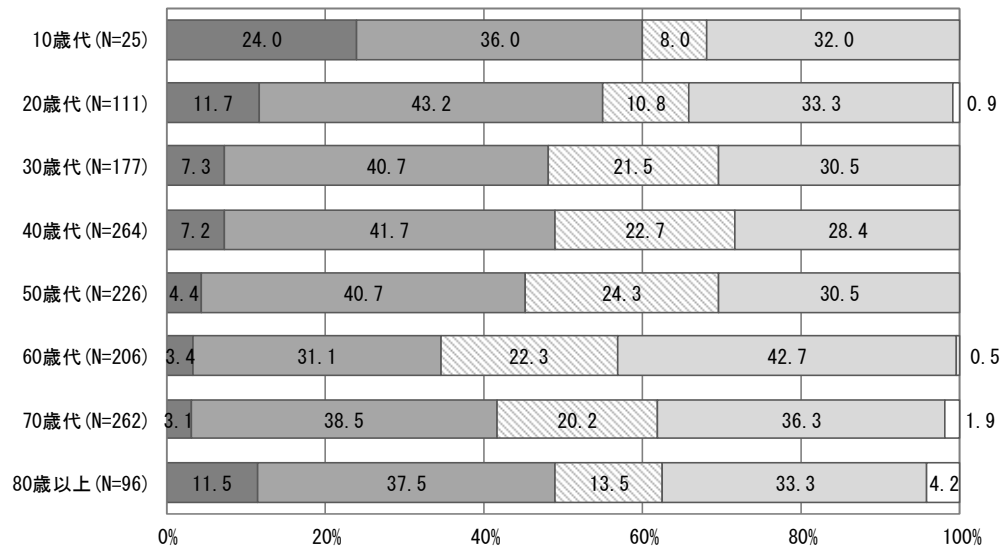


図 61 施策の評価（施策⑥：年代別）

◆地区別では、南芦屋浜地区で肯定的な回答の割合が特に高く、5割を超える。

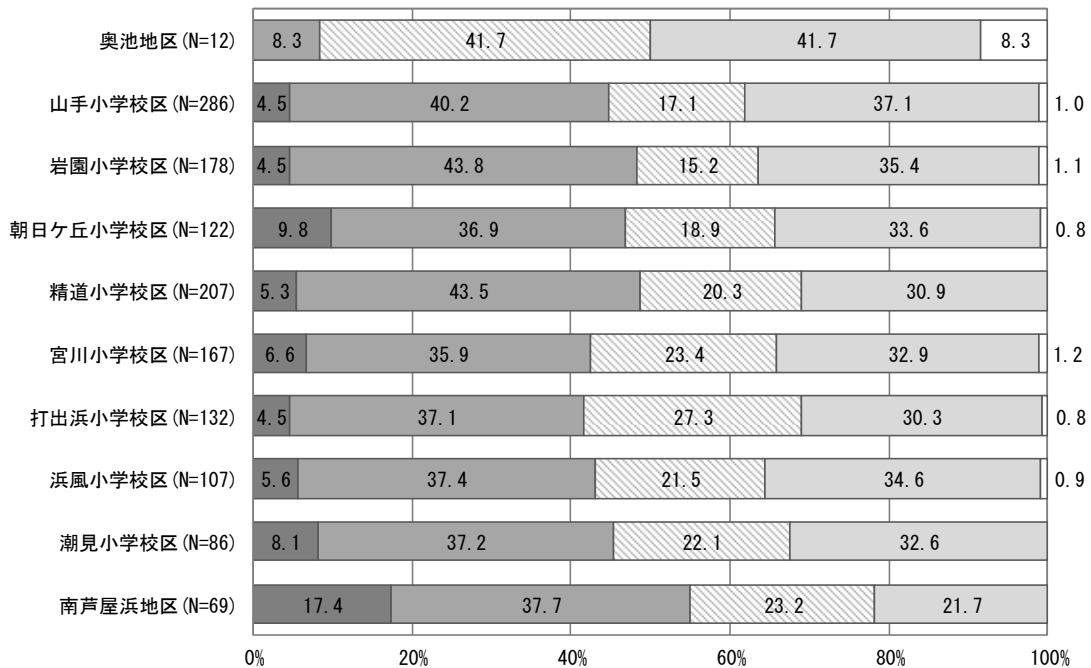


図 62 施策の評価（施策⑥：地区別）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

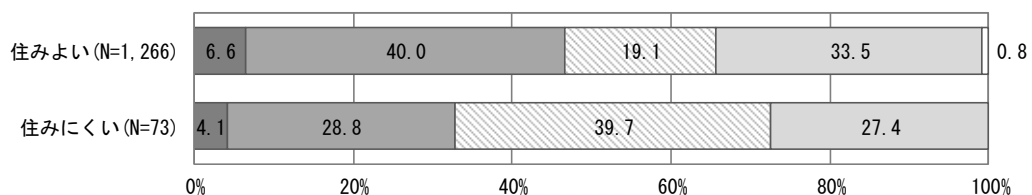


図 63 施策の評価（施策⑥：住みよさ別）

⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている

- ◆ 「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 34.5%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 23.5%となっている。また、「わからない」の割合が 40.5%と高い。
- ◆ 「まあそうになっていると思う」と回答した割合が前回は 26.6%に対し、今回は 30.1%と増加した。

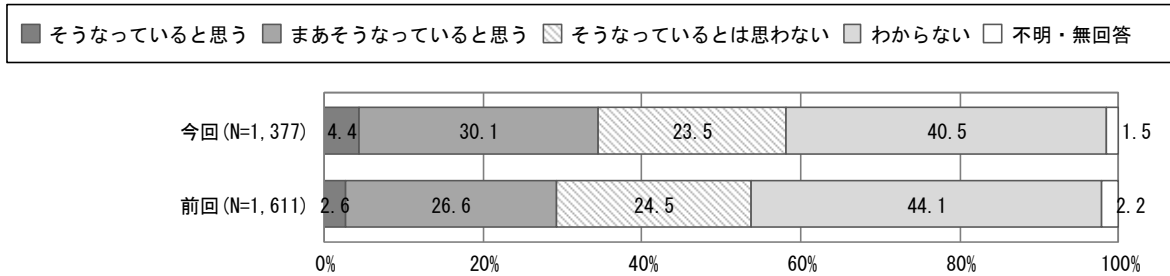


図 64 施策の評価（施策⑦）

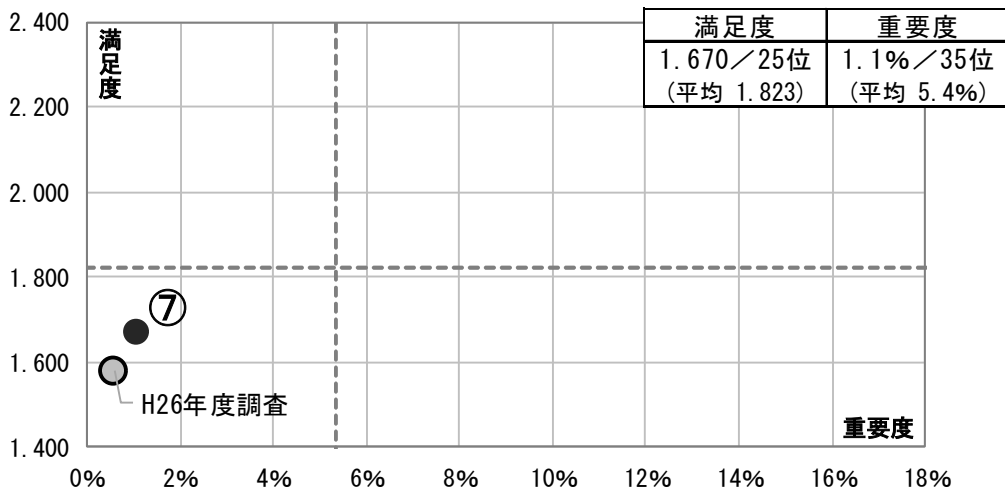


図 65 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑦）

- ◆ 性別では、肯定的意見は男性が多く、女性では「わからない」という意見が多い。

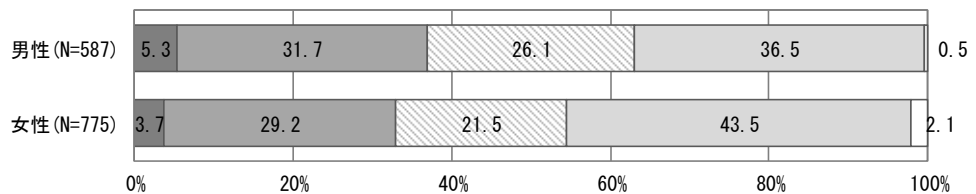


図 66 施策の評価（施策⑦：性別）(*)

◆年代別では、30歳代～50歳代と80歳以上で肯定的な回答の割合が高く、20歳代では「わからない」が半数を超えている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

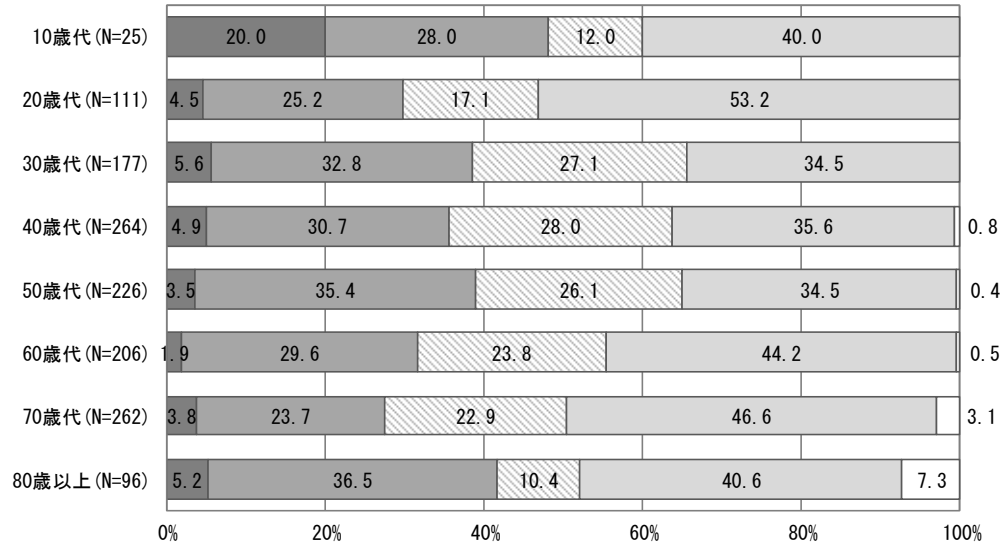


図 67 施策の評価（施策⑦）：年代別

◆地区別では、南芦屋浜地区で肯定的な回答が多く、4割を超える。

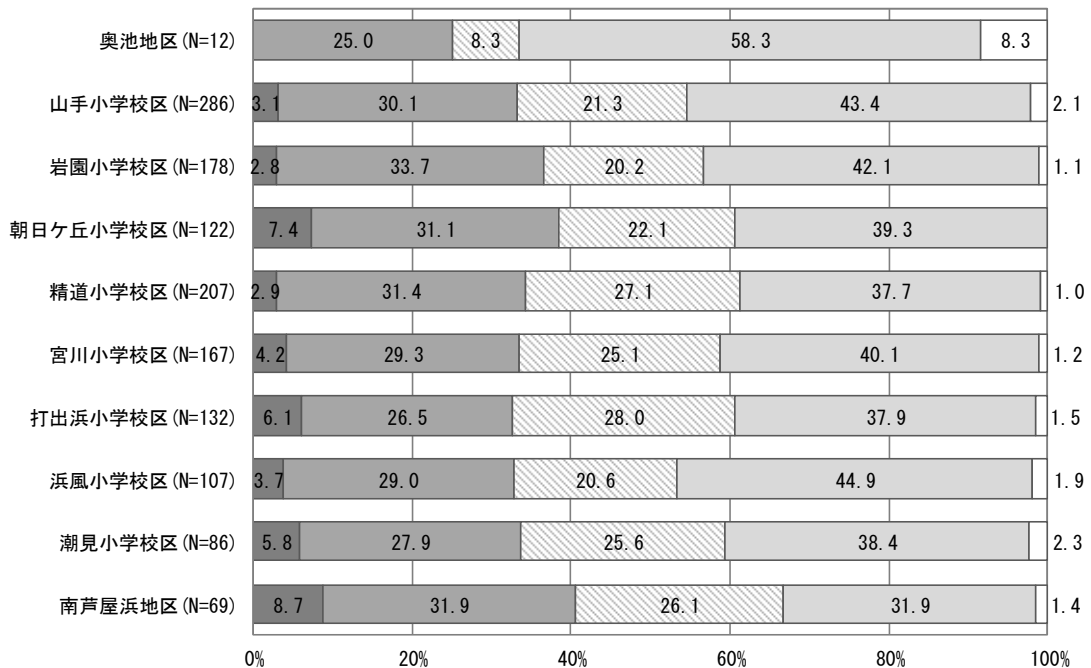


図 68 施策の評価（施策⑦）：地区別（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

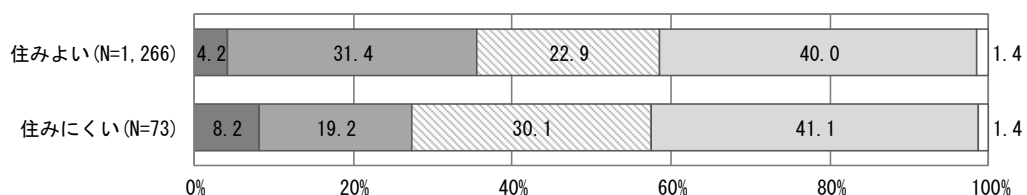


図 69 施策の評価（施策⑦）：住みよさ別

⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している

- ◆「そうなっていると思う」と「まあそうなっていると思う」を合わせた肯定的意見は 50.9%、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は 16.4%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

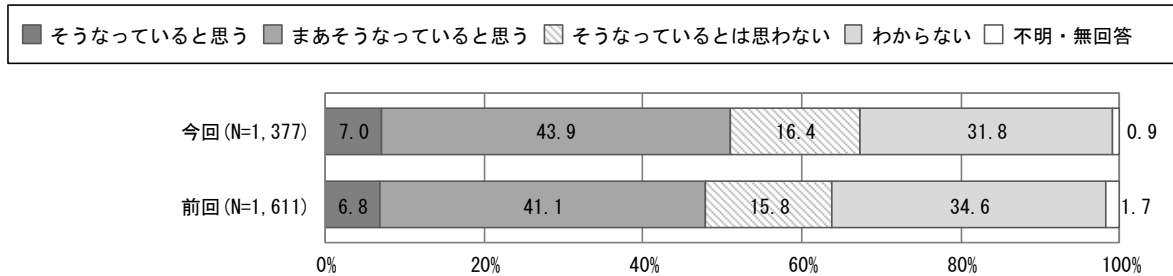


図 70 施策の評価（施策⑧）

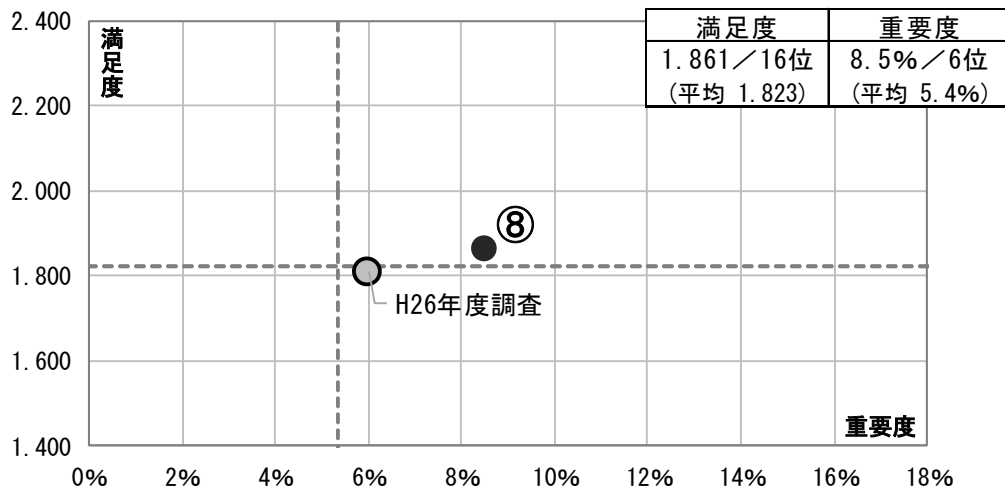


図 71 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑧）

- ◆性別では、男女ともに肯定的回答が約5割であるが、女性は「わからない」という回答が多い。

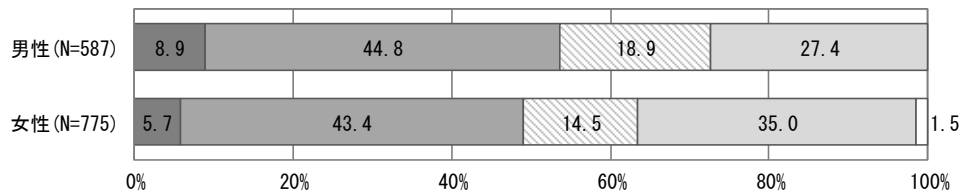


図 72 施策の評価（施策⑧：性別）

◆年代別では、肯定的な回答の割合が40歳代で最も高く、60歳代が最も低い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

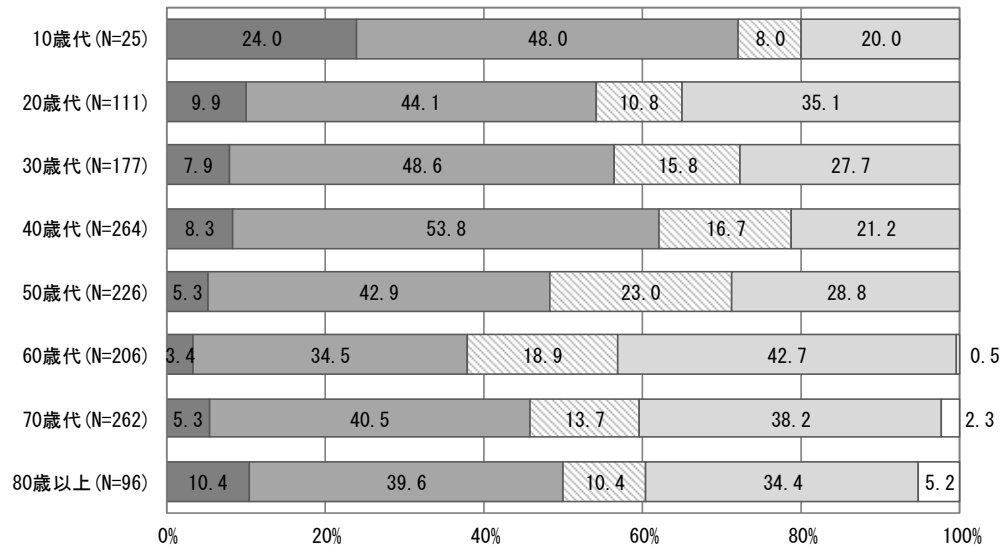


図 73 施策の評価（施策⑧：年代別）

◆地区別では、肯定的な回答の割合が南芦屋浜地区、打出浜小学校区で高く、6割近くとなっている。

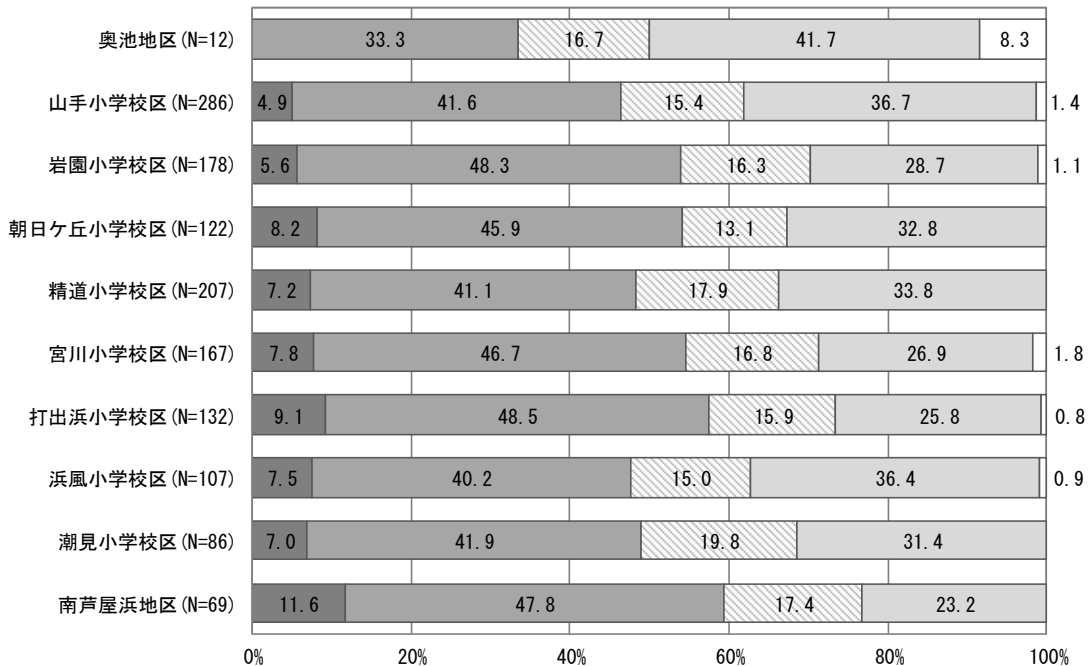


図 74 施策の評価（施策⑧：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

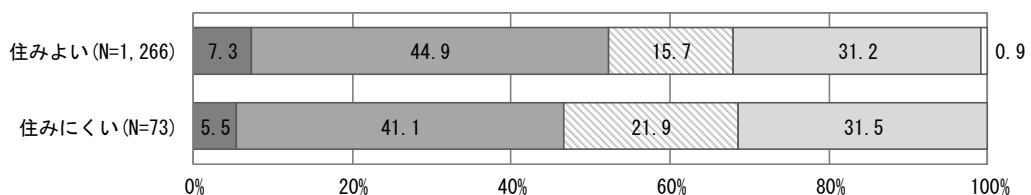


図 75 施策の評価（施策⑧：住みよさ別）

⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 33.3%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 21.7%となっている。また「わからない」の割合が 43.8%と高い。
- ◆前回との比較では，大きな変化は見られない。

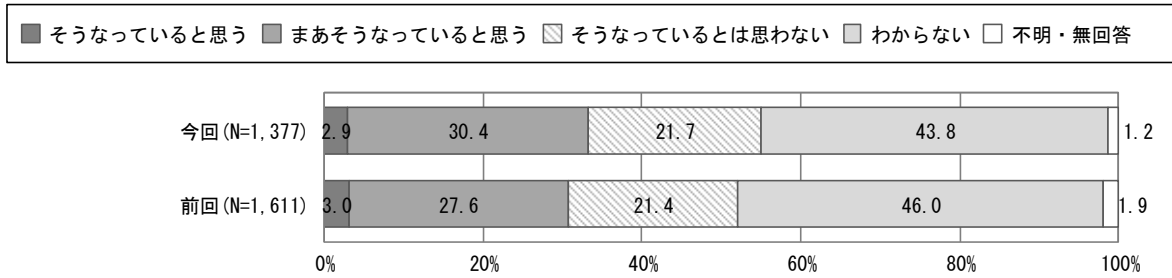


図 76 施策の評価（施策⑨）

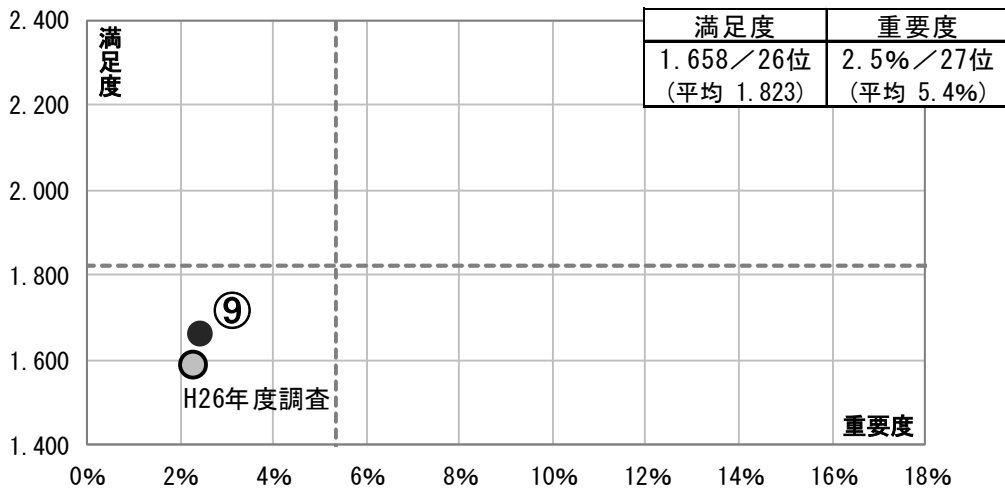


図 77 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑨）

- ◆性別では，女性の半数近くが「わからない」と回答している。

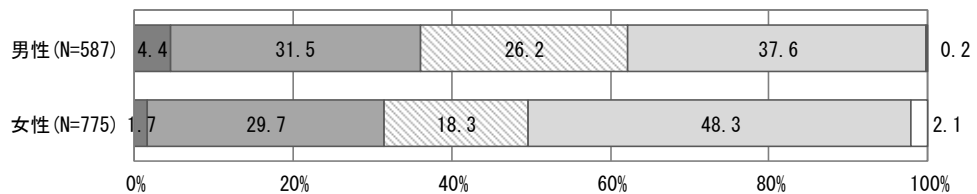


図 78 施策の評価（施策⑨：性別）(*)

◆年代別では、60・70歳代で肯定的な回答の割合が低い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

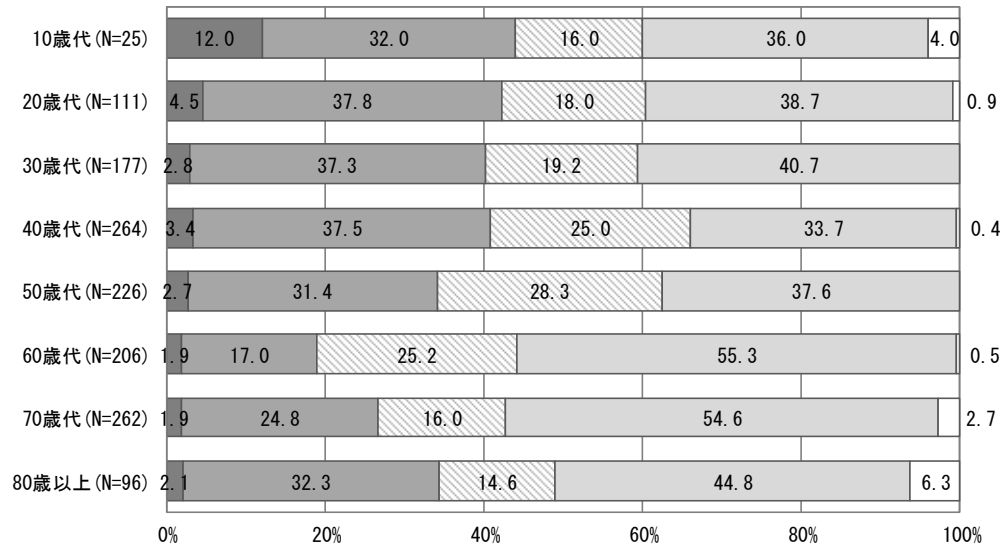


図 79 施策の評価（施策⑨：年代別）

◆地区別では、南芦屋浜地区で肯定的な回答の割合がやや高い。浜風小学校区と潮見小学校区では「わからない」という回答が半数を超えている。

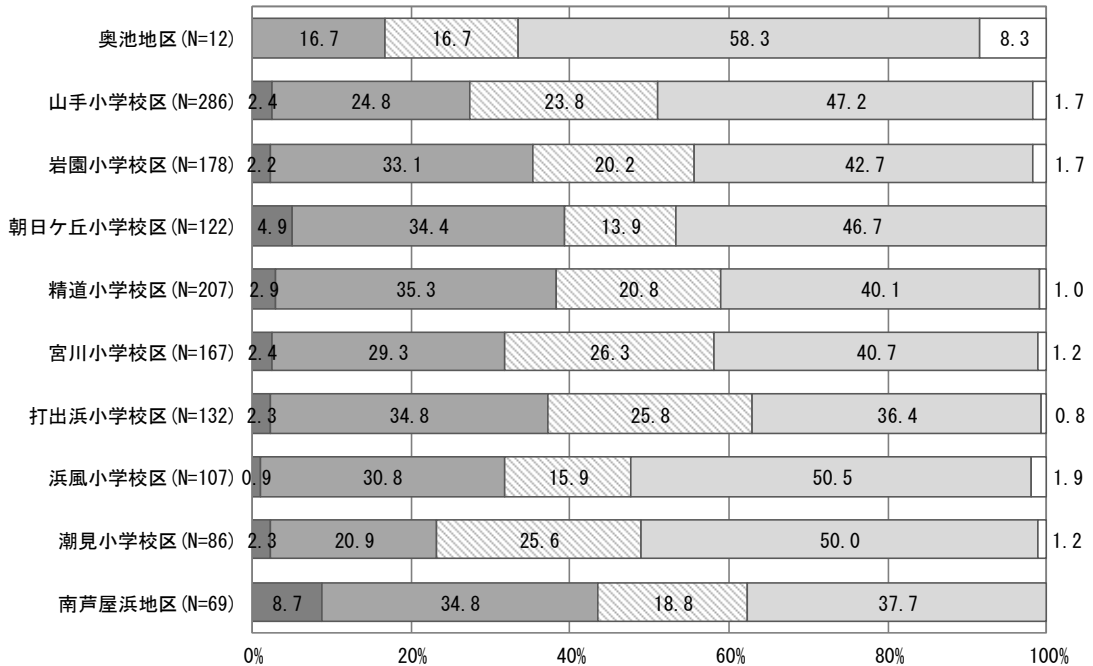


図 80 施策の評価（施策⑨：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

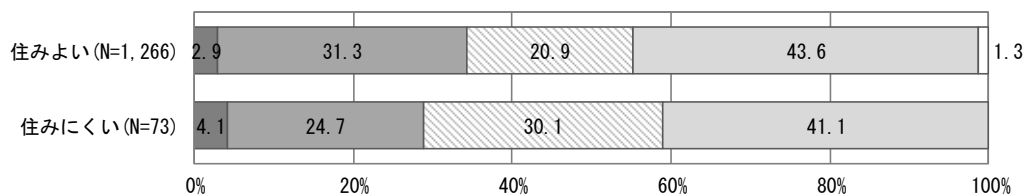


図 81 施策の評価（施策⑨：住みよさ別）（*）

⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 52.9%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 17.1%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

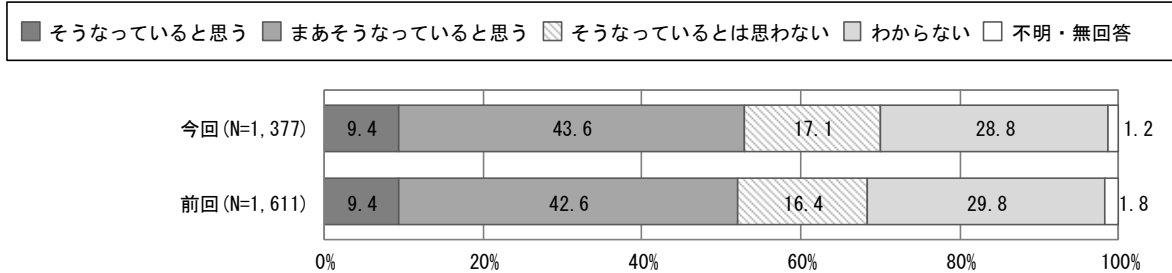


図 82 施策の評価（施策⑩）

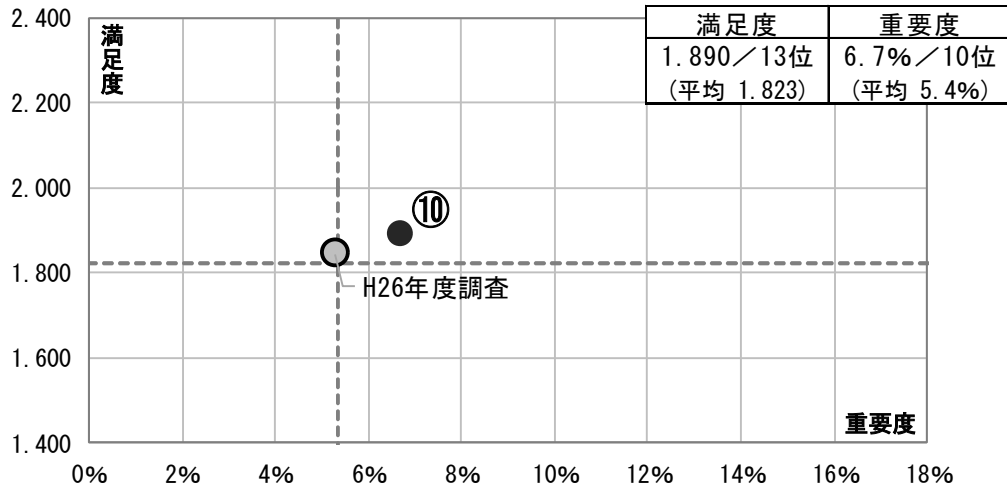


図 83 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑩）

- ◆性別では、肯定的回答には大差はないが、男性は否定的な回答、女性は「わからない」が多い。

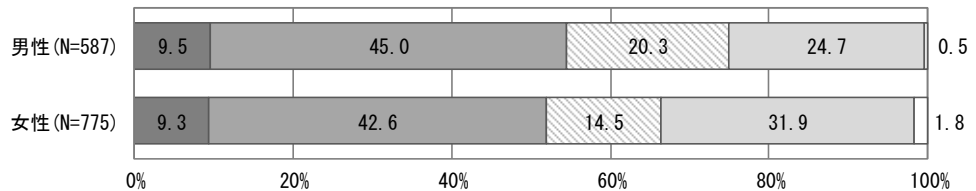


図 84 施策の評価（施策⑩：性別）

◆年代別では、肯定的な回答は20～40歳代で高く、50～70歳代で低い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

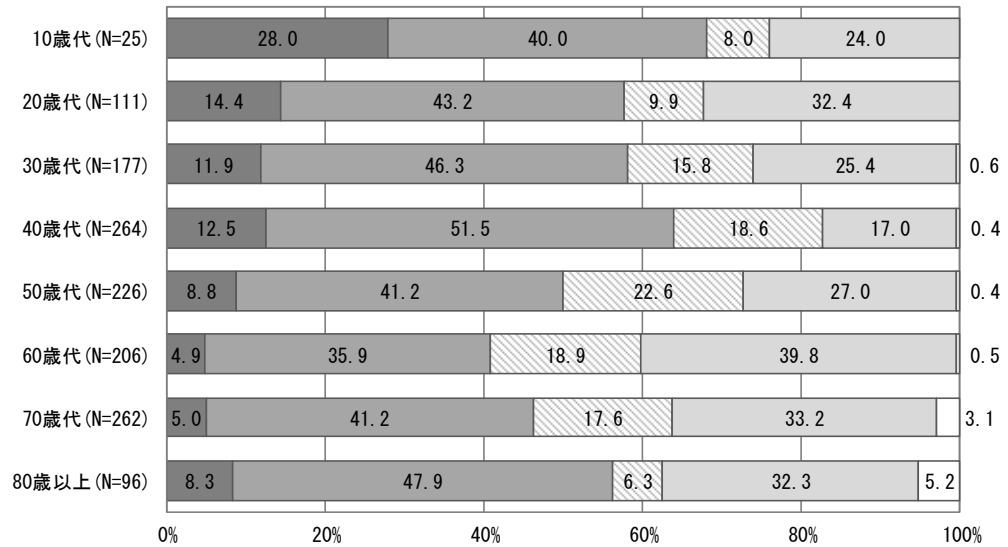


図 85 施策の評価（施策⑩：年代別）

◆地区別では、肯定的な回答は、岩園小学校区が6割を超えて特に高く、一方、山手小学校区と浜風小学校区では低い。

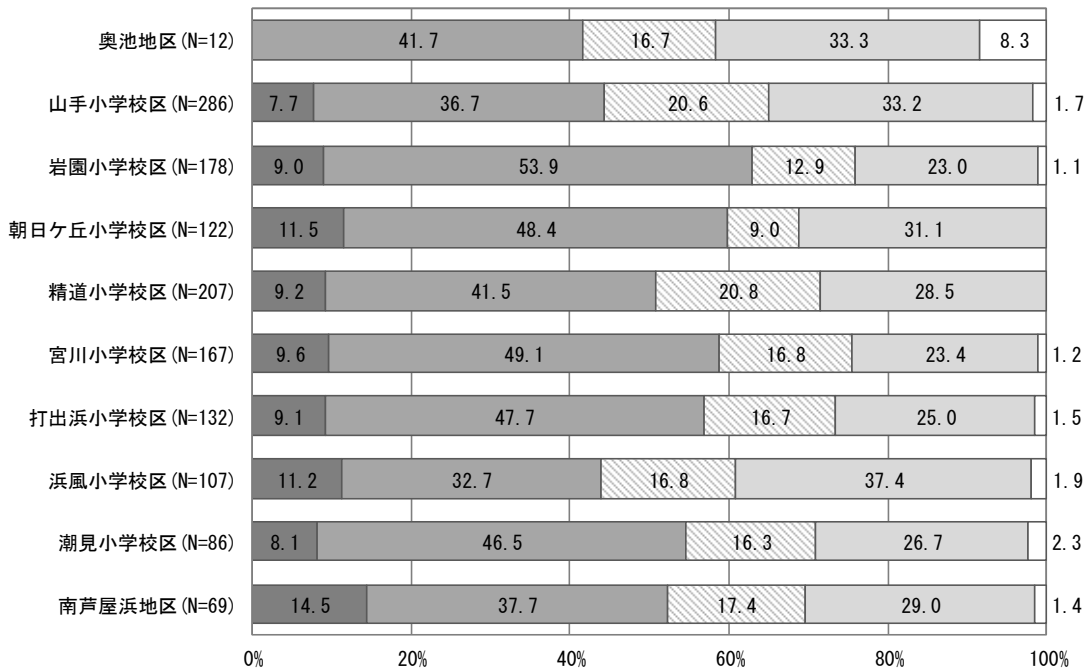


図 86 施策の評価（施策⑩：地区別）（*）

◆住みよさ別では、大きな違いはみられない。

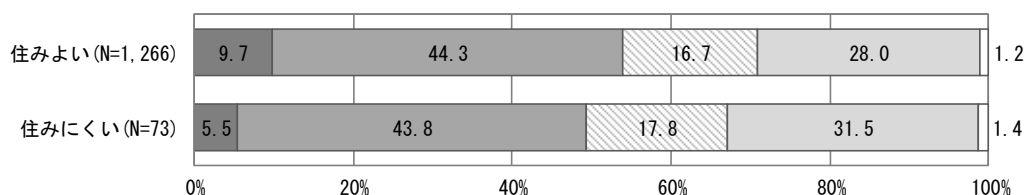


図 87 施策の評価（施策⑩：住みよさ別）

⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 33.1%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 30.5%となっている。
- ◆前回との比較では、「まあそうになっていると思う」がやや増加し、「わからない」が減少している。

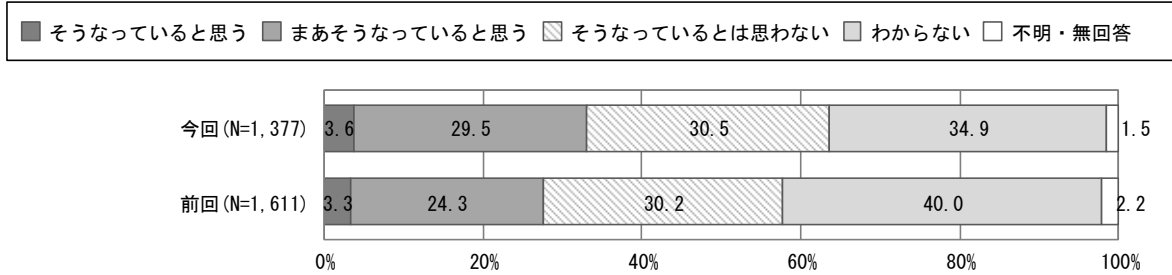


図 88 施策の評価（施策⑪）

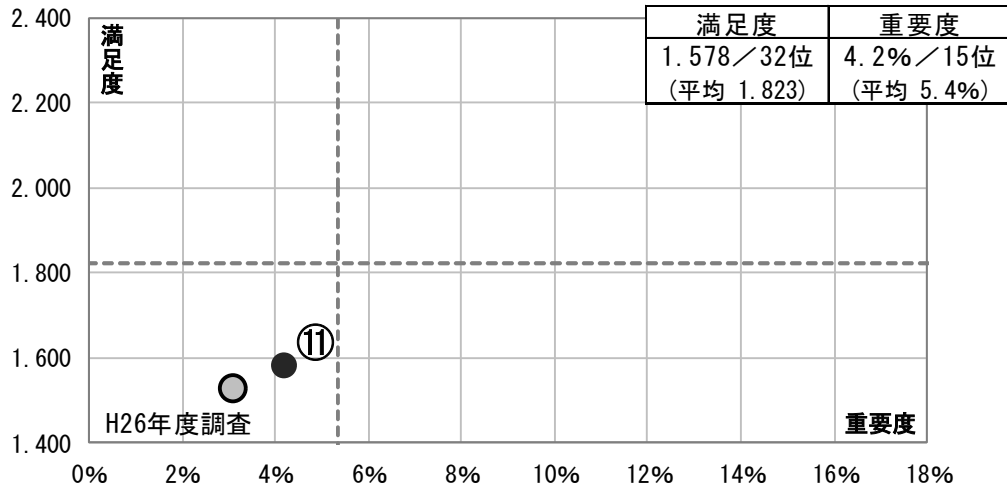


図 89 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑪）

- ◆性別では、男女で大きな差はない。

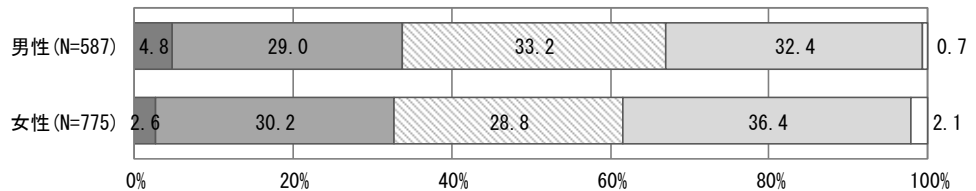


図 90 施策の評価（施策⑪：性別）

◆年代別では、肯定的な回答は、20～40歳代で高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

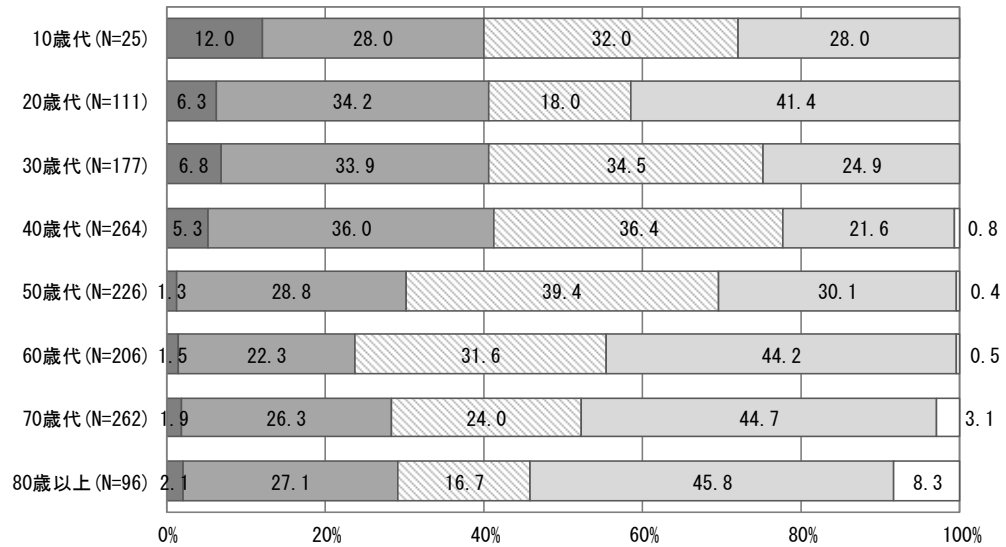


図 91 施策の評価（施策⑪：年代別）

◆地区別では、南芦屋浜地区、打出浜小学校区、朝日ヶ丘小学校区では、肯定的回答が否定的回答を上回り、他の地区ではほぼ拮抗している。

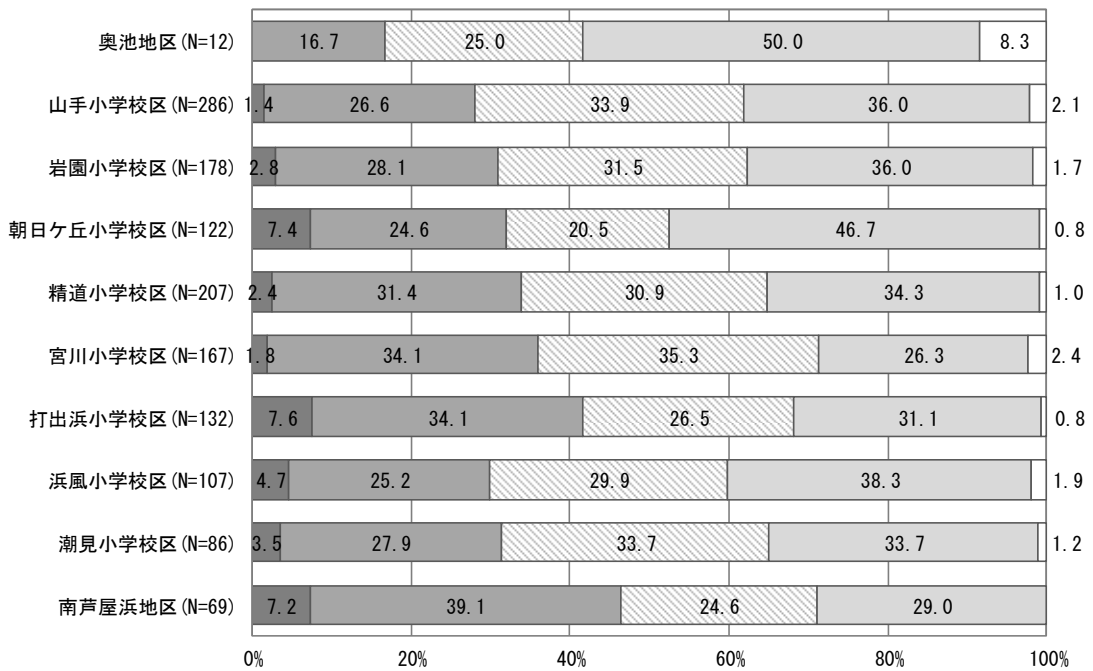


図 92 施策の評価（施策⑪：地区別）

◆住みよさ別では、「住みにくい」とする人の方が「そうなっているとは思わない」が多い。

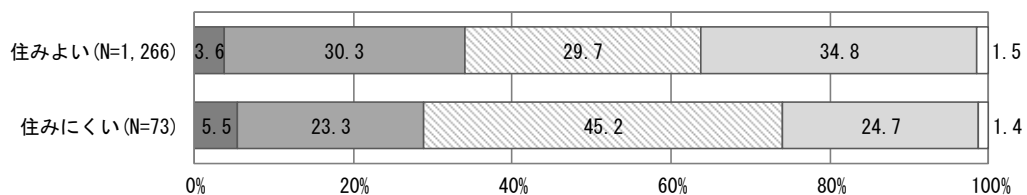


図 93 施策の評価（施策⑪：住みよさ別）

⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている

- ◆「そうなっていると思う」と「まあそうなっていると思う」を合わせた肯定的意見は 30.0%、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は 31.3%となっている。また、「わからない」が 37.5%で最も高い割合を占める。
- ◆前回との比較では、「まあそうなっていると思う」という回答が増加している。
- ◆重要度は 5 位と高いが、満足度は低い。

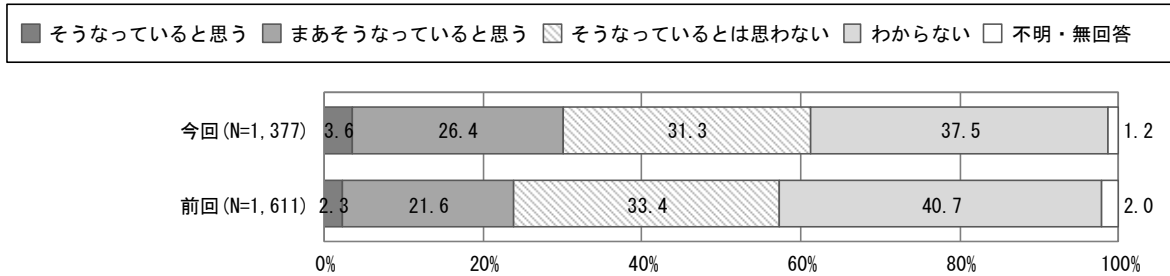


図 94 施策の評価（施策⑫）

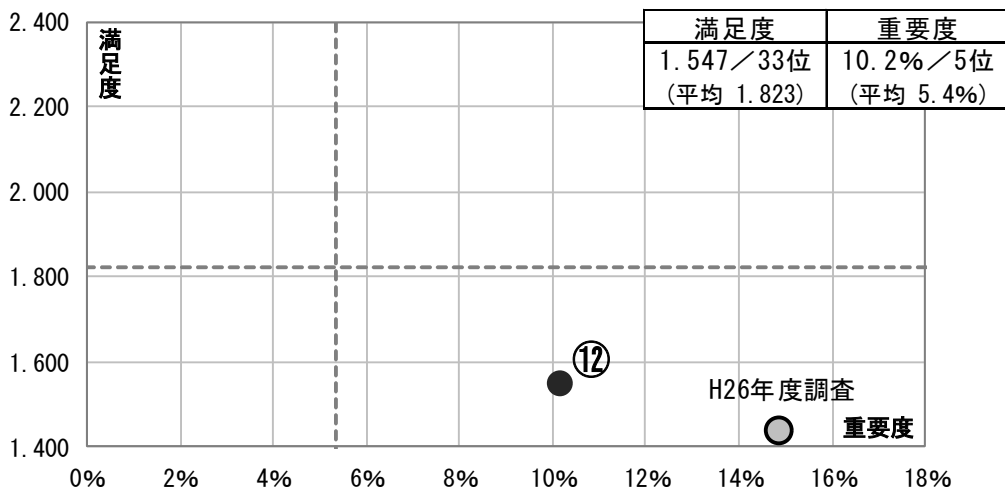


図 95 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑫）

- ◆性別では、女性の方が肯定的な回答が多い。



図 96 施策の評価（施策⑫：性別）(*)

◆年代別では、30歳代～60歳代で否定的な回答の割合が肯定的回答を上回り、また50歳代以上で「わからない」が最も多く、かつ年齢が高いほど割合が高くなる。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

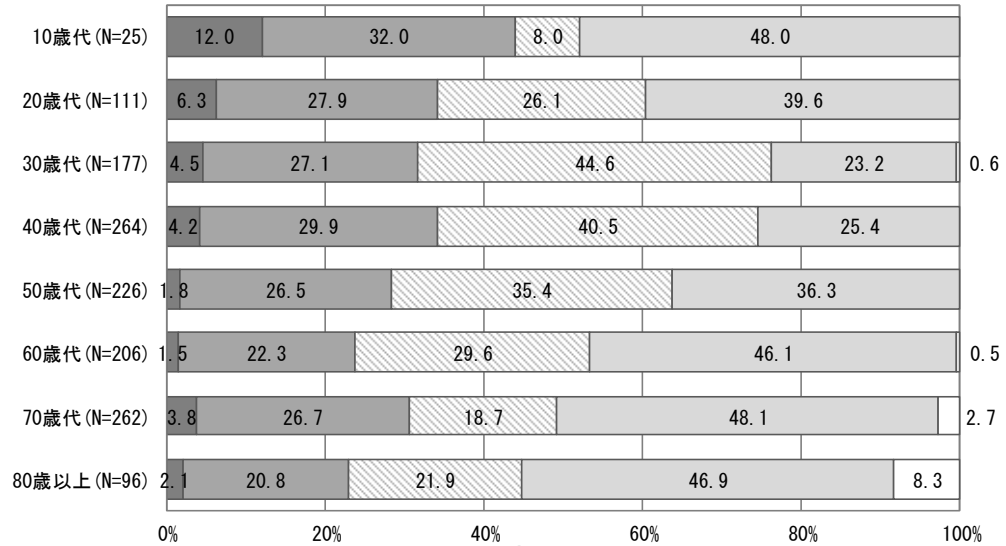


図 97 施策の評価（施策⑫：年代別）

◆地区別では、打出浜小学校区、浜風小学校区、南芦屋浜地区では、肯定的な回答が否定的な回答を上回り、他地区では否定的な回答が高くなっている。

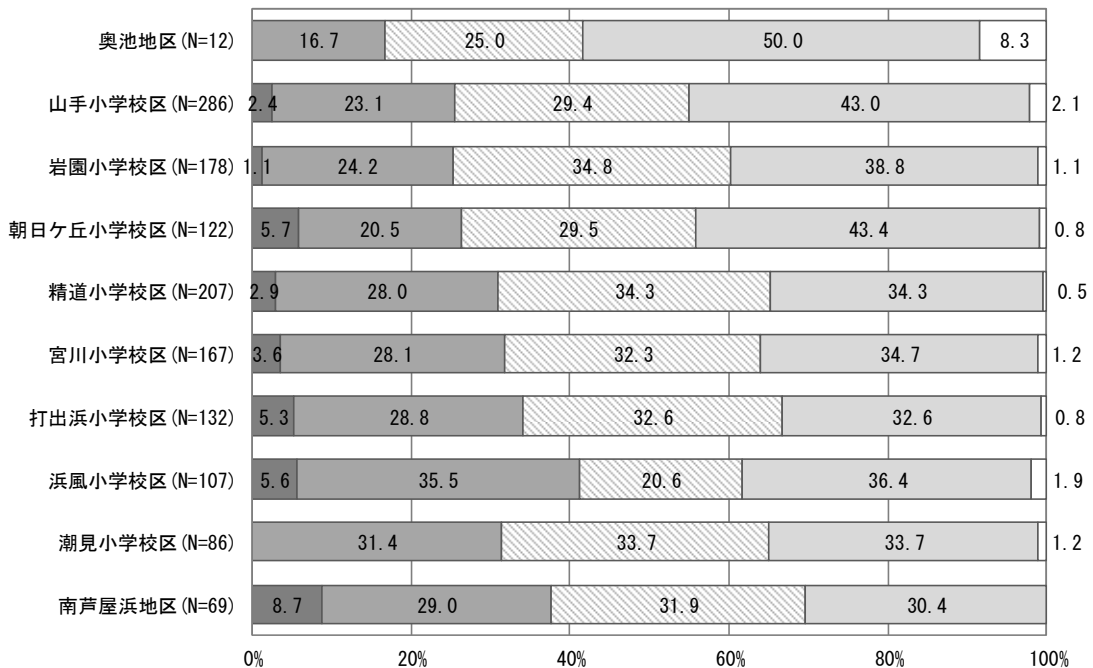


図 98 施策の評価（施策⑫：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

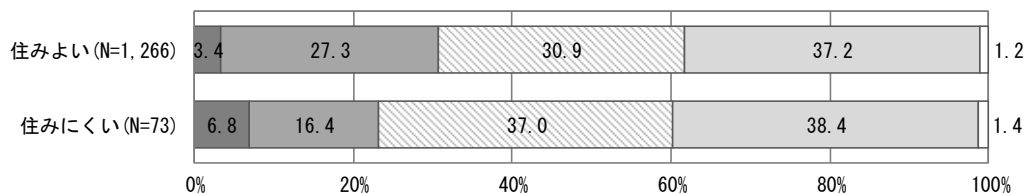


図 99 施策の評価（施策⑫：住みよさ別）

⑬市民が健康づくりに取り組んでいる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 60.1%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 12.8%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

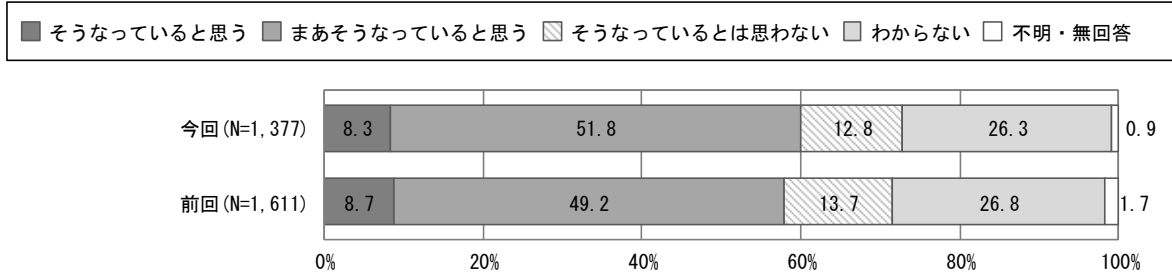


図 100 施策の評価（施策⑬）

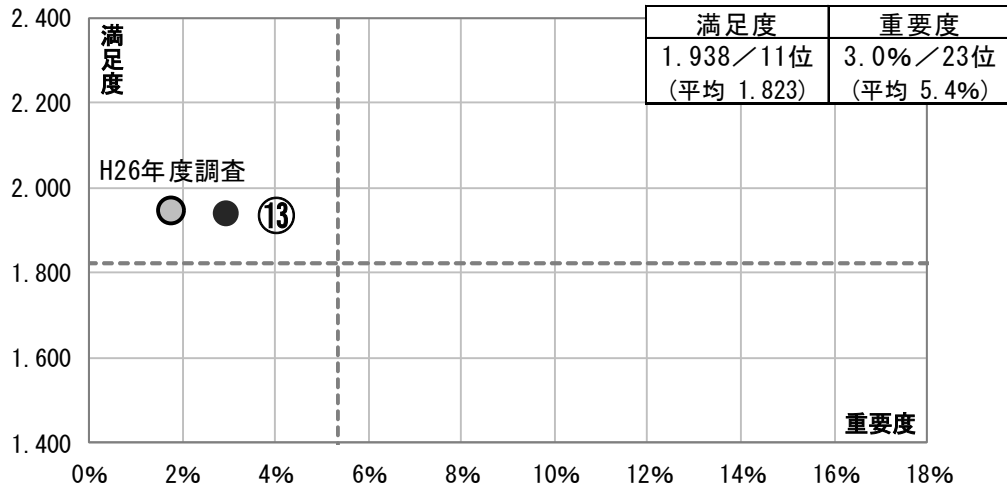


図 101 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑬）

- ◆性別では、男女共に肯定的な回答が6割前後で大きな差はないが、男性の方が否定的な回答がやや多い。

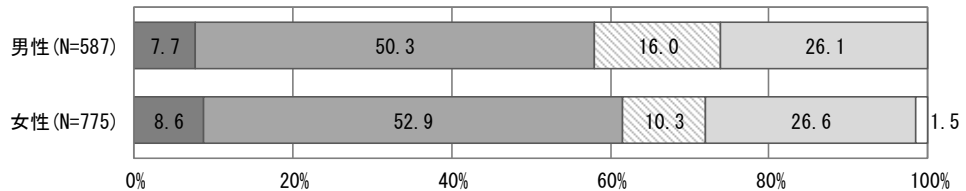


図 102 施策の評価（施策⑬：性別）(*)

◆年代別では、特に 70 歳代以上で、肯定的な回答の割合が高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

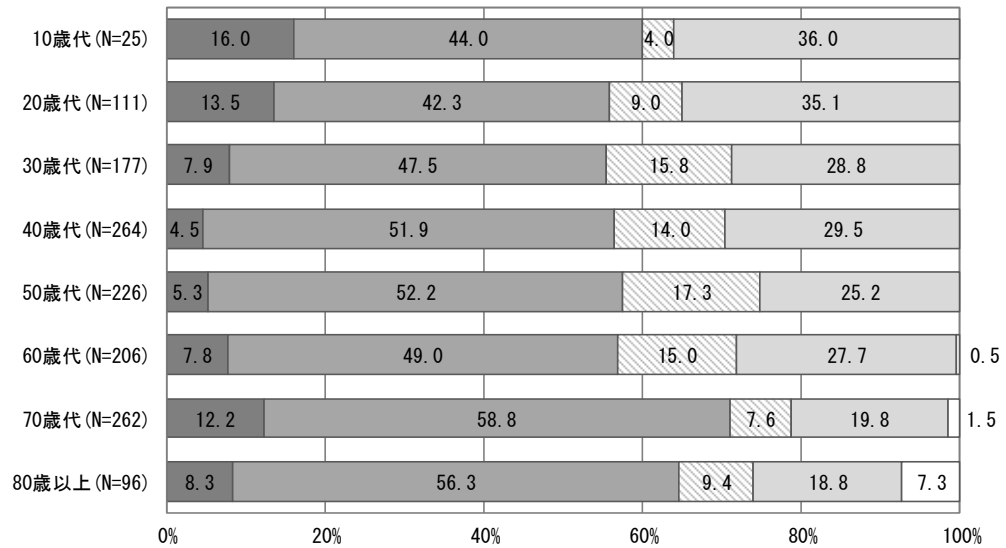


図 103 施策の評価（施策⑬：年代別）

◆地区別では、大きな違いはない。

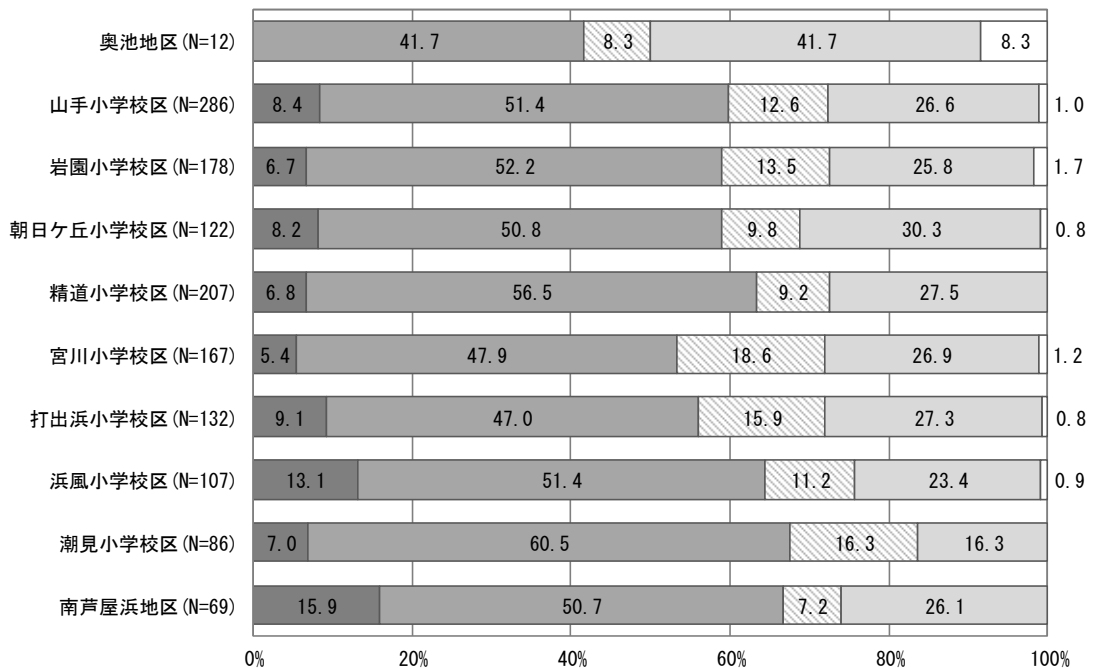


図 104 施策の評価（施策⑬：地区別）（*）

◆住みよさ別では、大きな差はない。

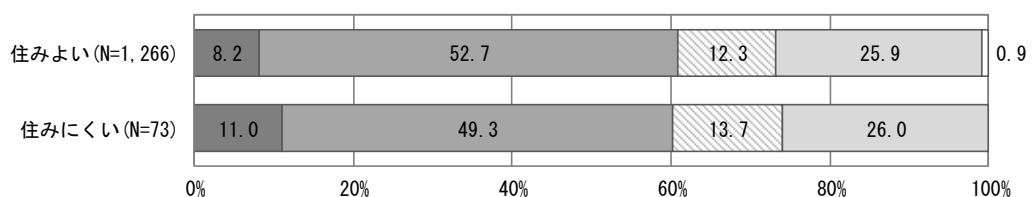


図 105 施策の評価（施策⑬：住みよさ別）（*）

⑭市民が適切な診療を受けられる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 82.2%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 8.7%となっている。
- ◆前回との比較では、「そうになっていると思う」と回答した割合が高くなっている。
- ◆満足度が 4 位と高い。

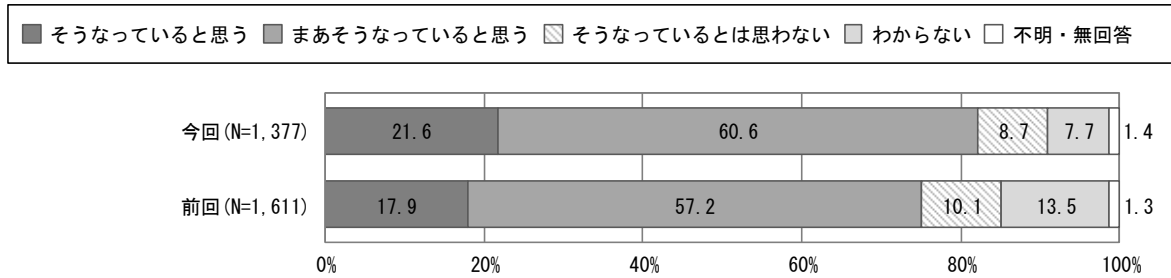


図 106 施策の評価（施策⑭）

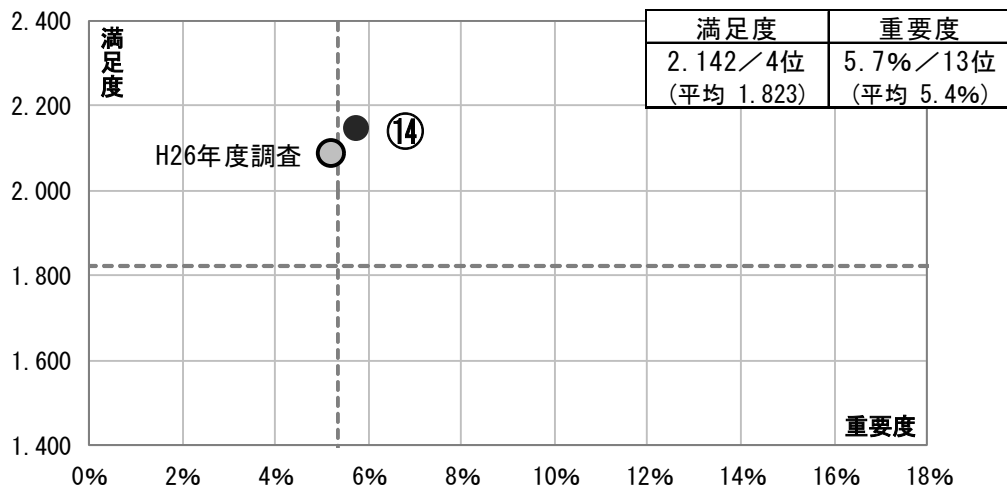


図 107 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑭）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

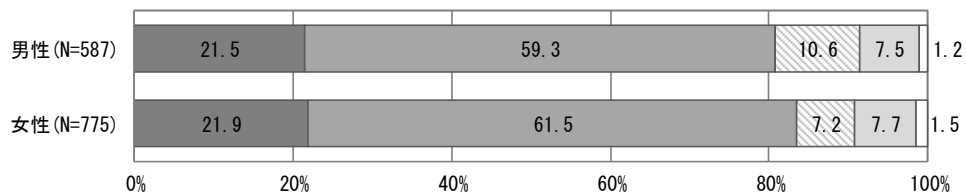


図 108 施策の評価（施策⑭：性別）(*)

◆年代別では、すべての年代で肯定的な回答の割合が7割を超えており、特に70歳代以上で高くなっている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

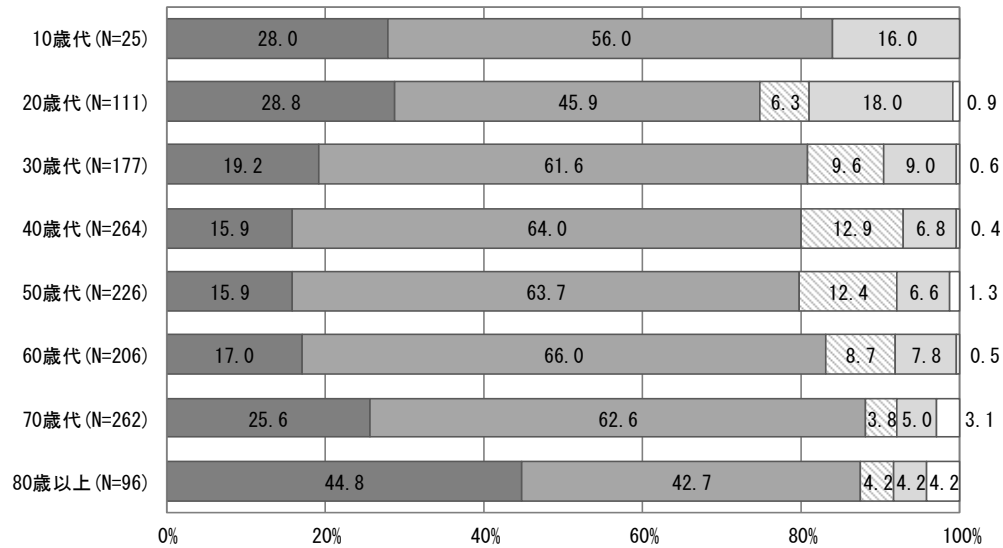


図 109 施策の評価（施策⑭：年代別）

◆地区別では、各地区共に肯定的な意見が概ね8割を超えて高くなっている。

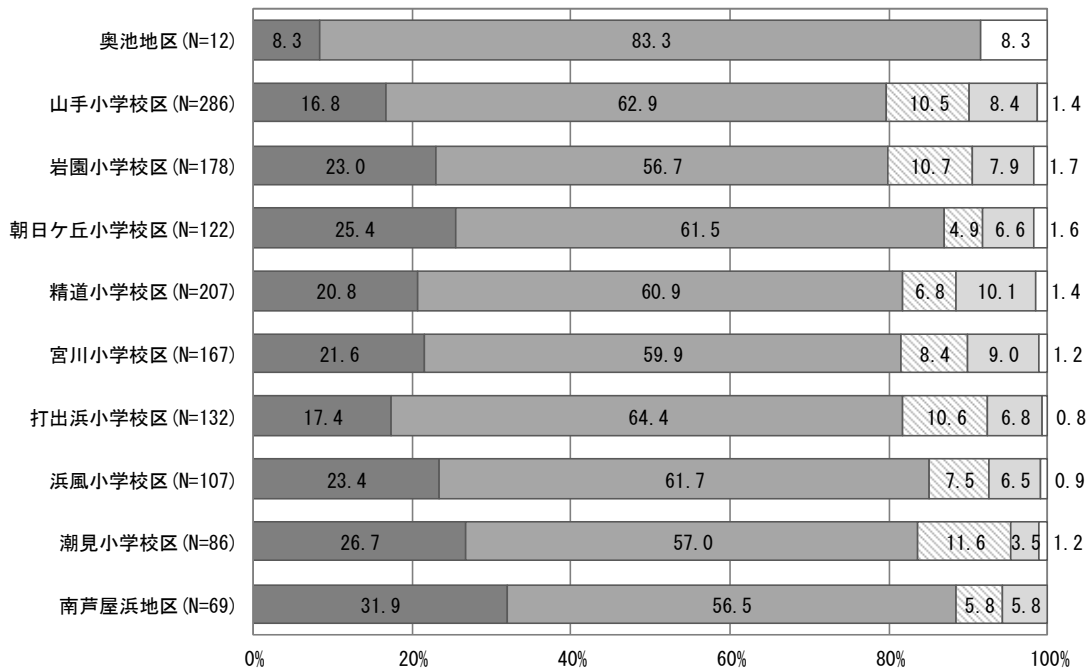


図 110 施策の評価（施策⑭：地区別）（*）

◆住みよさ別では、大きな差はない。

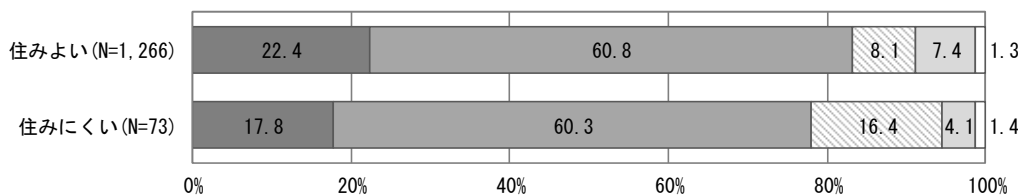


図 111 施策の評価（施策⑭：住みよさ別）

⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 58.0%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 15.1%となっている。
- ◆前回との比較では、「わからない」と回答した割合が低下した。

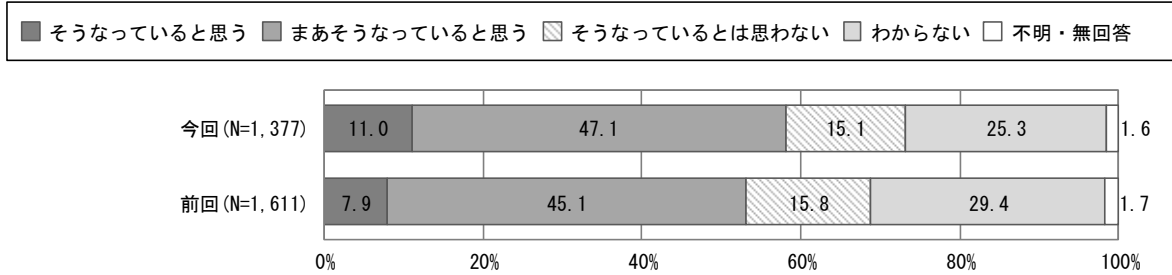


図 112 施策の評価（施策⑮）

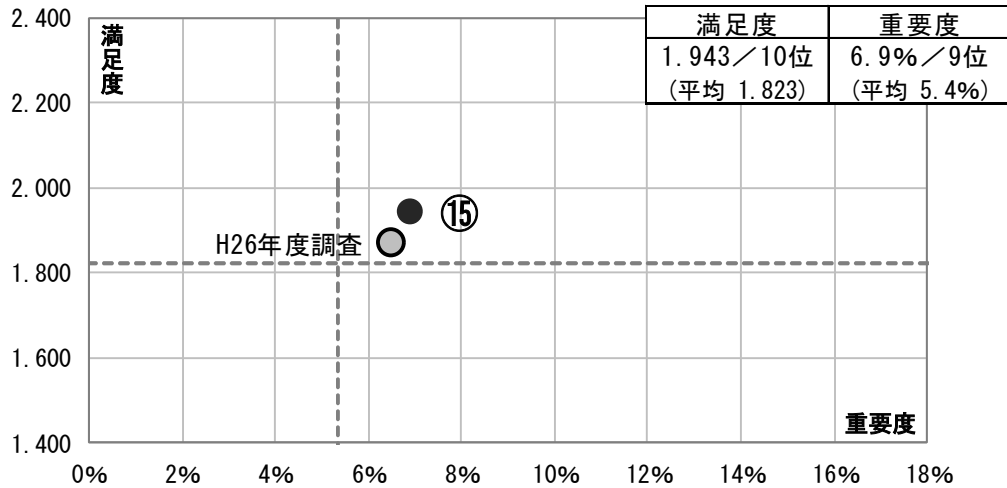


図 113 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑮）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

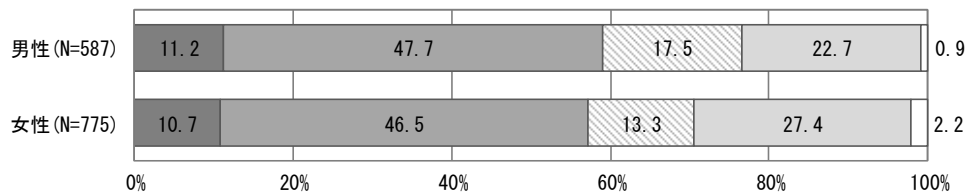


図 114 施策の評価（施策⑮：性別）(*)

◆年代別では、すべての年代で肯定的な回答の割合が高く、30歳以上では年代が上がるほど肯定的な回答の割合が高まる傾向である。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

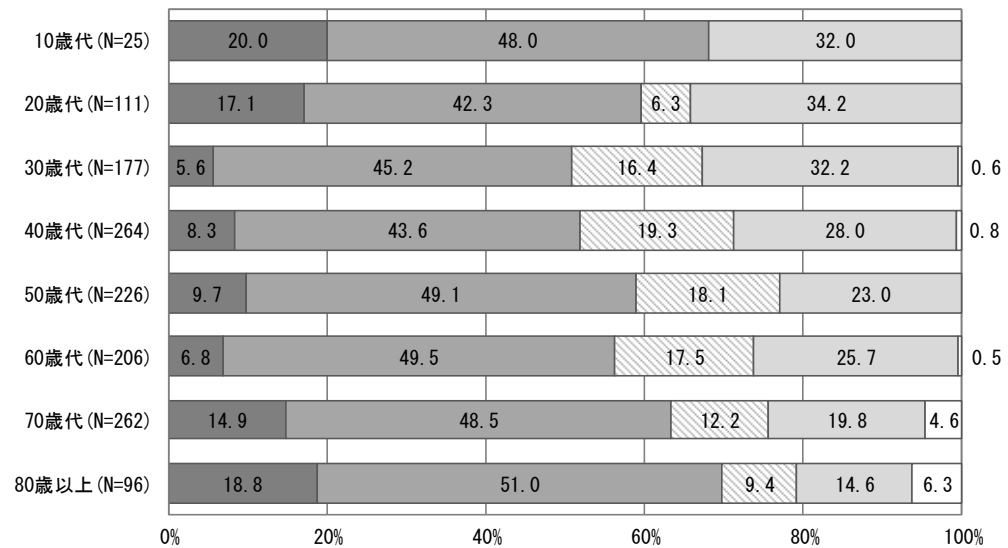


図 115 施策の評価（施策⑮：年代別）

◆地区別では、各地区とも肯定的な回答が5割を超えている。

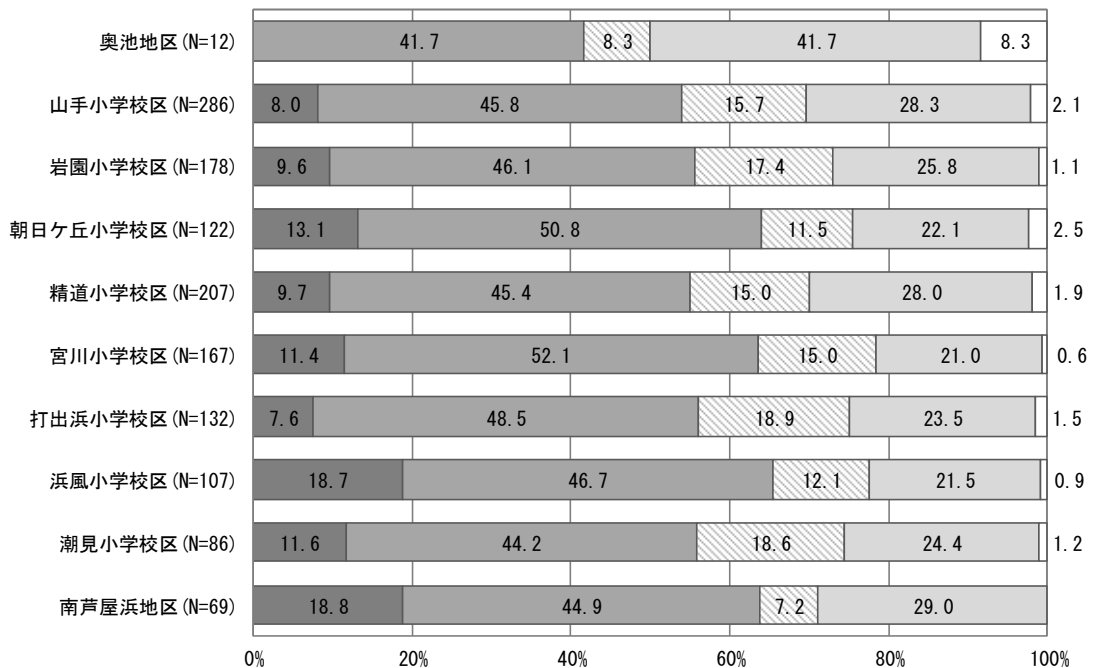


図 116 施策の評価（施策⑮：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「そうなっている」の回答が「住みにくい」とする人の方が「住みよい」とするよりも高い。

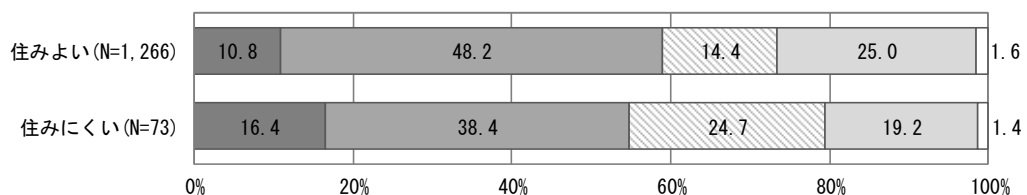


図 117 施策の評価（施策⑮：住みよさ別）

⑩高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 58.9%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 16.0%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆満足度、重要度ともに高い。

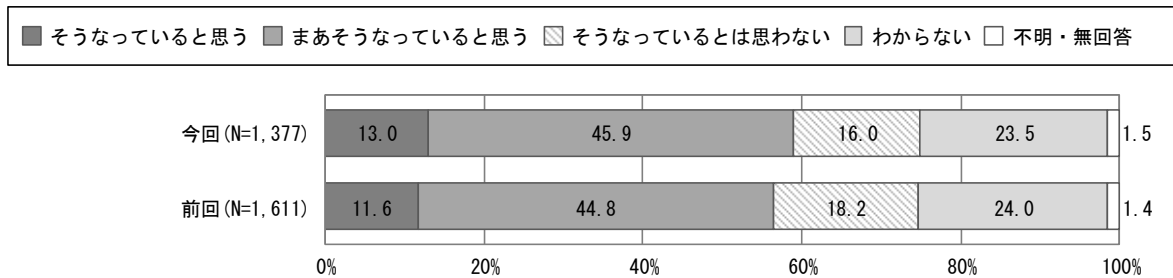


図 118 施策の評価（施策⑩）

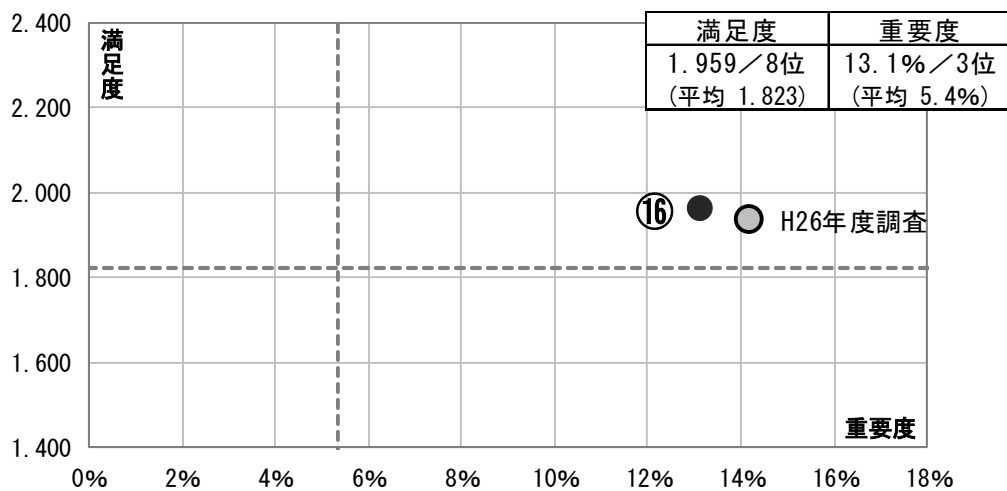


図 119 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑩）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

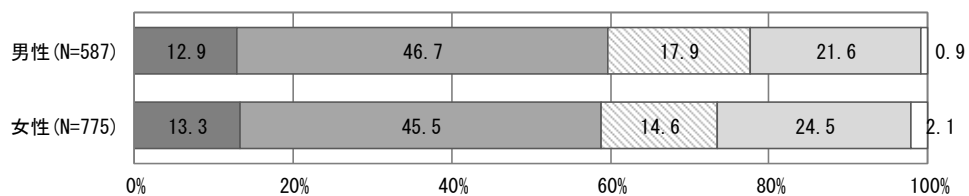


図 120 施策の評価（施策⑩：性別）(*)

◆年代別では、すべての年代で肯定的な回答の割合が高いが、70歳代以下では、年代が高いほど肯定的な回答の割合が低くなる傾向である。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

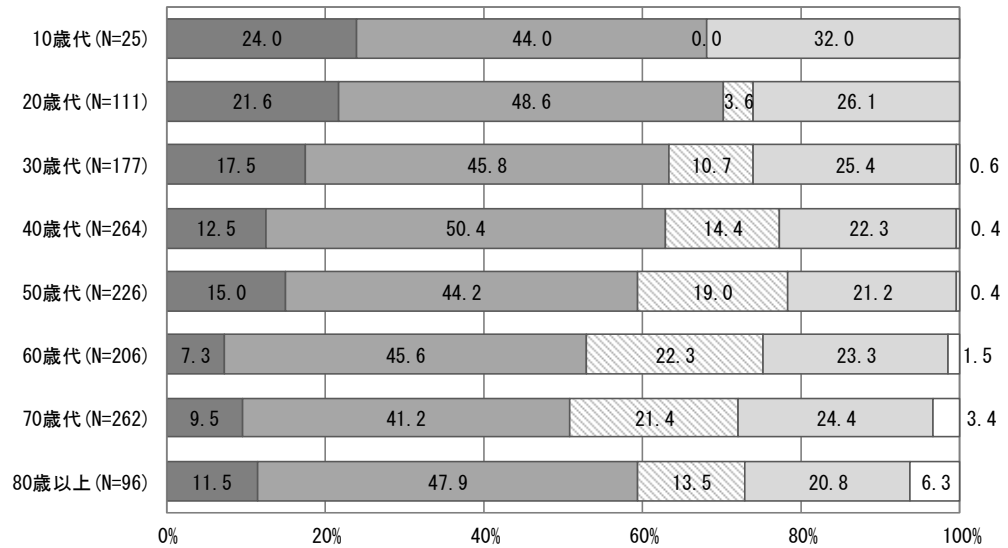


図 121 施策の評価（施策⑩：年代別）

◆地区別では、各地区とも肯定的な回答が5割を超えている。

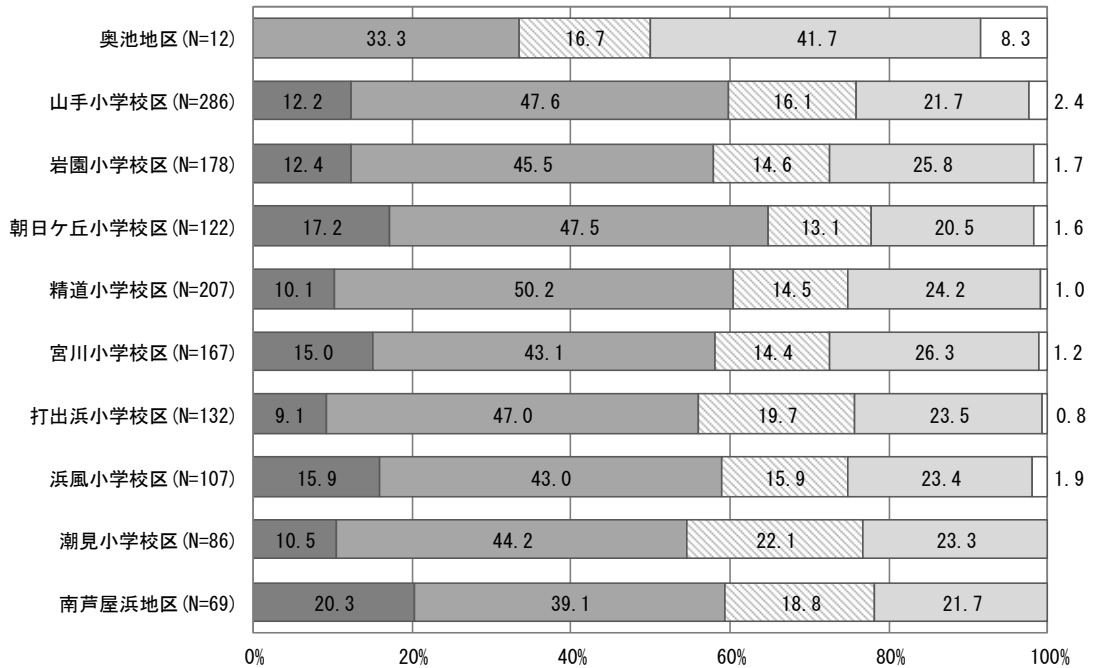


図 122 施策の評価（施策⑩：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が大幅に多い。

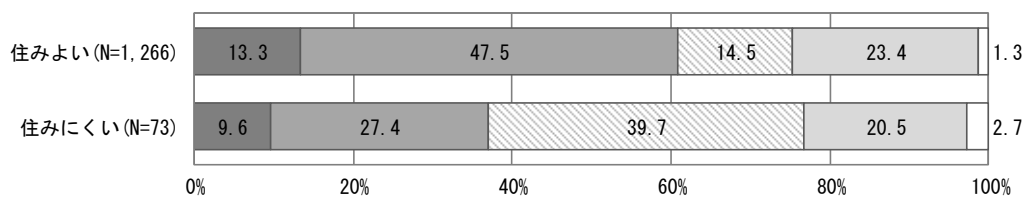


図 123 施策の評価（施策⑩：住みよさ別）

⑰障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる

◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 30.4%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 18.3%となっている。また、「わからない」が 49.7%で最も高い割合を占める。

◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

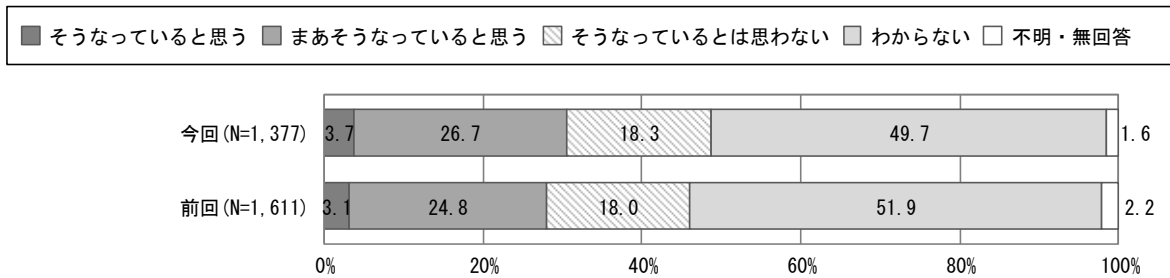


図 124 施策の評価（施策⑰）

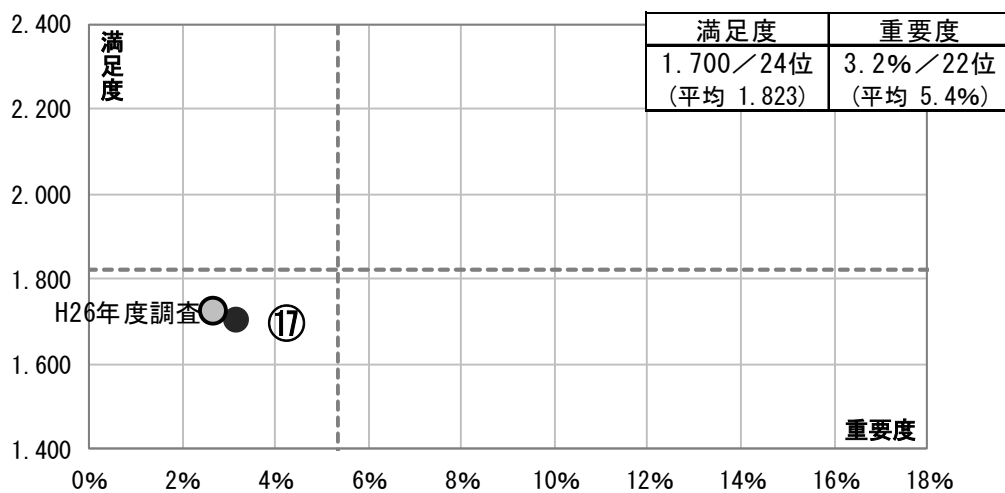


図 125 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑰）

◆性別では、女性は「わからない」の割合が半数を超えている。

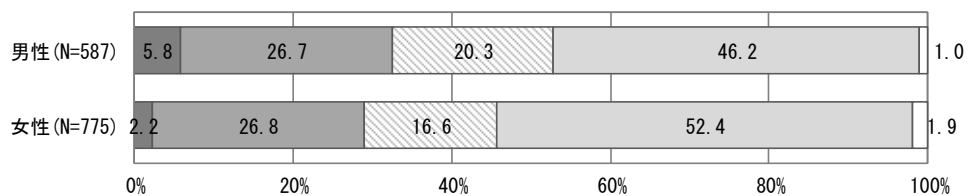


図 126 施策の評価（施策⑰：性別）

◆年代別では、すべての年代で「わからない」と回答した割合が最も高い。20歳代では他の年代に比べて肯定的な意見の割合が高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

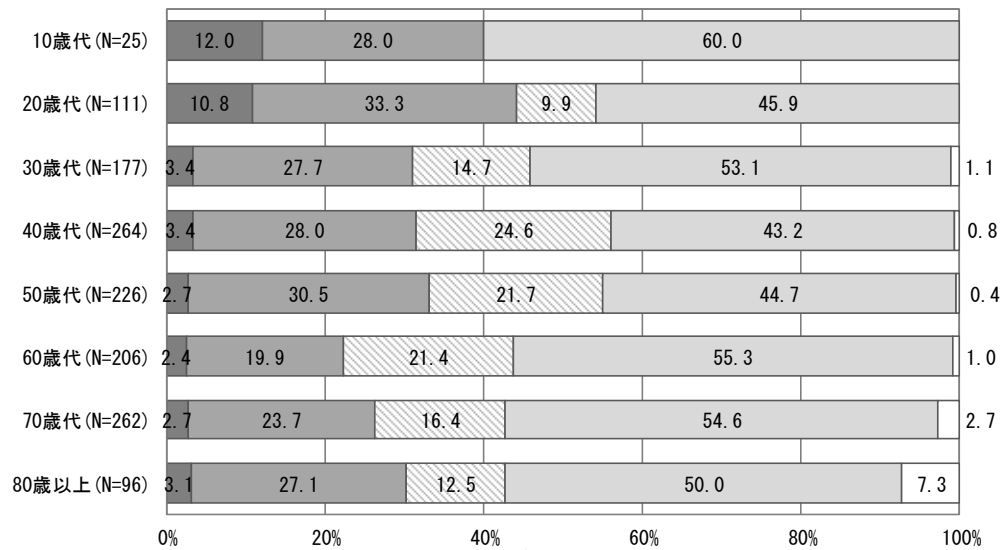


図 127 施策の評価（施策⑰：年代別）

◆地区別では、各地区とも肯定的意見が否定的意見を上回っているが、「わからない」が最も多く、山手小学校区、岩園小学校区、宮川小学校区では過半数を占める。

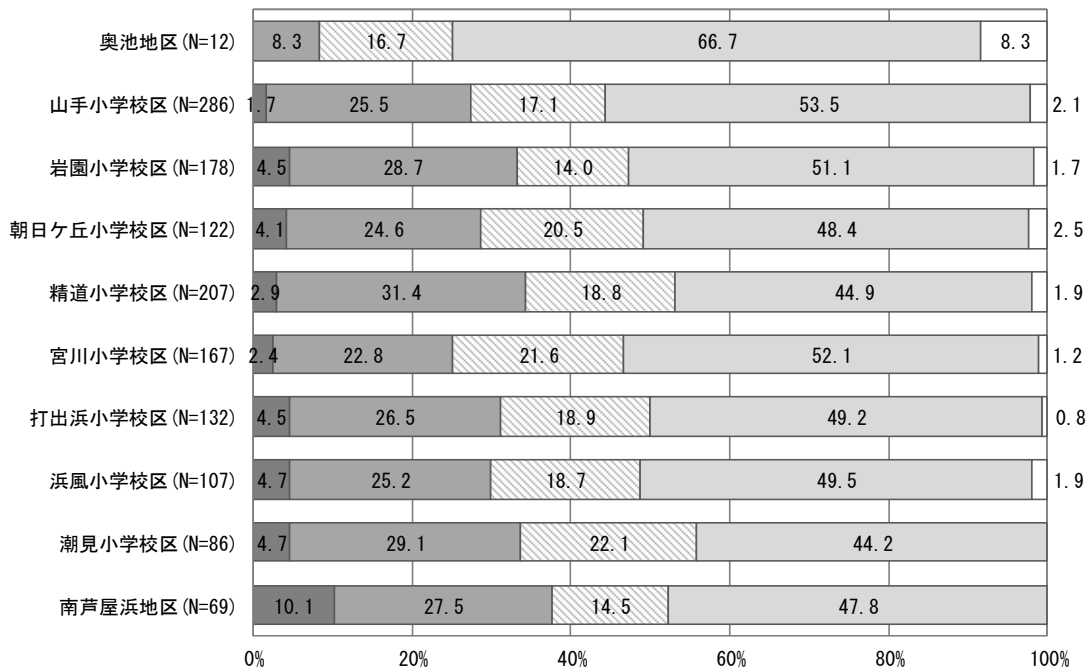


図 128 施策の評価（施策⑰：地区別）（*）

◆住みよさ別では、肯定的意見には大きな差は無いが、「住みよい」とする人では「わからない」が過半数となっている。

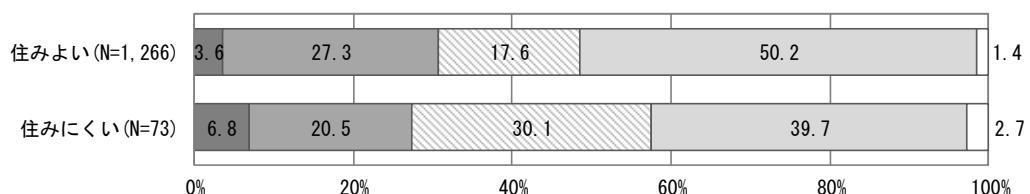


図 129 施策の評価（施策⑰：住みよさ別）（*）

⑱市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 60.4%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 12.9%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

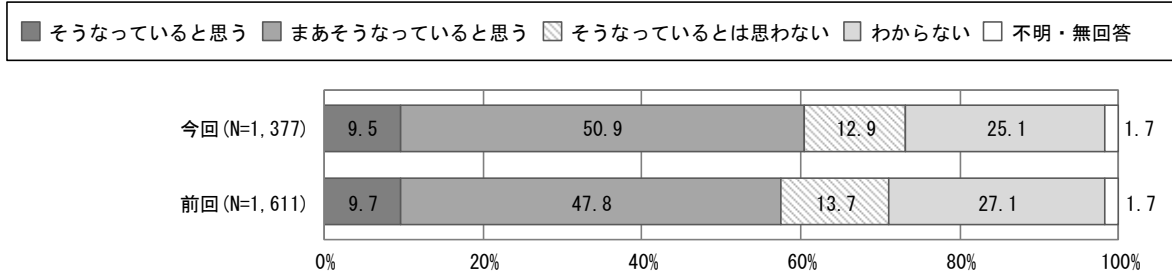


図 130 施策の評価（施策⑱）

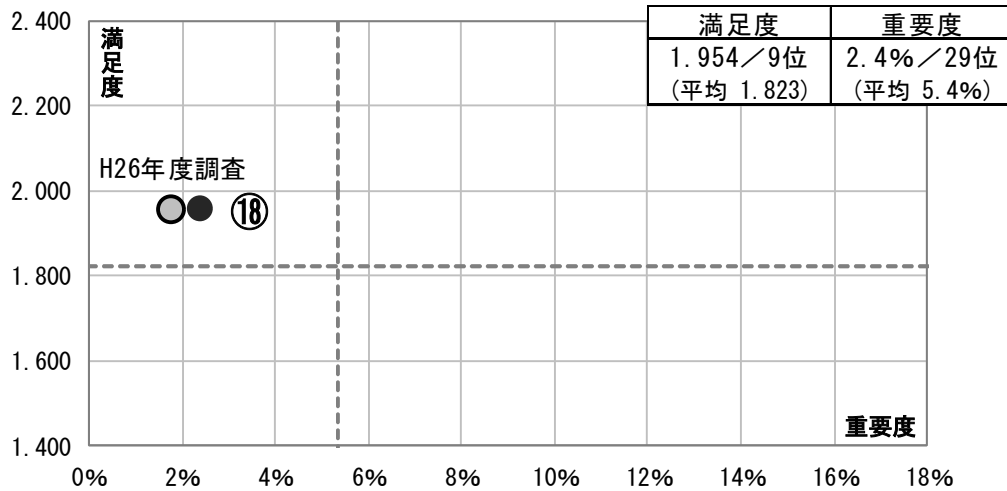


図 131 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑱）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

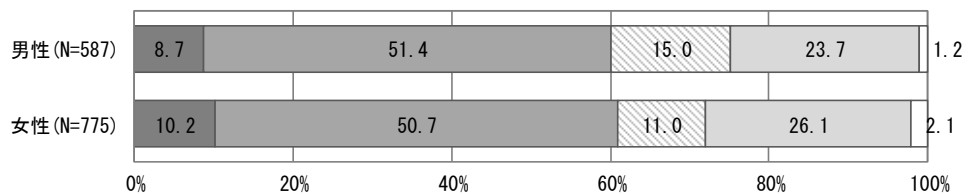


図 132 施策の評価（施策⑱：性別）(*)

◆年代別では、20～50歳代で肯定的な意見が高く6割を超え、若い人ほど評価が高い傾向である。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

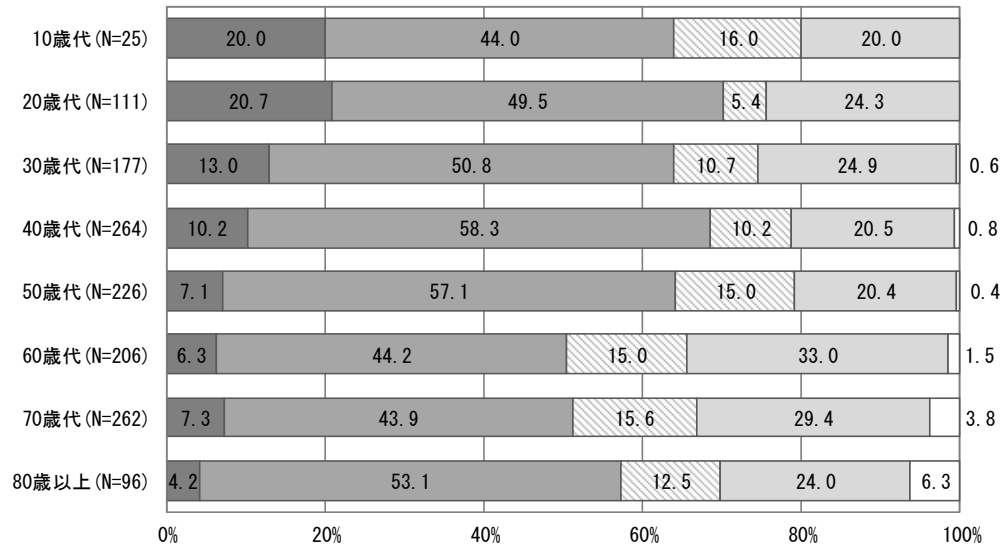


図 133 施策の評価（施策⑩：年代別）

◆地区別では、山手小学校区、岩園小学校区、精道小学校区では肯定的な回答が高く6割を超える。一方浜風小学校区は5割を下回っている。

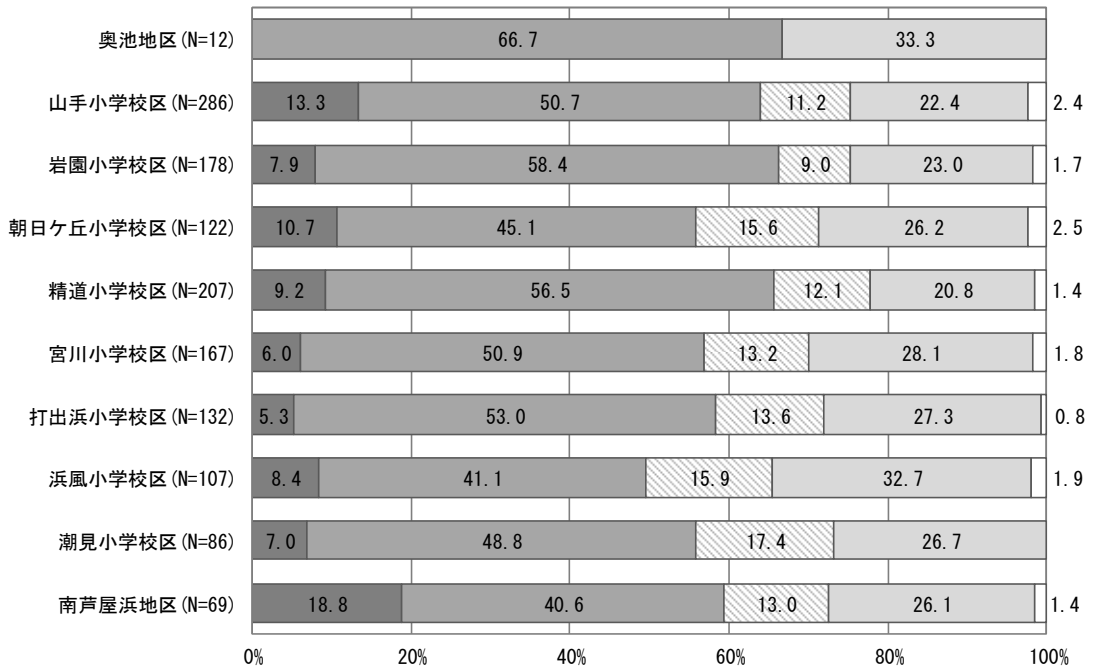


図 134 施策の評価（施策⑩：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

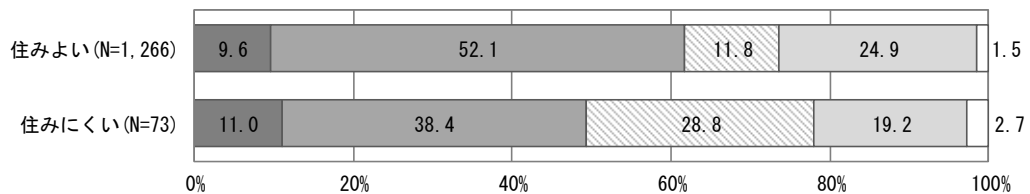


図 135 施策の評価（施策⑩：住みよさ別）

⑱犯罪が起きにくいまちになっている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 67.8%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 13.3%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆満足度、重要度ともに高い。

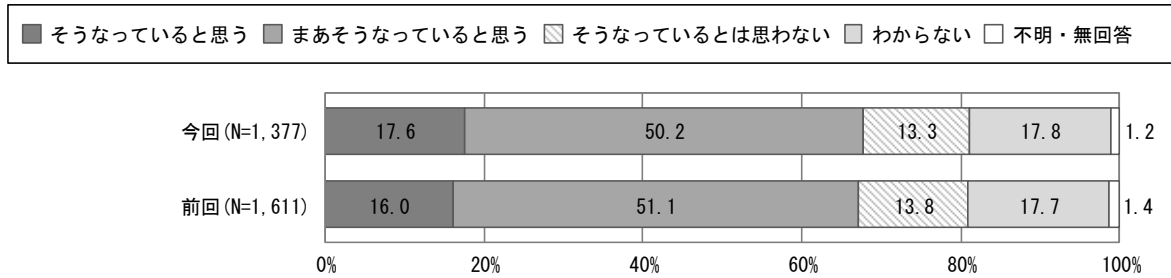


図 136 施策の評価（施策⑱）

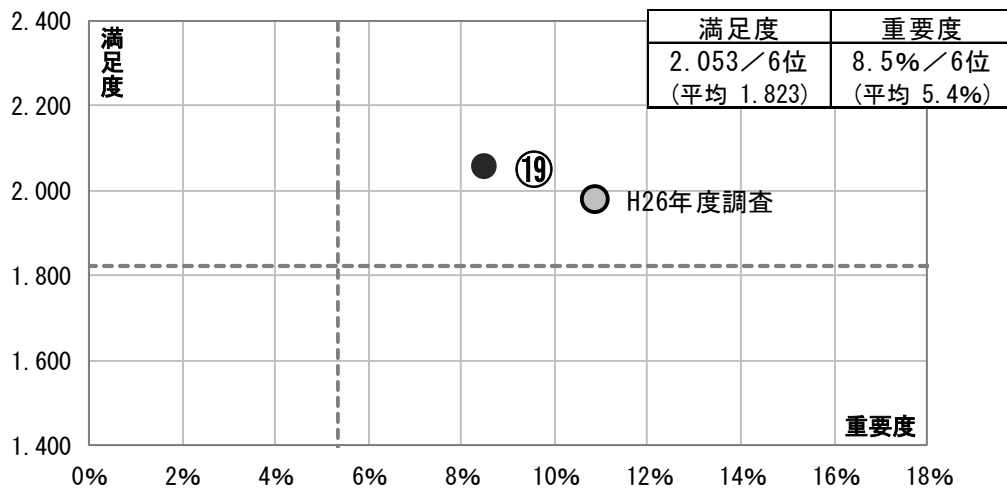


図 137 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑱）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

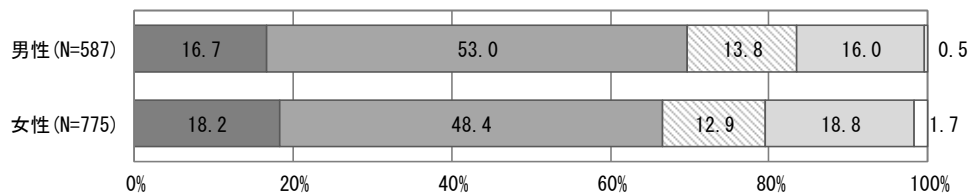


図 138 施策の評価（施策⑱：性別）(*)

◆年代別では、若い年代ほど、「そうなっていると思う」と回答した割合が高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

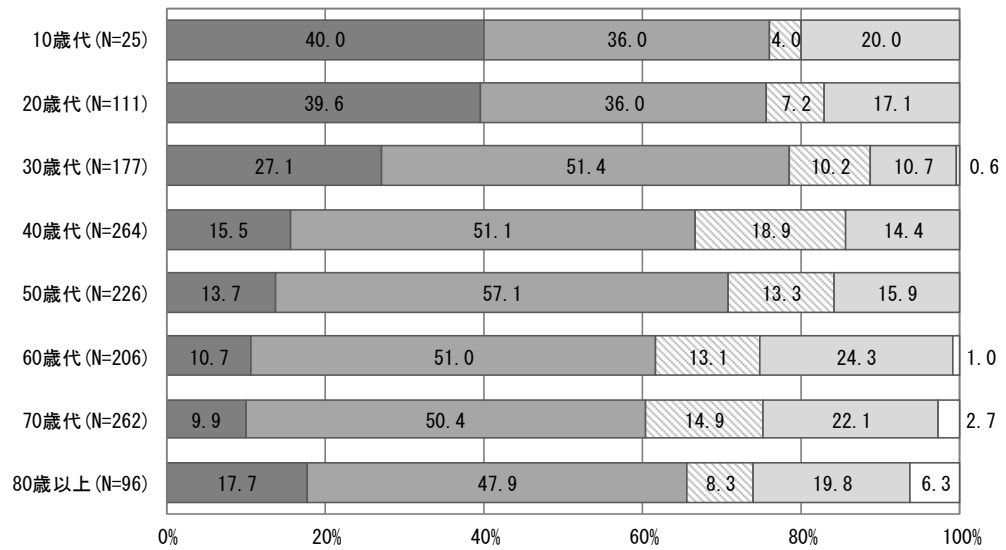


図 139 施策の評価（施策⑱：年代別）

◆地区別では、大きな違いはない。

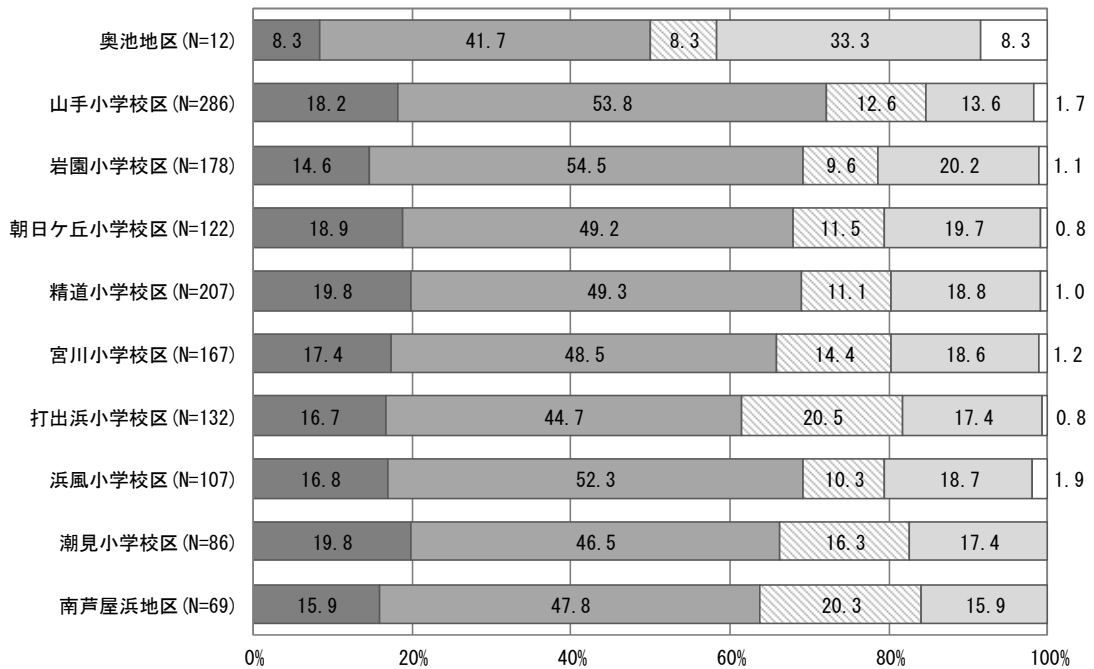


図 140 施策の評価（施策⑱：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

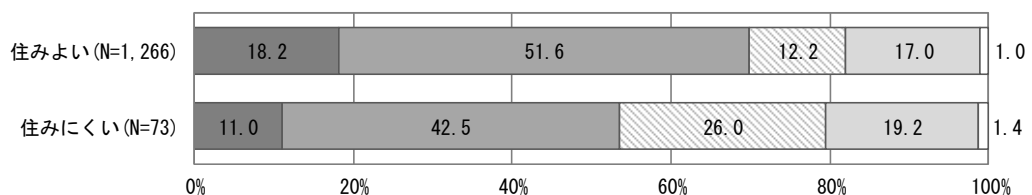


図 141 施策の評価（施策⑱：住みよさ別）

⑳家庭や地域、行政の防災力が向上している

- ◆「そうなっていると思う」と「まあそうなっていると思う」を合わせた肯定的意見は 55.8%，否定的意見の「そうなっていると思わない」は 18.7%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

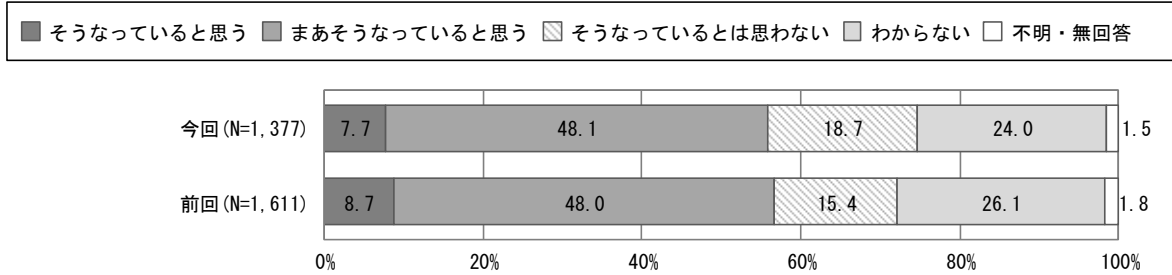


図 142 施策の評価（施策⑳）

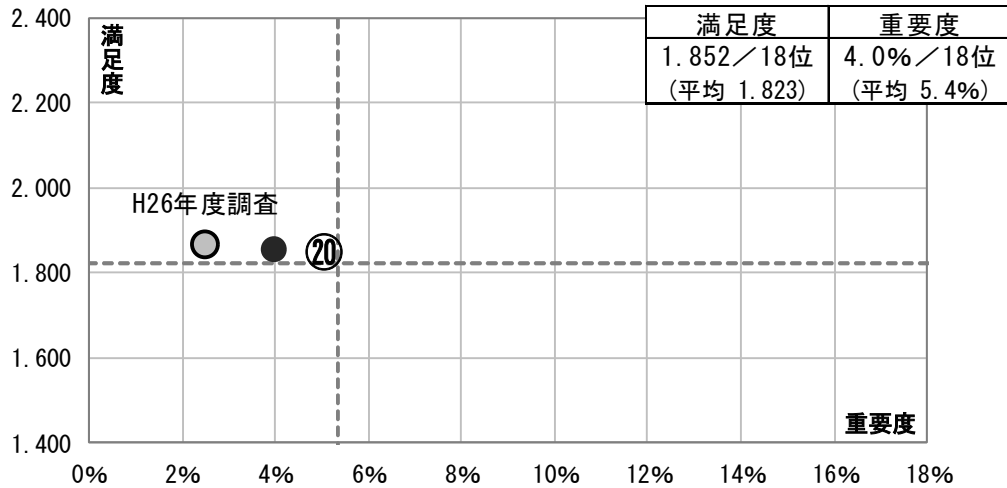


図 143 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑳）

- ◆性別では、肯定的な意見に大きな差はないが、「そうなっているとは思わない」は男性の方が多い。

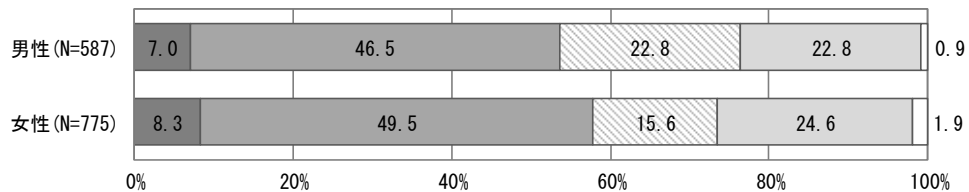


図 144 施策の評価（施策⑳：性別）

◆年代別では、60歳代を除く各年代で肯定的な意見が過半数となっている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

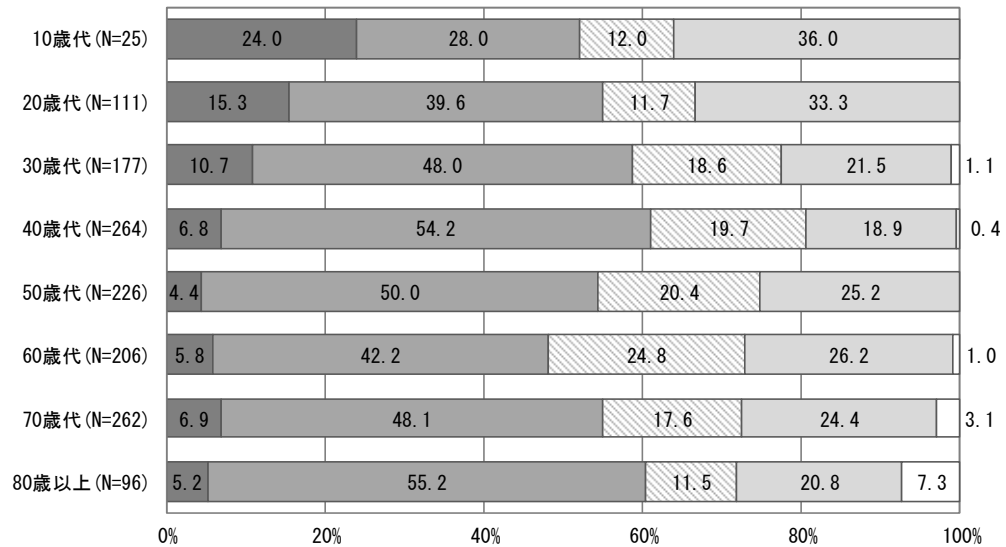


図 145 施策の評価（施策⑩：年代別）

◆地区別では、精道小学校区と浜風小学校区、潮見小学校区では、肯定的な回答の割合がやや低い。

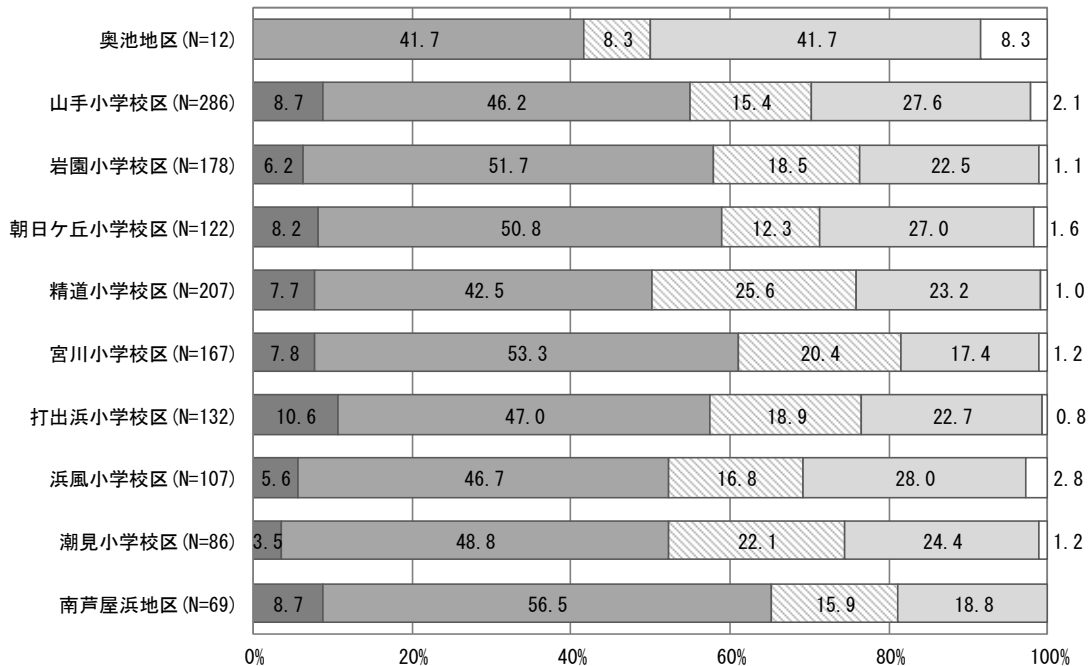


図 146 施策の評価（施策⑩：地区別）（*）

◆住みよさ別では、大きな差はない。

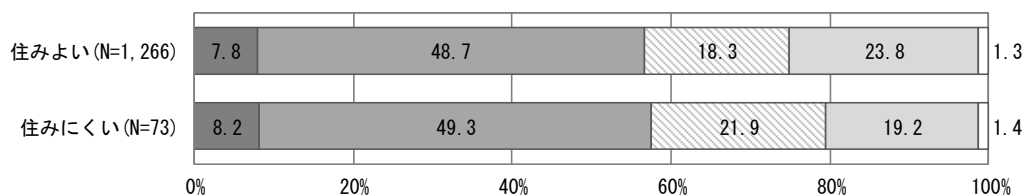


図 147 施策の評価（施策⑩：住みよさ別）

⑪災害に強い安全なまちづくりが進んでいる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 45.0%、否定的意見の「そうになっていると思わない」は 26.3%となっている。
- ◆前回との比較では、「そうになっていると思わない」と回答した割合が高くなっている。
- ◆重要度は最も高いが、満足度は中位である。

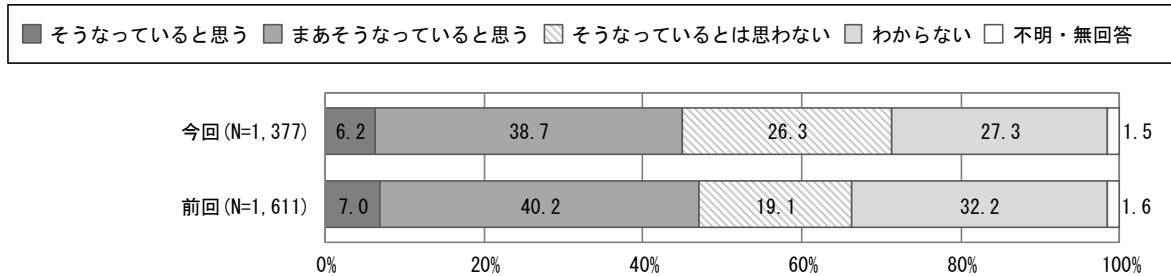


図 148 施策の評価（施策⑪）

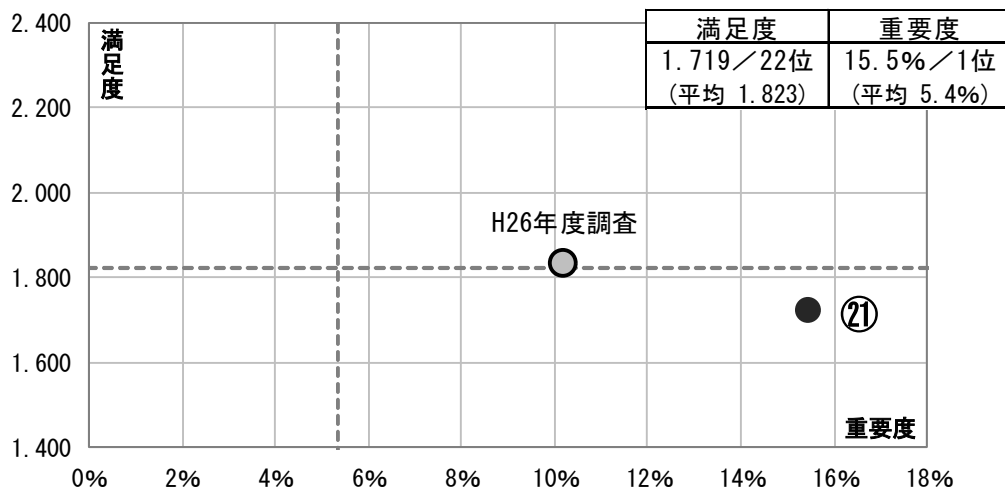


図 149 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑪）

- ◆性別では、肯定的な意見に大きな差はないが、「そうになっていると思わない」は男性の方が多い。

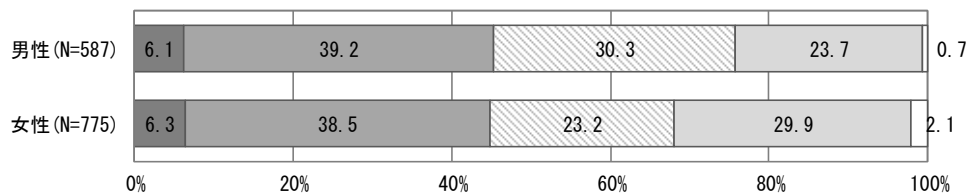


図 150 施策の評価（施策⑪：性別）(*)

◆年代別では、肯定的な回答が、20歳代と80歳以上で高く過半数を占め、一方、60歳代が最も低く4割を下回る。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

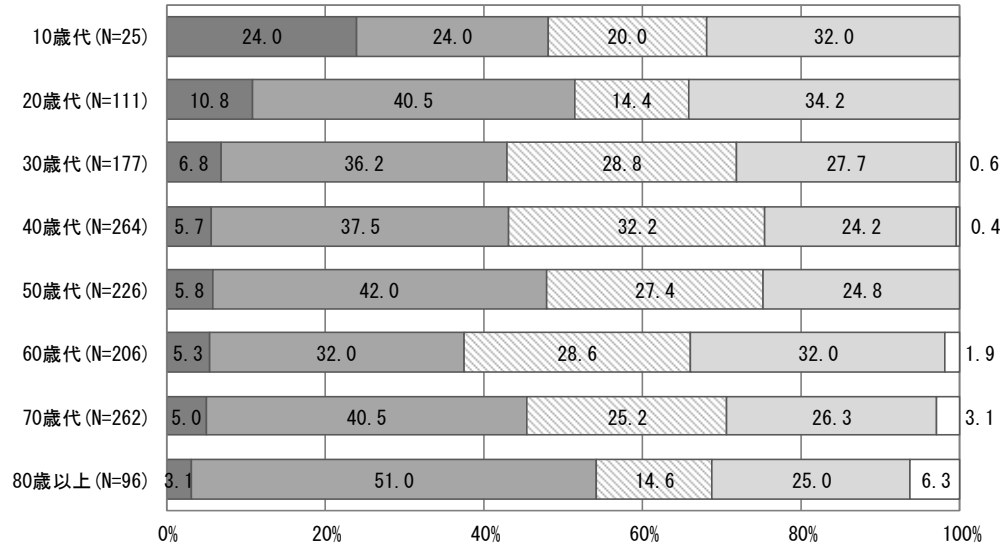


図 151 施策の評価（施策⑳：年代別）

◆地区別では、肯定的回答の割合が朝日ヶ丘小学校区、南芦屋浜地区で高く5割を超えるが、潮見小学校区ではやや低い。

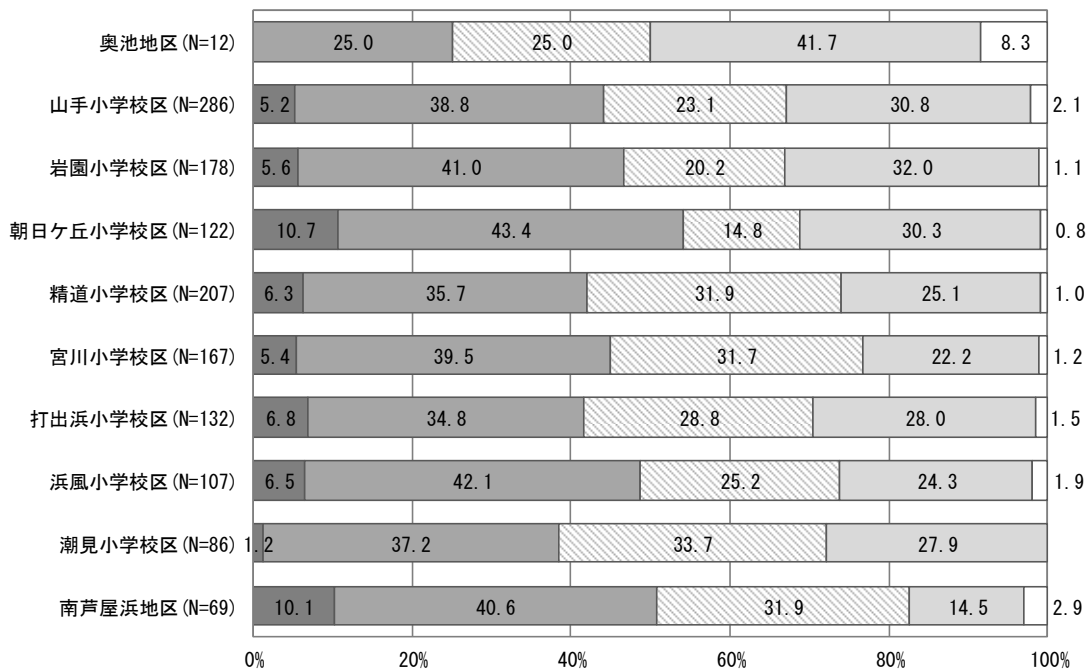


図 152 施策の評価（施策⑳：地区別）

◆住みよさ別では、大きな差はない。

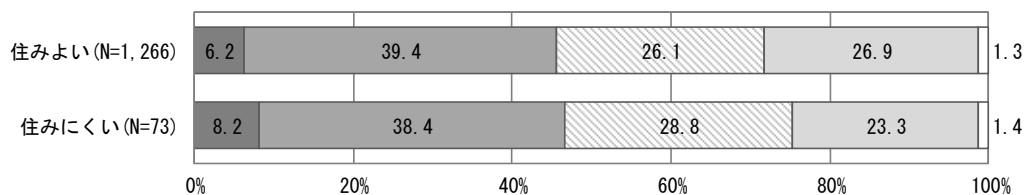


図 153 施策の評価（施策⑳：住みよさ別）

②自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 81.6%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 7.3%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆満足度が2位と高い。

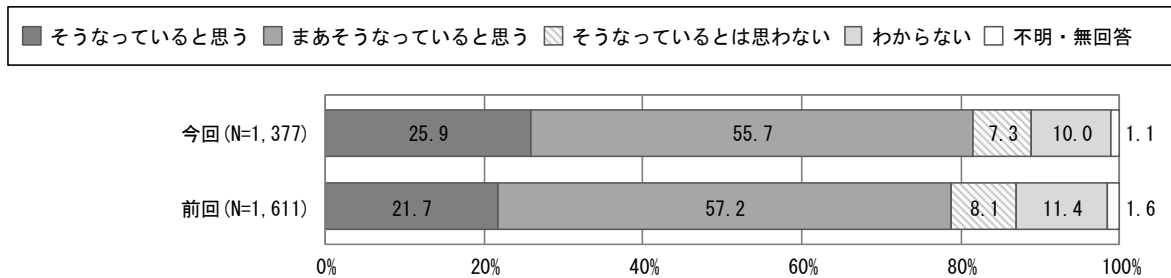


図 154 施策の評価（施策②）

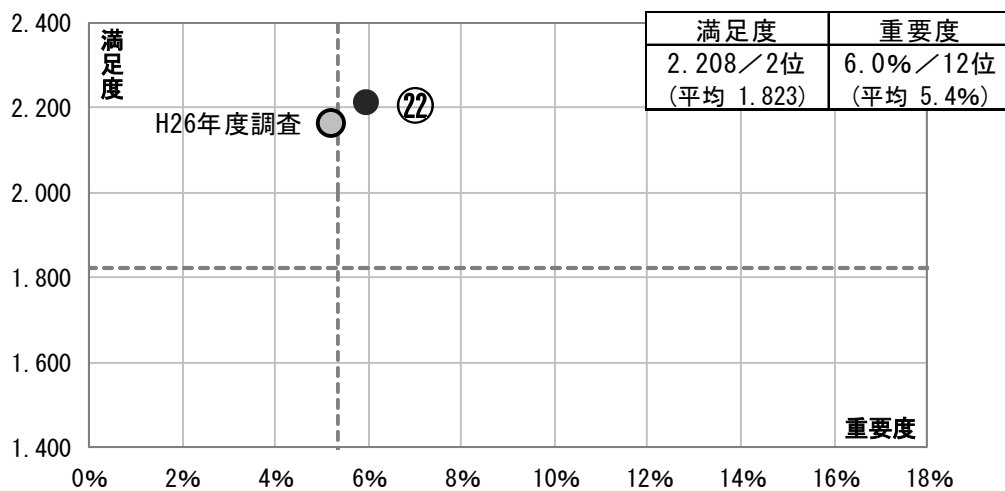


図 155 重要度と満足度から見た施策の評価（施策②）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

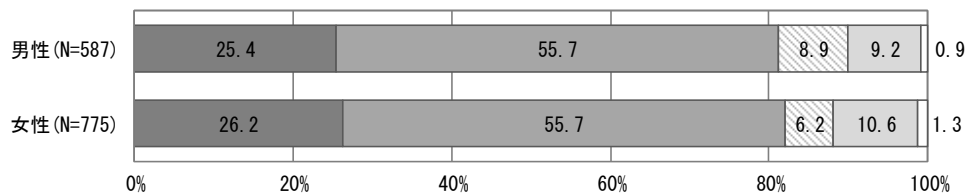


図 156 施策の評価（施策②：性別）(*)

◆年代別では、肯定的な回答は各世代とも高いが、「そうなっていると思う」は30歳代以下では高く、60・70歳代では低い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

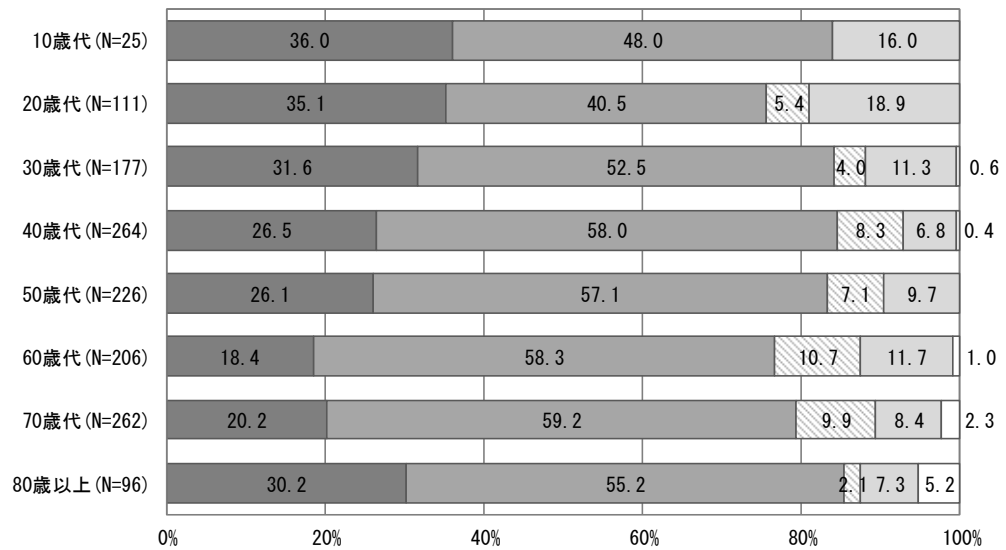


図 157 施策の評価（施策②：年代別）

◆地区別では、各地区とも肯定的回答が8割弱～9割弱を占め、特に浜風小学校区、潮見小学校区、南芦屋浜地区が高くなっている。

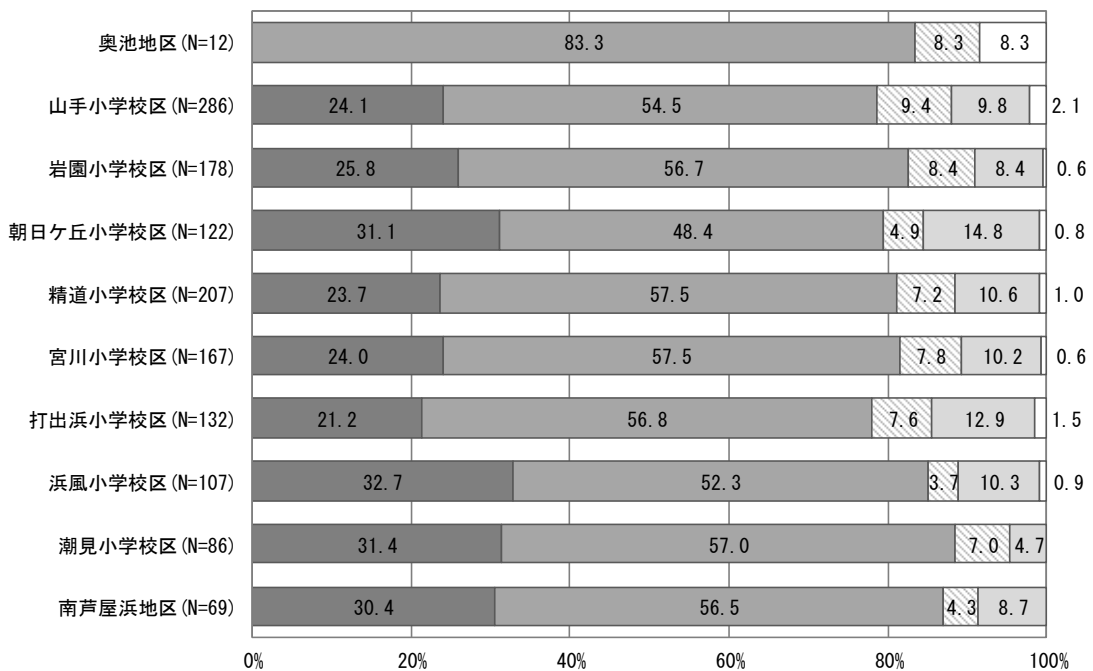


図 158 施策の評価（施策②：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

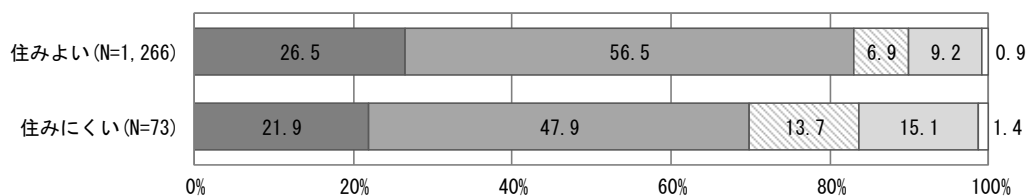


図 159 施策の評価（施策②：住みよさ別）

②③建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 78.6%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 11.8%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆満足度が3位と高い。

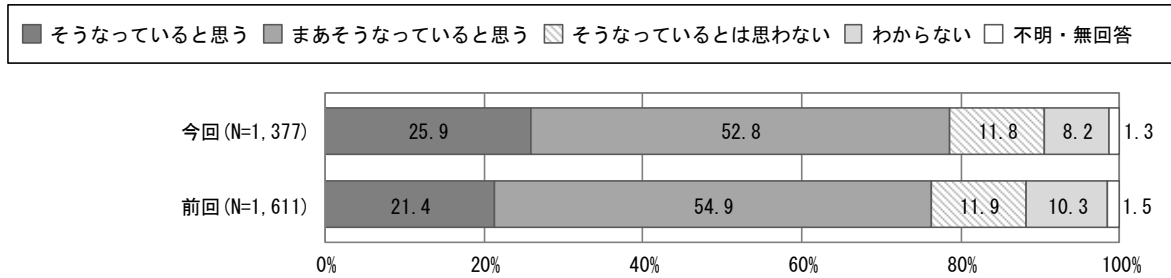


図 160 施策の評価（施策②③）

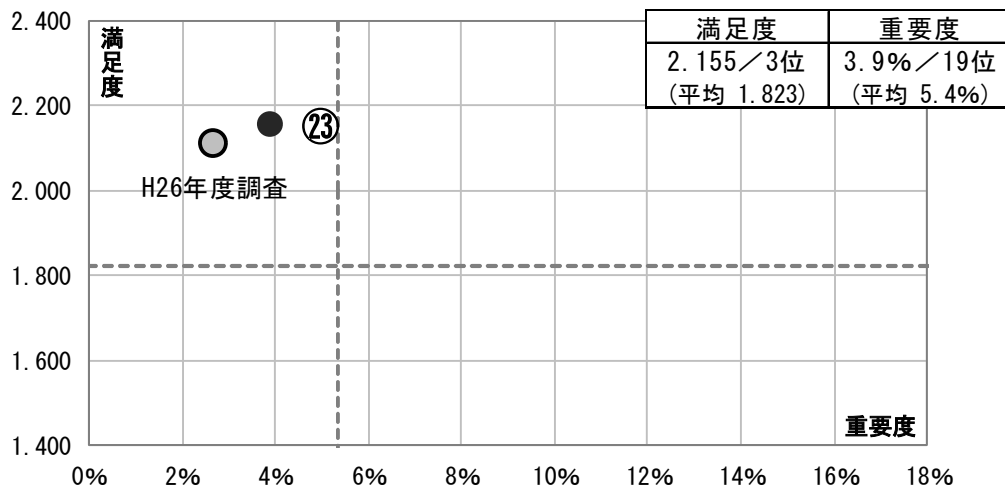


図 161 重要度と満足度から見た施策の評価（施策②③）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

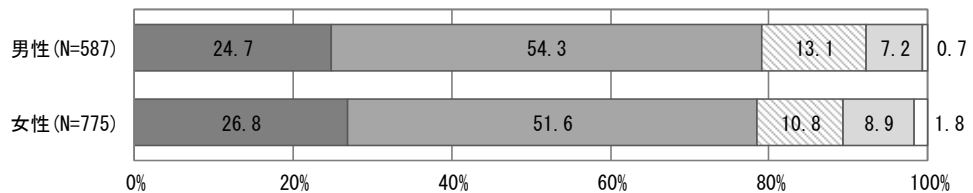


図 162 施策の評価（施策②③：性別）(*)

◆年代別では、「そうなっていると思う」は若い世代ほど多く、20・30歳代では3割を超えている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

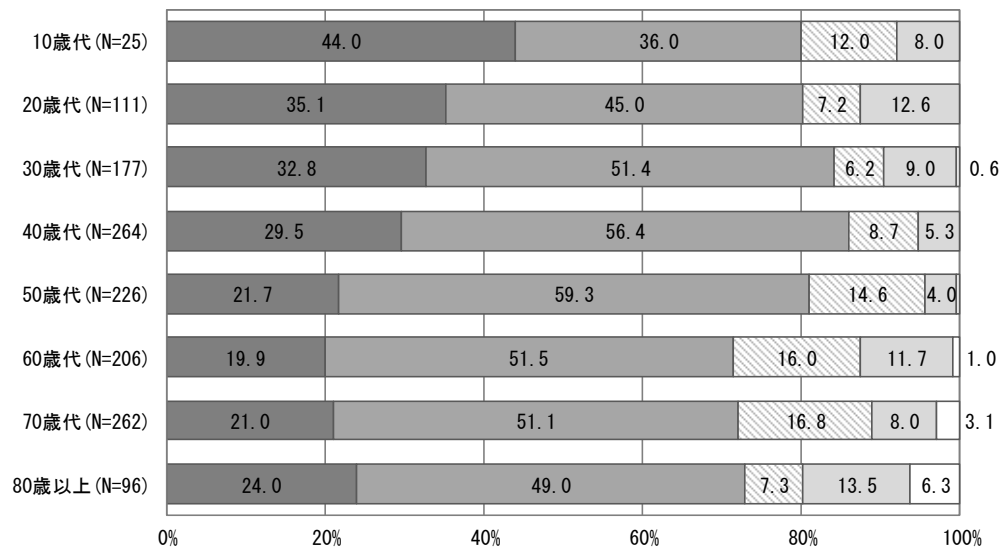


図 163 施策の評価（施策⑳：年代別）

◆地区別では、各地区とも肯定的な回答が7割以上と高く、特に南芦屋浜地区では、「そうなっていると思う」という回答の割合が高い。

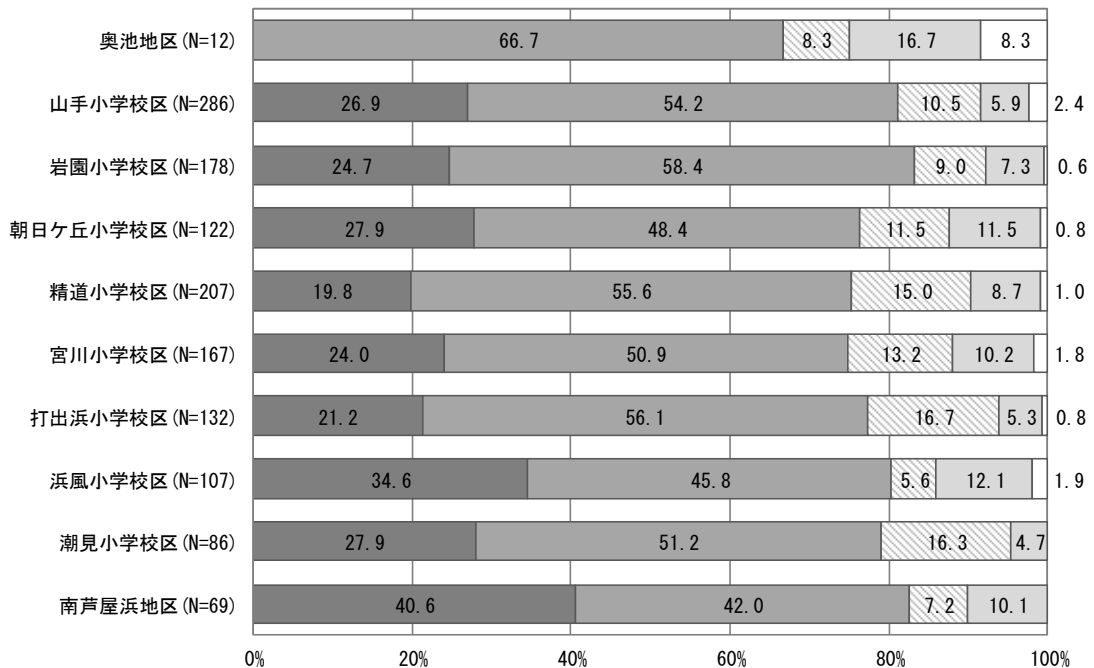


図 164 施策の評価（施策⑳：地区別）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

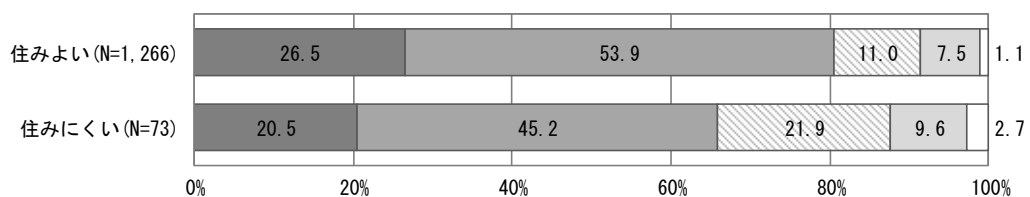


図 165 施策の評価（施策⑳：住みよさ別）

⑭環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 70.5%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 12.9%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆満足度が5位と高い。

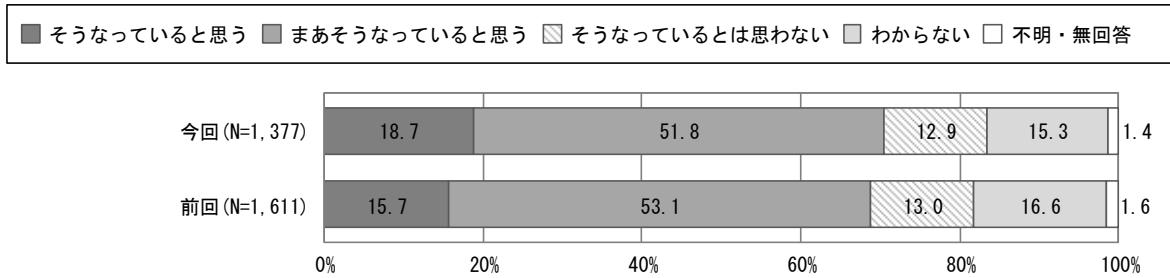


図 166 施策の評価（施策⑭）

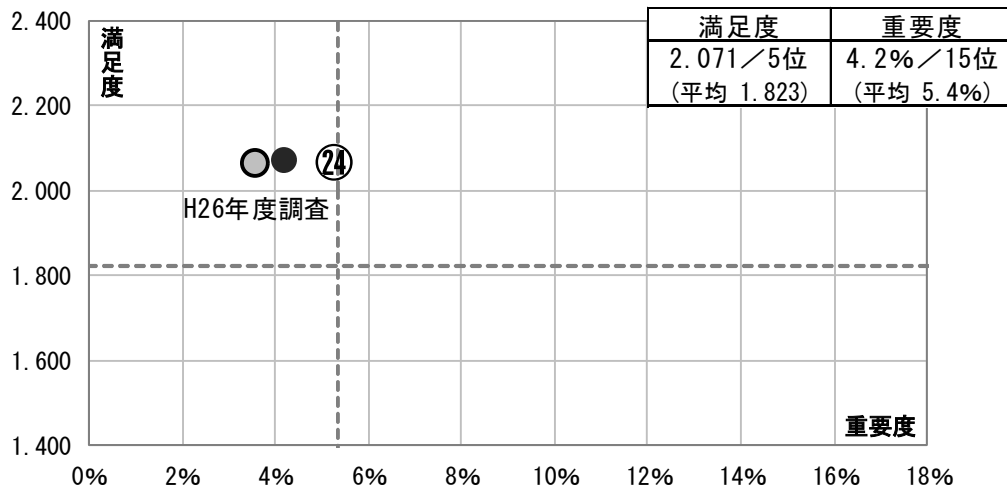


図 167 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑭）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

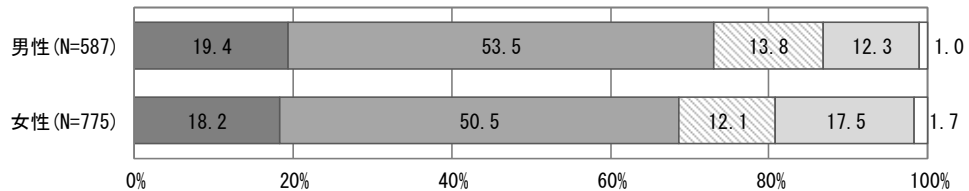


図 168 施策の評価（施策⑭：性別）(*)

◆年代別では、各年代とも肯定的な回答の割合が6割以上で、特に40歳代では8割を占めている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

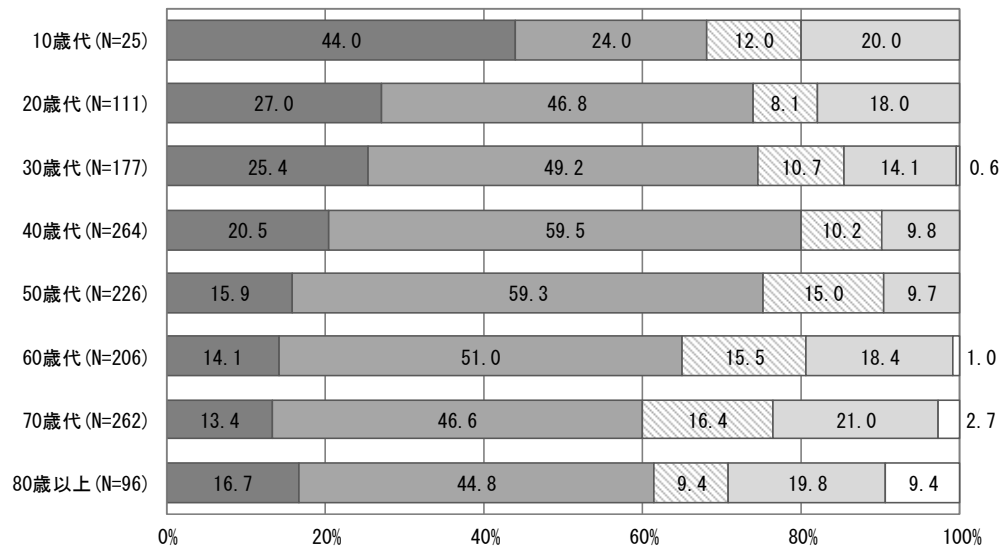


図 169 施策の評価（施策⑳：年代別）

◆地区別では、大きな違いは無い。

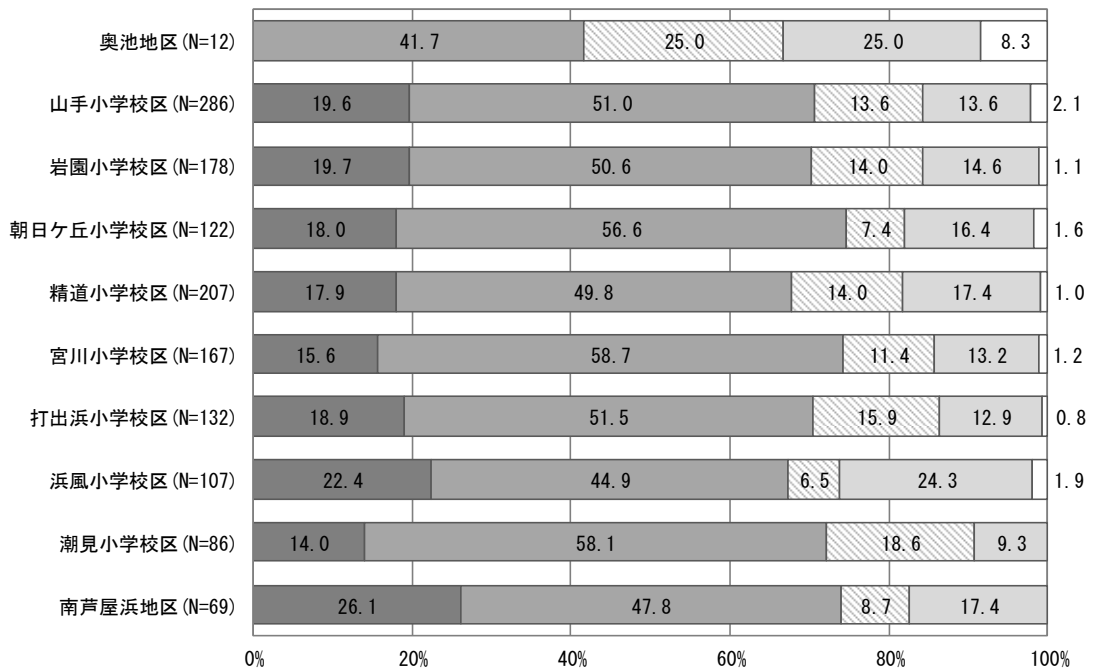


図 170 施策の評価（施策⑳：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

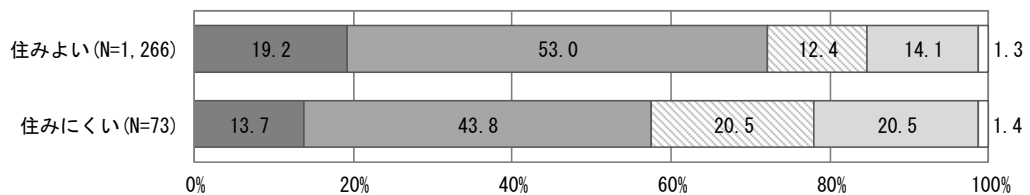


図 171 施策の評価（施策⑳：住みよさ別）

②⑤清潔なまちづくりが進んでいる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 84.9%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 7.8%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆満足度が最も高い項目である。

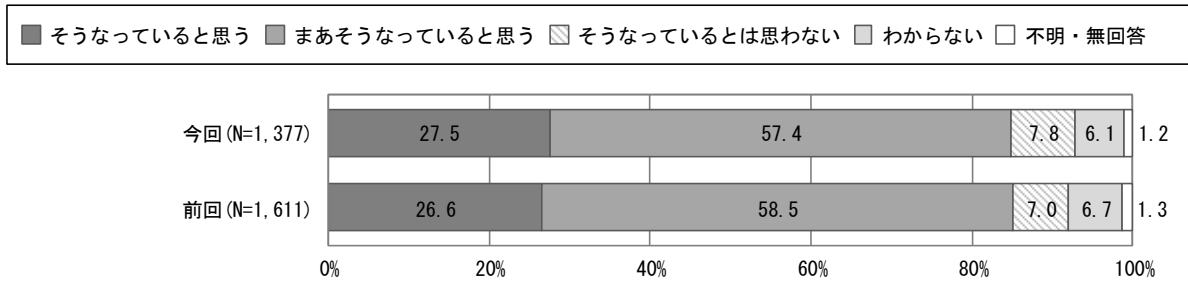


図 172 施策の評価（施策②⑤）

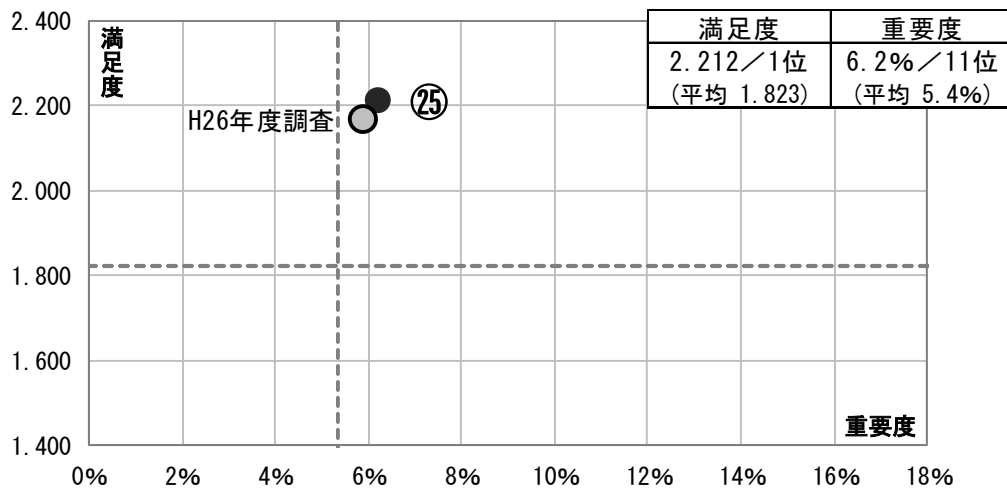


図 173 重要度と満足度から見た施策の評価（施策②⑤）

- ◆性別では、男女で大きな差はなく、ともに肯定的な意見が多い。

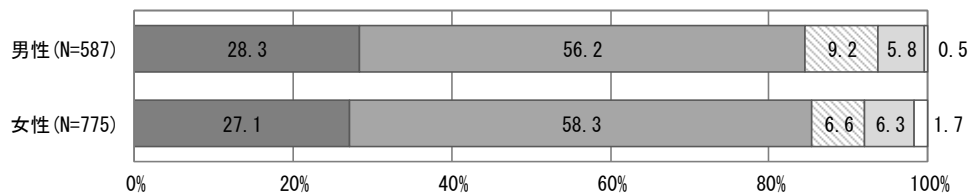


図 174 施策の評価（施策②⑤：性別）(*)

◆年代別では、各年代とも肯定的回答が多いが、若い世代ほど「そうなっていると思う」が多く、20歳代では4割となっている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

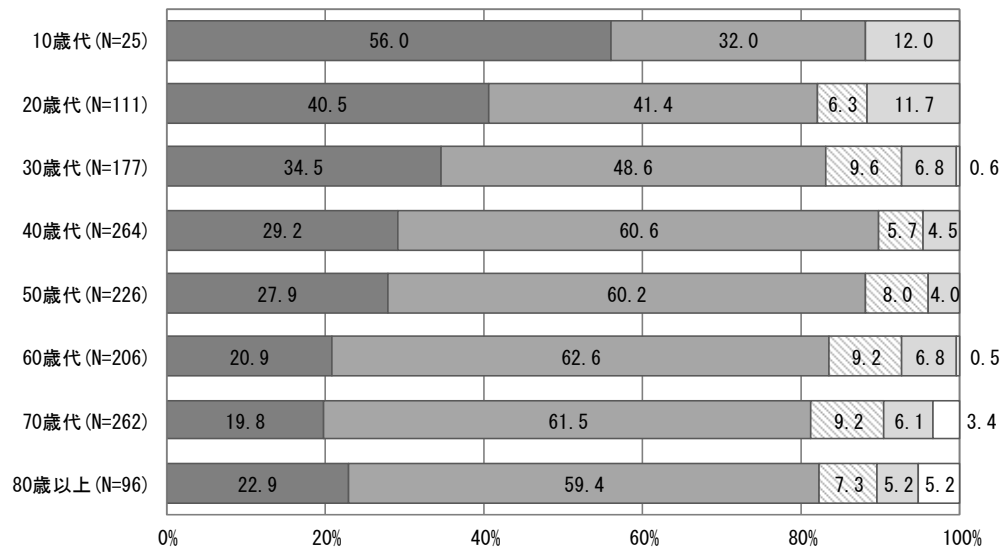


図 175 施策の評価（施策⑳：年代別）

◆地区別では、大きな違いは無い。

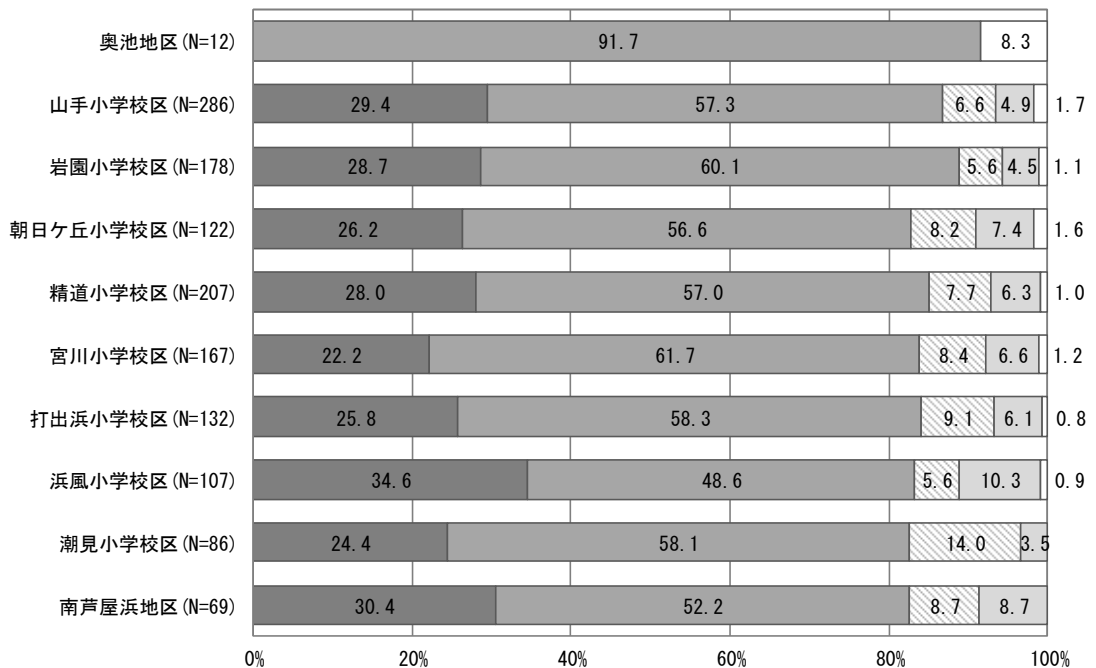


図 176 施策の評価（施策⑳：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

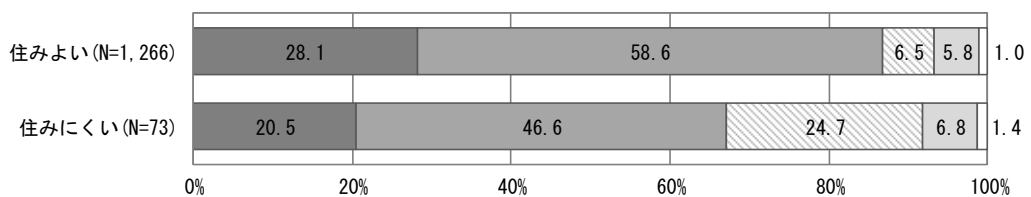


図 177 施策の評価（施策⑳：住みよさ別）

②⑥交通ルールやマナーに関する意識が高まっている

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 50.8%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 31.8%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆重要度が 4 位と高いが、満足度は中位である。

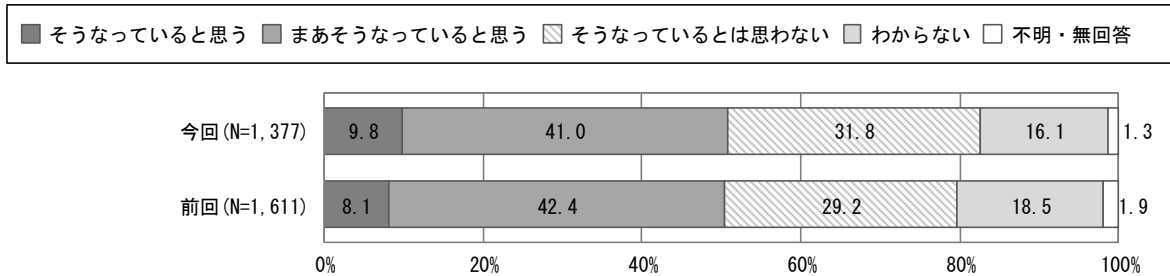


図 178 施策の評価（施策②⑥）

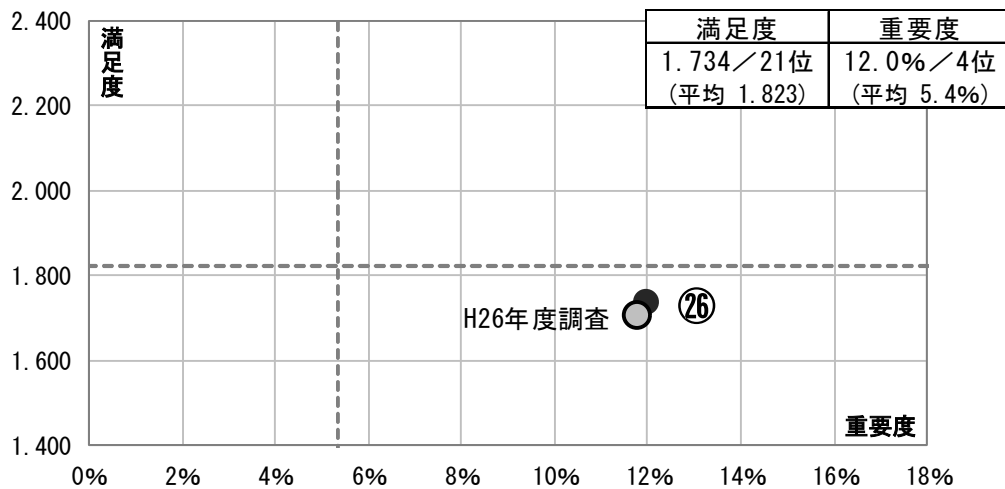


図 179 重要度と満足度から見た施策の評価（施策②⑥）

- ◆性別では、男女で大きな違いは無い。

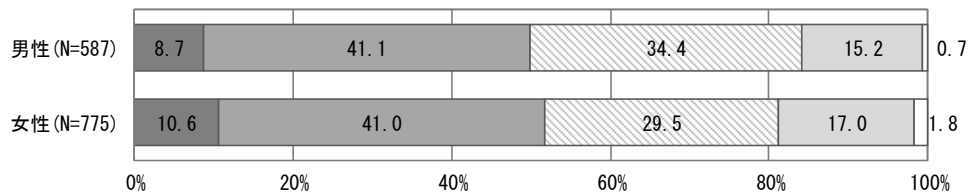


図 180 施策の評価（施策②⑥：性別）(*)

◆年代別では、「そうなっていると思う」という回答の割合が20歳代以下で高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

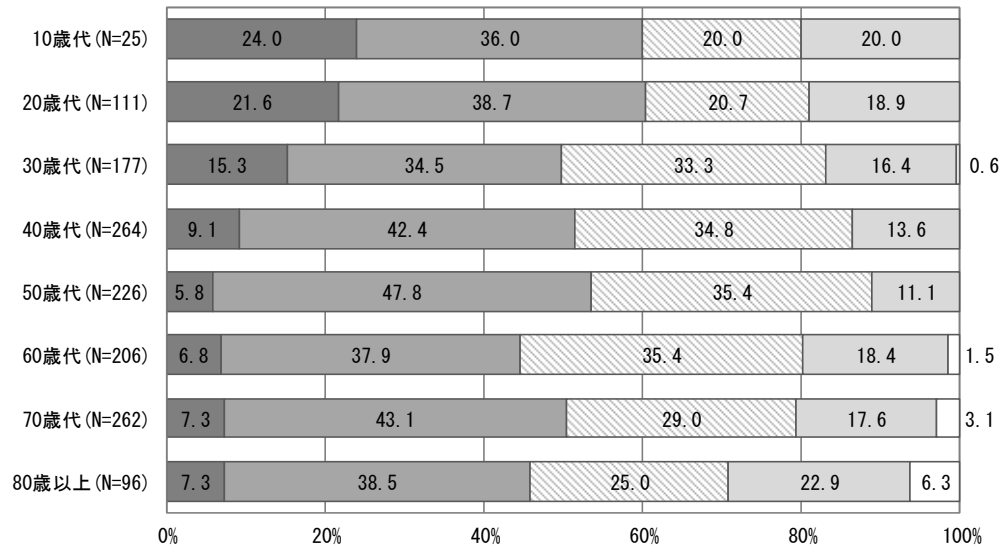


図 181 施策の評価（施策②⑥：年代別）

◆地区別では、大きな違いはない。

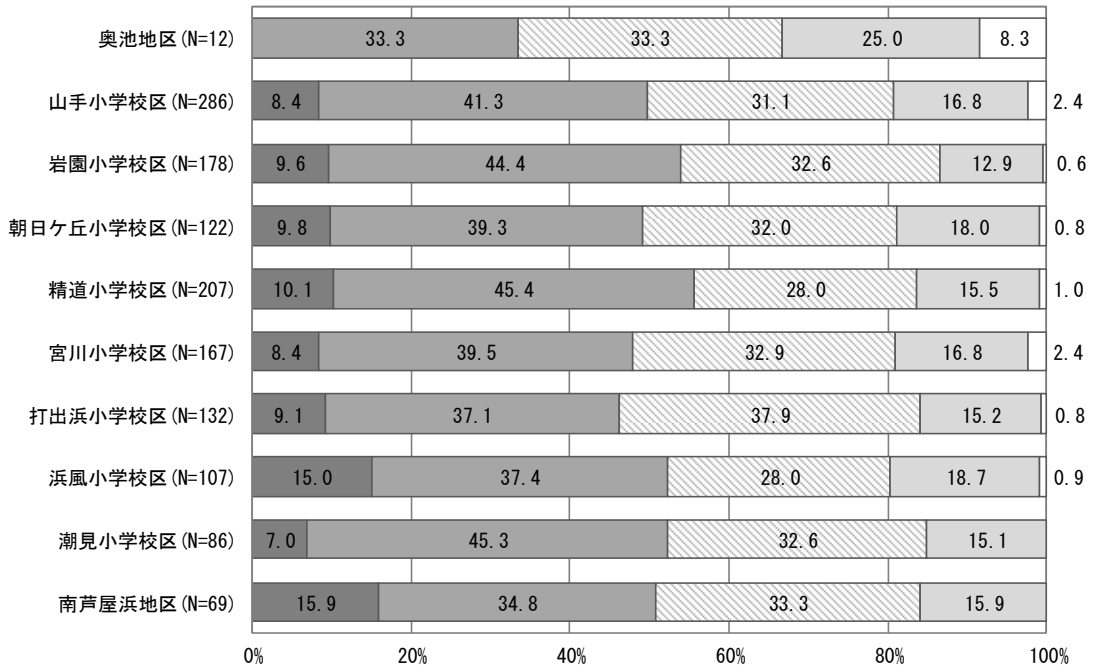


図 182 施策の評価（施策②⑥：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

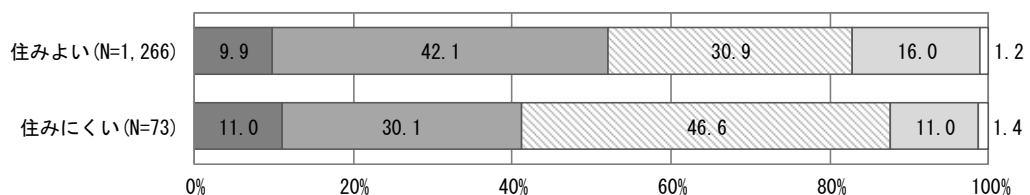


図 183 施策の評価（施策②⑥：住みよさ別）

⑰公共施設などのバリアフリー化が進んでいる

- ◆「そうなっていると思う」と「まあそうなっていると思う」を合わせた肯定的意見は 54.9%、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は 20.3%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

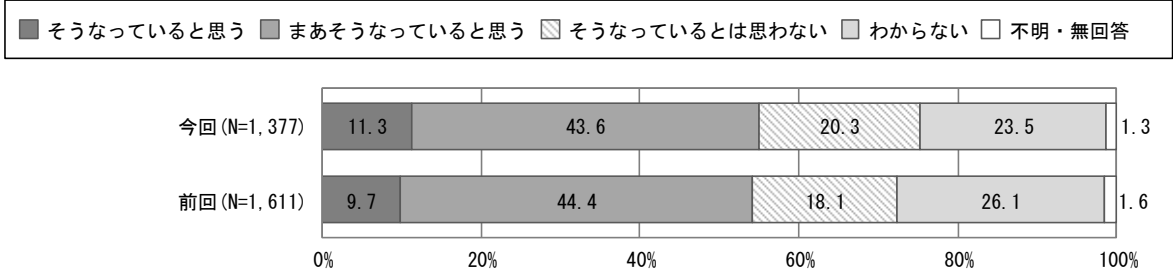


図 184 施策の評価（施策⑰）

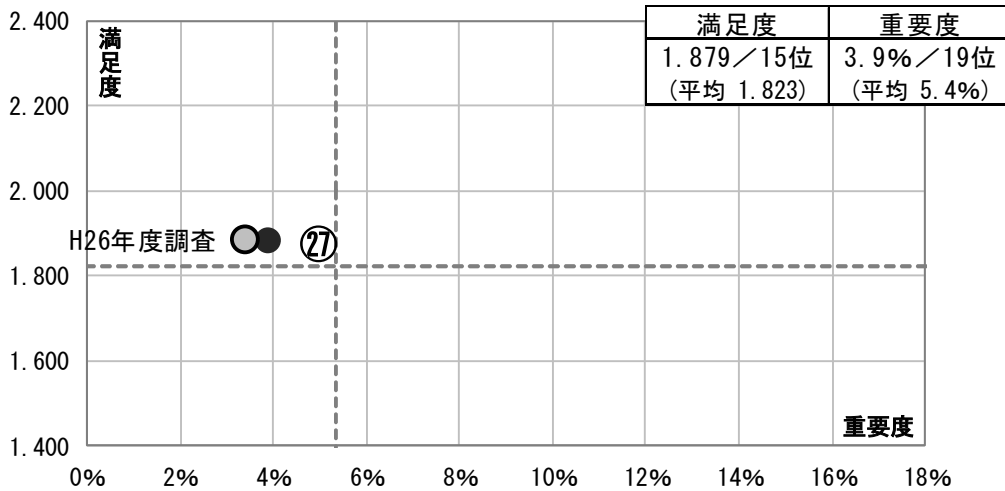


図 185 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑰）

- ◆性別では、大きな違いはない。

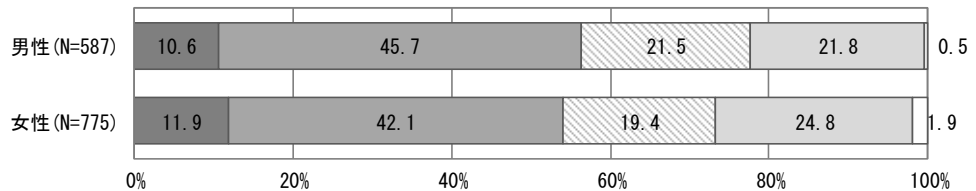


図 186 施策の評価（施策⑰：性別）(*)

◆年代別では、肯定的な回答の割合が20～70歳代で過半数を占め、また「そうになっている」は年齢が低い方が高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

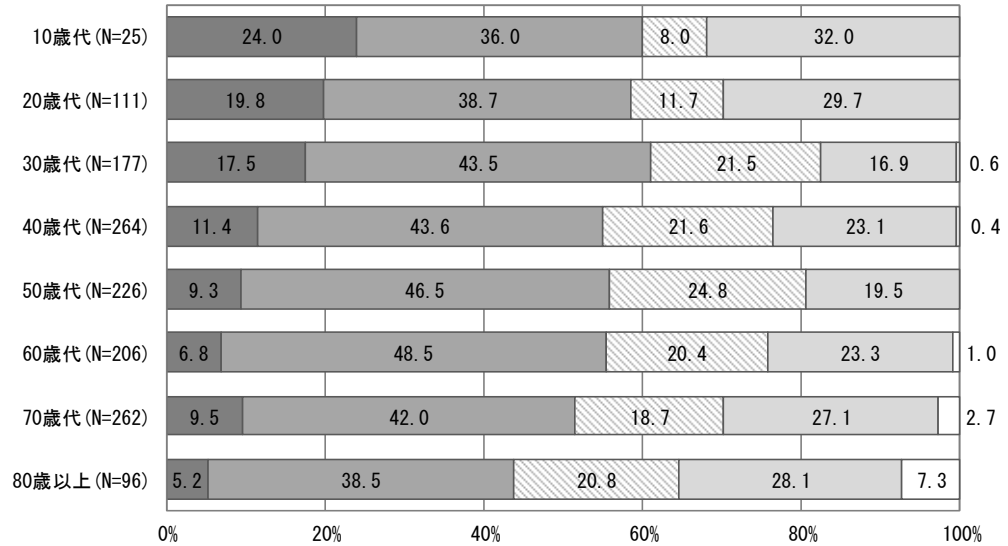


図 187 施策の評価（施策⑦：年代別）

◆地区別では、肯定的な回答は、打出浜小学校区、南芦屋浜地区、宮川小学校区では6割を超えて高く、一方、山手小学校区では5割を下回る。

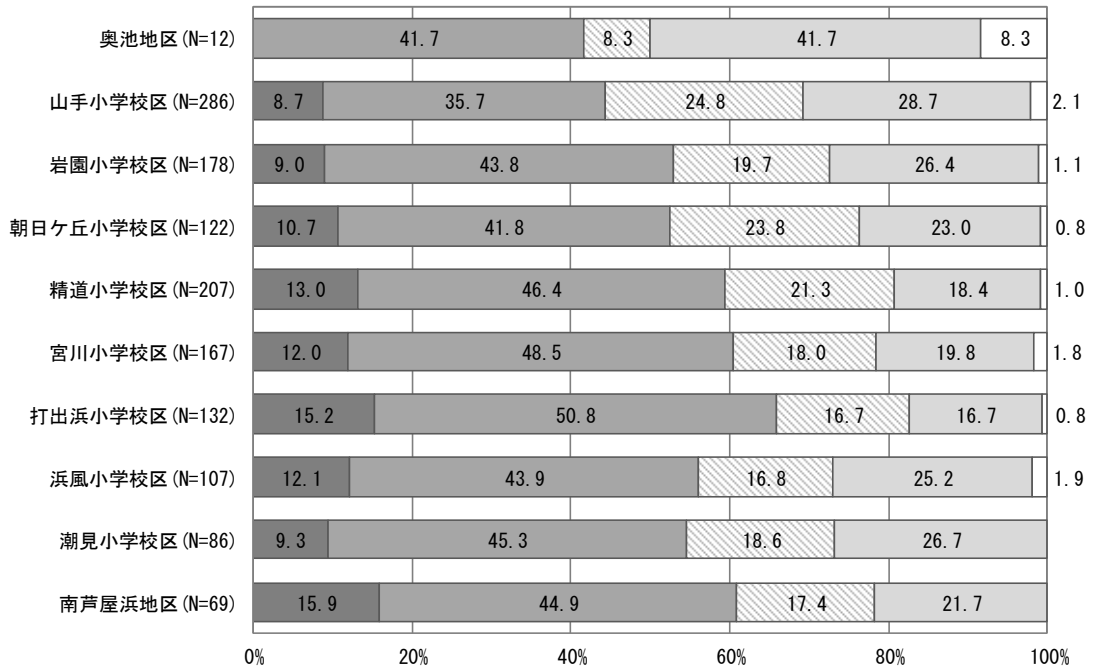


図 188 施策の評価（施策⑦：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

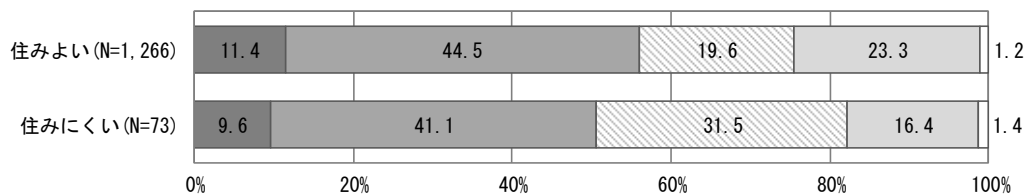


図 189 施策の評価（施策⑦：住みよさ別）

⑳市内を安全かつ快適に移動できる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 64.1%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 24.3%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

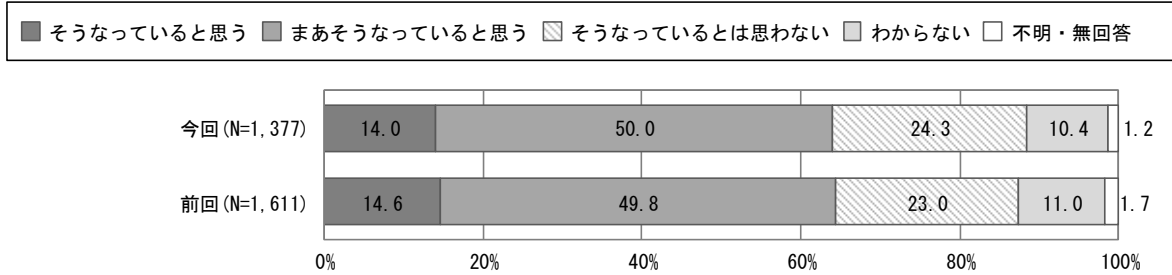


図 190 施策の評価（施策⑳）

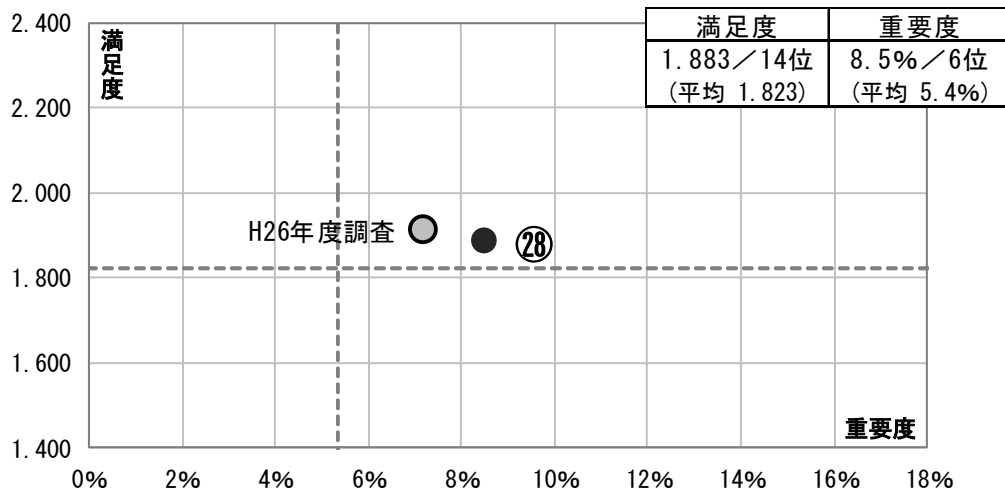


図 191 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑳）

- ◆性別では、男女で大きな違いはない。

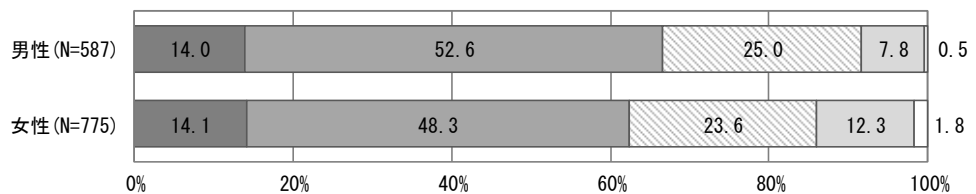


図 192 施策の評価（施策⑳：性別）(*)

◆年代別では、肯定的回答は各世代とも過半数で高く、30歳代以下では「そうなっていると思う」と回答した割合が高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

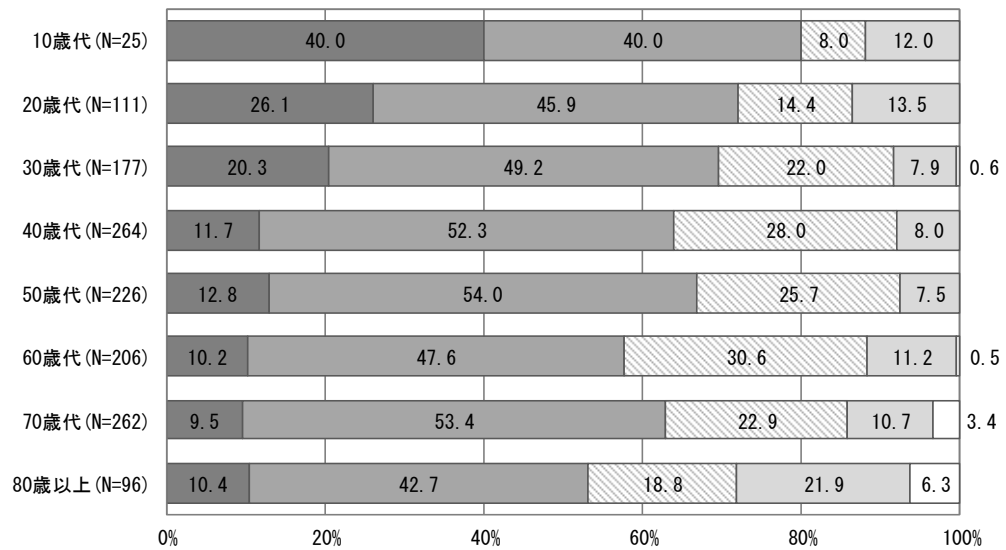


図 193 施策の評価（施策⑳：年代別）

◆地域別では、大きな違いはない。

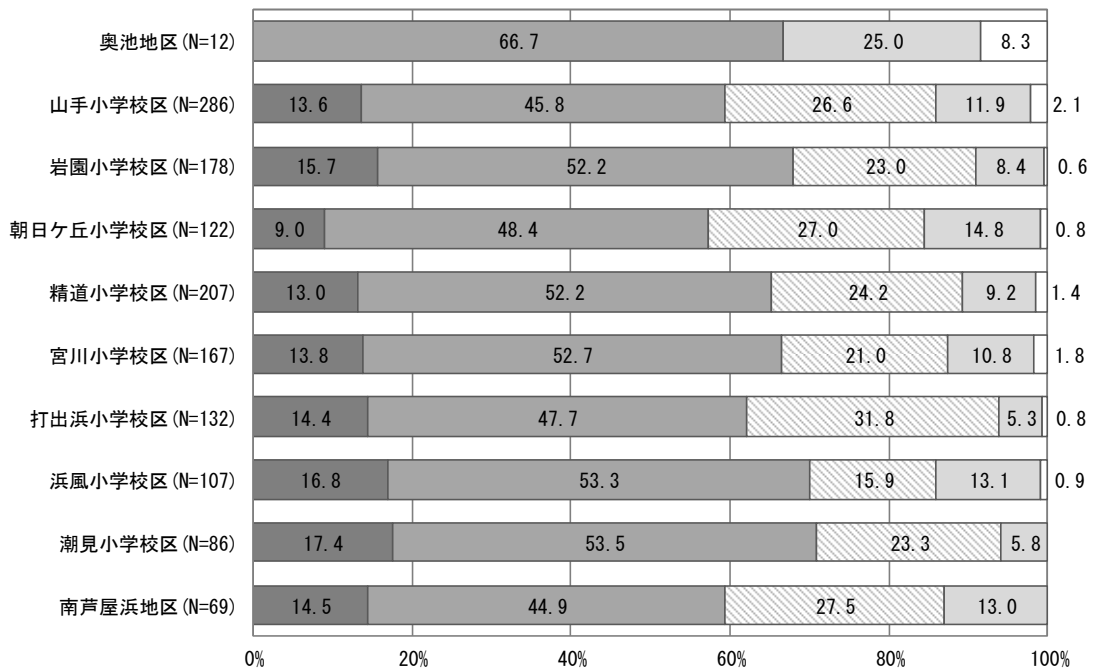


図 194 施策の評価（施策⑳：地区別）（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

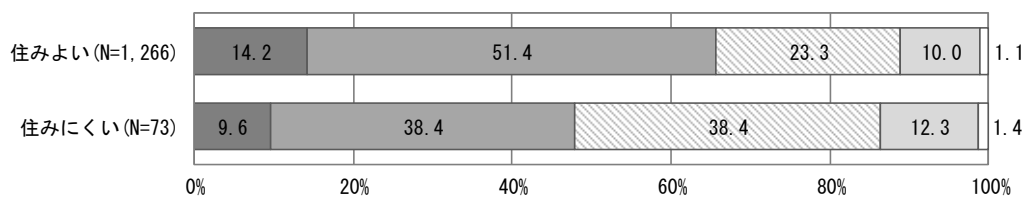


図 195 施策の評価（施策⑳：住みよさ別）

⑳良質なすまいづくりが進んでいる

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 64.6%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 11.7%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

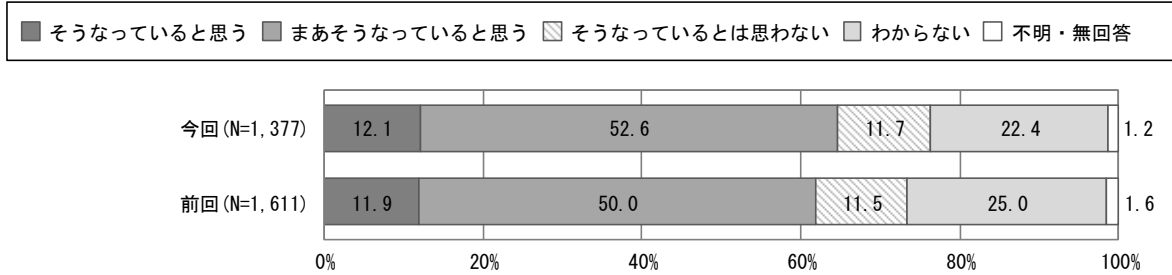


図 196 施策の評価（施策⑳）

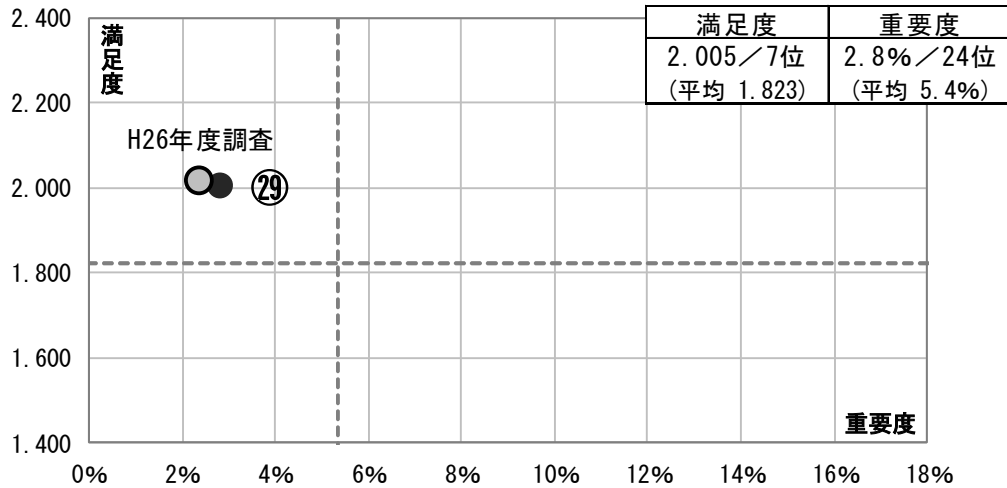


図 197 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑳）

- ◆性別では、男性の方が肯定的な回答が多く、女性は「わからない」という回答が多い。

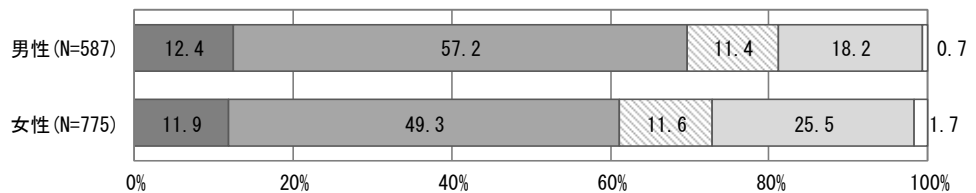


図 198 施策の評価（施策⑳：性別）

◆年代別では、肯定的回答は各世代とも過半数で高く、30歳代以下では「そうなっていると思う」と回答した割合が高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

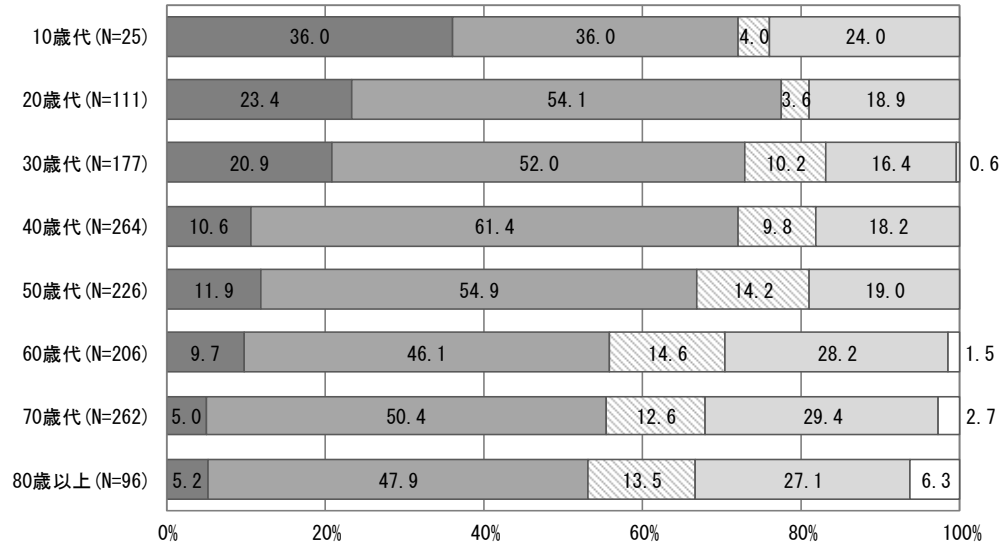


図 199 施策の評価（施策⑳：年代別）

◆地区別では、大きな違いはない。

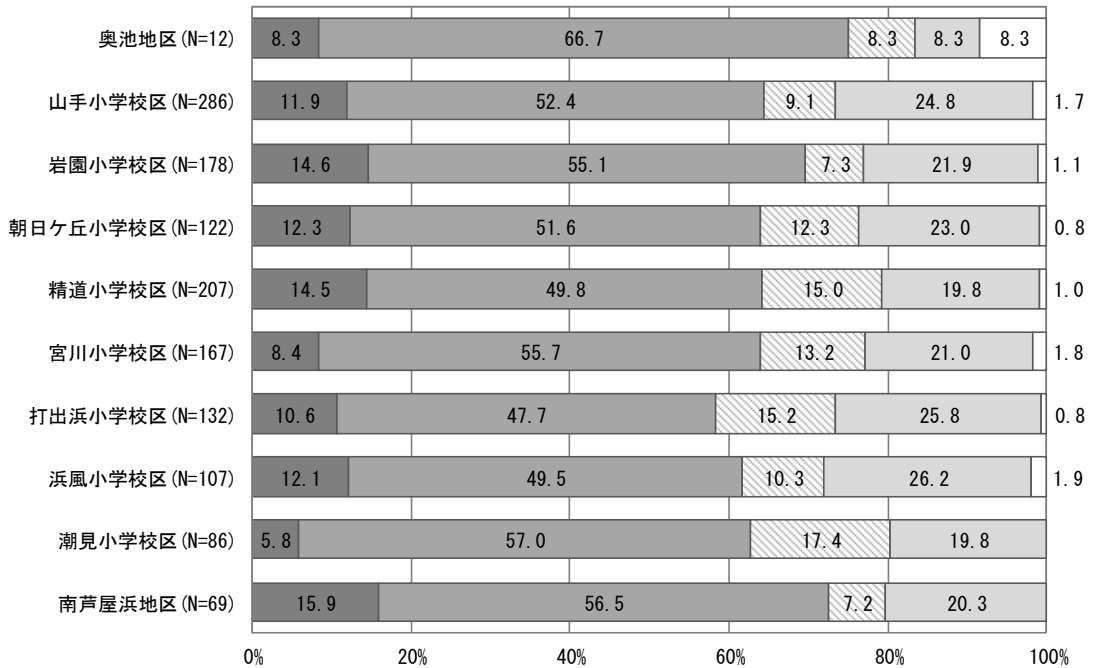


図 200 施策の評価（施策⑳：地区別）（*）

◆住みよさ別では、肯定的な回答が「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人を大きく上回る。

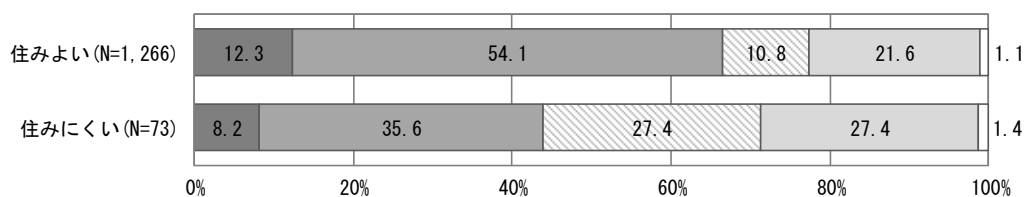


図 201 施策の評価（施策⑳：住みよさ別）

③⑩住宅都市としての機能が充実している

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 61.7%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 16.6%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

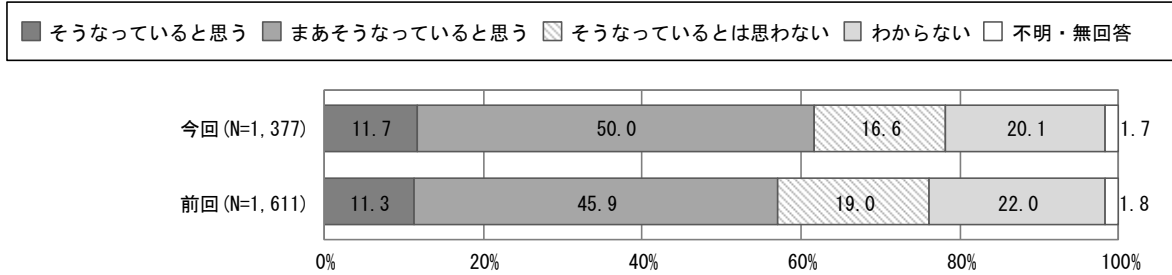


図 202 施策の評価（施策⑩）

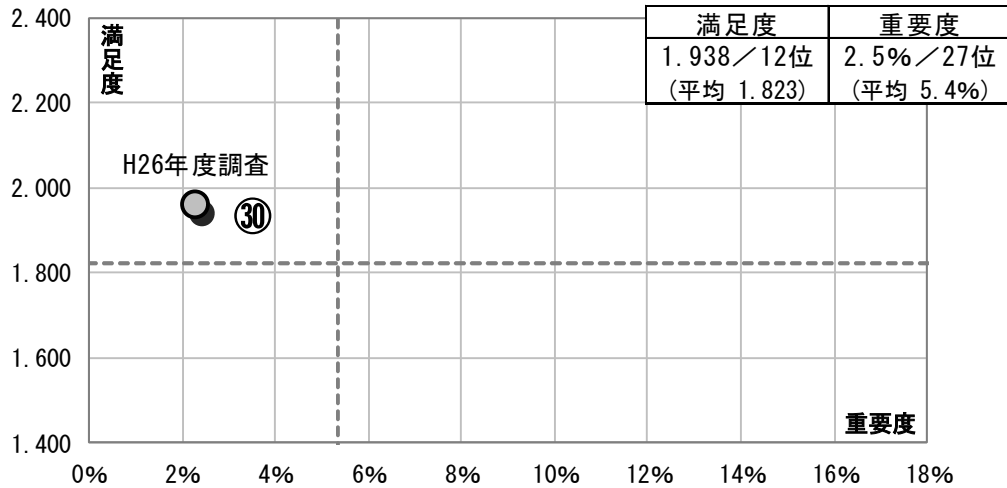


図 203 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑩）

- ◆性別では、男性の方が肯定的な回答が多く、女性は「わからない」という回答が多い。

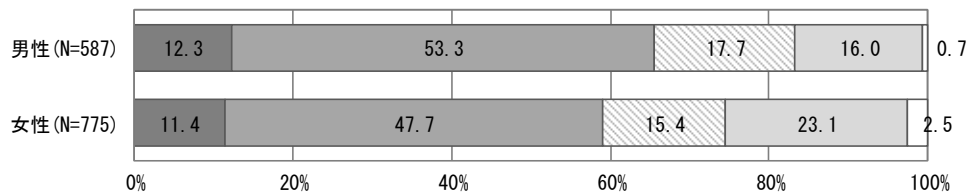


図 204 施策の評価（施策⑩：性別）

◆年代別では、各年代で肯定的な回答が過半数で高く、特に20歳代では「そうなっていると思う」が高い。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

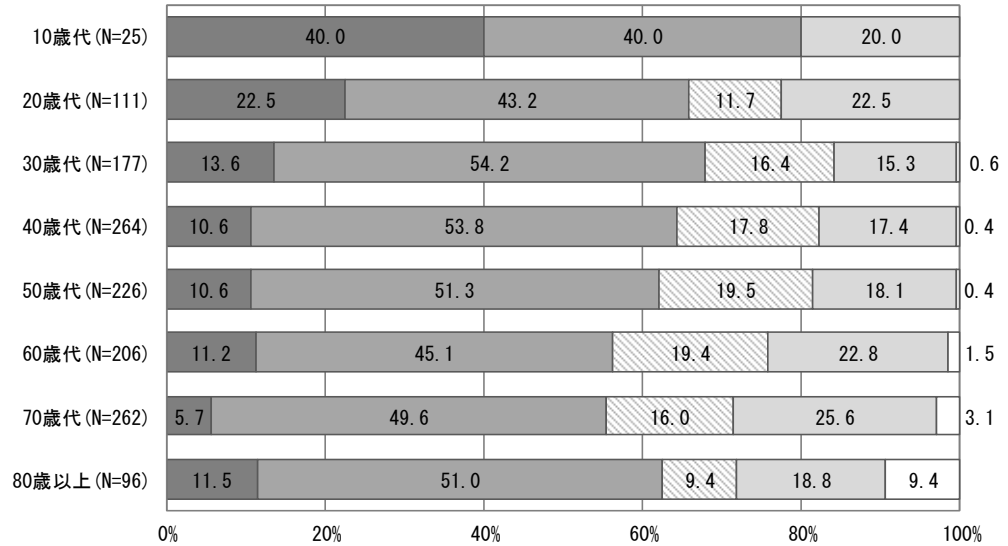


図 205 施策の評価（施策③⑩：年代別）

◆地区別では、大きな違いはない。

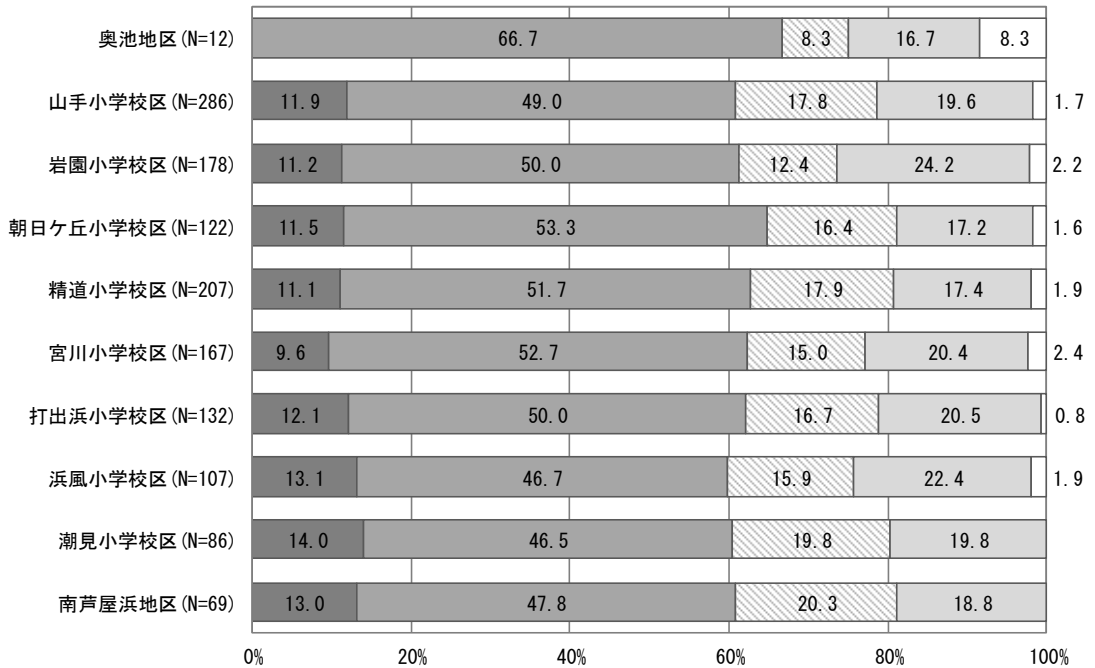


図 206 施策の評価（施策③⑩：地区別）（*）

◆住みよさ別では、肯定的な回答が「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人を大きく上回る。

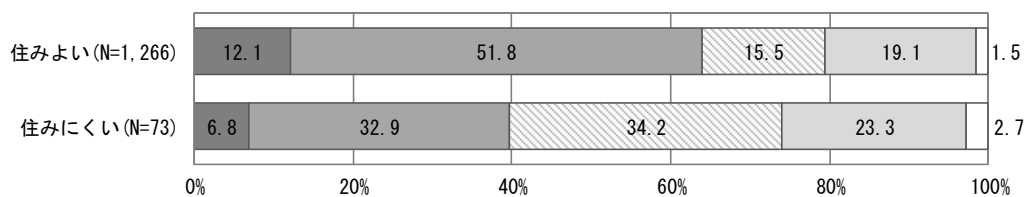


図 207 施策の評価（施策③⑩：住みよさ別）

③①市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 37.7%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 42.4%となっている。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。
- ◆重要度が 2 位と高いが、満足度は低い。

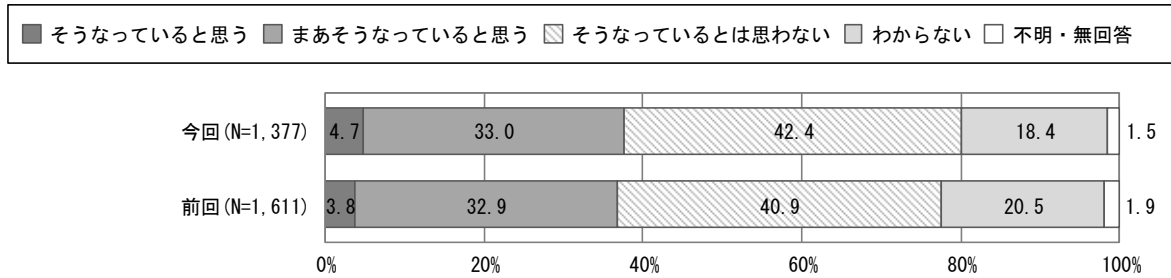


図 208 施策の評価（施策③①）

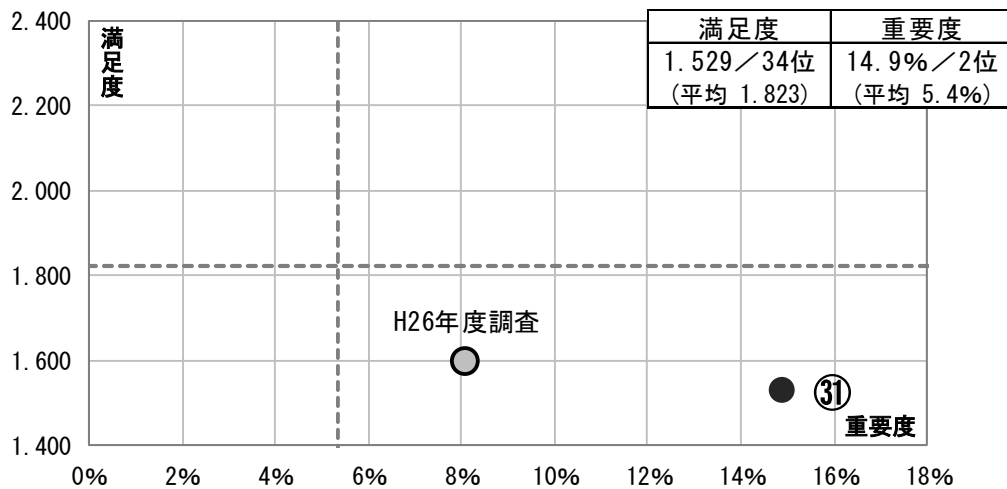


図 209 重要度と満足度から見た施策の評価（施策③①）

- ◆性別では、肯定的な回答に大きな差は無いが、男性の方が「そうになっていないと思わない」、女性は「わからない」が多い。

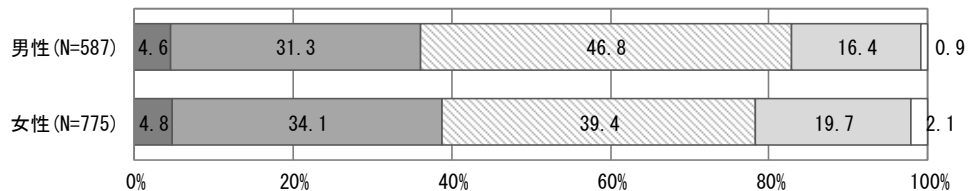


図 210 施策の評価（施策③①：性別）(*)

◆年代別では、30～70歳代では、否定的な回答が肯定的な回答を上回っており、特に50歳代では5割を超える。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

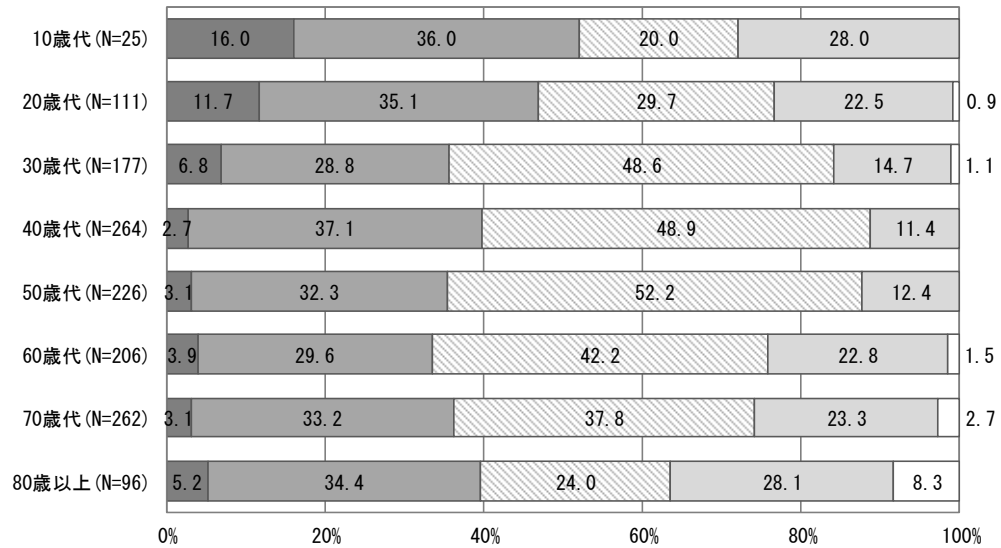


図 211 施策の評価（施策③）：年代別

◆地区別では、宮川小学校区と打出浜小学校区は肯定的な回答が否定的回答を上回っており、他地域では否定的回答が多い。

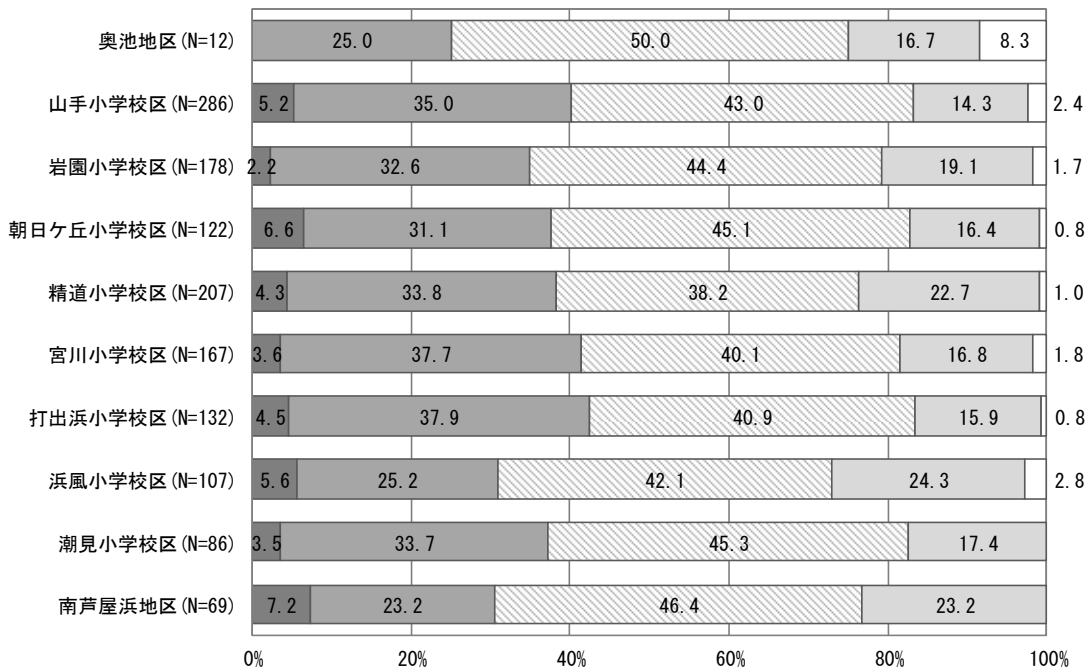


図 212 施策の評価（施策③）：地区別（*）

◆住みよさ別では、「住みよい」とする人の方が「住みにくい」とする人よりも肯定的な回答が多い。

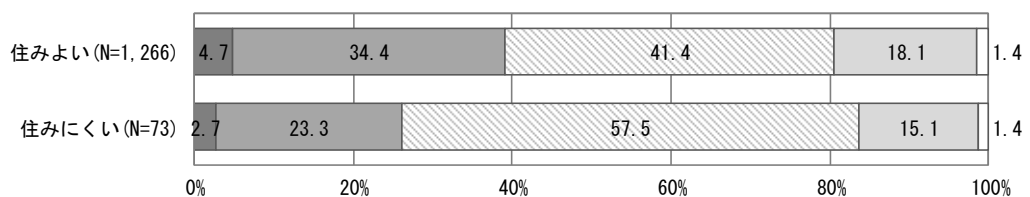


図 213 施策の評価（施策③）：住みよさ別

⑳ 市民参画による開かれた市政を運営している

- ◆ 「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 28.7%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 24.7%となっている。また、45.2%が「わからない」と回答している。
- ◆ 前回との比較では、大きな変化は見られない。

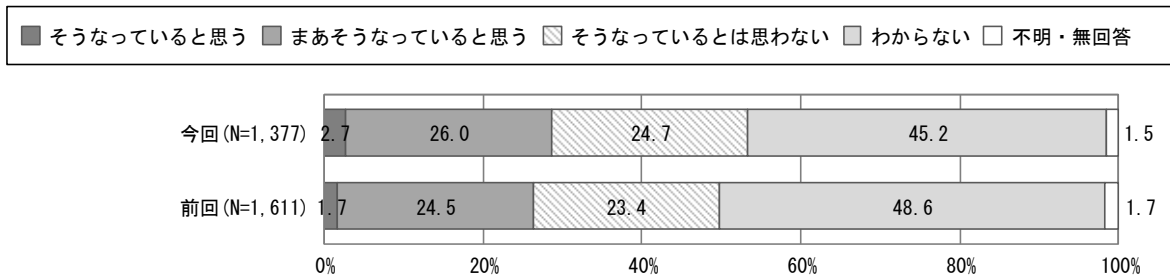


図 214 施策の評価（施策⑳）

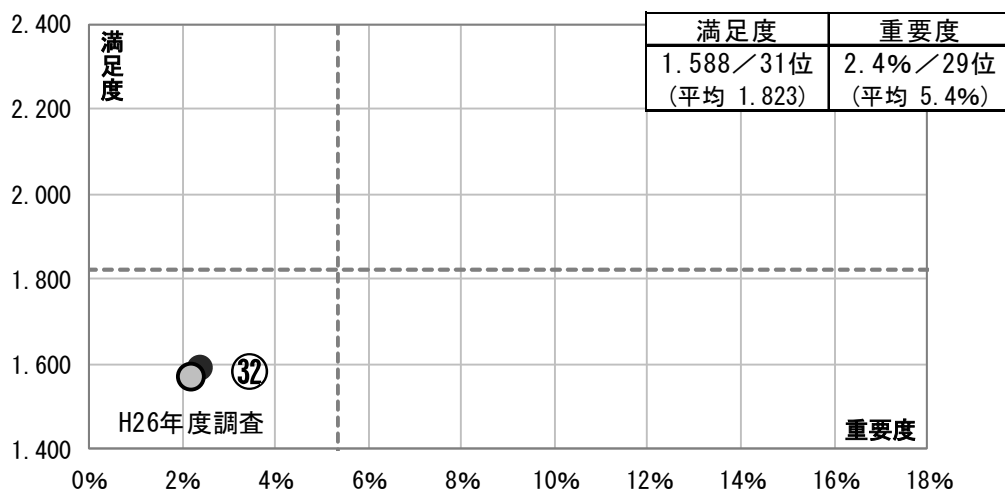


図 215 重要度と満足度から見た施策の評価（施策⑳）

- ◆ 性別では、肯定的な意見に大きな差はないが、女性は半数近くが「わからない」と回答している。

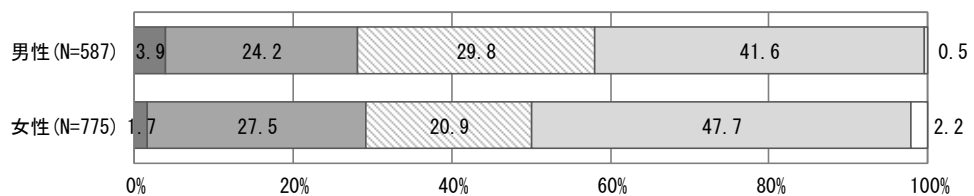


図 216 施策の評価（施策⑳：性別）

◆年代別では、すべての年代において「わからない」という回答の割合が最も高く、20歳代と60歳代では過半数となっている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

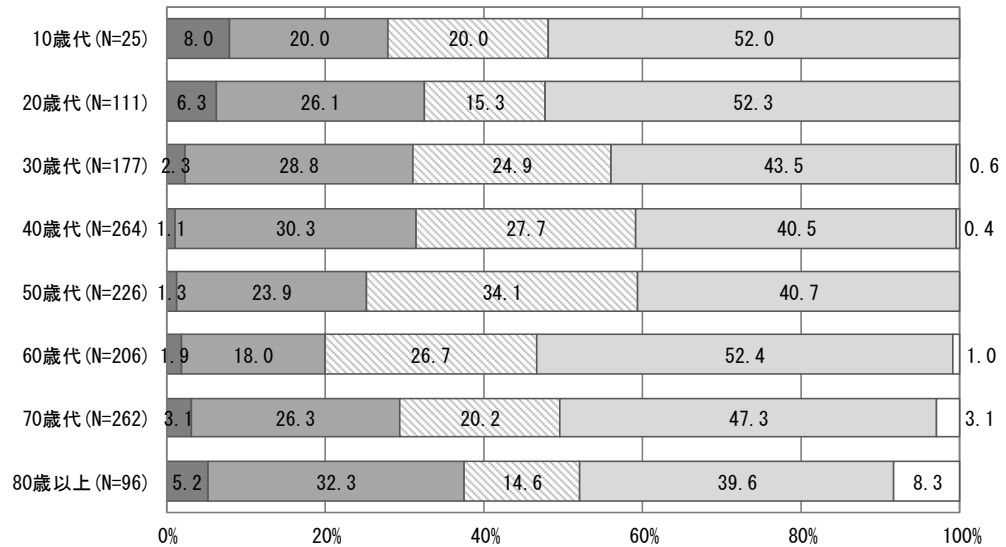


図 217 施策の評価（施策⑳：年代別）

◆地区別では、各地区共、肯定的意見と否定的意見が拮抗しているが、全体的に「わからない」という回答が多く、浜風小学校区では5割を超えている。

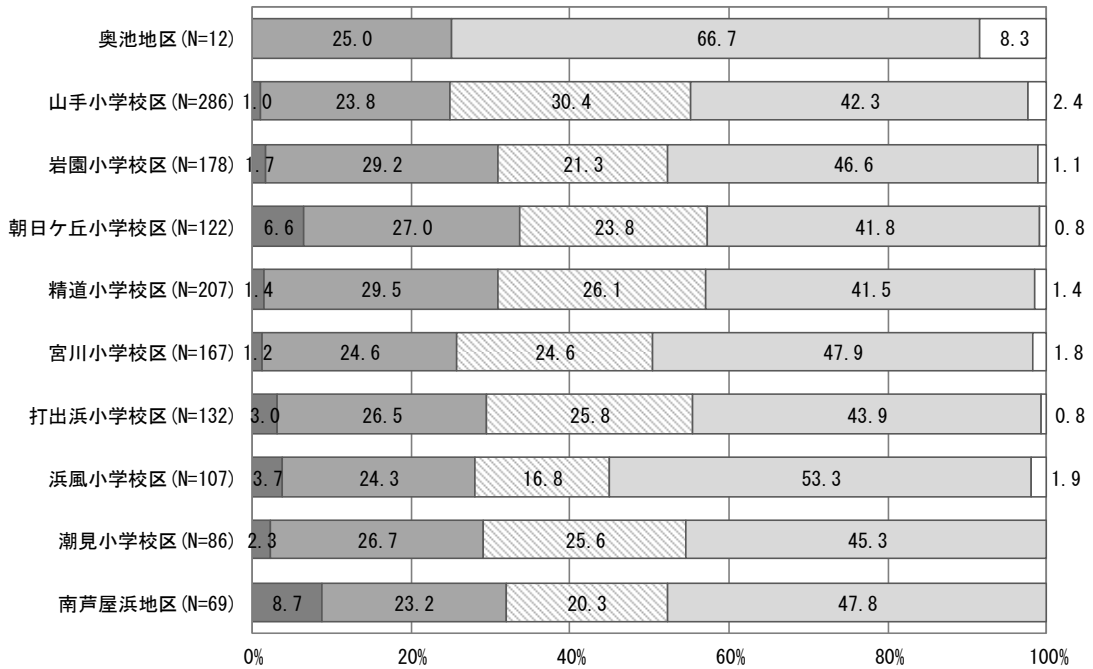


図 218 施策の評価（施策⑳：地区別）

◆住みよさ別では、肯定的な回答に大きな差はないが、「そうなっているとは思わない」については「住みにくい」とする人が「住みよい」とする人を大きく上回っている。

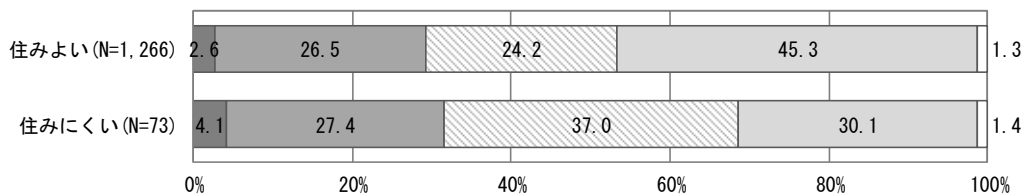


図 219 施策の評価（施策⑳：住みよさ別）

③変化に対応できる柔軟な組織運営をしている

- ◆「そうなっていると思う」と「まあそうなっていると思う」を合わせた肯定的意見は 19.5%，否定的意見の「そうなっていると思わない」は 26.5%となっている。また、52.3%が「わからない」と回答している。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

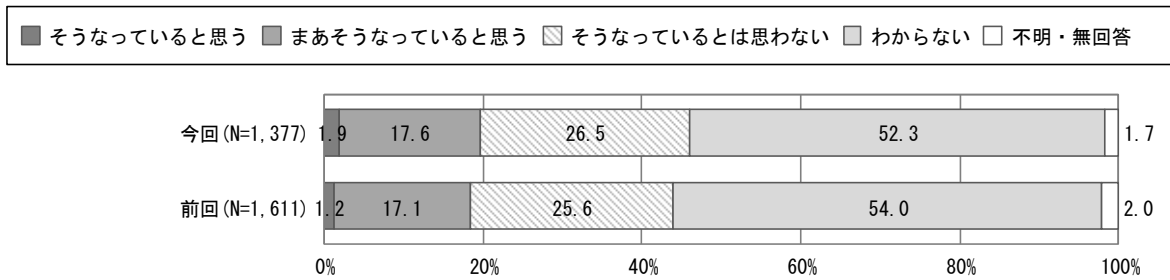


図 220 施策の評価（施策③）

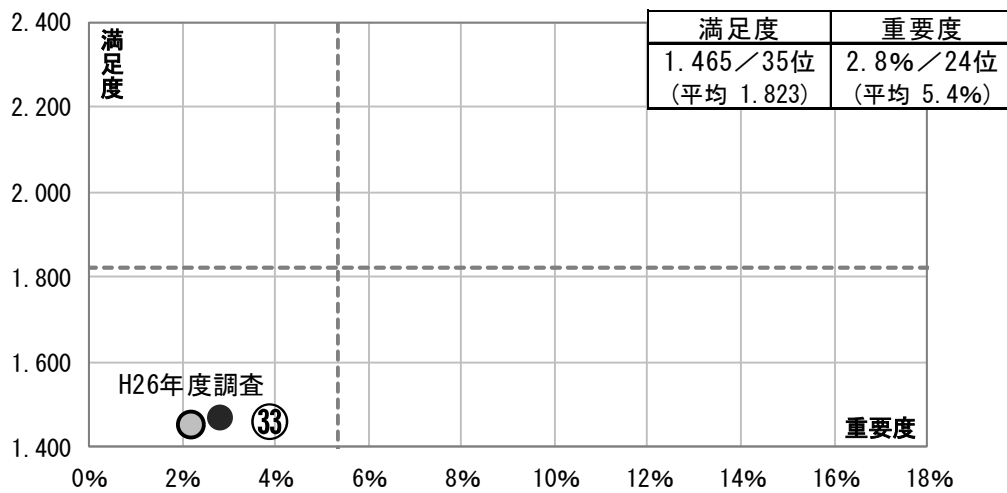


図 221 重要度と満足度から見た施策の評価（施策③）

- ◆性別では、肯定的な意見に大きな差は無いが、男女ともに「わからない」という回答が多く、特に女性は半数を超えている。

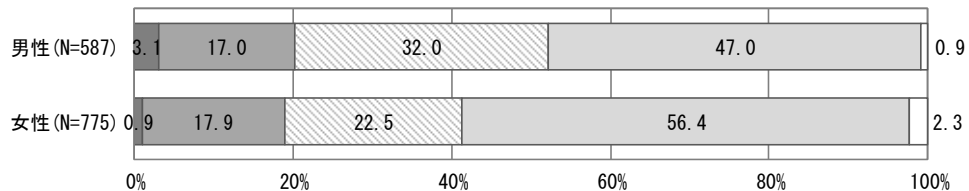


図 222 施策の評価（施策③：性別）

◆年代別では、20歳代と80歳以上では、肯定的意見が否定的意見を上回るが、すべての年代において「わからない」という回答の割合が最も高く、20歳代、60歳以上では過半数である。

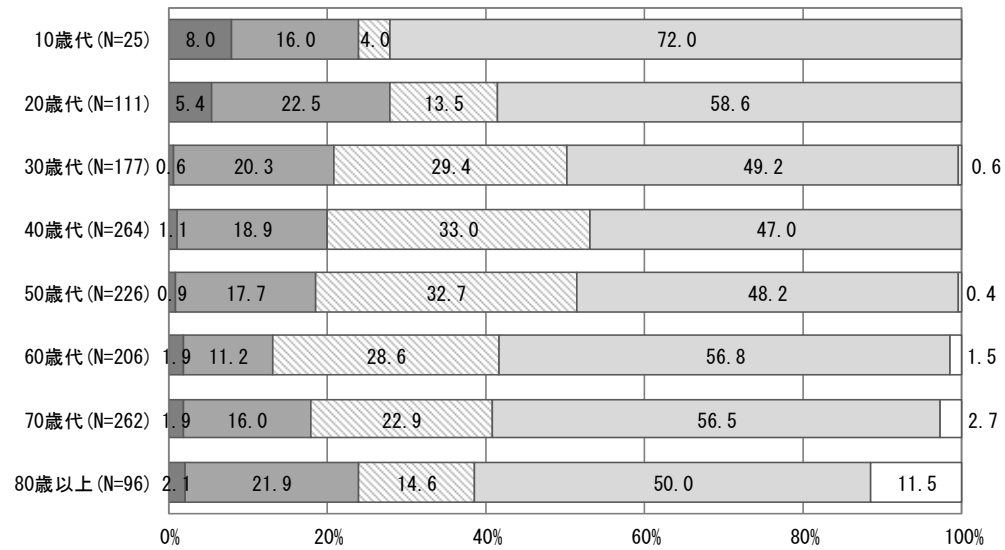


図 223 施策の評価（施策③：年代別）

◆地区別では、全体的に「わからない」という回答の割合が高く、特に浜風小学校区では6割を超えている。

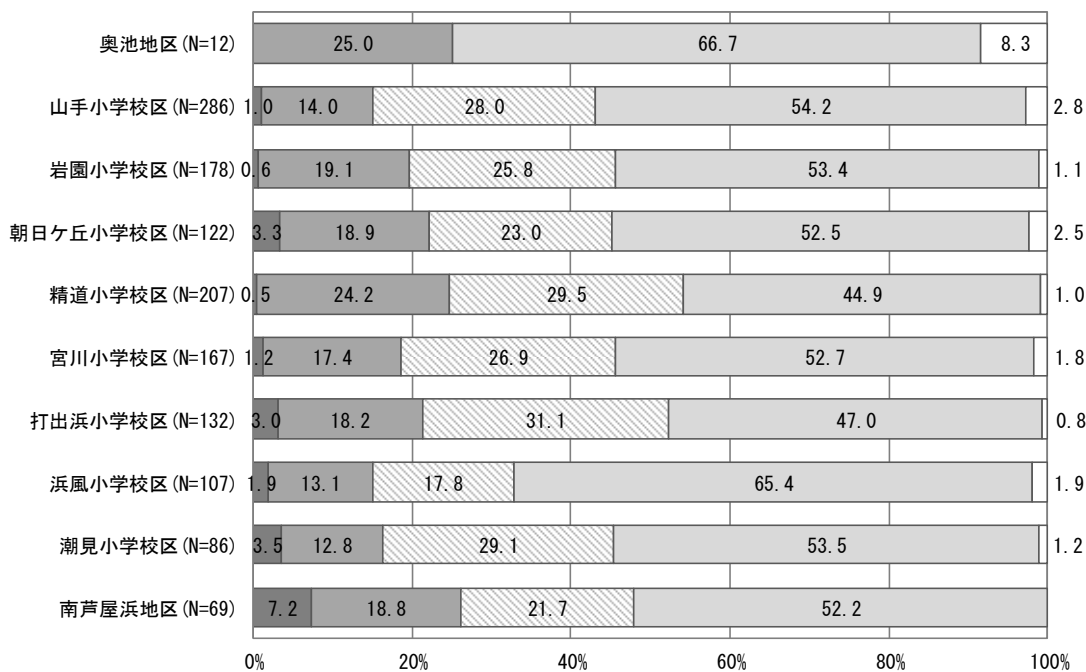


図 224 施策の評価（施策③：地区別）

◆住みよさ別では、肯定的意見には大きな差はないが、「そうなのとは思わない」については、「住みにくい」とする人が「住みよい」とする人を大きく上回っている。

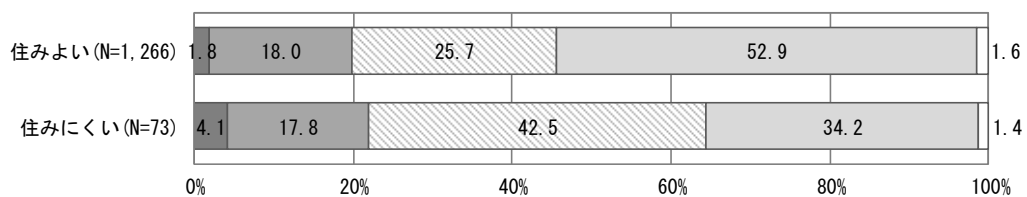


図 225 施策の評価（施策③；住みよさ別）

③④ 様々な資源を有効に活用している

- ◆ 「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 28.5%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 22.7%となっている。また、47.4%が「わからない」と回答している。
- ◆ 前回との比較では、大きな変化は見られない。

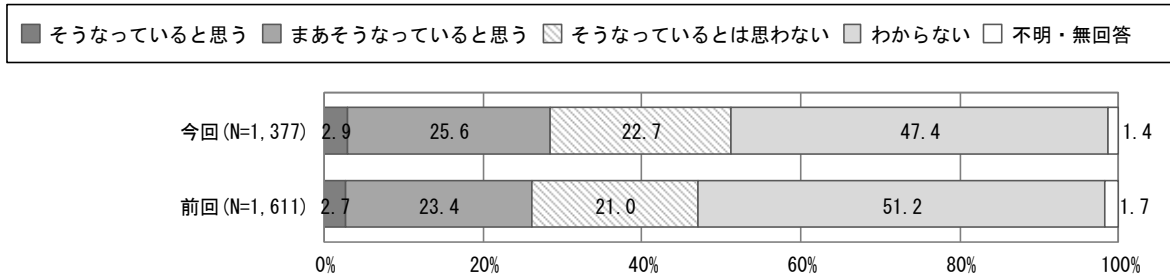


図 226 施策の評価（施策③④）

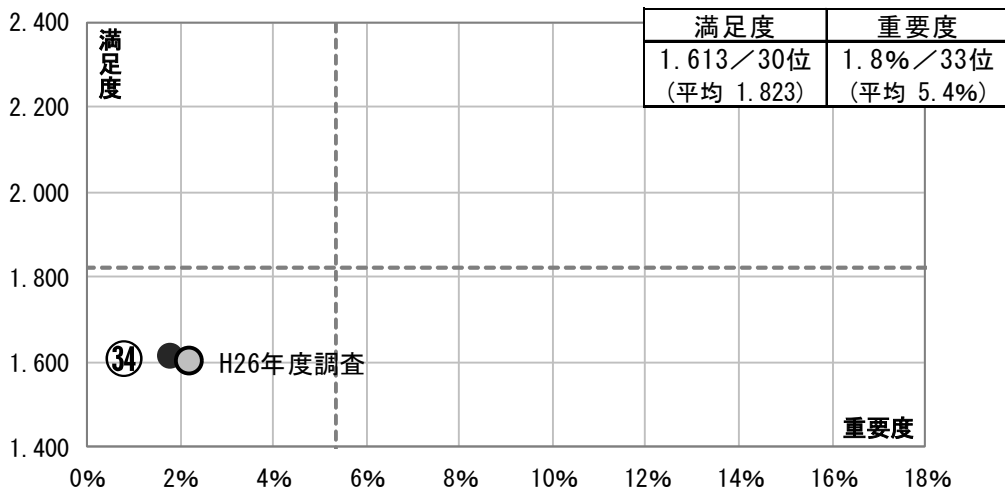


図 227 重要度と満足度から見た施策の評価（施策③④）

- ◆ 性別では、肯定的な意見に大きな差は無いが、男女ともに「わからない」という回答が多く、特に女性は半数を超えている。

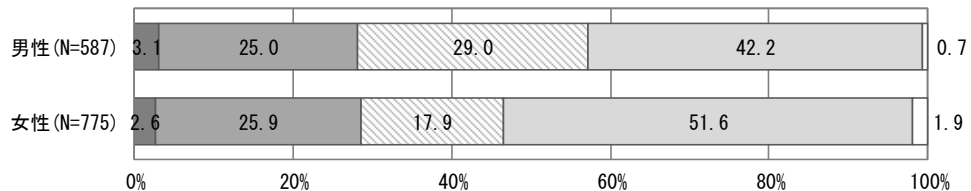


図 228 施策の評価（施策③④：性別）

◆年代別では、30歳代、60歳代以外の年代で肯定的意見が否定的意見を上回るが、すべての年代において「わからない」という回答の割合が最も高くなっている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

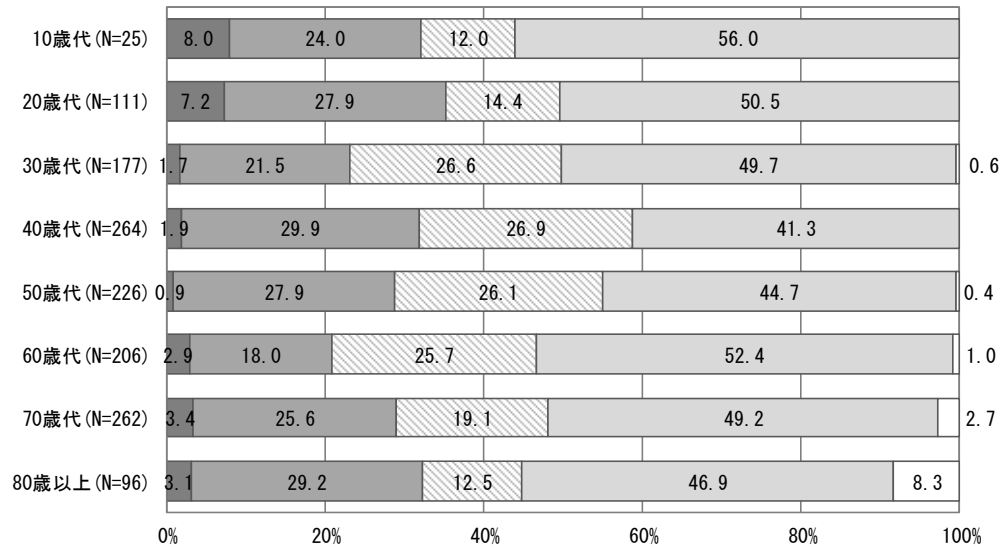


図 229 施策の評価（施策③④：年代別）

◆地区別では、全体的に肯定的意見と否定的意見が拮抗しているが、打出浜小学校区と南芦屋浜地区では、肯定的な回答の割合がやや高い。また「わからない」が高く、特に朝日ヶ丘小学校区では5割を超えている。

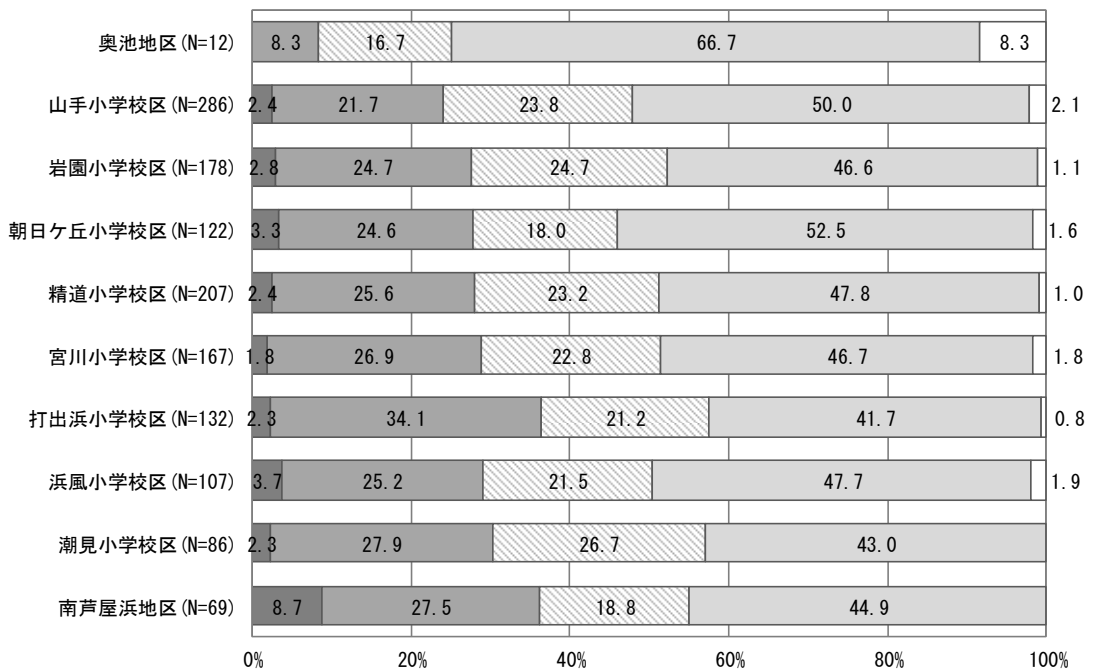


図 230 施策の評価（施策③④：地区別）（*）

◆住みよさ別では、肯定的な回答に大きな差は無い。

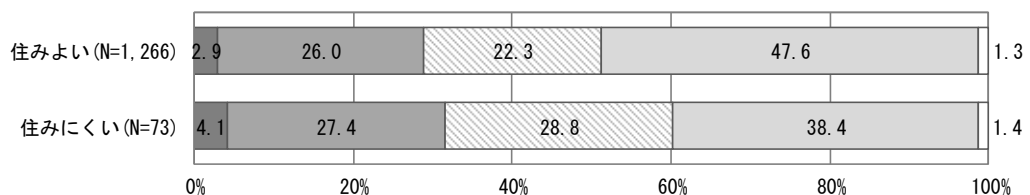


図 231 施策の評価（施策③④：住みよさ別）（*）

③⑤歳入・歳出の構造を改善している

- ◆「そうになっていると思う」と「まあそうになっていると思う」を合わせた肯定的意見は 25.9%，否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 18.8%となっている。また、54.0%が「わからない」と回答している。
- ◆前回との比較では、「まあそうになっていると思う」と回答した割合が増加している。

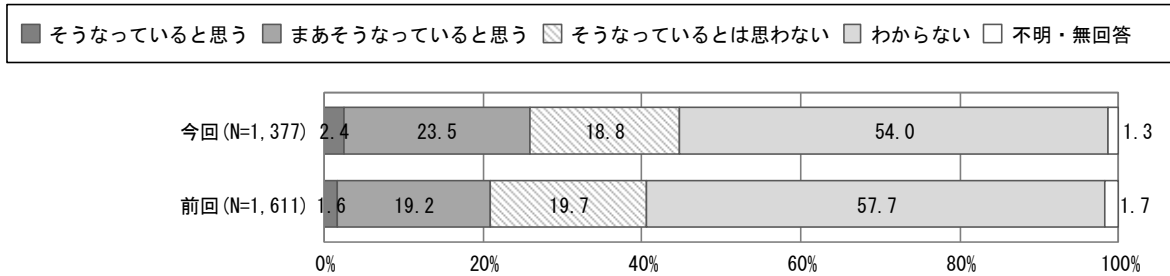


図 232 施策の評価（施策③⑤）

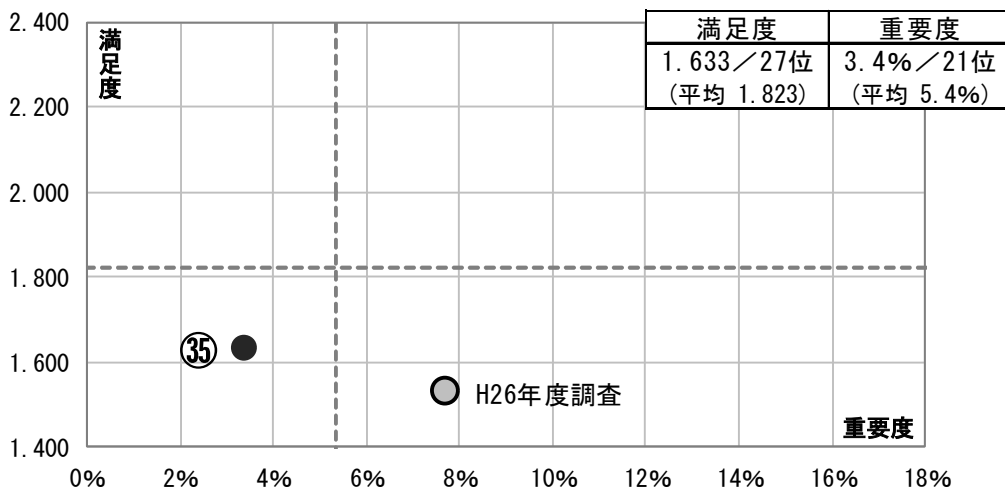


図 233 重要度と満足度から見た施策の評価（施策③⑤）

- ◆性別では、肯定的な意見は男性の方が多いが、男女ともに「わからない」が多く、特に女性は半数を超えている。

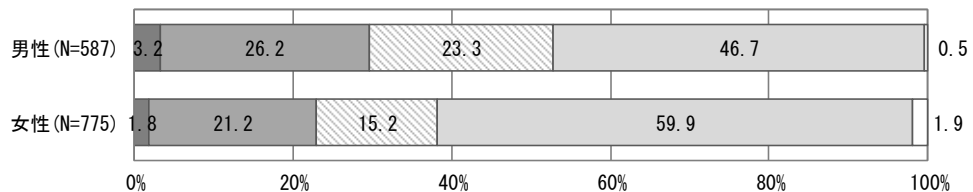


図 234 施策の評価（施策③⑤：性別）

◆年代別では、50歳代以外で肯定的意見が否定的意見を上回るが、すべての年代において「わからない」が高く、40歳代以外は5割を超えている。

■ そうなっていると思う ■ まあそうなっていると思う ▨ そうなっているとは思わない □ わからない □ 不明・無回答

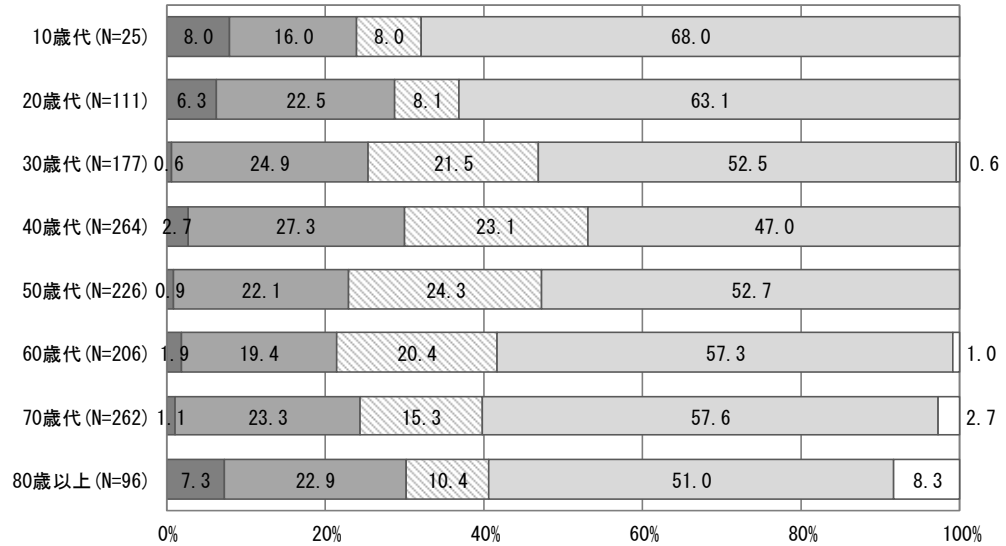


図 235 施策の評価（施策③⑤：年代別）

◆地区別では、全体的に「わからない」という回答の割合が高く、打出浜小学校区、南芦屋浜地区を除く地区で過半数を占める。

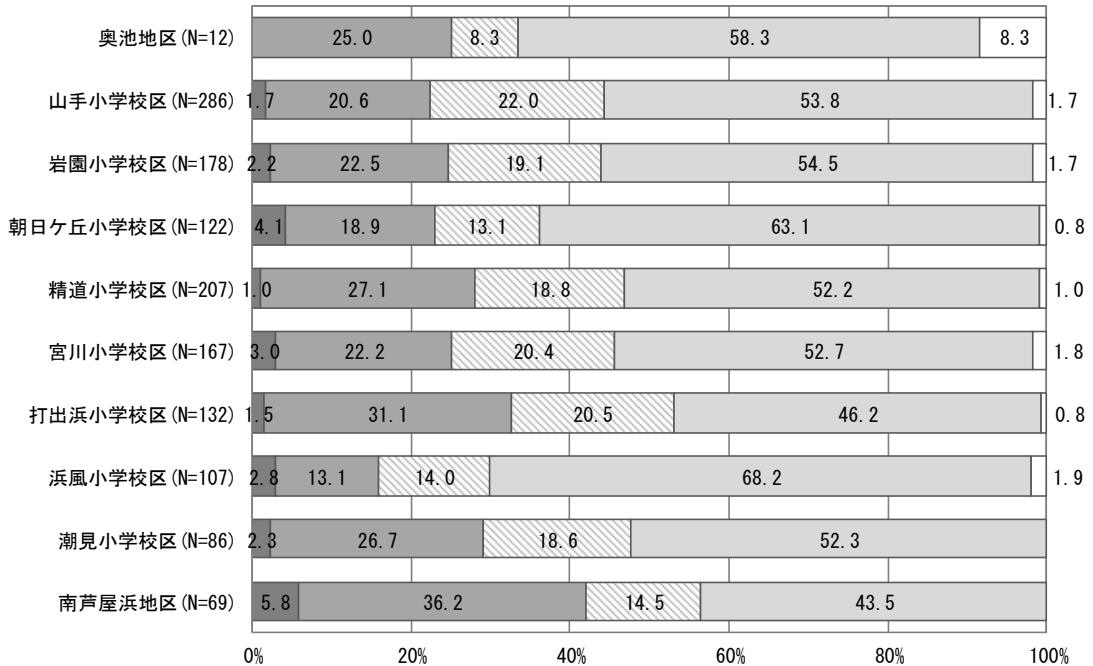


図 236 施策の評価（施策③⑤：地区別）

◆住みよさ別では、肯定的意見に大きな差は無いが、「そうなっているとは思わない」については「住みにくい」とする人の方が「住みよい」とする人より多い。

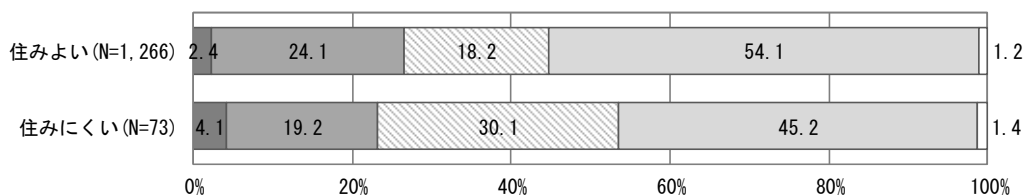


図 237 施策の評価（施策③⑤：住みよさ別）（*）

問 10 問9にある35項目の施策の目標全体を通して見たときに、芦屋市の市政の現状をどのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- ◆「とてもうまくいっている」が2.1%、「まあうまくいっている」が68.0%で、合わせると70.1%が「うまくいっている」と回答している。
- ◆前回との比較では、肯定的意見がやや高まっている。

	項目	回答数	割合
1	とてもうまくいっている	29	2.1
2	まあうまくいっている	936	68.0
3	あまりうまくいっていない	323	23.5
4	うまくいっていない	43	3.1
	不明・無回答	46	3.3
	合 計	1,377	100.0

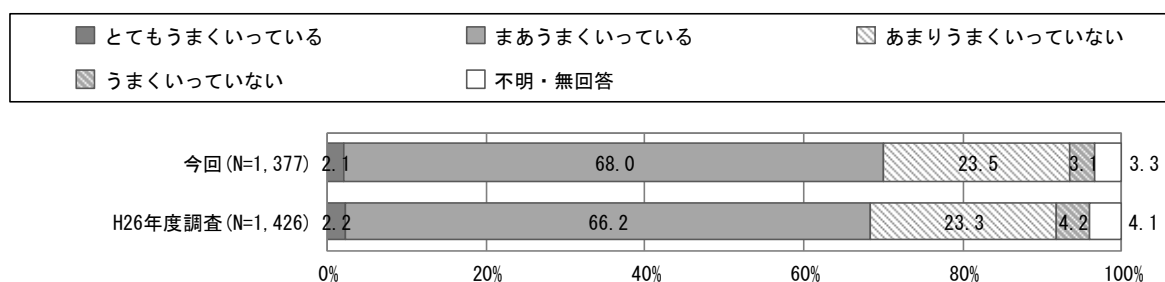


図 238 芦屋市の市政の現状

◆性別では、大きな違いはない。

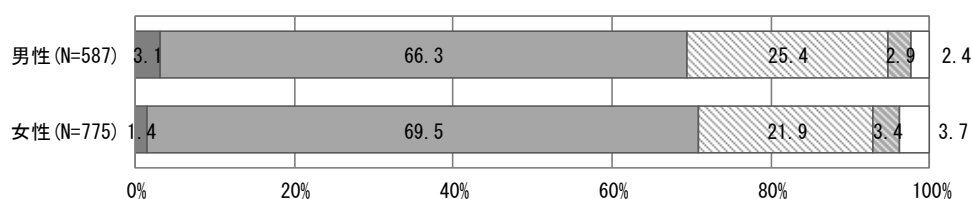


図 239 芦屋市の市政の現状（性別）(*)

◆年代別では、各年代とも肯定的な回答の割合が高く、大きな違いはない。

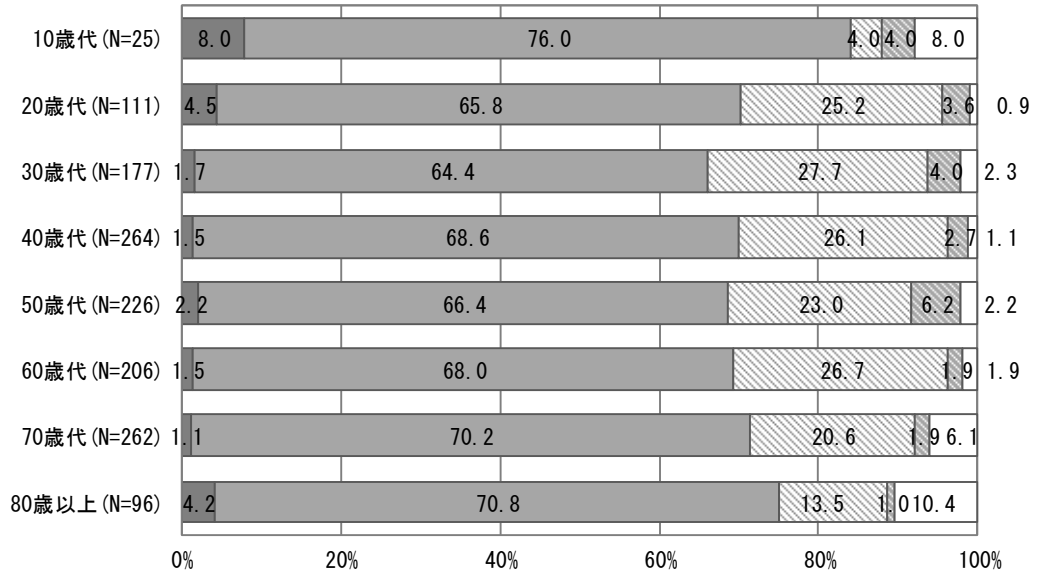
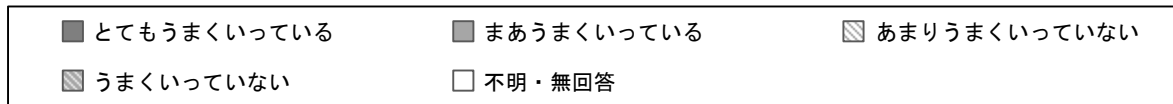


図 240 芦屋市の市政の現状（年代別）

◆地区別では、大きな違いはない。

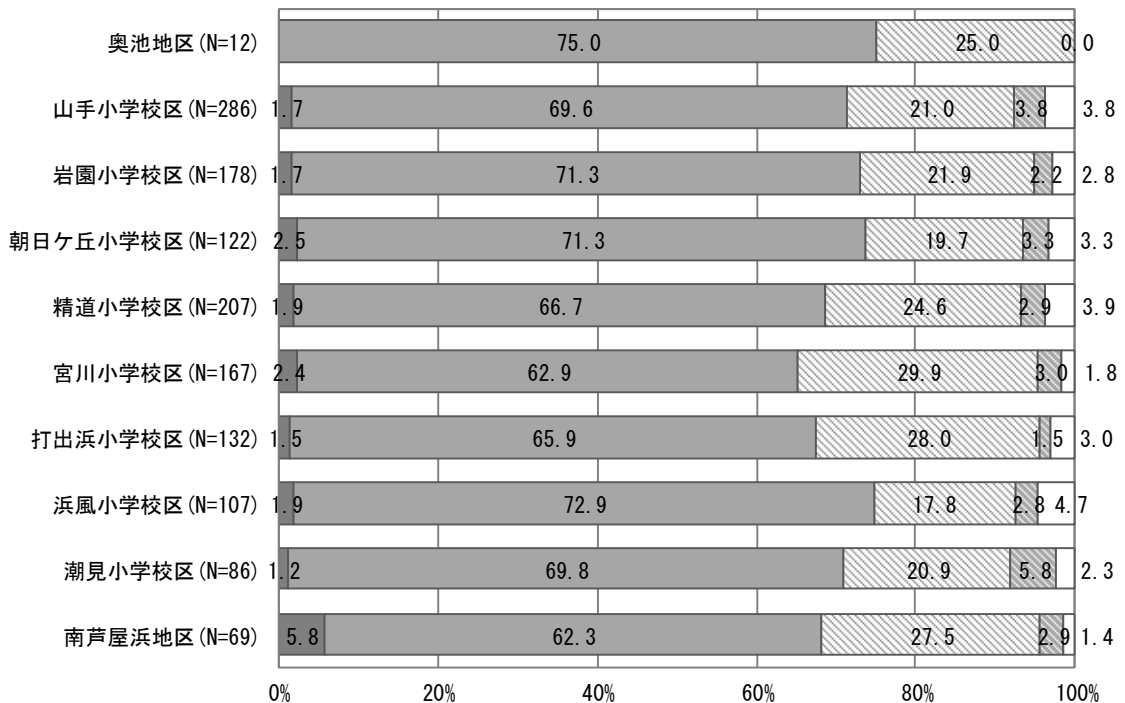


図 241 芦屋市の市政の現状（地区別）（*）

問 11 問 9 にある 35 項目の施策の目標のうち、芦屋市の魅力創出の視点から今後特に力を入れて取り組むべきと思われる番号を問 9 の表の中から 3 つ以内で選んで、下記に数字をご記入ください。また、理由やご意見をお聞かせください。

- ◆ 「㉑災害に強い安全なまちづくり」が 15.5%と最も多く、「㉓市内の商業が活性化」が 14.9%、「㉒高齢者が安心して暮らせている」が 13.1%、「㉖交通ルールやマナーに関する意識」が 12.0%、「㉔子育てと仕事の両立」が 10.2%と続いている。
- ◆ 前回との比較では、上位 5 位に着目すると、5 つの内 4 つは同じであるが、前回の「㉑地域における保険・医療・福祉の連携体制の確立」と、今回の「㉑災害に強い安全なまちづくり」が入れ換わっており、「㉑災害に強いまちづくり」が最も多くなっている。
- ◆ その他の各目標についての傾向は大きく変わらない。

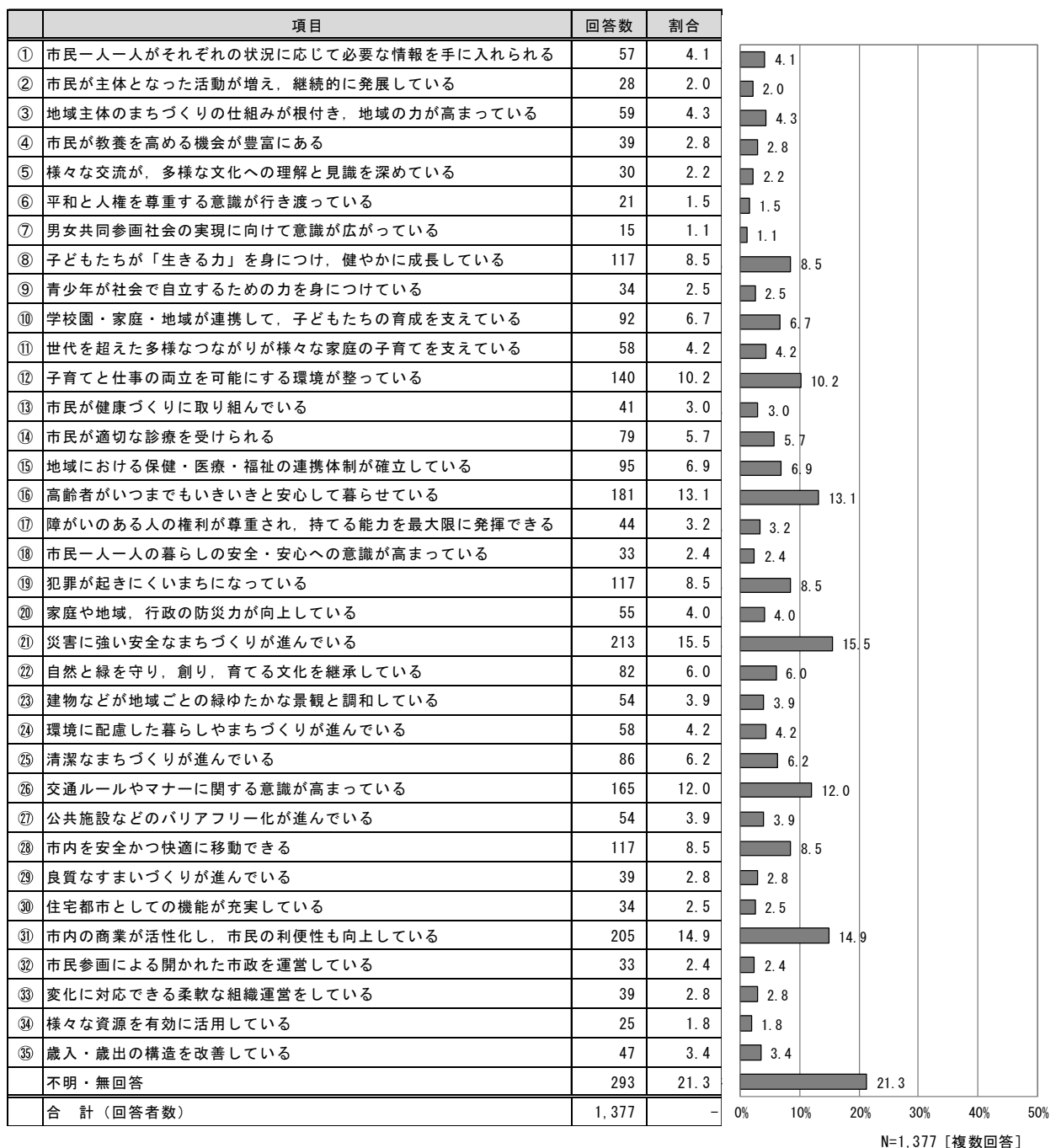


図 242 今後特に力を入れて取り組むべきと思われる項目

- ◆性別では、男性は「⑳災害に強い安全なまちづくりが進んでいる」が最も多く、女性は「㉑市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」が多い。
- ◆年代別では、20・30歳代は「㉑子育てと仕事の両立」、30歳代と50歳代は「㉑市内の商業が活性化」、40歳代、60歳代は「㉑災害に強い安全なまちづくり」、70歳代以上では「㉒高齢者が安心して暮らせている」が最も多くなっている。
- ◆地区別では、岩園小学校区、朝日ヶ丘小学校区で「㉑市内の商業が活性化」、山手小学校区で「㉒交通ルールやマナー」が最も多く、それ以外の地域では「㉑災害に強い安全なまちづくり」が最も多い。

(位)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
市全体 (N=1,377)	1	2	3	4	5	6	6	6	9	10	11	12	13	14	15	15	17	18	19	19	21	21	22	23	24	24	24	27	27	29	31	32	33	34	35															
性別																																																		
男性 (N=587)	1	2	4	3	6	7	5	8	10	12	9	11	13	14	22	18	19	16	14	20	16	24	21	22	24	29	24	30	30	27	27	32	33	34	35															
女性 (N=775)	3	1	2	4	5	6	8	6	10	8	14	12	11	17	13	15	16	19	21	17	24	20	24	24	23	22	29	24	28	30	32	32	31	32	35															
年代別																																																		
10歳代 (N=25)	1	7	7	4	13	1	1	7	4	25	13	25	13	4	25	13	25	13	25	13	7	13	25	13	25	7	25	13	13	25	25	25	13	7																
20歳代 (N=111)	2	2	17	4	1	21	5	7	16	6	11	11	31	21	17	11	11	9	17	11	24	24	9	21	31	24	17	31	24	17	31	24	35	24	31	24														
30歳代 (N=177)	3	1	18	4	1	5	8	7	16	6	9	11	15	33	12	16	10	12	23	18	23	23	29	23	29	21	20	23	21	23	29	29	35	33																
40歳代 (N=264)	1	2	6	4	3	5	10	8	9	7	12	12	10	15	23	22	18	15	23	15	27	18	30	30	14	23	18	30	30	18	28	23	30	28	30															
50歳代 (N=226)	3	1	2	3	10	6	5	7	8	30	11	14	9	12	12	18	18	24	15	18	24	30	23	15	30	17	29	24	33	18	24	24	18	34	35															
60歳代 (N=206)	1	4	2	3	11	18	7	5	10	8	11	6	22	11	16	8	22	22	11	33	11	18	17	25	18	29	34	25	29	35	18	25	25	29	29															
70歳代 (N=262)	2	3	1	6	22	4	8	15	6	12	4	8	10	19	25	15	22	12	15	19	25	12	11	19	33	25	28	24	15	28	28	28	34	28	35															
80歳以上 (N=96)	3	2	1	3	10	7	17	3	10	10	17	6	10	10	31	10	22	22	7	22	22	22	34	22	7	17	17	22	17	31	34	22	22	31																
地区別																																																		
奥池地区 (N=12)	17	1	3	2	17	3	17	3	17	3	17	3	17	3	17	3	17	3	3	3	17	17	17	17	17	17	3	3	17	17	17	17	17	17	3	17														
山手小学校区 (N=286)	3	2	4	1	8	8	10	4	12	6	10	7	16	13	13	17	17	30	13	19	22	26	32	19	25	26	22	21	30	28	28	22	32	34	35															
岩園小学校区 (N=178)	5	1	2	2	4	6	7	12	9	10	12	8	11	16	12	17	26	19	17	12	24	24	21	30	19	26	21	26	21	33	26	30	33	30	35															
朝日ヶ丘小学校区 (N=122)	5	1	3	4	8	5	13	2	13	11	7	31	10	13	25	11	17	25	31	8	22	13	17	17	17	31	25	31	17	22	31	24	25	25																
精道小学校区 (N=207)	1	3	3	7	1	5	6	14	9	9	18	8	11	16	26	26	11	13	14	22	31	18	20	31	22	26	22	33	16	22	33	26	26	20	33															
宮川小学校区 (N=167)	1	2	5	4	3	8	11	9	5	7	9	18	18	15	15	12	12	18	24	21	12	24	24	21	23	15	31	28	31	28	24	33	33	33	28															
打出浜小学校区 (N=132)	1	2	2	5	8	15	4	8	6	12	10	20	6	20	15	20	20	10	13	33	27	15	15	25	34	20	27	13	15	27	25	27	27	34	27															
浜風小学校区 (N=107)	1	2	2	6	5	6	4	9	13	24	6	13	23	13	21	10	13	24	10	13	13	24	13	24	10	24	33	21	33	24	33	24	13	24	24															
潮見小学校区 (N=86)	1	3	2	4	7	5	6	12	15	21	15	7	21	30	7	15	24	7	24	24	15	12	21	24	30	12	15	24	30	7	15	24	30	34	34															
南芦屋浜地区 (N=69)	1	2	6	3	6	6	5	4	10	10	10	14	14	24	16	24	24	10	35	24	6	16	16	24	24	16	24	24	24	16	16	16	16	24																
居住意向別																																																		
今の場所に住み続けたい (N=951)	1	3	2	4	5	8	6	7	13	9	11	10	12	15	22	18	16	19	14	16	20	21	24	25	25	23	27	27	29	32	29	31	33	34	34															
市内の他の場所で住み続けたい (N=175)	3	1	5	4	2	5	12	7	11	12	8	16	16	18	8	18	8	12	27	24	27	31	18	18	18	18	24	27	34	15	24	34	27	31	31															
いずれ市外に引っ越したい (N=134)	1	2	5	3	8	5	11	4	7	11	19	15	19	15	9	24	24	30	11	15	24	27	27	15	30	30	30	23	19	35	19	27	11	30																
すでに市外に引っ越す予定がある (N=17)	1	22	7	7	2	7	2	2	7	7	22	22	7	22	22	7	7	7	22	22	7	7	2	2	22	22	7	7	7	7	22	22	22	22	22															
その他 (N=35)	6	5	6	1	6	12	1	3	3	12	6	12	28	12	18	18	18	18	28	18	12	28	12	18	28	6	28	18	28	6	28	18	28	18																

図 243 今後特に力を入れて取り組むべきと思われる項目（性別、年代別、地区別、居住意向別）【順位】

施策の目標を選んだ理由や意見

今後特に力を入れて取り組むべきと考える施策の目標を選んだ理由や主なご意見では、次のようなものがあった。

【総括】

- 全 35 施策目標に対して、延べ件数で 1,667 件の意見が得られた。
- その中で、100 件以上の意見が得られた施策目標は 5 つあり、それぞれの主な意見（上位 3 位）を抽出すると、以下ようになった。
- 全体的に「道路・交通環境や交通マナー」、「市内の商業活性化」、「災害対策」、「高齢者福祉」に関する意見が多くなっている。

【第 1 位】⑯交通ルールやマナーに関する意識が高まっている（169 件）

- ・ 自動車の運転マナーを向上させてほしい（43 件）
- ・ 自転車のマナーが悪い（30 件）
- ・ 駅周辺等の違法駐車・駐輪，交通違反の取り締まり，排除（28 件）

【第 2 位】⑳市内の商業が活性化し，市民の利便性も向上している（163 件）

- ・ 市内の商業施設の魅力向上・活性化を願う（26 件）
- ・ スーパー，コンビニ，ドラッグストアを増やしてほしい（22 件）
- ・ JR 芦屋駅周辺の商業施設の活性化に期待（20 件）

【第 3 位】㉑災害に強い安全なまちづくりが進んでいる（131 件）

- ・ 高潮・津波対策（南芦屋浜），防災対策の充実，避難訓練の実施（36 件）
- ・ 平成 30 年台風 21 号の教訓を生かした災害対策の推進（24 件）
- ・ ハザードマップの見直し，防災情報の提供・周知，正しい情報の発信（14 件）

【第 4 位】㉒高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている（116 件）

- ・ 高齢者の社会参加促進及び環境づくり（居場所づくり，見守り，つながりづくり，雇用の場づくり）（21 件）
- ・ バリアフリー，出かけたくなる動機づくり，買い物が便利なまち（13 件）
- ・ 高齢社会に向けた保健・医療。福祉の充実，もっと住みよいまちに（11 件）

【第 5 位】㉓市内を安全かつ快適に移動できる（107 件）

- ・ 道路（拡幅，改善，舗装，分離帯設置），歩道，自転車道路の整備（44 件）
- ・ バス交通・サービスを改善してほしい（28 件）
- ・ 山側～浜側の動線を改善してほしい（7 件）

【施策目標ごとの記述項目と具体的意見の例】

① 市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる（意見数 27 件）

【主な記述項目】

- ・ホームページの利便性・コンテンツの充実（6件）
- ・市からの情報提供が不足している（4件）
- ・政策の情報をもっと詳しく発信してほしい（3件）
- ・行政・市民ともにITの活用を推進すべき（2件）

【具体的な意見（例）】

- ・ホームページを見ても、欲しい情報を示したページにすぐたどりつけない。もっと情報が得られるようにしてほしい。
- ・色々情報を発信しているが、周知されていない事が多いように感じる。
- ・全ての住民に情報が行き渡っていない。

② 市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している（意見数 20 件）

【主な記述項目】

- ・自治活動に消極的な人が増えている（4件）
- ・市民参画を推進するための施策の充実（3件）

【具体的な意見（例）】

- ・マンション自治会の理事を快く引き受けて頂けない場合がある。
- ・市民の活動や企画をサポートし、参加できる人を増やすことで芦屋への愛着を育ててほしい。

③ 地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている（意見数 25 件）

【主な記述項目】

- ・地域のつながり・連帯感が弱い、地域での支え合いが重要（6件）
- ・自治会等の役員への負担が多い。地域団体への参加者が少ない（2件）
- ・自治会活動に課題がある（情報提供、会費の使途等）（2件）
- ・自治会任せで地域の総意が反映されていない（2件）
- ・子どもから大人までが気軽に参加できる場の充実（2件）

【具体的な意見（例）】

- ・市民それぞれが高い識見、能力を有しながら孤高の人が多く、連帯感が生まれにくい。
- ・自治会、福祉委員、民生委員など負担が多すぎる。
- ・自治会などに加入していないと情報が入ってこない。

④ 市民が教養を高める機会が豊富にある（意見数 25 件）

【主な記述項目】

- ・生涯教育の充実（6件）
- ・文化活動のPRや機会の充実（3件）
- ・図書館機能の充実（2件）

【具体的な意見（例）】

- ・オープンな教育講座があってもいい。
- ・大人向けの教養を高める本（資格取得のための物など）と閲覧席の充実を希望。
- ・気軽に簡単に大人から子どもまでいろいろな体験ができる場が増えてほしい。

⑤ 様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている（意見数 25 件）

【主な記述項目】

- ・国際交流の充実（10 件）
- ・様々な交流機会・情報のPRの充実（4 件）
- ・文化活動に触れられる機会の充実（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・教養が高い地域だからこそ、知識の共有など、皆が学びあえる時間を作ってほしい。
- ・多様な交流を希望するが情報を得る方法がわかりにくい。
- ・海外からの観光客に訪問してもらえる魅力作りに期待。

⑥ 平和と人権を尊重する意識が行き渡っている（意見数 9 件）

【主な記述項目】

- ・平和の維持（3 件）
- ・市民の人権尊重意識の向上（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・何よりも平和であること。
- ・人権尊重の意識が市民に根付いていることがすべての基本だと思うので。

⑦ 男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている（意見数 10 件）

【主な記述項目】

- ・男女共同参画社会に対する取組が不足している（2 件）
- ・主婦が活躍できる市に（2 件）
- ・単身者の交流サポート・婚活を企画してほしい（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・婚活や単身者のコミュニティサポートがほしいです。
- ・住みやすい環境や緑の保護に力を入れているのが伝わる。しかし、男女共同参画社会に対する取組はあまり見られない。

⑧ 子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している（意見数 54 件）

【主な記述項目】

- ・子どもを産みやすい環境づくり，少子化対策，子育て支援（11 件）
- ・学校教育環境の充実，教員の資質向上，特色ある学校づくり（8 件）
- ・自分を信じ，自分を確立できる教育・体験の推進（6 件）

【具体的な意見（例）】

- ・子供が心身ともに健やかに育てば日本の将来も大きく広がる。
- ・時代に合った教育を望む。
- ・挨拶ができない子どもが多いので学校で教育してほしい。

⑨ 青少年が社会で自立するための力を身につけている（意見数 16 件）

【主な記述項目】

- ・個人が自立する力を持つことが必要（2件）
- ・若い世代が住みたいと思うまちづくりを期待（2件）
- ・若者世代への支援充実（2件）

【具体的な意見（例）】

- ・これからの世代は個人が自立する力が必要です。学校が、行政がでは、グローバルな時代には、家庭を守ることができない。

⑩ 学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている（意見数 61 件）

【主な記述項目】

- ・家庭・地域・学校が連携した子育てをすべき（15件）
- ・子育て支援施策の充実、子育て環境の整備（9件）
- ・芦屋の教育レベルの向上、塾に頼りすぎないこと、教員の資質向上（4件）

【具体的な意見（例）】

- ・家・地域・学校の連携がある限り、思いやりある子は育っていく。
- ・近隣の市の方が子育てしやすいと言って転居する人が多く、子育て対策が過小であるように思う。
- ・子どもは大人を見て成長するので、大人が高い意識をもって見守りや環境を作ることが大切。

⑪ 世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている（意見数 35 件）

【主な記述項目】

- ・今は世代間交流がない、しにくい、交流できる場づくりがいる（7件）
- ・子育て環境の整備・充実（5件）
- ・子どもの声がうるさいという身勝手な中高年が多い（3件）
- ・自治会組織等が高齢化しており若い世代の声が通りにくい（2件）
- ・年配者の世代が協力できる仕組みがあればいい（2件）

【具体的な意見（例）】

- ・子どもからお年寄りまでが一緒に交流できる場所やシステムをもっと増やしてほしい。
- ・昔なら寛大に思われていた点でも高齢者がすぐに声を荒げて怒鳴るので子育て世代は住みにくい。子どもにも優しい街になってほしい。
- ・どちらかといえば年配の方の意見の方が通りやすく、若い世代が意見できる場面が少ない。

⑫ 子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている（意見数 94 件）

【主な記述項目】

- ・教育・保育施設の増設整備・充実（地域バランス、駅の近く等）（14 件）
- ・子育て支援施策の充実，子育て環境の整備（14 件）
- ・保育園の待機問題解決（待機児童ゼロ対策）（9 件）
- ・芦屋に住みたい若い世代を増やすまちづくり（8 件）

【具体的な意見（例）】

- ・どの地域においても，その地域内で預けられる場所を設置し，待機児童0を実現することが必要であるとする。
- ・認可保育所に誰でも使える一時保育の仕組みがないため，使えない状況が多すぎる。
- ・働いている女性に優しい市であってほしい。保育園や住民によるサポート体制の活性化など。

⑬ 市民が健康づくりに取り組んでいる（意見数 25 件）

【主な記述項目】

- ・健康維持が大事（4 件）
- ・健康づくりのためのイベント・教室等の企画（4 件）
- ・健康づくりのための施設の整備・充実（3 件）
- ・健康教育の充実を（2 件）
- ・高齢者の健康維持施策の充実（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・まず健康でなければ何も出来ない。
- ・もっと多くの方々と健康体操などを一緒にできたら良い。

⑭ 市民が適切な診療を受けられる（意見数 55 件）

【主な記述項目】

- ・芦屋市民病院の充実，現診療科目・体制に不安，遠い（14 件）
- ・子ども医療費の所得制限の撤廃，無料化，医療費が高い（8 件）
- ・信頼できる診療医が少ない，受たい診療科が徒歩圏にない（3 件）
- ・土，日，祝日の診療の充実（3 件）

【具体的な意見（例）】

- ・芦屋市民病院の医療水準を上げる。地域と連携する。
- ・週末も受診できる医療機関があると助かります。
- ・病気になった時の医療費の助成（若くても）。

⑮ 地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している（意見数 35 件）

【主な記述項目】

- ・これからの高齢社会に向けて，もっと住みやすい街になってほしい（5 件）
- ・保健・医療・福祉がトータルで連携しないといけない。多職種連携の推進（4 件）
- ・一人になった時の不安，心配があり，安心して暮らしたい（3 件）
- ・「人生 100 年時代」に対する体制を構築すること（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・「人生 100 年時代」に対する体制を構築すること。
- ・自治会の組織化と福祉民生との関わりを持つつながりを作る。個人情報保護法からくる見ざる・聞かざる・言わざるから脱却しないといけない。
- ・保健・医療・福祉の連携がとれているとはいえ、個人個人で守らないと生活出来ない。

⑩ 高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている（意見数 116 件）

【主な記述項目】

- ・高齢者の社会参加促進及び環境づくり（居場所づくり，見守り，つながりづくり，雇用の場づくり）（21 件）
- ・バリアフリー，出かけたくなる動機づくり，買い物便利なまち（13 件）
- ・高齢社会に向けた保健・医療・福祉の充実，もっと住みよいまちに（11 件）
- ・移動手段の確保（コミュニティバス運行，タクシー割引，高齢者運転支援技術開発，高齢者免許返納促進）（11 件）

【具体的な意見（例）】

- ・高齢化が今後も進むであろうと予測される昨今，高齢者が安心して暮らせる街であってほしい。
- ・高齢者比率の増大は基本的には避けられない。市民の多数を占める高齢者が生き生きしていなければ街も活性化しない。新しいことに反対する高齢者が増えると街の改革も進みにくい。
- ・少子高齢化は何処も同じだと思う。もう少し世代間の繋がりが増えて上手く行く方法があればと思うが，なかなか難しいのが現実。

⑪ 障がいのある人の権利が尊重され，持てる能力を最大限に発揮できる（意見数 24 件）

【主な記述項目】

- ・歩道・駅・横断歩道のバリアフリー化（4 件）
- ・障がいのある人が安心して暮らせる情報・体制の充実（4 件）
- ・障がいのある人への理解を深める取組の充実（2 件）
- ・障がいのある人が働ける場を拡大（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・障がいの重・軽度に関わらず自分らしい人生を全うできる支援，居住が充実していると思えない（家族の支援まかせ）。
- ・障がいのある人への理解がまだまだ不足していると感じる。知識を養う機会が求められる。
- ・障がいのある人が働ける場所の拡大をしてほしい。

⑫ 市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている（意見数 19 件）

【主な記述項目】

- ・交通ルールを守る意識啓発（特に高齢者）（3 件）
- ・被害に遭う人が減ることを願う，安全・安心なまちづくりの推進（3 件）
- ・夜間危険なので街灯の整備を（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ 交通ルールを守る意識が不足してる。
- ・ 市民の安心，安全対策を充実して欲しいと思います。
- ・ 静かだが夜遅い帰宅だと街灯が少なく危険。

⑱ 犯罪が起きにくいまちになっている（意見数 66 件）

【主な記述項目】

- ・ 防犯対策の一層の強化が必要，犯罪の未然防止，安全な生活（13 件）
- ・ 街灯を増やしてほしい（11 件）
- ・ 空き巣やひったくり，トラブル，不審者が増えている（10 件）
- ・ 防犯カメラ・監視カメラの設置（7 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ 暗い道の街灯の整備などが必要。
- ・ 芦屋は安全で住みやすい街のイメージがあるので今後もそのようなまちづくりを期待している。
- ・ 自治会との連携プレーや防犯カメラの設置。

⑳ 家庭や地域，行政の防災力が向上している（意見数 33 件）

【主な記述項目】

- ・ 災害対応についての行政からの働きかけ，迅速な避難指示，避難訓練（6 件）
- ・ 避難行動についてのマニュアルづくり，避難ルート，避難場所の周知（4 件）
- ・ 地震，高波・高潮，土砂崩れ対策の推進，災害に強いまちづくり（3 件）
- ・ 防災放送が聞こえない，防災情報が入らない（SNS 等）（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ 危機と避難の具体的な連絡方法と避難ルート，目的地の指示を徹底して欲しい。
- ・ 芦屋市に住みたいと思う人が増えるように，住みよい環境づくり，行政の防災力を上げていくことは必要。
- ・ 防災力が十分とは思えない。家庭や地域での防災に対する備えが足りていない。

㉑ 災害に強い安全なまちづくりが進んでいる（意見数 131 件）

【主な記述項目】

- ・ 高潮・津波対策（南芦屋浜），防災対策の充実，避難訓練の実施（36 件）
- ・ 平成 30 年台風 21 号の教訓を生かした災害対策の推進（24 件）
- ・ ハザードマップの見直し，防災情報の提供・周知，正しい情報の発信（14 件）
- ・ 南海トラフ地震対策の推進（6 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ 昨今の異常な自然災害に対する対策や，今後の南海トラフ地震への備えは不十分であると考えます。市民や市内の企業と芦屋市が連携し，アイデアを出し合う機会が必要ではないでしょうか。
- ・ 過去の災害を踏まえ，安全なまちづくりがすみやかにできるよう期待しています。
- ・ 地震や豪雨の際に一人暮らしの方や老人など弱者にも手が届くような支援。

⑳ 自然と緑を守り，創り，育てる文化を継承している（意見数 43 件）

【主な記述項目】

- ・ 生け垣・草花等の緑豊かなまちづくりを（8 件）
- ・ 草木の手入れや剪定に気を配ってほしい（公共，個人）（6 件）
- ・ 芦屋らしいまちを維持してほしい（5 件）
- ・ 開発で自然を壊さないようにしてほしい（5 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ 緑が多く街が清潔なことで毎日の生活に落ち着きが感じられて，とても良いと思っています。
- ・ 芦屋らしいまちをこれからも守ってほしい。
- ・ 恵まれた自然との融合した街づくり，更なる環境整備。

㉑ 建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している（意見数 47 件）

【主な記述項目】

- ・ 良い景観・街並みが地域ブランドの向上につながる（7 件）
- ・ 住環境・景観（色彩・デザイン）を誘導・指導してほしい（5 件）
- ・ 草木の手入れや剪定に気を配ってほしい（公共，個人）（5 件）
- ・ 電線地中化・無電柱化（4 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ 芦屋は上品なイメージがあるので，景観は大切にしてほしい。
- ・ 電柱・電線が目ざわり。地中化を急いで下さい。
- ・ 芦屋をブランド化する方向にありながら，まだけばけばしい看板，建物がある（看板の大きさ，色使いにさらなる規制を）。

㉒ 環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる（意見数 14 件）

【主な記述項目】

- ・ 暮らしやすいまちづくりのために大切だから（6 件）
- ・ 公園（砂場，トイレ）が汚い（3 件）
- ・ 資源ごみの収集日を増やしてほしい（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ 芦屋の良さをさらに発展させるまちづくりを期待しています。
- ・ 公園のトイレが汚いことが多く，子供のおむつがはずれる頃にいつも困る。
- ・ 段ボールとペットボトルを毎週回収してください（今の時代の消費スタイルに合った回収頻度にしてほしい）。

㉓ 清潔なまちづくりが進んでいる（意見数 74 件）

【主な記述項目】

- ・ 歩きたばこ・喫煙禁止区域での喫煙，ゴミのポイ捨てを取り締まってほしい（22 件）
- ・ 犬の飼い主のマナーが悪い（フンの処理等）（15 件）
- ・ 芦屋の良いところである綺麗で清潔なまちを大切にしてほしい（9 件）
- ・ ハト・カラス・野良ネコ対策を考えてほしい（8 件）

【具体的な意見（例）】

- ・タバコのポイ捨てやゴミの散乱を無くし、モラルある街にしていきたい。
- ・野良ネコやカラスがとても多く、可燃ゴミの日は道路にゴミが散乱し汚い。
- ・清潔なまちづくりは犯罪の温床となることを防げる。

②⑥ 交通ルールやマナーに関する意識が高まっている（意見数 169 件）

【主な記述項目】

- ・自動車の運転マナーを向上させてほしい（43 件）
- ・自転車のマナーが悪い（30 件）
- ・駅周辺等の違法駐車・駐輪，交通違反の取り締まり，排除（28 件）

【具体的な意見（例）】

- ・車の運転マナーが悪い。信号のない横断歩道を止まる車が殆どいない。高級車が多いせいか運転マナーも歩行者に対し，上から目線な気がする。
- ・マナー違反の自転車，無理な通行の車が目立ちます。子どもたちの方が規則を守っている時もあり，大人の余裕が少なくなっているように感じます。
- ・駅前にお迎えの車が留まりすぎており，歩行者や他の車に迷惑がかかっている。

②⑦ 公共施設などのバリアフリー化が進んでいる（意見数 40 件）

【主な記述項目】

- ・鉄道駅及び周辺のバリアフリー化を進めてほしい（16 件）
- ・道路（歩道橋，階段，舗装等）のバリアフリー化を進めてほしい（13 件）
- ・まち全体（民間も）のバリアフリー化を進めてほしい（6 件）
- ・公共施設のバリアフリー化を進めてほしい（4 件）

【具体的な意見（例）】

- ・JRの駅にエスカレーターがないのがとても不便。導入してほしい。
- ・まだまだ身体の不自由な方が移動しにくい道路などがあるし，ドライバーのモラルが崩壊しており，歩行者に優しくない。
- ・視覚，聴覚やその他の障がいがある人が安心して利用できる環境（公共施設）の整備。

②⑧ 市内を安全かつ快適に移動できる（意見数 107 件）

【主な記述項目】

- ・道路（拡幅，改善，舗装，分離帯設置），歩道，自転車道路の整備（44 件）
- ・バス交通・サービスを充実してほしい（28 件）
- ・山側～浜側の動線を改善してほしい（7 件）
- ・渋滞の改善や阪神打出駅付近の鉄道の高架化（5 件）

【具体的な意見（例）】

- ・芦屋川沿いの歩道で狭い箇所が多く，歩行中にすれ違いする時，車道にはみ出て危険である。
- ・バスの便が少ないので子育て世代はバスを利用することが難しい。
- ・市内の阪神沿線に関しては，近隣地域の高架化が完了したのに対して，未実施。住宅事情を考慮した上での施策を期待したい。

②⑨ 良質なすまいづくりが進んでいる（意見数 19 件）

【主な記述項目】

- ・マンション、住宅の老朽化・空き家対策を検討してほしい（5 件）
- ・街並み維持のために減税（固定資産税、相続税）を（3 件）
- ・もっと住みやすいまちづくりを（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ごみ屋敷かと思われる家がある。生け垣が崩れかかっている家など大通り沿いに見る。
- ・相続税のため、せっかくの高級住宅地が安っぽくなっている。せっかくのクラシックな建物を市が購入できなかったのか。
- ・市民にとって良い住宅都市づくりを推進すること。

③⑩ 住宅都市としての機能が充実している（意見数 13 件）

【主な記述項目】

- ・バス交通・サービスを充実してほしい（4 件）
- ・公園を整備してほしい（2 件）
- ・南部の商業を活性化してほしい（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・阪急電車より北側のバス通りに面していない地域の高齢者は、交通機関（バス）がなく、タクシーを利用するしかなく、膝、足の弱い人は困る。利便性を見直してほしい。
- ・高齢化対応は進んでいるが、子育てできる公園が少ないのでは。
- ・南の方も商業 etc. 居住をサポートする機能を設けてほしい。

③⑪ 市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している（意見数 163 件）

【主な記述項目】

- ・市内の商業施設の魅力向上・活性化を願う（26 件）
- ・スーパー、コンビニ、ドラッグストアなどを増やしてほしい（22 件）
- ・JR 芦屋駅周辺の商業施設の活性化に期待（20 件）
- ・JR 周辺だけでなく、阪急・阪神周辺も活性化してほしい（11 件）

【具体的な意見（例）】

- ・だんだんお店が減っている。神戸や西宮に行く方が良いお店がある。
- ・JR 芦屋駅前にはモンテメール、ラポルテが充実して、また駐車場も充実している。阪急芦屋川駅前、阪神芦屋駅前の再開発、充実が必要。
- ・芦屋市は住宅が多いが商業施設が少ないので場所によってはかなり不便である。もっと生活に必要な商業施設を誘致した方が良い。

③⑫ 市民参画による開かれた市政を運営している（意見数 17 件）

【主な記述項目】

- ・市民の意見を聞くだけでなく、きちんと反映してほしい（5 件）
- ・市政に参画しやすい仕組みづくりを（4 件）
- ・市民自身が市政に参画する意識を高める（3 件）

【具体的な意見（例）】

- ・市民が気軽に市政に参加できるような場を多く作ってほしい。
- ・芦屋市が住みやすく美しい市であり続けるために、子供から高齢者まで声を市政に届ける機会が増えると良いと思います。
- ・もっと市政が身近に感じられるようなイベントや取組が少ないため、この対応を期待します。

③③ 変化に対応できる柔軟な組織運営をしている（意見数 13 件）

【主な記述項目】

- ・市職員の資質向上（5 件）
- ・柔軟な組織運営とは何かわからない（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・市職員の質を向上させるべき。
- ・何が柔軟な組織運営なのか、理解出来ない。

③④ 様々な資源を有効に活用している（意見数 15 件）

【主な記述項目】

- ・有効活用されていない（3 件）
- ・資源の有効活用に関する取組を知る機会を（2 件）

【具体的な意見（例）】

- ・ゴミをもう少し分別する。ゴミ袋有料化など。
- ・資源の有効活用について、どのような取組をされているかを知る機会があまりない。

③⑤ 歳入・歳出の構造を改善している（意見数 28 件）

【主な記述項目】

- ・健全な財政運営を（5 件）
- ・市民ニーズに応じた税金の使い方をしてほしい（4 件）
- ・経費削減を徹底してほしい（4 件）

【具体的な意見（例）】

- ・市が財政破綻しないように。
- ・税金と市民の満足度が比例しているとは思えない点から。
- ・お金を大切に管理して行ってほしい。

問 12 あなたは普段、情報を得るときに、主にどこから情報を得ますか。次の中から3つ以内で選んで、数字に○をつけてください。

◆「インターネット」と「テレビ」が多く、それぞれ6割を超えている。

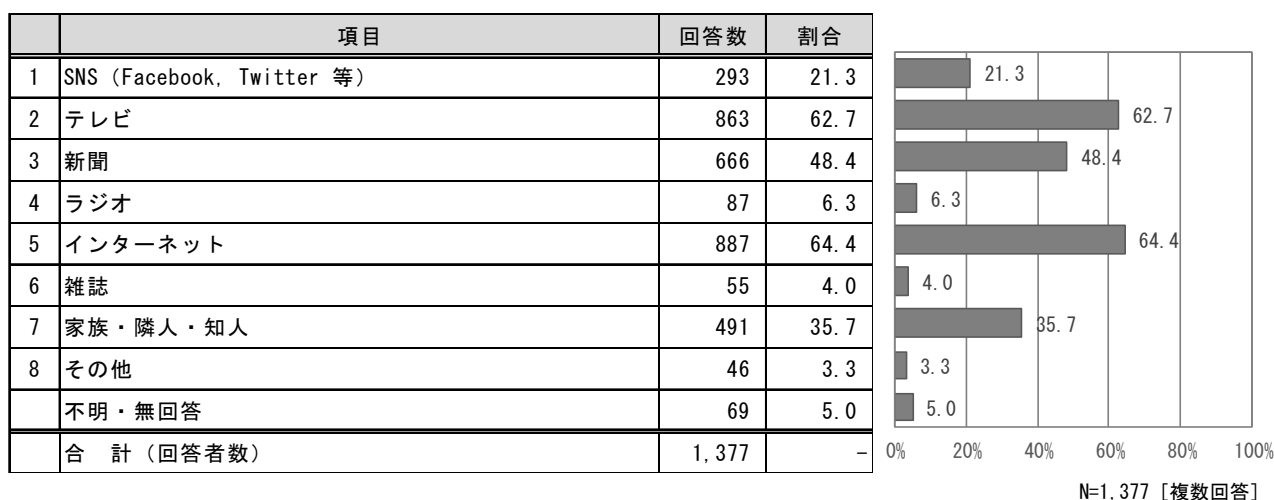


図 244 情報を得る手段

- ◆性別では、男性は「インターネット」が最も多いのに対し、女性は「テレビ」が最も多くなっている。
- ◆年代別では、50歳代以下は「インターネット」、60・70歳代は「テレビ」、80歳以上は「新聞」が最も多くなっている。

		SNS	テレビ	新聞	ラジオ	インターネット	雑誌	家族・隣人・知人	その他	不明・無回答
市全体 (N=1,377)		21.3	62.7	48.4	6.3	64.4	4.0	35.7	3.3	5.0
性別	男性 (N=587)	22.5	60.6	48.7	6.1	71.0	3.9	26.7	2.7	5.3
	女性 (N=775)	20.6	63.7	47.5	6.5	59.7	3.7	42.8	3.9	4.9
年代別	10歳代 (N=25)	52.0	36.0	28.0	0.0	72.0	0.0	24.0	0.0	12.0
	20歳代 (N=111)	59.5	55.0	18.9	2.7	63.1	1.8	27.9	0.0	8.1
	30歳代 (N=177)	35.6	44.1	20.3	5.1	77.4	4.0	45.2	4.0	7.3
	40歳代 (N=264)	29.9	52.3	35.6	6.4	84.5	3.8	29.9	2.3	3.0
	50歳代 (N=226)	20.8	63.7	45.6	2.2	81.4	4.0	31.4	4.0	4.0
	60歳代 (N=206)	9.2	70.4	54.9	5.3	66.5	5.8	37.4	1.5	3.4
	70歳代 (N=262)	1.9	77.9	76.3	11.5	37.4	4.2	38.2	6.5	4.6
	80歳以上 (N=96)	0.0	78.1	86.5	11.5	15.6	2.1	46.9	4.2	8.3

※網掛け部分は市全体より5%以上高い項目

図 245 情報を得る手段 (性別, 年代別)

問 13 あなたは普段、芦屋市の行政情報を得るときに、主にどこから情報を得ますか。次の中から3つ以内で選んで、数字に○をつけてください。

◆「広報あしや」が81.3%と最も多く、「市のホームページ」が29.0%、「家族・隣人・知人」が24.0%、「新聞やニュースなど（マスコミからの情報）」が21.1%と続いている。

	項目	回答数	割合
1	広報あしや	1,119	81.3
2	市のホームページ	400	29.0
3	SNS (Facebook, Twitter 等)	79	5.7
4	スマートフォンアプリ	44	3.2
5	ケーブルテレビの広報番組	123	8.9
6	広報掲示板（市内76ヶ所）	147	10.7
7	新聞やニュースなど（マスコミからの情報）	291	21.1
8	市役所への電話問い合わせ	90	6.5
9	市役所の窓口	63	4.6
10	自治会の回覧板・掲示板	210	15.3
11	家族・隣人・知人	331	24.0
12	その他	32	2.3
	不明・無回答	28	2.0
	合計（回答者数）	1,377	-

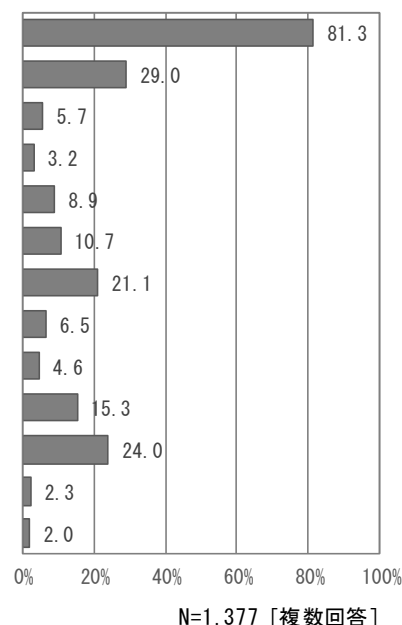


図 246 市政に関する情報を得る手段

- ◆性別では、男女ともに「広報あしや」が最も多い。
- ◆年代別では、すべての年代で「広報あしや」が最も多いが、これに次いで、20歳代は「家族・隣人・知人」、30～50歳代は「市のホームページ」、60歳代以上は「新聞やニュースなど」が多くなっている。
- ◆地区別では、すべての地区で「広報あしや」が最も多いが、これに次いで、朝日ヶ丘小学校区、潮見小学校区では「新聞やニュースなど」、浜風小学校区では「自治会の回覧板・掲示板」、南芦屋浜地区では「家族・隣人・知人」、他地区では「市のホームページ」が多くなっている。

(%)

	広報あしや	市のホームページ	SNS	スマートフォンアプリ	ケーブルテレビの広報番組	広報掲示板(市内76ヶ所)	新聞やニュースなど	市役所への電話問い合わせ	市役所の窓口	自治会の回覧板・掲示板	家族・隣人・知人	その他	不明・無回答
市全体 (N=1,377)	81.3	29.0	5.7	3.2	8.9	10.7	21.1	6.5	4.6	15.3	24.0	2.3	2.0
性別													
男性 (N=587)	77.7	34.4	7.2	2.2	8.5	8.3	23.5	5.1	4.3	15.2	21.6	2.7	2.7
女性 (N=775)	84.4	25.0	4.8	3.9	9.3	12.5	19.1	7.5	4.8	15.6	26.2	1.9	1.3
年代別													
10歳代 (N=25)	44.0	44.0	20.0	12.0	4.0	16.0	8.0	0.0	0.0	8.0	32.0	4.0	4.0
20歳代 (N=111)	43.2	26.1	21.6	2.7	3.6	7.2	14.4	1.8	2.7	4.5	37.8	3.6	3.6
30歳代 (N=177)	74.6	43.5	9.6	6.8	4.0	7.9	9.0	5.6	6.8	5.1	32.2	2.3	2.8
40歳代 (N=264)	84.1	39.4	6.4	3.4	8.0	6.4	13.6	4.9	1.9	11.0	20.8	3.4	1.1
50歳代 (N=226)	86.3	38.1	3.1	4.4	8.8	11.1	18.6	8.0	4.9	11.1	17.7	2.7	1.8
60歳代 (N=206)	88.8	24.3	1.9	1.5	9.2	15.5	26.2	6.3	3.4	19.4	17.0	0.5	1.5
70歳代 (N=262)	89.3	13.0	1.5	1.5	15.6	13.0	31.3	11.1	6.9	28.2	27.9	2.3	0.8
80歳以上 (N=96)	89.6	7.3	0.0	0.0	9.4	12.5	41.7	4.2	6.3	27.1	20.8	0.0	5.2
地区別													
奥池地区 (N=12)	58.3	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0
山手小学校区 (N=286)	81.1	29.7	6.3	4.2	5.2	12.6	17.5	8.0	2.4	13.6	24.1	1.4	1.7
岩園小学校区 (N=178)	83.1	32.0	6.7	3.4	14.0	10.7	18.5	7.3	3.4	7.9	19.7	2.2	0.6
朝日ヶ丘小学校区 (N=122)	79.5	24.6	8.2	5.7	4.1	7.4	26.2	7.4	6.6	13.1	23.0	5.7	1.6
精道小学校区 (N=207)	81.2	30.9	6.8	1.4	12.6	9.7	17.9	4.3	4.3	13.0	20.3	0.5	3.9
宮川小学校区 (N=167)	72.5	35.3	5.4	4.8	9.6	9.6	19.2	5.4	4.2	19.2	22.8	4.2	4.2
打出浜小学校 (N=132)	84.8	28.8	3.8	3.0	7.6	9.8	25.8	4.5	6.1	9.8	25.0	4.5	0.8
浜風小学校区 (N=107)	86.0	20.6	5.6	0.9	12.1	14.0	17.8	5.6	6.5	27.1	26.2	0.0	0.0
潮見小学校区 (N=86)	88.4	26.7	1.2	2.3	8.1	11.6	32.6	8.1	4.7	26.7	31.4	1.2	1.2
南芦屋浜地区 (N=69)	84.1	23.2	4.3	1.4	7.2	10.1	30.4	1.4	8.7	20.3	39.1	2.9	2.9

※網掛け部分は市全体より5%以上高い項目

図 247 市政に関する情報を得る手段 (性別 年代別 地区別)

問 14 あなたがよく利用する SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）は何ですか。次の中から 3 つ以内で選んで、数字に○をつけてください。

- ◆「LINE」が 55.4% で最も多く、「YouTube」が 25.5%、「Google+」が 20.7% と続いている。
- ◆一方、「利用していない」は 21.5% となっている。

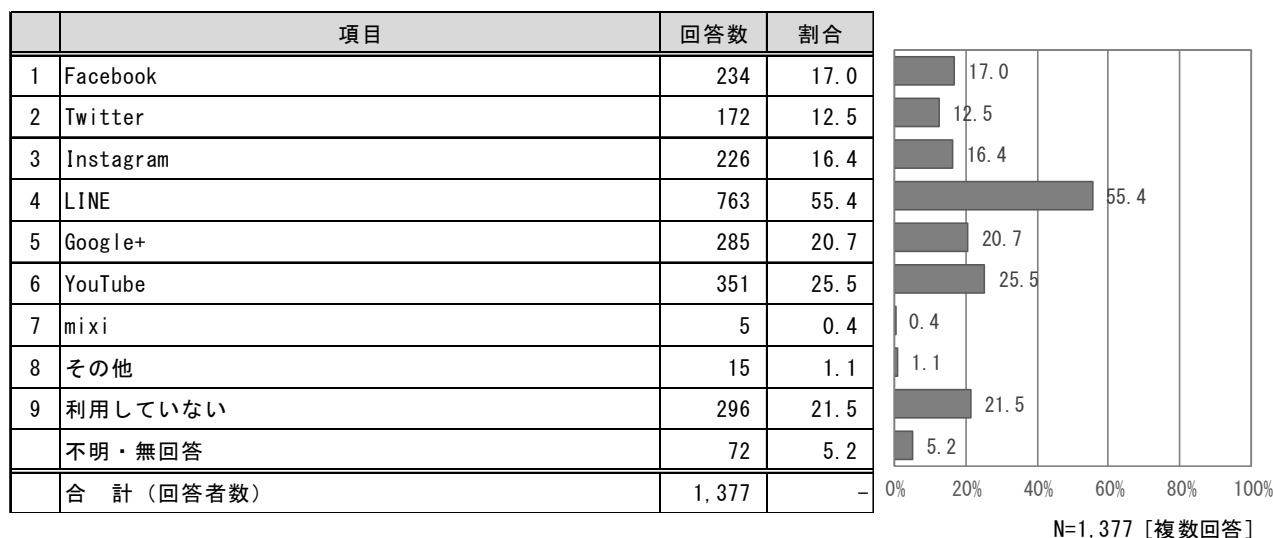


図 248 よく利用する SNS

- ◆性別では、男女ともに「LINE」が最も多い。次に多い回答は、男性は「YouTube」、女性は「利用していない」となっている。
- ◆年代別では、60 歳代以下で「LINE」が最も多いが、年齢が上がるほど利用割合は低くなる。70 歳代以上では「利用していない」が最も多い。

(%)

	Facebook	Twitter	Instagram	LINE	Google+	YouTube	mixi	その他	利用していない	不明・無回答
市全体 (N=1,377)	17.0	12.5	16.4	55.4	20.7	25.5	0.4	1.1	21.5	5.2
性別										
男性 (N=587)	21.6	15.5	13.1	54.7	18.9	33.0	0.3	1.5	17.4	5.3
女性 (N=775)	13.5	10.5	19.1	56.4	21.7	19.4	0.4	0.8	24.4	5.2
年代別										
10歳代 (N=25)	4.0	56.0	24.0	84.0	20.0	36.0	0.0	0.0	4.0	0.0
20歳代 (N=111)	12.6	42.3	38.7	79.3	9.0	38.7	0.9	1.8	0.0	9.0
30歳代 (N=177)	26.6	19.8	35.0	77.4	15.8	28.2	0.6	0.6	2.8	3.4
40歳代 (N=264)	23.1	12.1	23.9	72.3	17.0	31.4	0.4	0.4	7.6	3.0
50歳代 (N=226)	29.6	13.3	14.2	66.4	28.3	28.3	0.4	1.8	8.4	2.2
60歳代 (N=206)	12.6	4.4	8.7	47.6	28.2	26.2	0.5	1.9	23.3	3.9
70歳代 (N=262)	5.0	0.8	0.4	25.6	23.3	15.3	0.0	0.8	52.7	6.1
80歳以上 (N=96)	4.2	2.1	0.0	7.3	9.4	4.2	0.0	1.0	64.6	18.8

※網掛け部分は市全体より 5% 以上高い項目

図 249 よく利用する SNS（性別，年代別）

問 15 あなたは、「広報あしや」に満足していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- ◆「満足している」が20.0%、「やや満足している」が42.2%で、合わせて62.2%が「満足している」と回答している。
- ◆前回との比較では、大きな変化は見られない。

	項目	回答数	割合
1	満足している	275	20.0
2	やや満足している	581	42.2
3	やや不満	132	9.6
4	不満	32	2.3
5	どちらともいえない（わからない）	293	21.3
6	広報あしやを知らない	47	3.4
	不明・無回答	17	1.2
	合 計	1,377	100.0

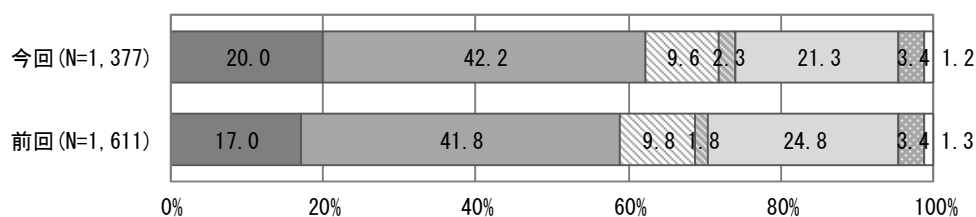
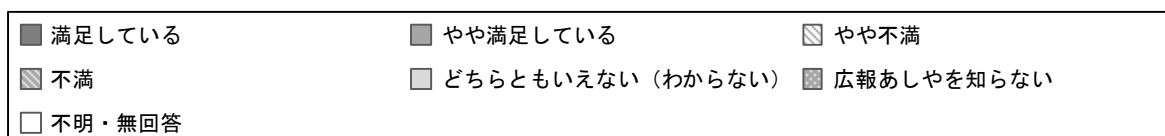


図 250 広報あしやの満足度

- ◆性別では、女性の方が満足度が高く、男性は「どちらともいえない（わからない）」という回答が多い。

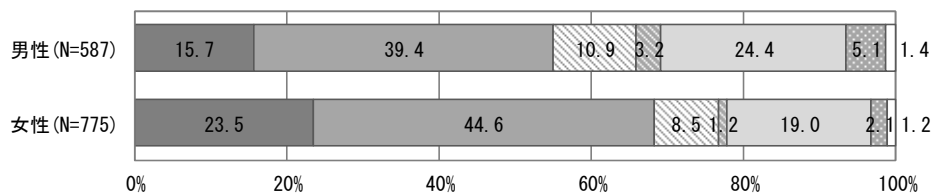


図 251 広報あしやの満足度（性別）

◆年代別では、30歳代以上は過半数が満足している。特に70歳代以上で満足度が高い。また、20歳代以下では、「知らない」「どちらともいえない(わからない)」という回答が多い。

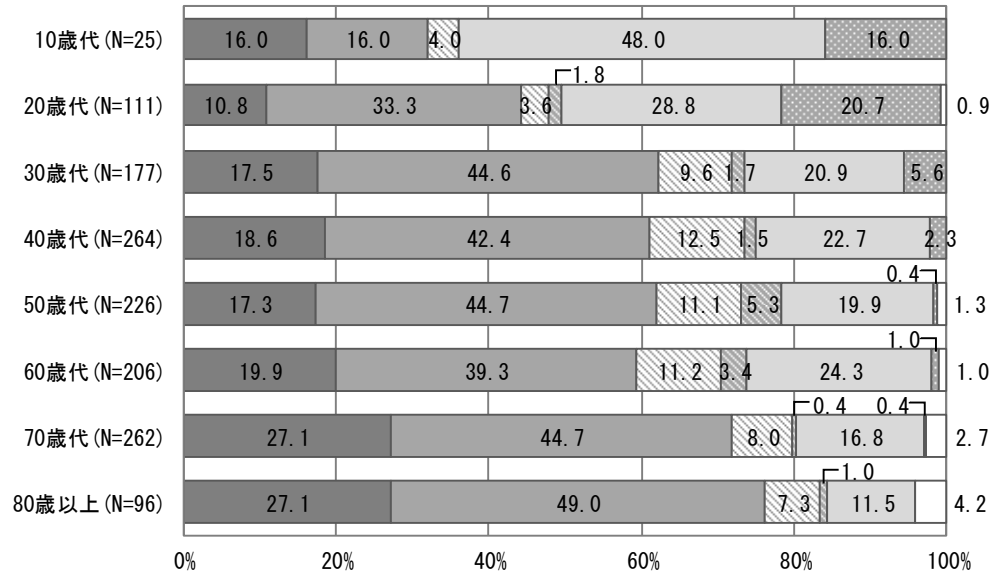
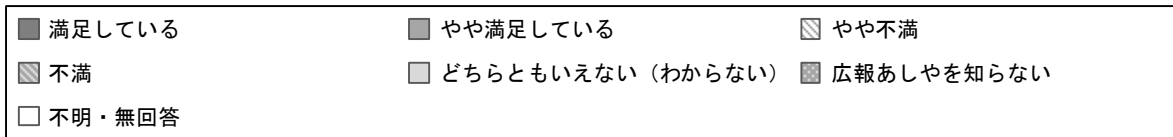


図 252 広報あしやの満足度 (年代別)

◆地区別では、大きな違いはない。

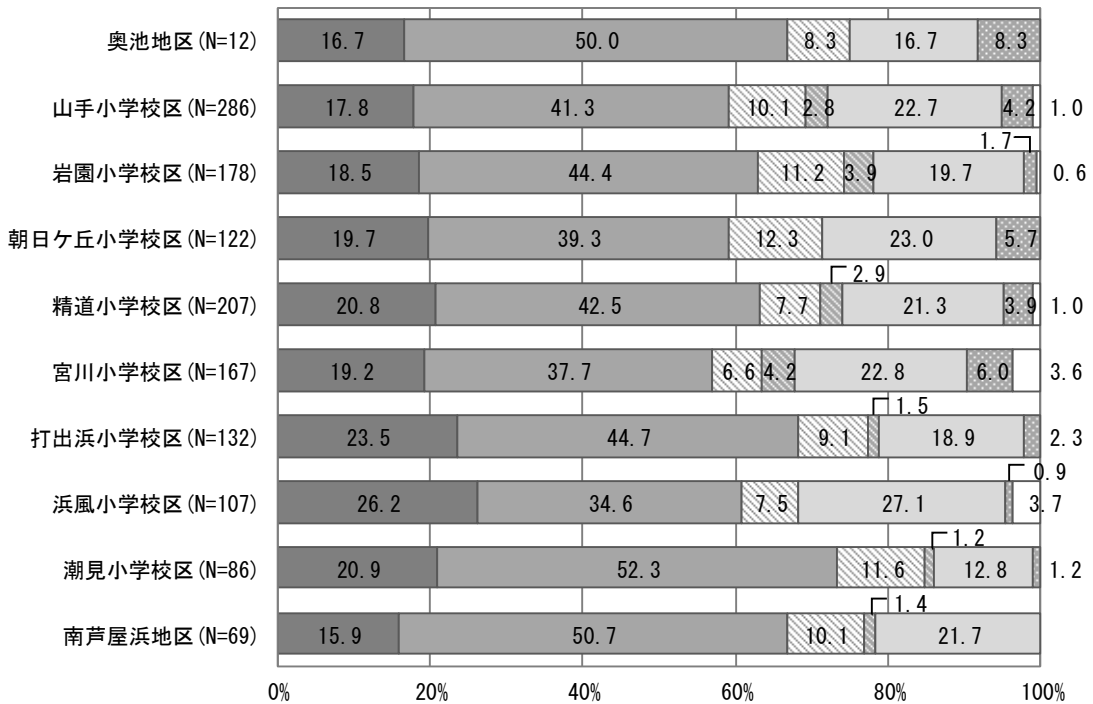


図 253 広報あしやの満足度 (地区別) (*)

問 16 不満の理由は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んで、数字に○をつけてください。

- ◆ 「知りたい情報が掲載されていない」が42.1%で最も多く、「情報が探しにくい、読みにくい」が37.8%と続いている。

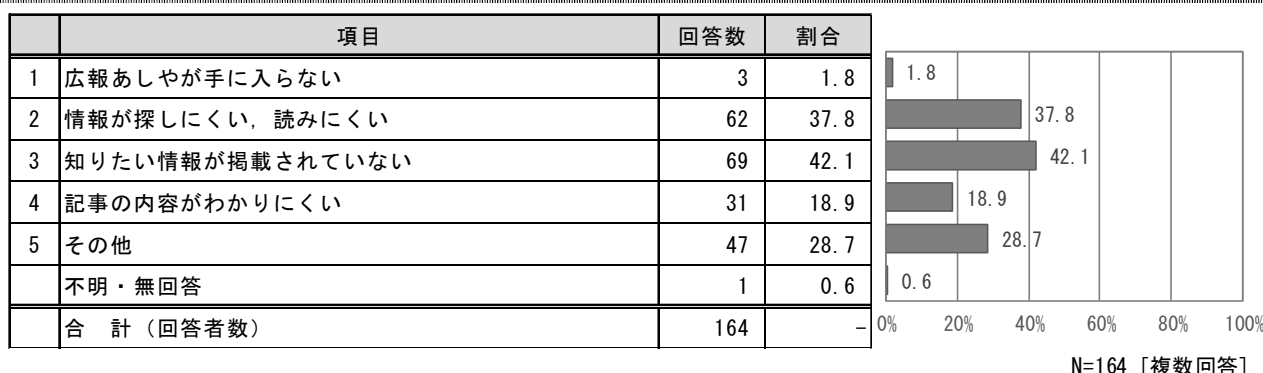


図 254 不満の理由

- ◆ 性別では、男女ともに「知りたい情報が掲載されていない」が最も多く、性別では大きな違いはない。
 ◆ 年代別では、大きな違いはない。

(%)

	広報あしや が手に入ら ない	情報が探し にくい、読 みにくい	知りたい情 報が掲載さ れていない	記事の内容 がわかりに くい	その他	不明・無回 答
市全体 (N=164)	1.8	37.8	42.1	18.9	28.7	0.6
性別						
男性 (N=83)	2.4	36.1	45.8	16.9	25.3	1.2
女性 (N=75)	1.3	40.0	41.3	17.3	33.3	0.0
年代別						
10歳代 (N=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 (N=6)	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0
30歳代 (N=20)	0.0	30.0	45.0	5.0	55.0	0.0
40歳代 (N=37)	0.0	35.1	51.4	13.5	29.7	0.0
50歳代 (N=37)	8.1	40.5	40.5	21.6	16.2	0.0
60歳代 (N=30)	0.0	43.3	36.7	30.0	30.0	3.3
70歳代 (N=22)	0.0	36.4	31.8	22.7	31.8	0.0
80歳以上 (N=8)	0.0	37.5	50.0	0.0	25.0	0.0

※網掛け部分は市全体より5%以上高い項目

図 255 不満の理由（性別、年齢別）